

千葉県スポーツ推進計画策定に
関わる市民意識調査
報告書

令和元年12月

千葉県

目 次

I 調査要綱および実施概要	1
II 総 括	5
III 調査結果	43
1. 市民アンケート	45
(1) 属性	45
(2) あなたの健康状態等について	48
(3) 運動・スポーツの実施状況等について	52
(4) 運動・スポーツの団体について	68
(5) 運動・スポーツを行う場所・施設について	80
(6) 運動・スポーツの行事について	95
(7) スポーツ観戦について	104
(8) パラスポーツの推進について	119
(9) トップスポーツとの交流について	130
(10) 運動・スポーツの情報について	134
(11) 運動・スポーツに関する市の施策に対する期待について	142
2. 小学生アンケート	145
(1) 属性	145
(2) あなたの健康状態等について	146
(3) 運動・スポーツの実施状況等について	147
(4) 運動・スポーツを行う場所・施設について	156
(5) スポーツ観戦について	158
(6) パラスポーツの推進について	163
(7) プロスポーツなどとの交流について	166
(8) 運動・スポーツの情報について	168
3. 中学生アンケート	171
(1) 属性	171
(2) あなたの健康状態について	172
(3) 運動・スポーツの実施状況等について	174
(4) 運動・スポーツを行う場所・施設について	186
(5) 運動・スポーツの行事について	191
(6) スポーツ観戦について	194
(7) パラスポーツの推進について	200
(8) トップスポーツとの交流について	204
(9) 運動・スポーツの情報について	206
4. 高校生アンケート	209
(1) 属性	209

(2) あなたの健康状態について	210
(3) 運動・スポーツの実施状況等について	212
(4) 運動・スポーツを行う場所・施設について	224
(5) 運動・スポーツの行事について	229
(6) スポーツ観戦について	233
(7) パラスポーツの推進について	239
(8) トップスポーツとの交流について	243
(9) 運動・スポーツの情報について	245
5. 共通設問年齢別比較	249
(1) あなたの健康状態等について	249
(2) 運動・スポーツの実施状況等について	250
(3) 運動・スポーツを行う場所・施設について	252
(4) スポーツ観戦について	253
(5) パラスポーツの推進について	254
(6) 運動・スポーツのイベントについて	255
IV 調査票	257

I 調査要綱および実施概要

1. 調査目的

「千葉市スポーツ推進計画」の策定にあたり、市民のスポーツ活動の実態やニーズを把握し、その基礎資料とし、計画に反映させることを目的とする。

2. 調査対象

調査名		調査対象
①市民		市内在住の18歳以上79歳までの男女（無作為抽出）
②児童生徒	(ア) 小学生	市内12校の小学生
	(イ) 中学生	市内16校の中学生
	(ウ) 高校生	市内2校の高校生

3. 調査方法と回収状況

調査方法：①市民：郵送配布／郵送またはインターネット回収

②児童生徒：協力依頼した学校において配布・回収

調査期間：①令和元年9月13日（金）～10月4日（金）

②令和元年9月

<回収状況>

調査名		配布件数	回収数	回収率
1. 市民		1,200件	397件	33.1%*
2. 児童生徒	(ア) 小学生	604件	601件	99.5%
	(イ) 中学生	611件	573件	93.7%
	(ウ) 高校生	646件	626件	96.9%

* 前回平成26年実施394件 回収率32.8%

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・一部の設問において過去の調査から最大回答数を変えているものについては、経年比較ができないため参考として図示するに留めている。
- ・経年比較のグラフにおいて、平成26年および平成21年については無回答の項目が無いいため空白となっている。
- ・統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

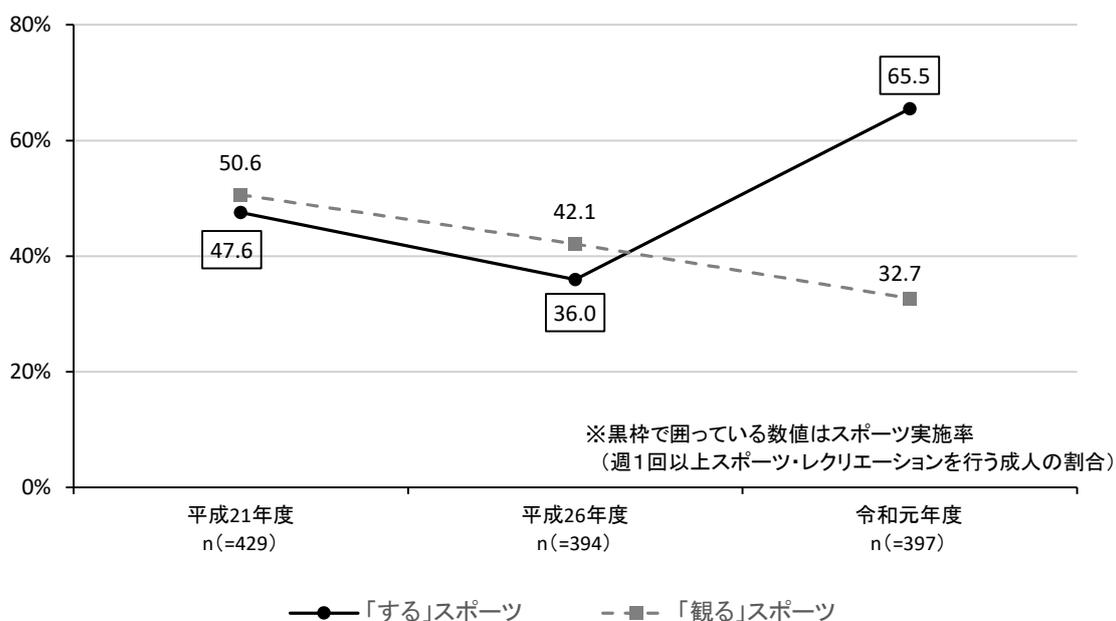
例	表現
69.5～70.4%	約7割 ※70.0%も約7割
70.5～73.4%	7割を超える
73.5～76.4%	7割台半ば
76.5～79.4%	8割近く

Ⅱ 総括

数値目標の達成状況について

	目標値	現状値 【2019年】	達成状況 【2019年】
「する」スポーツ (週1回以上スポーツ・レクリエーションを行う成人の割合) ----- 数値目標 1	50%以上	65.5%	達成
「観る」スポーツ (年1回以上スポーツを実際に観戦する成人の割合) ----- 数値目標 2	50%以上	32.7%	未達成

「する」スポーツと「観る」スポーツの割合推移



※平成21年度と平成26年度の「観る」スポーツは
会場での観戦経験「ない」や「特になし」を除いた割合

「する」スポーツについて

(1) 運動・スポーツの実施状況等について

① 考察

先日のラグビーワールドカップが大いに盛り上がったことや、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の関西ワールドマスターズゲームズと、世界的に大きなスポーツイベントの開催を国内で控えていることから、全国的にスポーツに対する機運が高まりつつある。

その中で、スポーツ庁においては、成人のスポーツ実施率を週1日以上が65%程度、週3日以上が30%程度となることを目指している。今回の調査結果より、市民のスポーツ実施率は65.5%であることがわかった。過去との比較でみると、平成21年よりも17.9ポイント、平成26年よりも29.5ポイント増加した。

実施率が大きく増加した要因として考えられるのは、今回調査において運動やスポーツの定義を明確に記載したため、日常において取り組んでいる身体活動を含めて、運動やスポーツのイメージがしやすくなったことである。その他にも3つの要因が考えられる。

① ウォーキングの実施率増加

現在実施している種目について上位4項目（ウォーキング、健康体操・ラジオ体操、ゴルフ、ランニング・マラソン）は前回と変わらないため、スポーツ実施率の変化を左右しているのは主にこの4種目だと考えられる。健康体操・ラジオ体操、ゴルフ、ランニング・マラソンは僅かな増減だが、ウォーキングは8ポイント増加している。ウォーキングの実施率増加が、スポーツ実施率増加にも影響したと考えられる。

② スマートフォンの普及

スポーツ実施率が増加した社会的要因の1つとして、スマートフォンの普及が考えられる。平成30年のスマートフォン保有率は平成26年と比較して約1.4倍増加しており、今では1人が複数の端末を保有することも普通になっている（出典：総務省「通信利用動向調査」（平成30年））。それに伴い、インターネットの普及率も増加しており、健康管理をより身近かつ手軽に行える環境になった。そして近年、健康意識の高まりから、ヘルスケアやフィットネスアプリの利用率が増加したと言われている。スマートフォンにアプリを取り入れることにより歩数計になったり、いつでも手軽に自分の健康や運動などの管理ができたりする便利さが、スポーツ実施率の増加に影響を与えたと考えられる。

③ ウォーキングと連携したサービスの普及

もう1つの社会的要因として、ウォーキングを通してさまざまな利益を得られることである。例えば、ある保険会社では1日平均8,000歩以上の目標を2年間クリアし続けた人に対して保険料の一部キャッシュバックを行っていたり、2年間健康でいられた場合、給付金を受け取ることが

可能と、歩くことに特化した保険商品を販売している。また、あるファストフード店では、スマートフォンに搭載されている歩数計と連動し、歩数に応じてポイントを獲得できるサービスを実施している。これらのような、サービスの普及により、「歩くだけなら始めやすい、続けやすい」という層の人が運動・スポーツを始めたことにより、スポーツ実施率やウォーキング実施率が増加したと考えられる。

スポーツ実施率を年代別にみると、70歳以上のスポーツ実施率は85.8%と前回よりも35ポイント以上高くなっており、高齢者の健康意識の高まり等がうかがえる。

一方、30～50代のいわゆる子育て世代や働く世代の約4分の1が運動・スポーツを「ほとんど行っていない」と回答している。その多くが運動・スポーツを行わない理由として、仕事・家事・育児の忙しさを特に多く挙げている。この結果から、現行計画の基本方針Ⅰ「ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進」が100%達成できていない状態であることが分かる。そのため、子育て世代、働く世代が気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりが必要である。

市内でスポーツを主に行う場所として、「歩道・道路（ジョギング等）」が抜きんでており、この1年間に行った運動・スポーツで「ウォーキング」に取り組んでいる市民が多くいることを考慮すると、ウォーキングコースの紹介等をより強化していく必要がある。

運動・スポーツの行事に参加経験のある人（問20の全体から「特になし」と「無回答」を除いた割合）は2割半ば程度となっている。一方、運動・スポーツの行事に参加したい人（問21の全体から「特になし」と「無回答」を除いた割合）は6割を超えている。また、市に提供してほしい情報として「大会・イベントの開催案内」をしてほしいと答えた人が半数以上いることから、まずは市内の運動・スポーツに関する行事の情報提供に努める必要がある。市内の運動・スポーツの行事などに関する情報の入手先について、「ちば市政だより」が一番多くなっているものの、若い年代ほどその割合は少なくなっている。また「特になし」も多く選ばれていることから、紙媒体や市ホームページだけでなく、SNSを活用した情報提供についても検討する必要がある。

また、運動・スポーツの行事については開催時間や内容の見直しを行い、スポーツ実施率が低い層にも、スポーツに触れるきっかけを積極的に提供していくことが必要である。

身近な地域で子どもから大人まで幅広い世代が気軽に参加できるスポーツ機会の提供や、参加しやすい環境を提供することが重要である。

【事業】

実施種目の上位4項目であるウォーキング、健康体操・ラジオ体操、ゴルフ、ランニング・マラソンの実施率を減らさないためにも、基本目標1事業21「スポーツ教室の開催」の継続や29「ウォーキング活動の支援」を拡充することは必須である。

また、子育て世代や働く世代のスポーツ参加推進を目的とした新たな側面でのアプローチが必要である。

【参考事例】

- ・親子で参加できるスポーツ教室の開催
- ・子どもの託児をあわせたスポーツ教室の開催
- ・夜間や休日など参加しやすい時間帯に行う教室やイベントの開催

【児童生徒】

児童生徒のスポーツ実施率は、小・中学生で8割台、高校生で7割半ばとなっており、学年が上がるにつれて実施率が低下する傾向にある。

<小学生>

小学生で運動・スポーツがきらいと回答した割合は36.1%となっている。また、運動・スポーツを行わない理由として「きっかけや機会がない」と回答した割合は19.4%であり、少なくない数値となっている。

<中学生・高校生>

中学生で運動系の部活動やクラブに所属していると回答した割合は中学生で69.1%、高校生で60.5%となっている。平成26年調査と比較すると、ほぼ横ばいの増減だが、この数値を低下させず、卒業してもスポーツを続けられる環境づくり、そして全員が競技又は生涯スポーツを楽しめるようにする必要がある。まずは経験がなくても始められるような勧誘や配慮、そして初心者への配慮を心がける必要がある。

千葉市の小・中学生の体力は全国的に高い水準にあり、今後も維持していけるよう更なる体力の向上、運動習慣の確立に向けて、家庭や地域と連携した運動（遊び）・スポーツへの愛好的態度を育てる取組を推進する必要がある。

スポーツの必要性を啓発するとともに、引き続き継続しやすい環境づくりを推進していくことが重要である。

②調査結果の概要

■週1日以上運動やスポーツをしている市民の割合：65.5%

運動・スポーツの実施頻度について、スポーツ庁の「スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成31年2月）」と同じ8段階に分けて調査したところ、週1回以上実施していると回答した割合は65.5%であり、前回調査と比較して29.5ポイント増加している。また、週3回以上実施していると回答した割合は38.2%と、前回よりも22ポイント増加している。

週1日以上スポーツを実施している市民の割合は以下の方法で算出している。

	項目	件数
①	問3「週に5日以上」の回答数	78
②	問3「週に3日以上」の回答数	74
③	問3「週に2日以上」の回答数	55
④	問3「週に1日以上」の回答数	53
⑤	調査全体の回答者数	397

$$(①+②+③+④) \div ⑤ = (78+74+55+53) \div 397 = 65.5\%$$

参考

週1日以上運動・スポーツをしている市民の割合は国の調査と比較して10.4ポイント高く、千葉県と比較して21.8ポイント高くなっている。

○全国18～79歳の男女の週1日以上スポーツ実施率は**55.1%**

出典：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（平成31年2月）

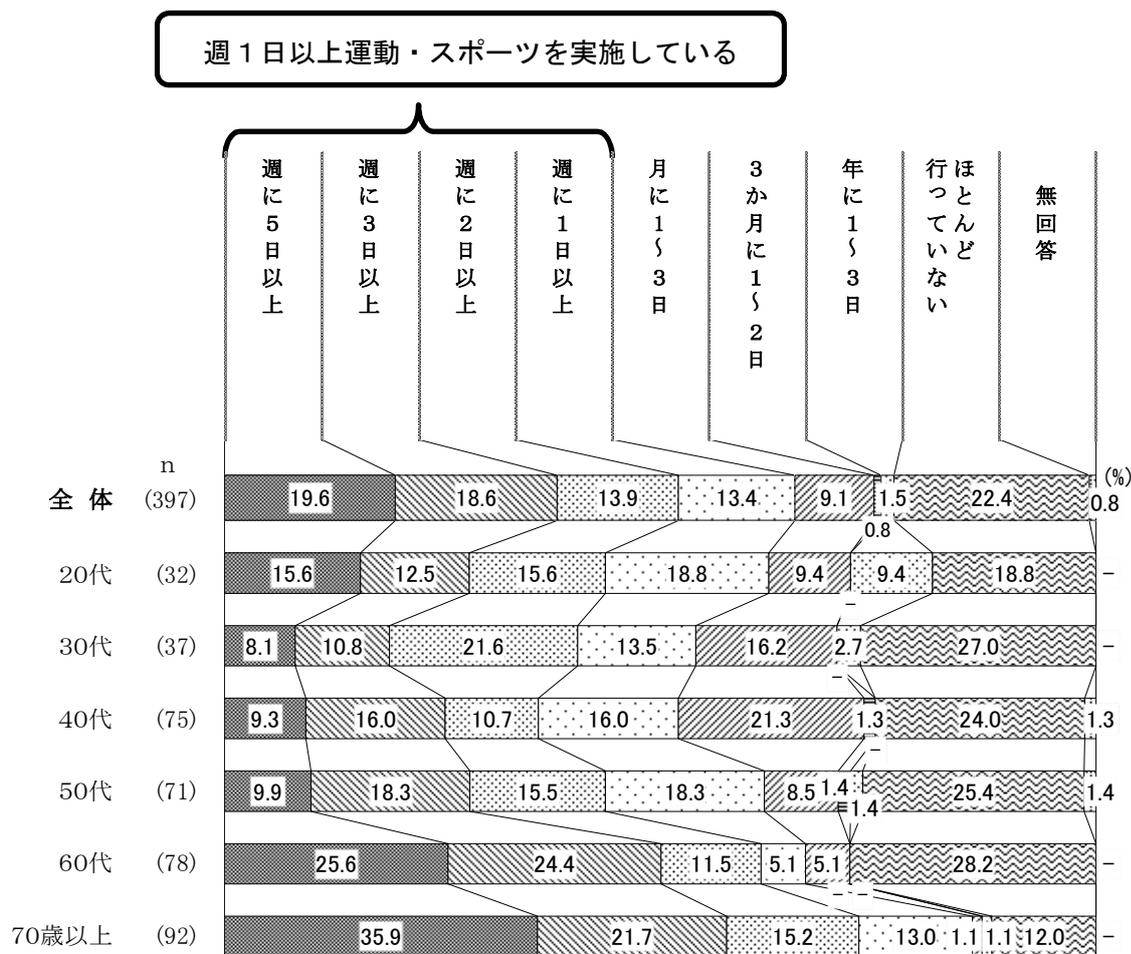
○千葉県民で週1回以上、スポーツを実施する割合は**43.7%**

出典：千葉県「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況（平成29年）

年代別にみると、「週1日以上運動・スポーツを実施している」はすべての年代で5割を超えており、40代以降は年齢が高くなるにつれて、実施率も高くなっている。特に70歳以上で8割半ばと多くなっており、20～30代と大きな差がある。(図1)

前回調査と比較すると、60代を除いたすべての年代で「週1日以上運動・スポーツを実施している」は15ポイント以上増加している。

図1:運動・スポーツの実施状況(全体・年代別)



運動・スポーツを行う理由は、「健康の維持」が多く、次いで「運動不足の解消」、「体力の向上」となっている。5年前は「友人・仲間との交流」が上位3項目に入っていたが、今回は約2割程度となっている。

性別にみると、男女ともに「健康の維持・増進」が最も多くなっている。上位3項目に大きな男女差は見られないが、「美容や肥満の解消」は女性が男性よりも12.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、20代で「楽しみ」が最も高いが、30代以上は「健康の維持・管理」が最も高くなっている。また、前回調査と比べると「運動不足の解消」は30代以上で、「体力の向上」は60代以上で前回よりも大きく増加している。(図2)

図2:運動・スポーツを行う理由(全体・性別・年代別)

	調査数	健康の維持・増進	体力の向上	記録・能力の向上	大会への参加	美容や肥満の解消	達成感	ストレスの解消	楽しみ	運動不足の解消	家族とのふれあい	友人・仲間との交流	その他	無回答
全 体	305 100.0	216 70.8	112 36.7	13 4.3	13 4.3	89 29.2	20 6.6	77 25.2	70 23.0	176 57.7	26 8.5	60 19.7	18 5.9	1 0.3
【性別】														
男性	128 100.0	91 71.1	47 36.7	8 6.3	8 6.3	28 21.9	9 7.0	33 25.8	29 22.7	72 56.3	9 7.0	23 18.0	5 3.9	-
女性	174 100.0	122 70.1	63 36.2	5 2.9	5 2.9	60 34.5	11 6.3	43 24.7	41 23.6	102 58.6	17 9.8	37 21.3	13 7.5	1 0.6
【年代別】														
10代	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	3 75.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-
20代	26 100.0	8 30.8	9 34.6	3 11.5	3 11.5	5 19.2	4 15.4	6 23.1	10 38.5	9 34.6	4 15.4	6 23.1	3 11.5	-
30代	27 100.0	18 66.7	7 25.9	2 7.4	3 11.1	11 40.7	3 11.1	10 37.0	5 18.5	14 51.9	7 25.9	6 22.2	1 3.7	-
40代	56 100.0	32 57.1	24 42.9	3 5.4	4 7.1	22 39.3	3 5.4	16 28.6	11 19.6	32 57.1	7 12.5	8 14.3	4 7.1	1 1.8
50代	52 100.0	43 82.7	19 36.5	3 5.8	-	22 42.3	6 11.5	19 36.5	20 38.5	31 59.6	3 5.8	7 13.5	4 7.7	-
60代	56 100.0	47 83.9	20 35.7	1 1.8	1 1.8	15 26.8	-	11 19.6	8 14.3	37 66.1	-	12 21.4	3 5.4	-
70歳以上	81 100.0	63 77.8	30 37.0	1 1.2	2 2.5	10 12.3	4 4.9	14 17.3	15 18.5	50 61.7	5 6.2	21 25.9	3 3.7	-

Ⅱ 総 括

回答者の2割以上が、この1年間で運動・スポーツを行っていないと回答している。理由は、「仕事（家事・育児）が忙しい」が49.4%で最も高く、次いで「面倒くさい」が28.1%、「機会がない」が24.7%となっている。

年代別にみると、30～50代の多くが、行わない理由として「仕事（家事・育児）が忙しい」を挙げている。（図3）

図3:運動・スポーツを行わない理由(全体・性別・年代別)

	調査数	が仕事（家事・育児）が忙しい	費用がかかる	体が弱い	運動やスポーツが好きではない	年をとった	機会がない	場所や施設がない	仲間がいない	指導者がいない	面倒くさい	病気やケガをしているから	その他	特に理由はない
全 体	89 100.0	44 49.4	18 20.2	4 4.5	13 14.6	14 15.7	22 24.7	4 4.5	12 13.5	3 3.4	25 28.1	12 13.5	8 9.0	8 9.0
【性別】														
男性	35 100.0	14 40.0	6 17.1	2 5.7	5 14.3	6 17.1	8 22.9	1 2.9	7 20.0	2 5.7	11 31.4	5 14.3	3 8.6	3 8.6
女性	53 100.0	30 56.6	12 22.6	2 3.8	7 13.2	7 13.2	14 26.4	3 5.7	5 9.4	1 1.9	14 26.4	7 13.2	5 9.4	5 9.4
【年代別】														
10代	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	2 100.0	-	-	-
20代	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	-	4 66.7	-	1 16.7	-	3 50.0	1 16.7	-	-
30代	10 100.0	9 90.0	2 20.0	-	2 20.0	-	3 30.0	2 20.0	2 20.0	-	3 30.0	-	-	-
40代	18 100.0	15 83.3	5 27.8	2 11.1	1 5.6	2 11.1	3 16.7	-	4 22.2	1 5.6	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6
50代	18 100.0	10 55.6	6 33.3	-	2 11.1	4 22.2	3 16.7	-	1 5.6	1 5.6	3 16.7	3 16.7	4 22.2	-
60代	22 100.0	4 18.2	3 13.6	1 4.5	2 9.1	7 31.8	4 18.2	1 4.5	2 9.1	1 4.5	9 40.9	4 18.2	2 9.1	4 18.2
70歳以上	11 100.0	2 18.2	1 9.1	-	2 18.2	-	3 27.3	1 9.1	2 18.2	-	2 18.2	3 27.3	-	3 27.3

実施している種目は、「ウォーキング」が男女とも約5割と最も高くなっている。このほか、男性は「ゴルフ」・「ランニング・マラソン」、女性は「健康体操・ラジオ体操」・「ヨガ・太極拳」が上位となった。この傾向は5年前とほとんど変わらず、健康系の種目やパーソナルスポーツが多くなっている。

年代別にみると、「ウォーキング」は20～50代で前回よりも15ポイント以上増加している。「ウォーキング」をする人の割合の増加が、20～50代のスポーツ実施率増加に影響を与えらる。 (図4)

図4:実施している種目/上位10項目(全体・性別・年代別)

	調査数	ウォーキング	健康体操・ラジオ体操	ゴルフ	ランニング・マラソン	ヨガ・太極拳	ウェイトトレーニング	サイクリング	水泳	ステニス・ソフトテニ	登山・キャンプ
全 体	397 100.0	200 50.4	76 19.1	40 10.1	39 9.8	29 7.3	28 7.1	25 6.3	20 5.0	15 3.8	15 3.8
【性別】											
男性	164 100.0	79 48.2	21 12.8	33 20.1	23 14.0	4 2.4	14 8.5	14 8.5	8 4.9	8 4.9	6 3.7
女性	228 100.0	118 51.8	54 23.7	6 2.6	16 7.0	25 11.0	14 6.1	10 4.4	11 4.8	7 3.1	9 3.9
【年代別】											
10代	6 100.0	1 16.7	1 16.7	- -	- -	- -	2 33.3	- -	1 16.7	1 16.7	- -
20代	32 100.0	9 28.1	- -	3 9.4	10 31.3	2 6.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3	3 9.4
30代	37 100.0	18 48.6	1 2.7	- -	6 16.2	4 10.8	6 16.2	4 10.8	2 5.4	- -	1 2.7
40代	75 100.0	33 44.0	10 13.3	5 6.7	12 16.0	5 6.7	5 6.7	4 5.3	3 4.0	5 6.7	8 10.7
50代	71 100.0	38 53.5	9 12.7	9 12.7	5 7.0	8 11.3	6 8.5	5 7.0	4 5.6	2 2.8	2 2.8
60代	78 100.0	41 52.6	19 24.4	8 10.3	5 6.4	3 3.8	6 7.7	3 3.8	5 6.4	3 3.8	- -
70歳以上	92 100.0	56 60.9	35 38.0	14 15.2	1 1.1	7 7.6	2 2.2	7 7.6	3 3.3	2 2.2	1 1.1

Ⅱ 総 括

運動・スポーツをより多く行うための条件として「身近で気軽に使える施設があれば」の割合が最も多く、次いで「安く使える施設があれば」、「時間に余裕があれば」が上位となっている。

前回調査と比較すると、「時間に余裕があれば」が大きく増加している。また、運動・スポーツを行わない理由で「仕事（家事・育児）が忙しい」が多く挙げられている（図3）ことから、仕事や家事・育児の忙しさによる時間的余裕が無いことが運動・スポーツ実施の阻害要因となっていることがうかがえる（図5）。

図5: 運動・スポーツをより多く行うための条件(全体・性別・年代別)

	調査数	施設が 身近で 気軽に 使える あれば	安く 使える 施設が あ れば	一緒 に行 う仲 間が い れば	とこ ろも を預 けら れる あ れば	教 え て く れ る 人 が い れば	施 設 の 環 境 ・ 雰 囲 気 が 良 く な れ ば	時 間 に 余 裕 が あ れ ば	体 調 が 良 く な れ ば	レ キ ッ カ ケ や 機 会 が あ れば	レ ク レ ー シ ョ ン 的 ・ 指 導 者 が い れば	専 門 的 な 指 導 者 が い れば	初 心 者 や 家 族 で も 参 加 し や す く な れ ば	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	397 100.0	252 63.5	194 48.9	116 29.2	30 7.6	74 18.6	51 12.8	171 43.1	56 14.1	131 33.0	47 11.8	98 24.7	10 2.5	6 1.5	11 2.8	
【性別】																
男性	164 100.0	110 67.1	81 49.4	62 37.8	10 6.1	29 17.7	21 12.8	69 42.1	25 15.2	52 31.7	19 11.6	35 21.3	7 4.3	5 3.0	-	
女性	228 100.0	138 60.5	111 48.7	53 23.2	20 8.8	44 19.3	29 12.7	102 44.7	30 13.2	76 33.3	26 11.4	62 27.2	3 1.3	1 0.4	10 4.4	
【年代別】																
10代	6 100.0	4 66.7	4 66.7	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	3 50.0	-	-	-	
20代	32 100.0	17 53.1	18 56.3	14 43.8	6 18.8	8 25.0	3 9.4	17 53.1	1 3.1	13 40.6	3 9.4	10 31.3	2 6.3	-	-	
30代	37 100.0	25 67.6	21 56.8	16 43.2	16 43.2	8 21.6	8 21.6	28 75.7	2 5.4	8 21.6	4 10.8	12 32.4	-	-	-	
40代	75 100.0	42 56.0	44 58.7	18 24.0	7 9.3	12 16.0	9 12.0	57 76.0	10 13.3	23 30.7	7 9.3	22 29.3	1 1.3	-	-	
50代	71 100.0	49 69.0	39 54.9	10 14.1	-	9 12.7	10 14.1	33 46.5	10 14.1	18 25.4	8 11.3	11 15.5	2 2.8	2 2.8	-	
60代	78 100.0	54 69.2	32 41.0	21 26.9	1 1.3	15 19.2	13 16.7	15 19.2	15 19.2	35 44.9	9 11.5	20 25.6	2 2.6	3 3.8	1 1.3	
70歳以上	92 100.0	56 60.9	33 35.9	34 37.0	-	19 20.7	6 6.5	18 19.6	15 16.3	28 30.4	13 14.1	19 20.7	3 3.3	1 1.1	9 9.8	

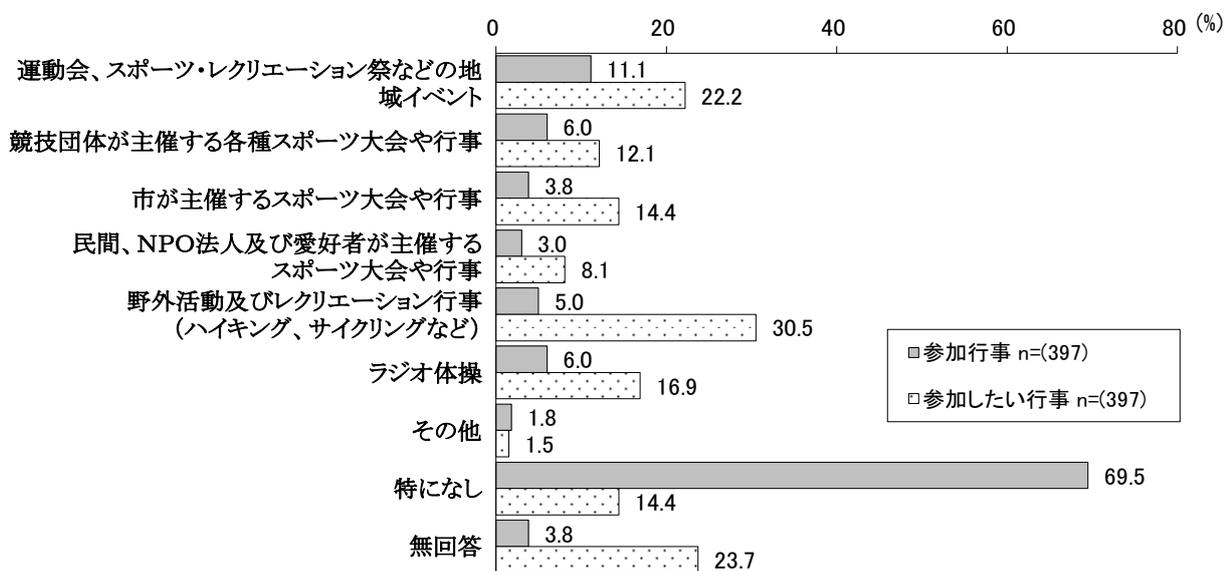
この1年間に運動・スポーツの行事に参加した市民は3割近く、参加していない市民は7割近くとなっており、前回調査と同じ傾向となっている。(図6)

参加したことがある行事では、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」が11.1%で最も高くなっている。また、参加したい行事は、「野外活動及びレクリエーション行事」が3割を超えて最も多くなっている。(図7)

図6:この1年間に参加した行事(全体・性別・年代別)

	調査数	運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント	各種スポーツ大会や行事	競技団体が主催する大会や	ラジオ体操	野外活動及びレクリエーション行事(ハイキング、サイクリングなど)	市が主催するスポーツ大会や行事	市民、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	44 11.1	24 6.0	24 6.0	20 5.0	15 3.8	12 3.0	7 1.8	276 69.5	15 3.8	
【性別】											
男性	164 100.0	20 12.2	15 9.1	9 5.5	12 7.3	10 6.1	10 6.1	2 1.2	107 65.2	3 1.8	
女性	228 100.0	23 10.1	9 3.9	15 6.6	8 3.5	4 1.8	2 0.9	5 2.2	168 73.7	9 3.9	
【年代別】											
10代	6 100.0	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	4 66.7	-	
20代	32 100.0	1 3.1	7 21.9	-	2 6.3	3 9.4	2 6.3	-	20 62.5	-	
30代	37 100.0	6 16.2	3 8.1	1 2.7	2 5.4	-	2 5.4	1 2.7	25 67.6	-	
40代	75 100.0	6 8.0	6 8.0	2 2.7	1 1.3	4 5.3	2 2.7	-	59 78.7	2 2.7	
50代	71 100.0	7 9.9	2 2.8	3 4.2	6 8.5	1 1.4	1 1.4	4 5.6	48 67.6	2 2.8	
60代	78 100.0	15 19.2	1 1.3	7 9.0	3 3.8	2 2.6	1 1.3	1 1.3	59 75.6	1 1.3	
70歳以上	92 100.0	8 8.7	4 4.3	11 12.0	5 5.4	4 4.3	4 4.3	1 1.1	59 64.1	7 7.6	

図7:この1年間に参加した行事/今後参加したい行事



【児童生徒】

週に1日以上の運動・スポーツの実施率は、小学生85.8%、中学生83.7%、高校生75.8%と学年が上がるにつれて低下する傾向がみられる。(図8)

また、卒業後も運動・スポーツを行いたいと考える高校生は、約6割となっており、前回調査からわずかに増加している。(図9)

図8:運動・スポーツの実施状況(小学生・中学生・高校生)

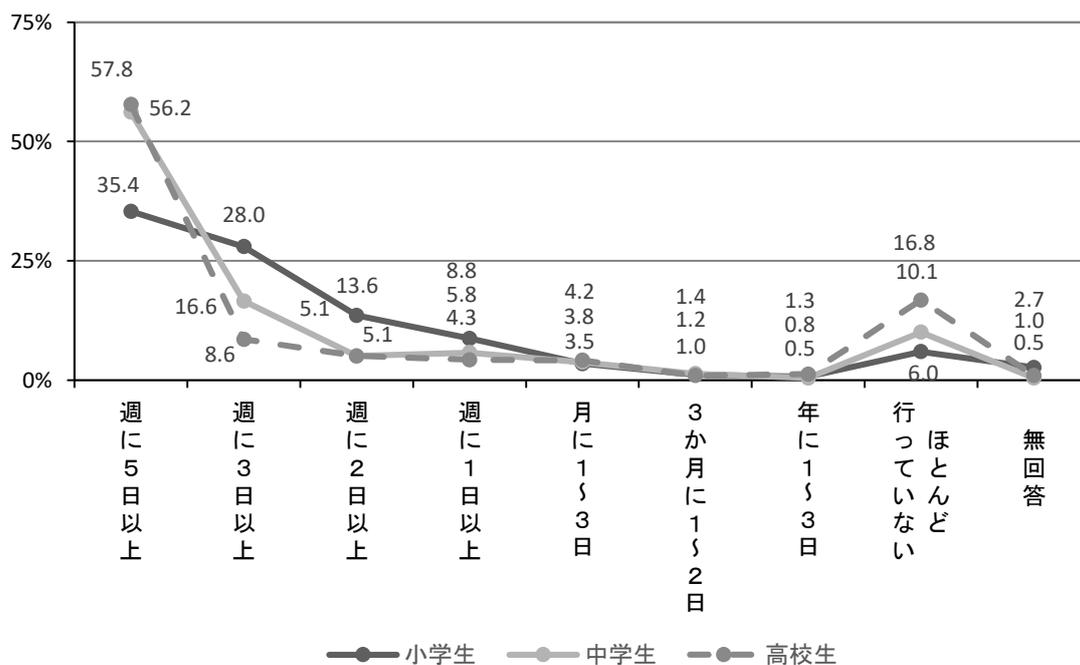
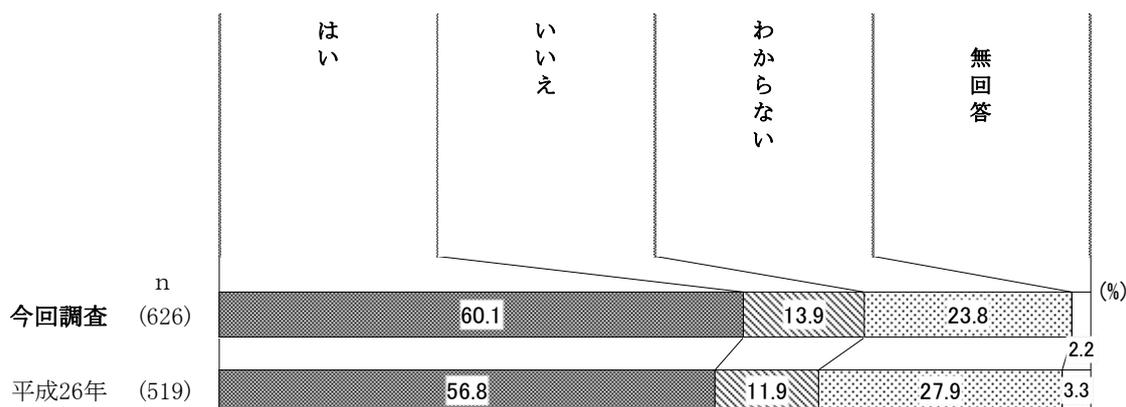


図9:高校卒業後の運動・スポーツ実施意向(高校生)



小学生の運動・スポーツを行う理由では、「楽しいから」が61.6%で最も高く、次いで「体力をつけたいから」が51.4%となっている（図10）。一方、「ほとんど行っていない」と回答した小学生は1割に満たないが、その理由として、「テレビ・携帯ゲームなどのほうが楽しいから」、「運動・スポーツがきらいだから」、「勉強や塾でいそがしいから」が多く挙げられている（図11）。

中学生と高校生では、「部活動・クラブに所属しているから」は中学生で約7割、高校生で約6割となっている（図12）。一方、「ほとんど行っていない」は中学生で約1割、高校生で2割近くとなっており、その理由として、「面倒くさい」、「運動・スポーツが好きではない」が多く挙げられている（図13）。

図10: 運動・スポーツを行う理由(小学生)

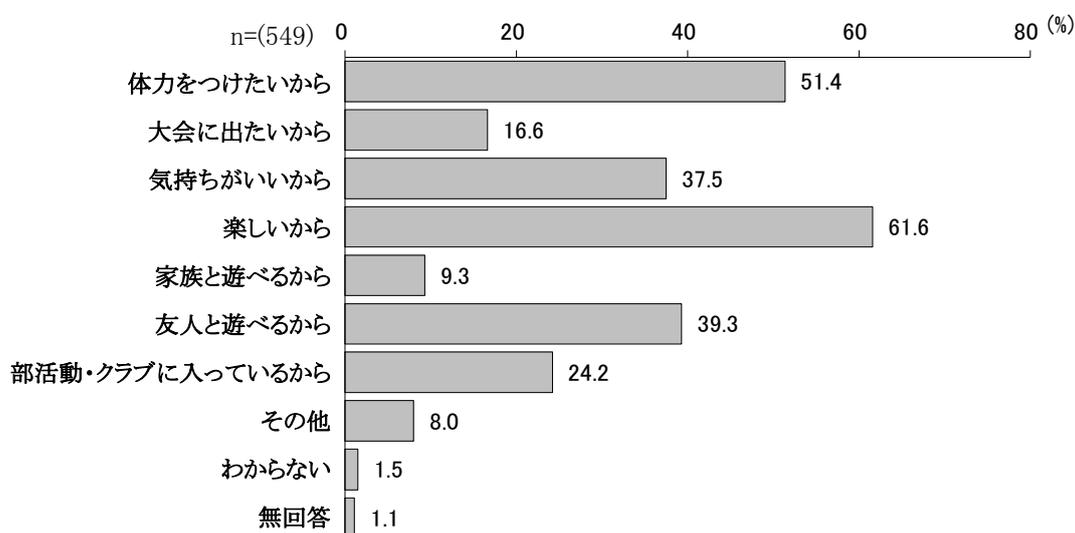


図11: 運動・スポーツを行わない理由(小学生)

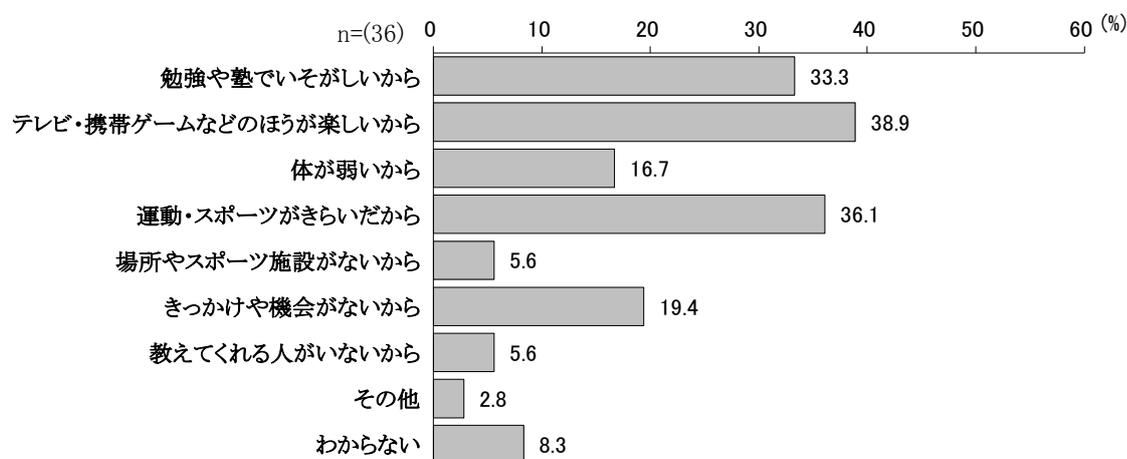


図12: 運動・スポーツを行う理由(中学生・高校生)

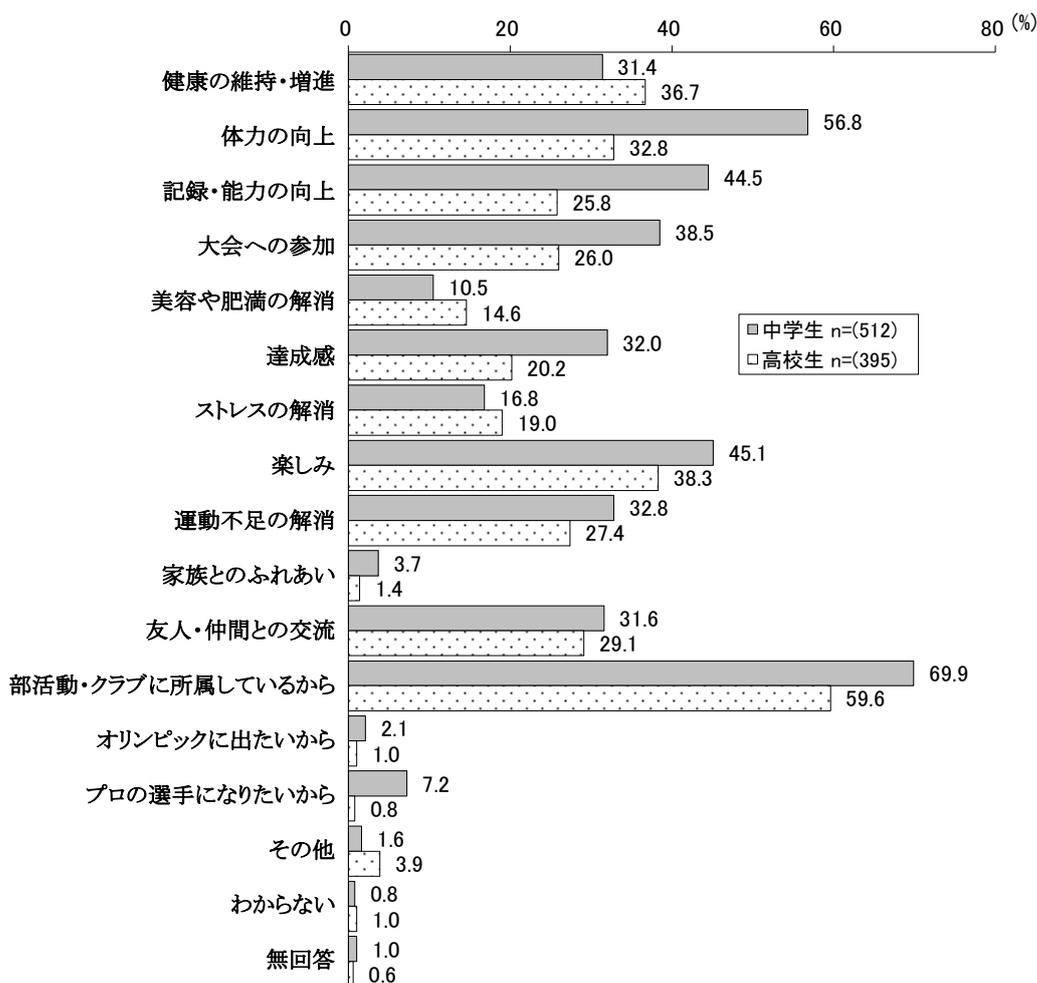
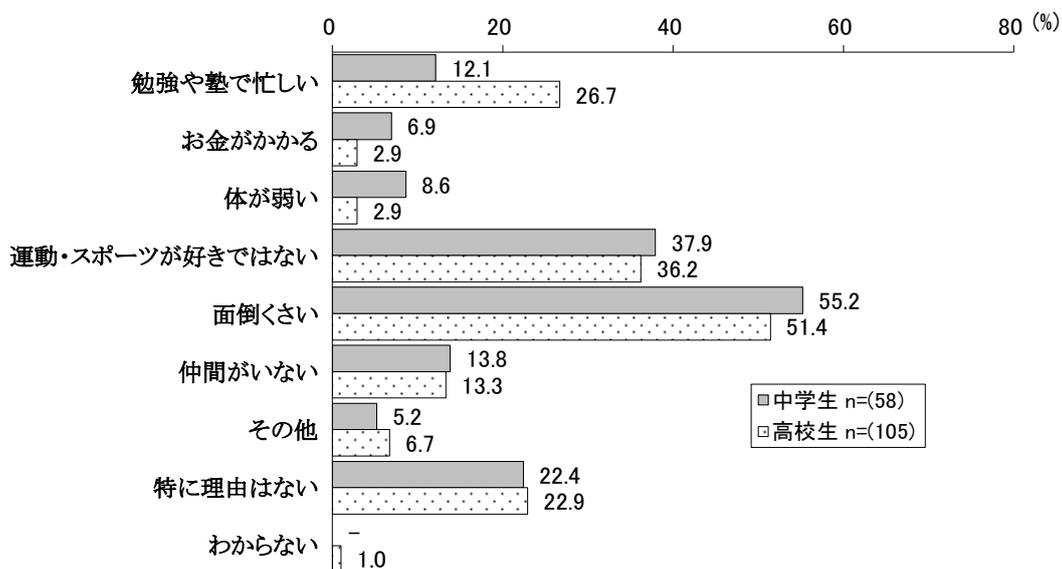


図13: 運動・スポーツを行わない理由(中学生・高校生)



Ⅱ 総 括

中学生・高校生の部活動やクラブへの所属状況は、「学校の部活動やクラブに所属している」は中学生で69.1%、高校生で60.5%となっている。(図14)

部活動の参加理由として、中学生・高校生ともに「健康・体力づくりのため」、「仲間と一緒にできるから」、「技術を習得できるから」が順番は違うものの、上位を占めている。(図15)

図14:部活動やクラブへの所属状況(中学生・高校生)

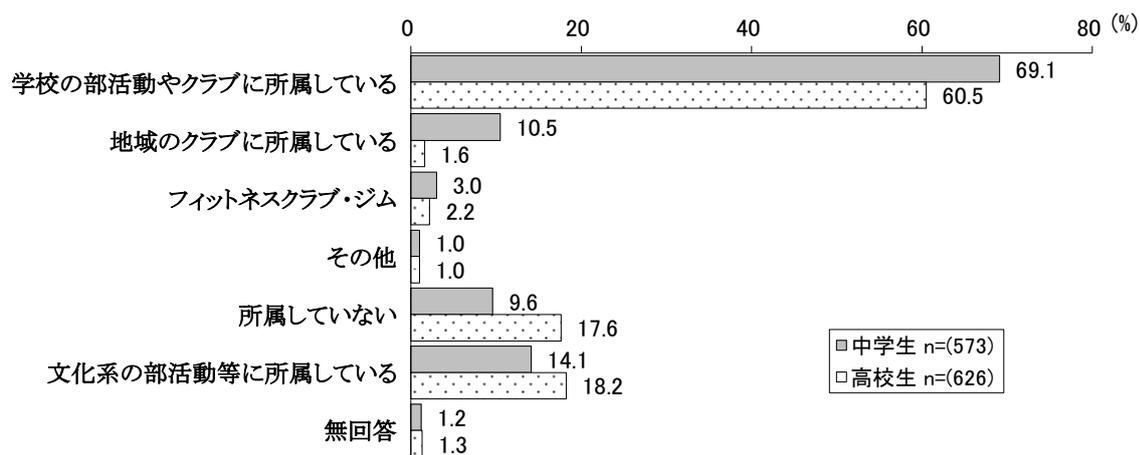
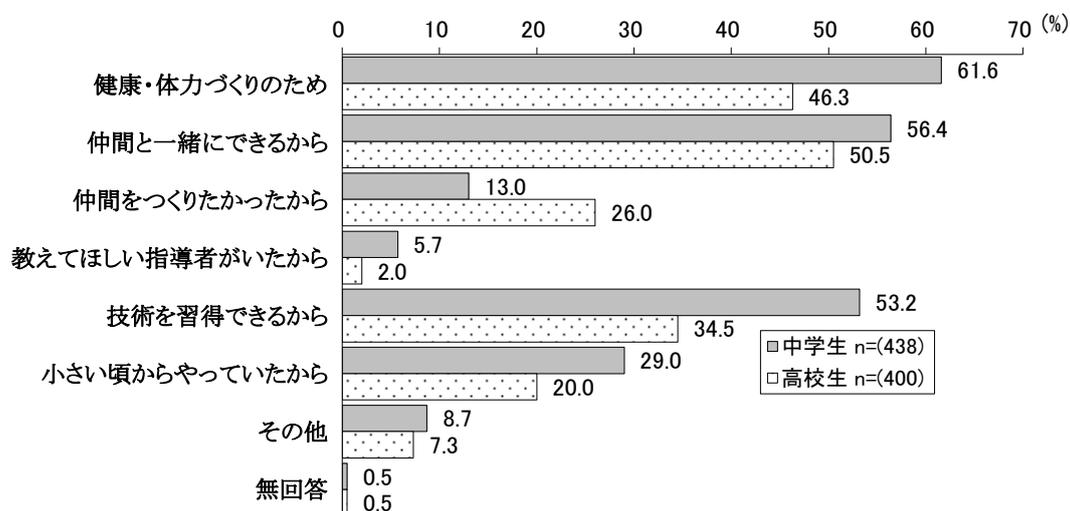


図15:部活動やクラブに所属している理由(中学生・高校生)



行っている種目について、小学生では「かけっこ・鬼ごっこ」、「陸上競技」、「水泳」、「縄跳び」が上位となっている。性別にみると、男女ともに上位2項目は同じで、男子では「サッカー・フットサル」、女子では「縄跳び」が3位となっている。(図16)

中学生では、「バスケットボール」、「サッカー・フットサル」、「ランニング・マラソン」が上位となっている。性別にみると、男性では「サッカー・フットサル」、女性では「ウォーキング」が一番多くなっている。(図17)

高校生では、「ウォーキング」、「ランニング・マラソン」、「テニス・ソフトテニス」が上位となっている。性別にみると、男性では「サッカー・フットサル」、女性では「ウォーキング」が一番多くなっている。(図18)

図16:行っている種目/上位10項目(小学生)

	調査数	かけっこ・鬼ごっこ	陸上競技	水泳	縄跳び	ルサッカー・フットサ	野球・ソフトボール	バドミントン	ポ(ミニ)バスケット	一輪車	ダンス
全体	601 100.0	329 54.7	182 30.3	117 19.5	117 19.5	96 16.0	86 14.3	81 13.5	69 11.5	61 10.1	54 9.0
男子	303 100.0	157 51.8	98 32.3	69 22.8	46 15.2	82 27.1	70 23.1	37 12.2	28 9.2	11 3.6	9 3.0
女子	287 100.0	171 59.6	84 29.3	48 16.7	71 24.7	14 4.9	16 5.6	43 15.0	41 14.3	50 17.4	45 15.7

図17:行っている種目/上位10項目(中学生)

	調査数	バスケットボール	ルサッカー・フットサ	ンランニング・マラソ	ウォーキング	バドミントン	ステニス・ソフトテニ	野球・ソフトボール	ダンス	トバレーボール・ソフ	卓球
全体	573 100.0	80 14.0	77 13.4	75 13.1	71 12.4	64 11.2	59 10.3	50 8.7	48 8.4	43 7.5	41 7.2
男性	279 100.0	37 13.3	70 25.1	35 12.5	21 7.5	27 9.7	18 6.5	41 14.7	5 1.8	8 2.9	37 13.3
女性	275 100.0	42 15.3	2 0.7	38 13.8	48 17.5	33 12.0	40 14.5	6 2.2	42 15.3	35 12.7	4 1.5

図18:行っている種目/上位10項目(高校生)

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	テニス・ソフトテニス	ダンス	サッカー・フットサル	野球・ソフトボール	グウェイトトレーニング	バドミントン	バレーボール・ソフトボール	バスケットボール
全 体	626 100.0	111 17.7	76 12.1	76 12.1	59 9.4	57 9.1	49 7.8	42 6.7	40 6.4	38 6.1	34 5.4
男性	272 100.0	36 13.2	35 12.9	29 10.7	3 1.1	50 18.4	31 11.4	28 10.3	21 7.7	13 4.8	19 7.0
女性	329 100.0	73 22.2	39 11.9	44 13.4	56 17.0	4 1.2	16 4.9	13 4.0	18 5.5	23 7.0	14 4.3

「観る」スポーツについて

①考察

直接現地でスポーツを観戦した人は32.7%で、国（26.8%）よりも約6ポイント高くなっている。直接観戦したスポーツで一番多く挙げられているのはプロ野球である。千葉市在住であれば都内へのアクセスが良いため、県内だけではなく都内の球場で観戦していることも考えられる。

しかし、現地でのスポーツ観戦率は前回調査よりも9.4ポイント減少している（前回の問20で全体から「特になし」を除いた割合）。年代別にみると、20代は前回よりも増加しているが、50代以上は前回よりも約10ポイント減少している。この層の減少が、現地観戦率の減少に影響を与えたと考えられる。

現地でスポーツ観戦をする人が増えることには多くのメリットがある。その1つとして、地域や経済の活性化が挙げられる。さまざまな人が観戦に訪れることで、地域のにぎわいが生まれ、企業や地域団体等がスポーツの楽しさを実感できるサービスなどを提供することで、経済の活性化が期待できる。

競技場の環境の改善や整備につながることも考えられる。多くの人々が競技場を訪れることで、競技場やその周りの環境についてさまざまな意見が挙げられるだろう。それら意見を反映することで、観る人の環境整備だけでなく地域の活性化にもつながり、より観戦者を増やすことも期待できる。

さらに、「支える」スポーツにもつながることが考えられる。実際に現地で観戦をして、選手を支える立場になりたいと考え、スポーツボランティアに参加する人も増えるのではないかと予想される。

市では、これまでトップスポーツの推進を通して「観る人」を増やすことを目標に「千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉のホームタウンの推進」や「トップスポーツとの連携の推進」を実施してきた。今後は、より大勢の人が観戦できるような機会を創出する必要がある。

スポーツ観戦の形態は、地上波や有料テレビなどの「テレビ観戦」だけでなく、OTT（*）での「ネット観戦」も主流になりつつある。ネット観戦の台頭により、PCやスマートフォン、タブレットなどの手持ちのデバイスを用いてのスポーツ観戦が可能となったため、今回調査で「TVやインターネットで観戦」が8割を超えたと考えられる。

*OTT…Over The Topの略語。インターネットを通じて提供される動画や音声などのコンテンツ配信を指す

トップ選手の高度な技量や挑戦は、人々に夢と感動を与え、自らがスポーツを行うきっかけとなることが期待できる。そんなトップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、「交流できるイベントの開催」や「選手が講師となったスポーツ教室の開催」を求める声が前回調査よりも多く挙げられている。千葉県内のスポーツチームの活躍などもあることから、トップアスリートとの交流のニーズは高まっていると考えられる。今後も、事業74「トップスポーツとの連携の推進」は継続して行い、その中でも「直接チームや選手と交流できる機会の提供」や「選手が講師となったスポーツ教室の開催」等を充実させて、トップスポーツとの交流を図ると良いのではないかと。

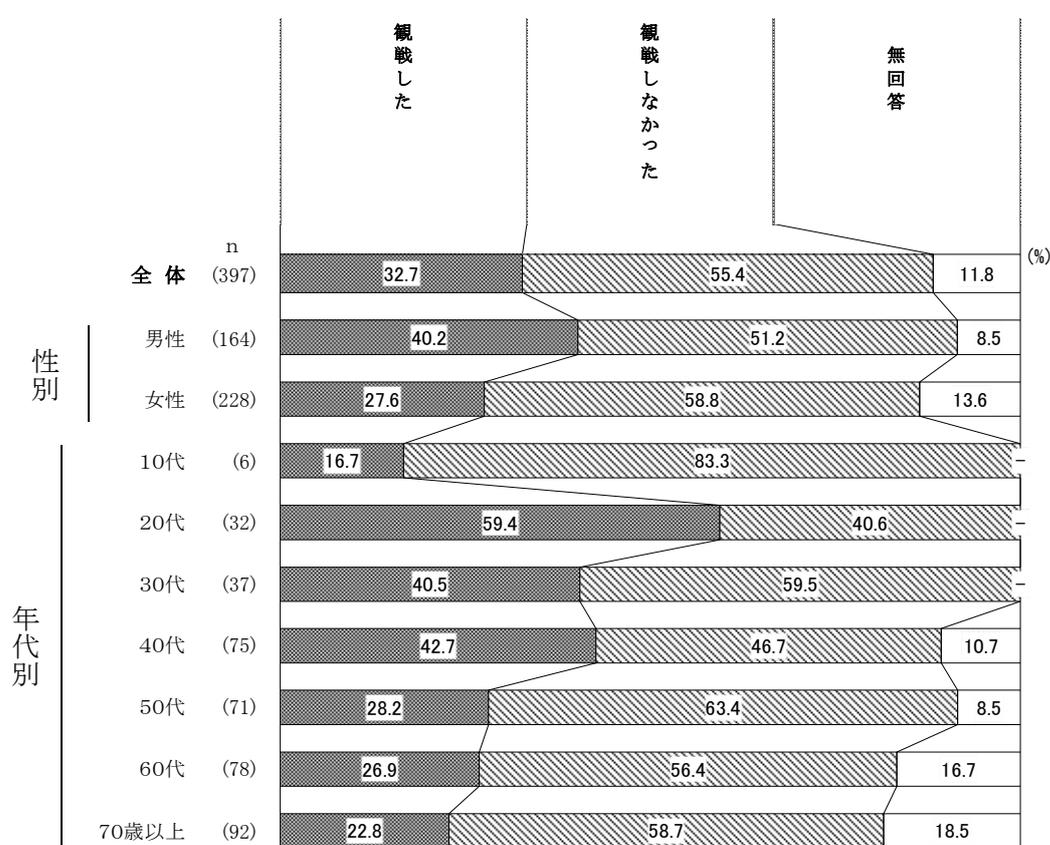
②調査結果の概要

直接現地で観戦した経験がある人は32.7%（図19）、TVやインターネットで観戦した人は82.6%となっている（図21）。

観戦したことがあるスポーツをみると、「直接現地で観戦」では「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」、「高校野球」、「Jリーグ」が多くなっている（図20）。TVやインターネットで観戦した競技では、「マラソン、駅伝」、「高校野球」、「テニス」が多くなっている（図22）。

観戦意向について、国際的な大会や試合を観戦したいと回答した割合は、6割近くとなっており、前回調査よりも増加している。（図23）

図19:この1年間の観戦経験/直接現地で観戦(全体・性別・年代別)



参考

この1年に直接現地でスポーツ観戦を行った市民の割合は、国と比較して5.9ポイント高くなっている。

○全国18～79歳の男女の直接現地でスポーツを観戦した割合は**26.8%**

出典：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（平成31年2月）

図20:直接現地で観戦した競技/上位10項目(全体・性別・年代別)

	調査数	プロ野球(NPB、MLB含む)	高校野球	Jリーグ(J1、J2、J3)	マラソン、駅伝	バスケットボール(NBA含む)	ゴルフ	大相撲	空手(ボクシング・武道・剣道)	ラグビー(トップリーグ、大学・海外ラグビー等)	テニス
全体	130 100.0	75 57.7	32 24.6	18 13.8	13 10.0	13 10.0	12 9.2	12 9.2	8 6.2	6 4.6	6 4.6
【性別】											
男性	66 100.0	43 65.2	19 28.8	13 19.7	9 13.6	6 9.1	8 12.1	5 7.6	2 3.0	5 7.6	3 4.5
女性	63 100.0	31 49.2	13 20.6	5 7.9	4 6.3	7 11.1	3 4.8	7 11.1	6 9.5	1 1.6	3 4.8
【年代別】											
10代	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
20代	19 100.0	13 68.4	4 21.1	3 15.8	2 10.5	3 15.8	-	2 10.5	3 15.8	-	1 5.3
30代	15 100.0	5 33.3	2 13.3	6 40.0	-	3 20.0	-	-	-	1 6.7	-
40代	32 100.0	19 59.4	9 28.1	4 12.5	1 3.1	6 18.8	1 3.1	1 3.1	2 6.3	1 3.1	2 6.3
50代	20 100.0	13 65.0	4 20.0	3 15.0	-	-	2 10.0	2 10.0	-	2 10.0	-
60代	21 100.0	12 57.1	5 23.8	2 9.5	4 19.0	-	3 14.3	3 14.3	-	1 4.8	2 9.5
70歳以上	21 100.0	12 57.1	7 33.3	-	6 28.6	1 4.8	5 23.8	4 19.0	3 14.3	1 4.8	-

図21:この1年間の観戦経験/TVやインターネットで観戦(全体・性別・年代別)

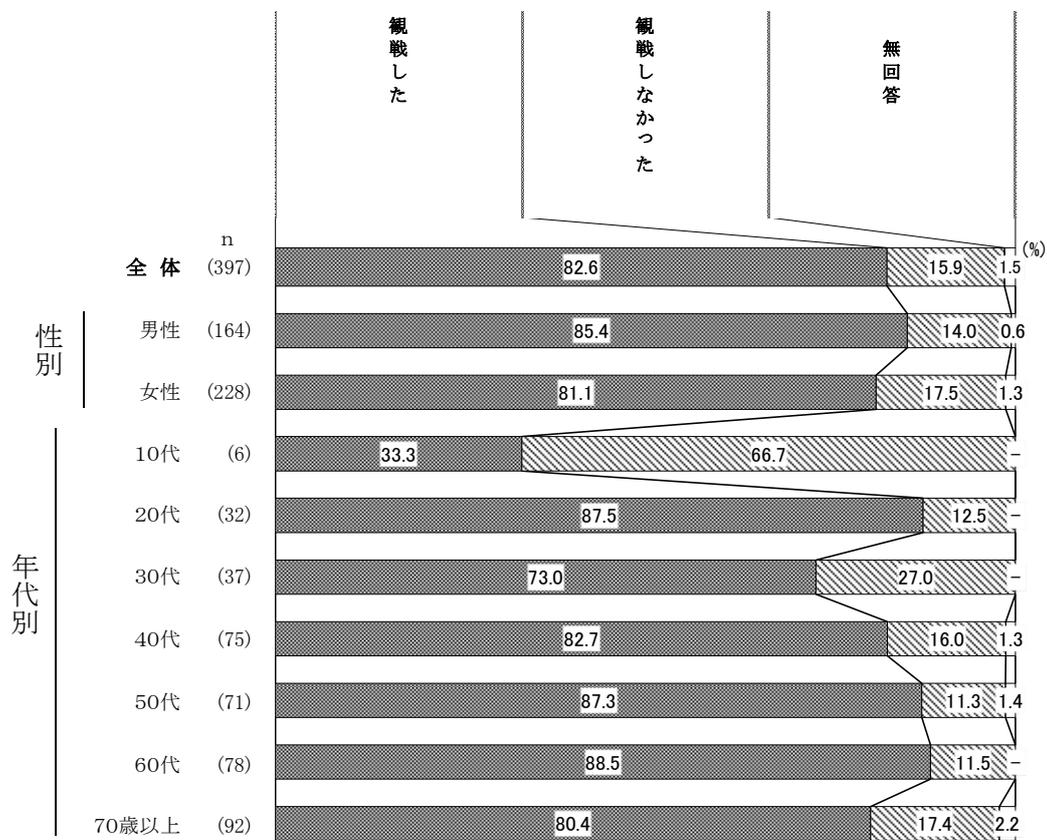


図22:TVやインターネットで観戦した競技/上位10項目(全体・性別・年代別)

	調査数	マラソン、 駅伝	高校 野球	テニ ス	大相 撲	ト、 ト、 アイ スホ ッス ケー ー	フイ ギユ アス ケー ー	む メ ジャ ーリ ーグ 含	プロ 野球 (NP B、	サッ カー 日本 代表	ゴル フ	等 ビ ー、 海外 ラグ ビー	ラグ ビー (ト ップ リー グ、 大学 ・高 校ラ グ ビー	む リ ーグ 、日 本代 表含	バ レ ー ボ ール (V 含
全 体	328 100.0	224 68.3	212 64.6	170 51.8	166 50.6	165 50.3	164 50.0	154 47.0	145 44.2	135 41.2	128 39.0				
【性別】															
男性	140 100.0	83 59.3	104 74.3	63 45.0	83 59.3	55 39.3	91 65.0	71 50.7	79 56.4	66 47.1	52 37.1				
女性	185 100.0	138 74.6	106 57.3	106 57.3	82 44.3	109 58.9	72 38.9	81 43.8	64 34.6	66 35.7	74 40.0				
【年代別】															
10代	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0				
20代	28 100.0	12 42.9	14 50.0	10 35.7	6 21.4	10 35.7	14 50.0	14 50.0	6 21.4	9 32.1	10 35.7				
30代	27 100.0	10 37.0	15 55.6	11 40.7	8 29.6	8 29.6	13 48.1	11 40.7	6 22.2	13 48.1	13 48.1				
40代	62 100.0	39 62.9	39 62.9	31 50.0	22 35.5	28 45.2	33 53.2	33 53.2	20 32.3	27 43.5	18 29.0				
50代	62 100.0	44 71.0	35 56.5	38 61.3	22 35.5	32 51.6	22 35.5	34 54.8	25 40.3	36 58.1	25 40.3				
60代	69 100.0	55 79.7	46 66.7	39 56.5	49 71.0	40 58.0	39 56.5	31 44.9	39 56.5	25 36.2	24 34.8				
70歳以上	74 100.0	60 81.1	58 78.4	38 51.4	56 75.7	45 60.8	40 54.1	26 35.1	46 62.2	20 27.0	33 44.6				

図23:会場で観戦したい大会や試合(全体・性別・年代別)

	調査数	国際的な大会や試合	プロの大会や試合	全国的な大会や試合	合県レベルの大会や試合	合市レベルの大会や試合	地域の大会や試合等	その他	特になし	無回答
全 体	397 100.0	228 57.4	212 53.4	99 24.9	34 8.6	18 4.5	16 4.0	3 0.8	91 22.9	12 3.0
【性別】										
男性	164 100.0	100 61.0	97 59.1	52 31.7	18 11.0	8 4.9	6 3.7	1 0.6	34 20.7	1 0.6
女性	228 100.0	126 55.3	113 49.6	47 20.6	16 7.0	10 4.4	10 4.4	2 0.9	57 25.0	9 3.9
【年代別】										
10代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-
20代	32 100.0	25 78.1	21 65.6	8 25.0	1 3.1	-	-	-	4 12.5	-
30代	37 100.0	21 56.8	24 64.9	8 21.6	6 16.2	1 2.7	2 5.4	-	9 24.3	-
40代	75 100.0	46 61.3	44 58.7	21 28.0	8 10.7	5 6.7	3 4.0	1 1.3	19 25.3	1 1.3
50代	71 100.0	47 66.2	36 50.7	20 28.2	4 5.6	1 1.4	-	1 1.4	10 14.1	-
60代	78 100.0	47 60.3	39 50.0	21 26.9	5 6.4	4 5.1	4 5.1	-	18 23.1	-
70歳以上	92 100.0	36 39.1	43 46.7	19 20.7	9 9.8	6 6.5	6 6.5	-	29 31.5	9 9.8

トップスポーツとの交流を深めるために取り組んでほしいこととして、「交流できるイベントの開催」が57.7%で最も高く、性別、年代別にみても、最も多く回答された項目である。(図24)

図24:トップスポーツとの交流を深めるために市に取り組んでほしいこと(全体・性別・年代別)

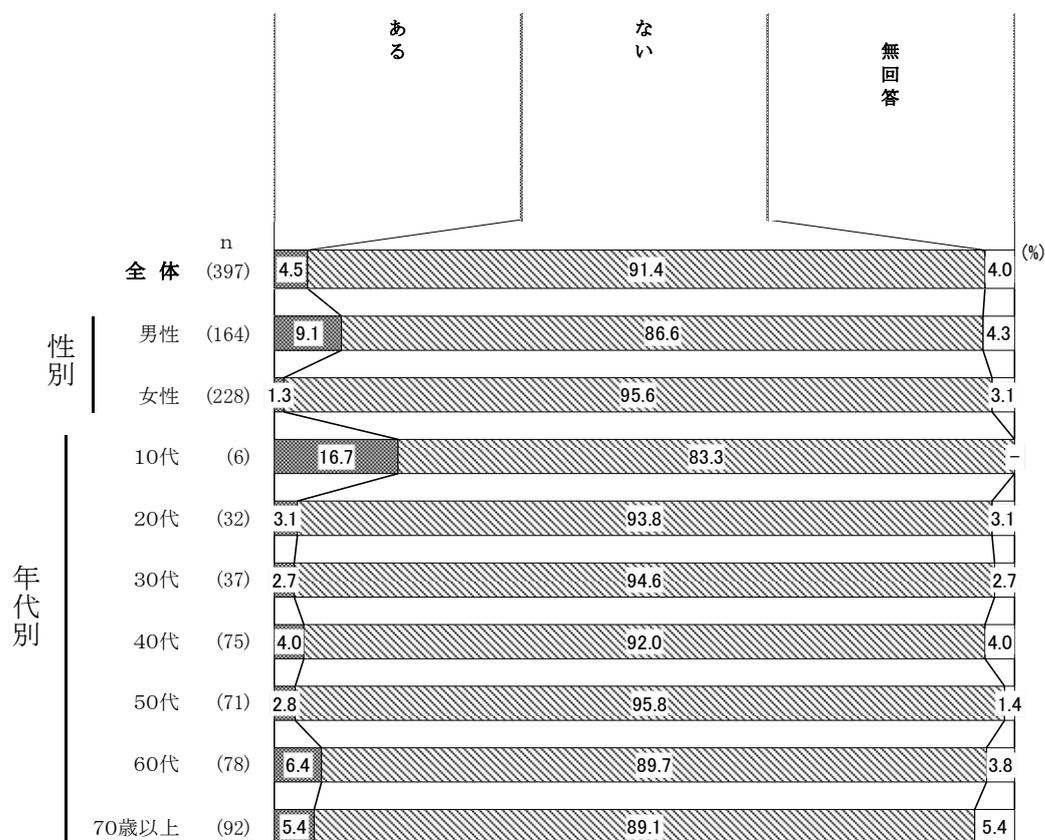
	調査数	交流できるイベントの開催	観戦の優待券発行	選手が講師となったスポーツ教室の開催	試合等の市内誘致	選手の学校訪問	選手の参加への地域イベント	試合等へのボランティア支援	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397 100.0	229 57.7	140 35.3	121 30.5	113 28.5	95 23.9	94 23.7	33 8.3	2 0.5	25 6.3	40 10.1	18 4.5
【性別】												
男性	164 100.0	91 55.5	60 36.6	43 26.2	53 32.3	32 19.5	48 29.3	10 6.1	1 0.6	12 7.3	15 9.1	7 4.3
女性	228 100.0	136 59.6	79 34.6	77 33.8	60 26.3	63 27.6	45 19.7	23 10.1	1 0.4	13 5.7	24 10.5	9 3.9
【年代別】												
10代	6 100.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-
20代	32 100.0	23 71.9	18 56.3	7 21.9	12 37.5	8 25.0	6 18.8	2 6.3	-	-	3 9.4	-
30代	37 100.0	24 64.9	9 24.3	16 43.2	12 32.4	11 29.7	9 24.3	3 8.1	-	4 10.8	3 8.1	-
40代	75 100.0	50 66.7	34 45.3	27 36.0	19 25.3	27 36.0	19 25.3	11 14.7	-	3 4.0	4 5.3	-
50代	71 100.0	42 59.2	30 42.3	22 31.0	21 29.6	18 25.4	16 22.5	7 9.9	-	3 4.2	5 7.0	3 4.2
60代	78 100.0	45 57.7	24 30.8	26 33.3	24 30.8	16 20.5	22 28.2	6 7.7	1 1.3	4 5.1	9 11.5	2 2.6
70歳以上	92 100.0	38 41.3	21 22.8	19 20.7	23 25.0	13 14.1	21 22.8	3 3.3	1 1.1	11 12.0	14 15.2	11 12.0

「支える（育てる）」スポーツについて

①調査結果の概要

この1年間にボランティアを経験したことがある市民は、4.5%と1割に満たない（図25）。その中で、参加したことがあるボランティア活動は「大会やイベントなどでの運営ボランティア」が一番多く選ばれている（図26）。

図25:スポーツボランティアの経験(全体・性別・年代別)



Ⅱ 総 括

スポーツを行う上で必要な指導者は「スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人」が64.2%で最も高く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人」が57.4%となっている。

年齢別にみると、「スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人」は若い年代ほど回答した割合が高くなっている。一方、「健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人」は年代が高くなるにつれて割合も高くなっている。(図27)

図27:スポーツを行う上で必要な指導者(全体・性別・年代別)

	調査数	スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人	健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人	障害者や高齢者のスポーツ指導をしてくれる人	高度な運動技術を目指すことができる人	技術力向上のための指導ができる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めてくれる人	スポーツイベント(大会や教室など)の企画・運営ができる人	スポーツの指導ができる人	いろいろなニュース	その他	無回答
全体	397 100.0	255 64.2	228 57.4	76 19.1	64 16.1	25 6.3	19 4.8	13 3.3	15 3.8	20 5.0		
【性別】												
男性	164 100.0	106 64.6	91 55.5	30 18.3	38 23.2	16 9.8	13 7.9	10 6.1	6 3.7	4 2.4		
女性	228 100.0	148 64.9	133 58.3	45 19.7	25 11.0	9 3.9	6 2.6	3 1.3	9 3.9	15 6.6		
【年代別】												
10代	6 100.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7	- -	- -	- -		
20代	32 100.0	25 78.1	14 43.8	4 12.5	5 15.6	2 6.3	2 6.3	3 9.4	1 3.1	- -		
30代	37 100.0	26 70.3	19 51.4	8 21.6	7 18.9	4 10.8	2 5.4	1 2.7	3 8.1	- -		
40代	75 100.0	57 76.0	37 49.3	9 12.0	21 28.0	10 13.3	5 6.7	3 4.0	5 6.7	2 2.7		
50代	71 100.0	45 63.4	42 59.2	4 5.6	13 18.3	3 4.2	4 5.6	3 4.2	3 4.2	4 5.6		
60代	78 100.0	43 55.1	53 67.9	23 29.5	12 15.4	2 2.6	4 5.1	1 1.3	2 2.6	2 2.6		
70歳以上	92 100.0	53 57.6	56 60.9	25 27.2	4 4.3	4 4.3	1 1.1	2 2.2	1 1.1	11 12.0		

②考察

2020年の東京オリンピック・パラリンピックも近づき、大会を成功に導くボランティアの存在、重要性が高まっている中で、この1年にスポーツボランティアの活動をしたことがある人はほんの僅かである。地域活動をする人材を増やしていくために、東京2020オリパラを契機として、まずはスポーツボランティアに対する理解促進に努める必要がある。

市独自のボランティア制度（チーム千葉ボランティアネットワーク）は、大会だけでなく都市ボランティアにもつなげ、オリパラ大会後もレガシーとして引き継いでいくべきである。また、市民の理解促進のために、ちば市政だよりや市ホームページ等を通して、活動事例の紹介や活動の場の紹介をすることも検討するべきである。

スポーツを支える人材が活躍する場の整備とともに、スポーツを教える（育てる）人材（指導者）の育成も課題である。今回の調査結果から、求められているのは技術力向上のための指導者よりも、スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導、健康・体力づくりのための指導をしてくれる指導者であることが分かった。

厳しきこそがスポーツである、という風潮があったこともあり、指導者の何気ない言動がスポーツをする人の「スポーツ離れ」や「スポーツ嫌い」を引き起こすこともある。スポーツの指導者は、高度な運動技術の指導だけでなく、相手のニーズにあわせた指導をすることも重要である。今後は指導者に対する実技講習会だけでなく、座学の講習会等による実技以外の指導者育成も欠かせない。事業89「千葉県スポーツ功労者表彰式・スポーツ指導者講習会の実施」は今後も継続するべきだと考える。

「ふれあう」スポーツについて

①調査結果の概要

市民のパラスポーツへの関心は「ある」が28.2%、「ない」が21.2%、「どちらとも言えない」が39.0%となっている。年代別にみると、関心がある人は20代で半数を超えて多くなっている。(図28)

関心がある理由として、「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」が一番多く(図29)、関心がない理由では「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」「パラスポーツには興味がないから」が多くなっている(図30)。

図28:パラスポーツへの関心(全体・性別・年代別)

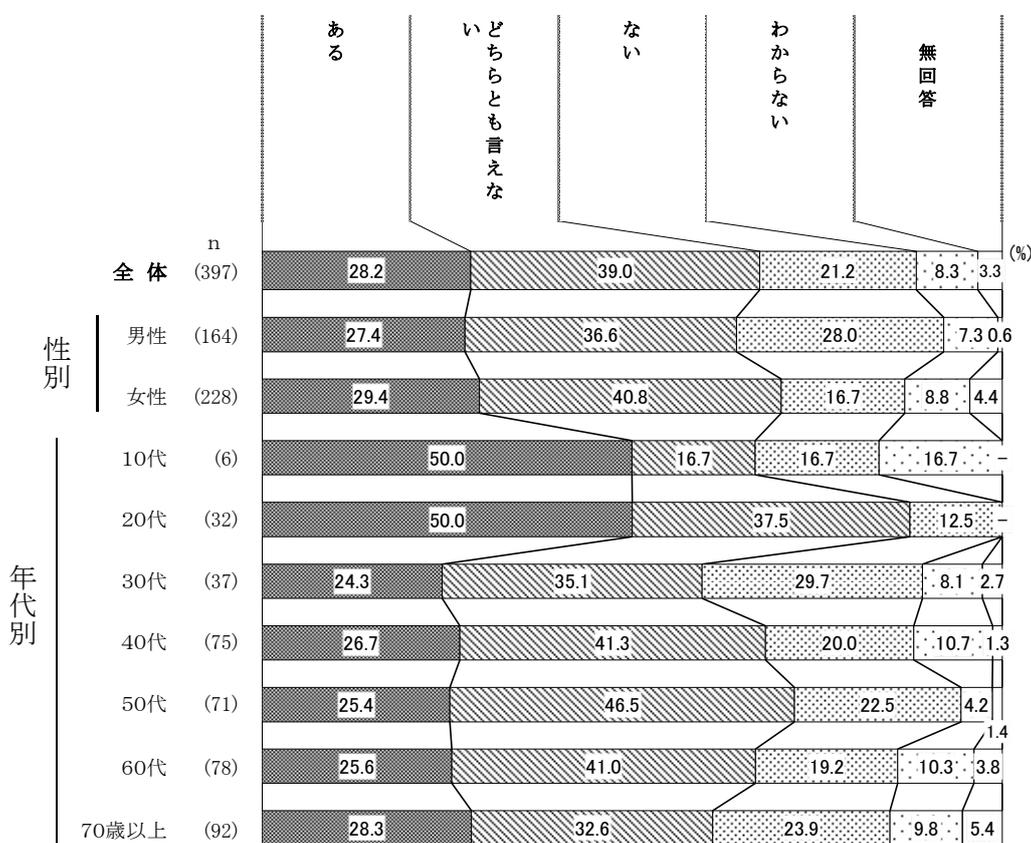


図29: パラスポーツに関心がある理由(全体・性別・年代別)

	調査数	テレビや新聞・雑誌 の情報を知ったから	パラスポーツに関する言葉をよく耳にするから	パラリンピック等の大会を観戦したから	パラスポーツを見たことがあるから	身近に障害者がいるから	市の情報で知ったから	仕事等で関係しているから	自分や家族が行っているから	その他	無回答
全 体	112 100.0	55 49.1	42 37.5	26 23.2	26 23.2	21 18.8	15 13.4	7 6.3	3 2.7	9 8.0	2 1.8
【性別】											
男性	45 100.0	20 44.4	17 37.8	14 31.1	11 24.4	11 24.4	7 15.6	3 6.7	2 4.4	4 8.9	-
女性	67 100.0	35 52.2	25 37.3	12 17.9	15 22.4	10 14.9	8 11.9	4 6.0	1 1.5	5 7.5	2 3.0
【年代別】											
10代	3 100.0	-	-	-	2 66.7	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-
20代	16 100.0	3 18.8	6 37.5	5 31.3	2 12.5	2 12.5	2 12.5	-	2 12.5	3 18.8	-
30代	9 100.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	3 33.3	4 44.4	-	1 11.1	-	1 11.1	-
40代	20 100.0	10 50.0	10 50.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0	-	-	1 5.0
50代	18 100.0	9 50.0	7 38.9	3 16.7	8 44.4	4 22.2	-	2 11.1	-	1 5.6	-
60代	20 100.0	13 65.0	7 35.0	6 30.0	5 25.0	4 20.0	-	1 5.0	-	1 5.0	-
70歳以上	26 100.0	17 65.4	8 30.8	6 23.1	3 11.5	3 11.5	8 30.8	-	-	3 11.5	1 3.8

図30: パラスポーツに関心がない理由(全体・性別・年代別)

	調査数	身近にパラスポーツを知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	知らないから	その他	無回答
全体	84 100.0	23 33.3	27 32.1	27 32.1	23 27.4	23 27.4	20 23.8	12 14.3	9 10.7	3 3.6	5 6.0	
【性別】												
男性	46 100.0	15 32.6	16 34.8	19 41.3	13 28.3	13 28.3	11 23.9	4 8.7	4 8.7	2 4.3	3 6.5	
女性	38 100.0	13 34.2	11 28.9	8 21.1	10 26.3	10 26.3	9 23.7	8 21.1	5 13.2	1 2.6	2 5.3	
【年代別】												
10代	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	
20代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	
30代	11 100.0	3 27.3	4 36.4	2 18.2	4 36.4	2 18.2	2 18.2	4 36.4	2 18.2	-	1 9.1	
40代	15 100.0	7 46.7	7 46.7	6 40.0	4 26.7	5 33.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	-	-	
50代	16 100.0	5 31.3	5 31.3	4 25.0	7 43.8	6 37.5	3 18.8	2 12.5	1 6.3	-	2 12.5	
60代	15 100.0	5 33.3	6 40.0	4 26.7	1 6.7	4 26.7	3 20.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	
70歳以上	22 100.0	6 27.3	4 18.2	8 36.4	4 18.2	4 18.2	5 22.7	3 13.6	3 13.6	2 9.1	-	

この1年間におけるパラスポーツの観戦経験は、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見た」が4割台となっている。一方、観戦経験がない人も4割台となっている。(図31)

このような状況の中で、パラスポーツを推進するために市に取り組んでほしいことは「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」の割合が最も多く、前回調査と比較すると22.2ポイント増加している。次いで「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」、「障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」となっている。順位に変動はあるものの、上位3項目は前回調査と変わらない結果となっている。(図32)

図31:パラスポーツの観戦経験(全体・性別・年代別)

	調査数	また沿ス た道は はなど は見は たた こと が実 がに あ観 る戦	ネテ 見たッ ことレ があ配 る信 等 で 観 戦 ま た は	そ の 他	が観 ない戦 また は 見 た こ と	無 回 答
全 体	397 100.0	9 2.3	171 43.1	33 8.3	173 43.6	15 3.8
【性別】						
男性	164 100.0	7 4.3	67 40.9	17 10.4	70 42.7	6 3.7
女性	228 100.0	2 0.9	103 45.2	16 7.0	101 44.3	7 3.1
【年代別】						
10代	6 100.0	- -	3 50.0	2 33.3	1 16.7	- -
20代	32 100.0	2 6.3	9 28.1	5 15.6	16 50.0	- -
30代	37 100.0	2 5.4	11 29.7	8 21.6	16 43.2	1 2.7
40代	75 100.0	2 2.7	28 37.3	6 8.0	39 52.0	1 1.3
50代	71 100.0	2 2.8	29 40.8	6 8.5	33 46.5	1 1.4
60代	78 100.0	- -	43 55.1	3 3.8	30 38.5	2 2.6
70歳以上	92 100.0	1 1.1	47 51.1	3 3.3	35 38.0	8 8.7

図32: パラスポーツを推進するために取り組むべきこと(全体・性別・年代別)

	調査数	情報発信	パラスポーツ種目の紹介	環境の整備	シヨーン・レクリエーションの開催	障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行う施設・設備の整備	開催	エースポーツ・レクリエーションイベントの開催	障害者への理解を深める	市内誘致	パラスポーツ大会の開催	の養成	リエースポーツ指導者の養成	その他	わからない	無回答
全体	397 100.0	204 51.4	197 49.6	162 40.8	112 28.2	72 18.1	8 2.0	69 17.4	29 7.3							
【性別】																
男性	164 100.0	82 50.0	75 45.7	67 40.9	48 29.3	31 18.9	3 1.8	35 21.3	8 4.9							
女性	228 100.0	121 53.1	121 53.1	94 41.2	64 28.1	41 18.0	5 2.2	32 14.0	19 8.3							
【年代別】																
10代	6 100.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	2 33.3	2 33.3	-	1 16.7	-							
20代	32 100.0	21 65.6	16 50.0	12 37.5	17 53.1	3 9.4	1 3.1	4 12.5	-							
30代	37 100.0	21 56.8	15 40.5	20 54.1	8 21.6	4 10.8	2 5.4	9 24.3	-							
40代	75 100.0	44 58.7	41 54.7	29 38.7	26 34.7	14 18.7	3 4.0	13 17.3	2 2.7							
50代	71 100.0	39 54.9	34 47.9	36 50.7	21 29.6	8 11.3	2 2.8	9 12.7	5 7.0							
60代	78 100.0	41 52.6	49 62.8	33 42.3	20 25.6	22 28.2	-	12 15.4	2 2.6							
70歳以上	92 100.0	32 34.8	39 42.4	27 29.3	18 19.6	19 20.7	-	19 20.7	18 19.6							

②考察

パラスポーツに関心が「ある」は前回調査よりも7ポイント以上高くなっている（市民）。パラスポーツ選手の活躍がテレビで取り上げられる機会も多くなり、テレビなどのメディアを通してふれあう機会が多くなったことから、関心をもつ人が増加したのではないかと考えられる。

パラスポーツへの関心が高まっている一方で、4割近くの人が観戦するまでに至っていないことが分かった。まずはパラスポーツへの関心を高めるため、情報発信等を引き続き行うことが必要である。

パラスポーツが持たれがちな、「福祉」や「リハビリ」というイメージを払拭し、市民に「パラスポーツ」＝「スポーツ」、「パラ選手」＝「アスリート（パラリンピアン）」というイメージを持ってもらうことが理想である。そのためには、健常者がパラスポーツに触れ合える機会を提供し、健常者と障害者が同じ空間で時を過ごしたり、パラリンピアンと触れ合ったりすることが重要となる。

千葉市ではパラスポーツに関する事業が少ないため、事業の追加を検討し、障害の有無にかかわらず、すべての人がスポーツに親しみ、豊かな社会生活が送れるよう、パラスポーツの普及・推進に取り組む必要がある。

スポーツを「する」「観る」「支える」「ふれあう」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、市民がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界の実現（一億総スポーツ社会）のためには、生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう生活の一部にスポーツを取り入れるなど、自発的にスポーツに取り組み、自己実現を図っていくことが重要となる。

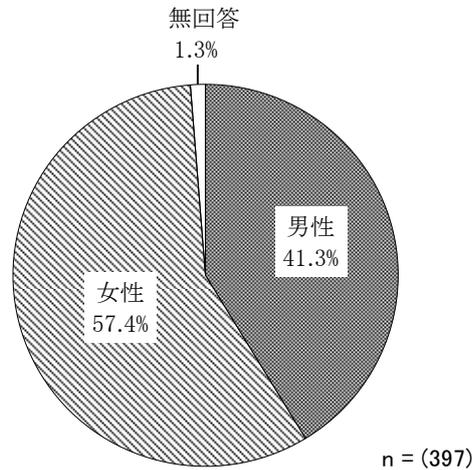
Ⅲ 調査結果

1. 市民アンケート
2. 小学生アンケート
3. 中学生アンケート
4. 高校生アンケート
5. 共通設問年齢別比較

1. 市民アンケート

（1）属性

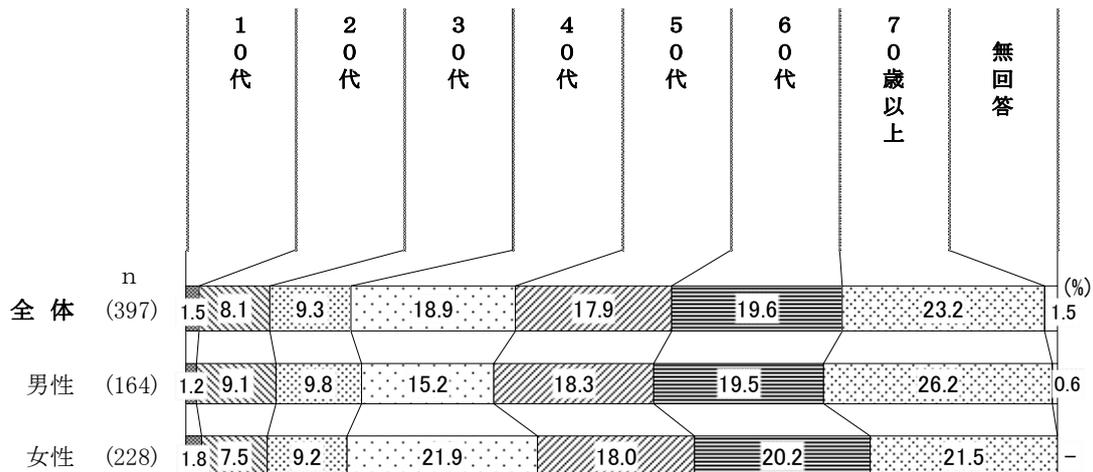
性別を教えてください。【全員回答】



「男性」が41.3%、「女性」が57.4%で女性の回答割合が多くなっている。

年齢を教えてください。【全員回答】

【性別】

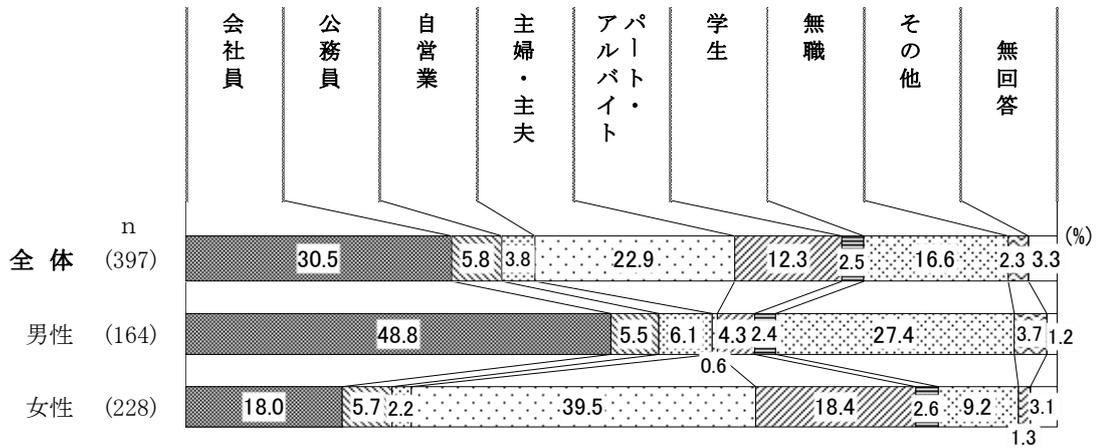


「70歳以上」の回答が2割を超えて一番多く、年代が下がるにつれて回答割合は下がっている。性別にみると、特に大きな差はみられない。

※10代の回答数が非常に少なかったため、以降年代別クロス集計においては、10代を除いた集計結果を示しています。

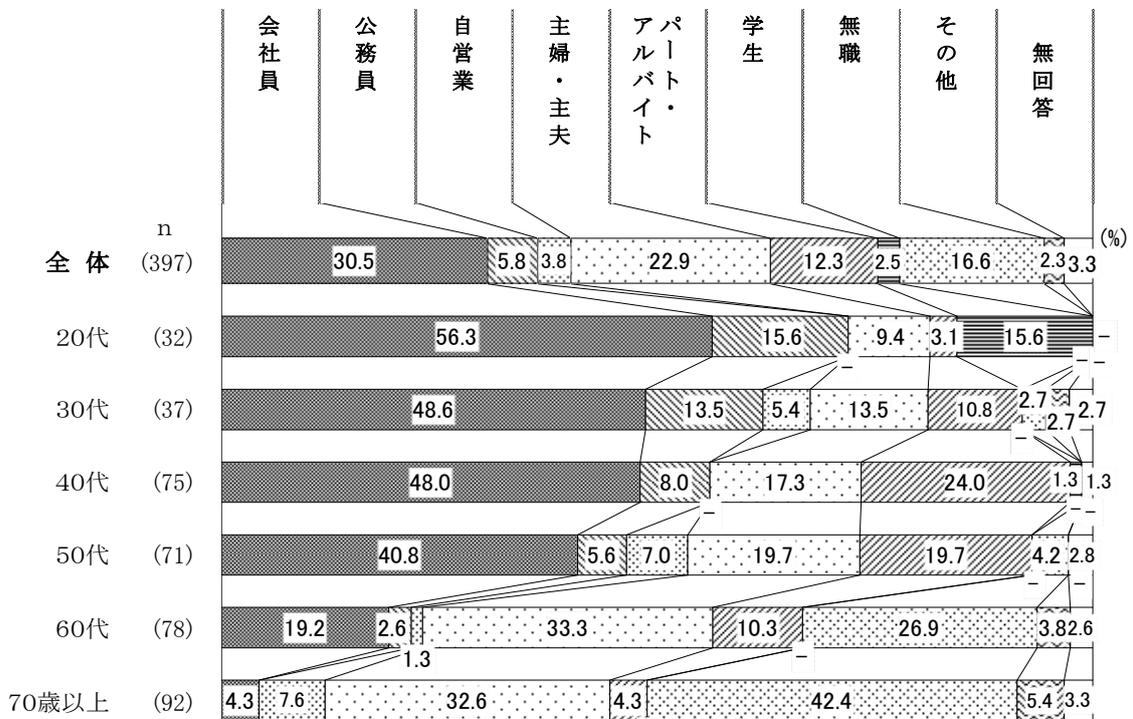
ご職業を教えてください。【全員回答】

【性別】



「会社員」が30.5%で最も高く、次いで「主婦・主夫」、「無職」となっている。
性別にみると、男性では「会社員」が5割近くと最も多く、女性では「主婦・主夫」が約4割と多くなっている。

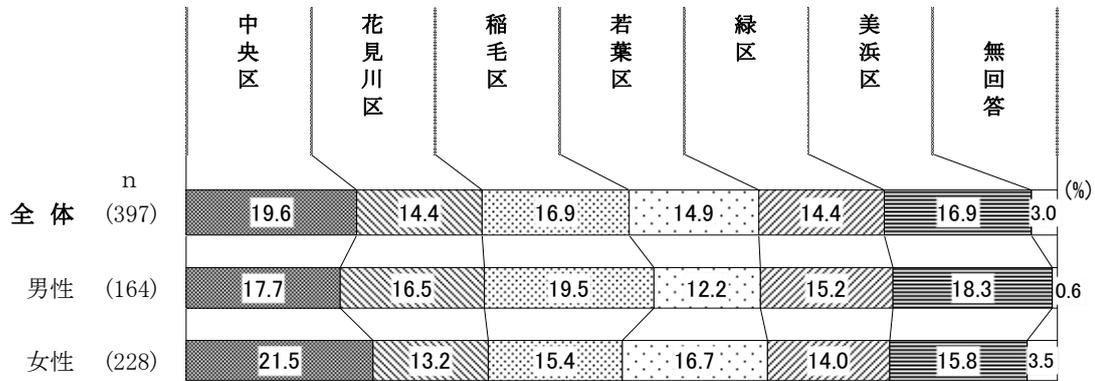
【年代別】



年代別にみると、「会社員」は年代があがるにつれて減少し、「主婦・主夫」は増加している。

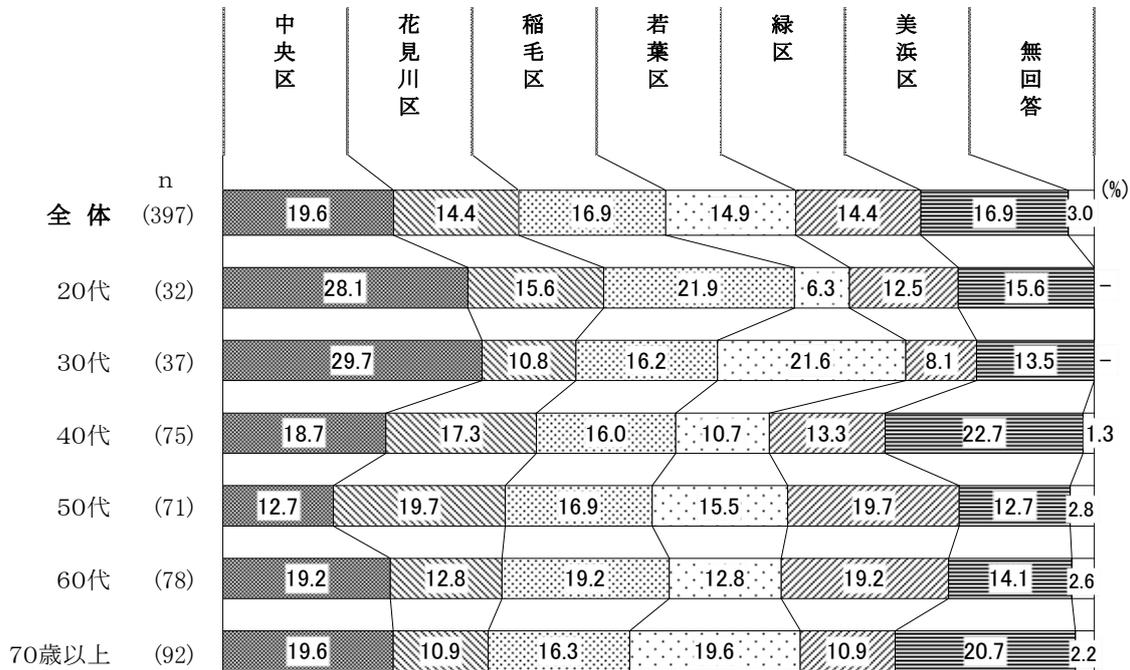
お住まいの区はどこですか。【全員回答】

【性別】



「中央区」が19.6%で最も高く、次いで「稲毛区」、「美浜区」が16.9%となっている。性別にみると、女性は「中央区」と「若葉区」で男性よりも約4ポイント高くなっている。

【年代別】

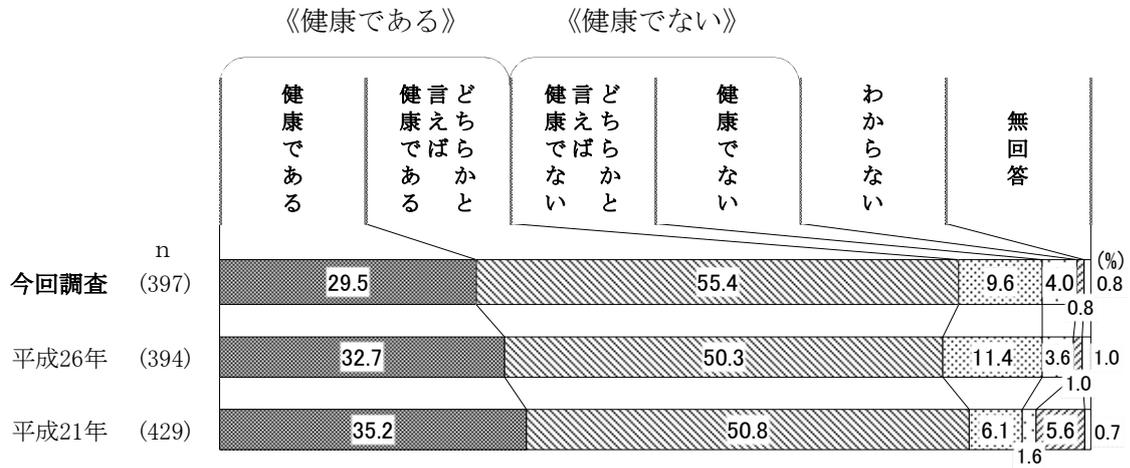


年代別にみると、「中央区」は20～30代で3割近くなっている。また、「稲毛区」は20代で2割を超え、「美浜区」は40代で2割を超えている。

Ⅲ 調査結果（市民）

（2）あなたの健康状態等について

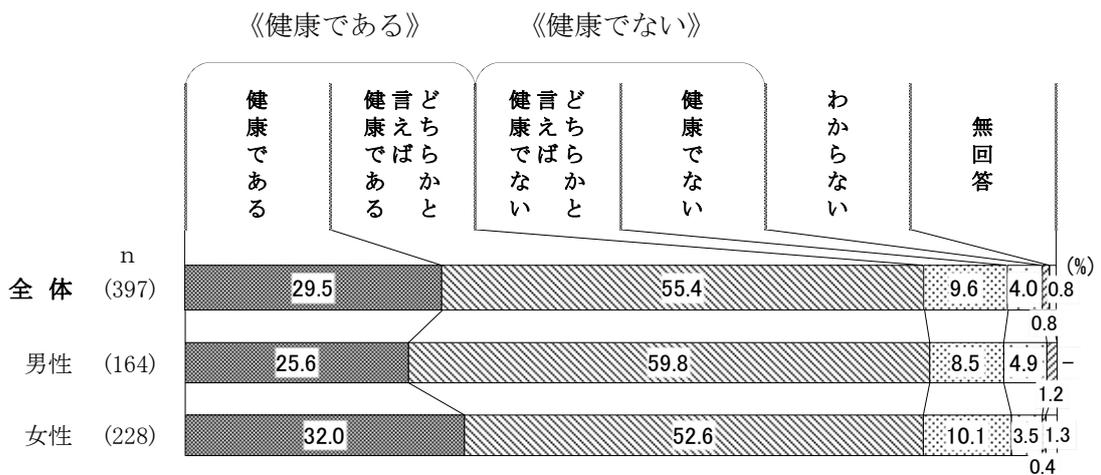
問1 健康状態をどのように感じていますか。【全員回答】



健康状態について、「健康である」と「どちらかと言えば健康である」を合わせた《健康である》は84.9%、「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」を合わせた《健康でない》は13.6%となっている。

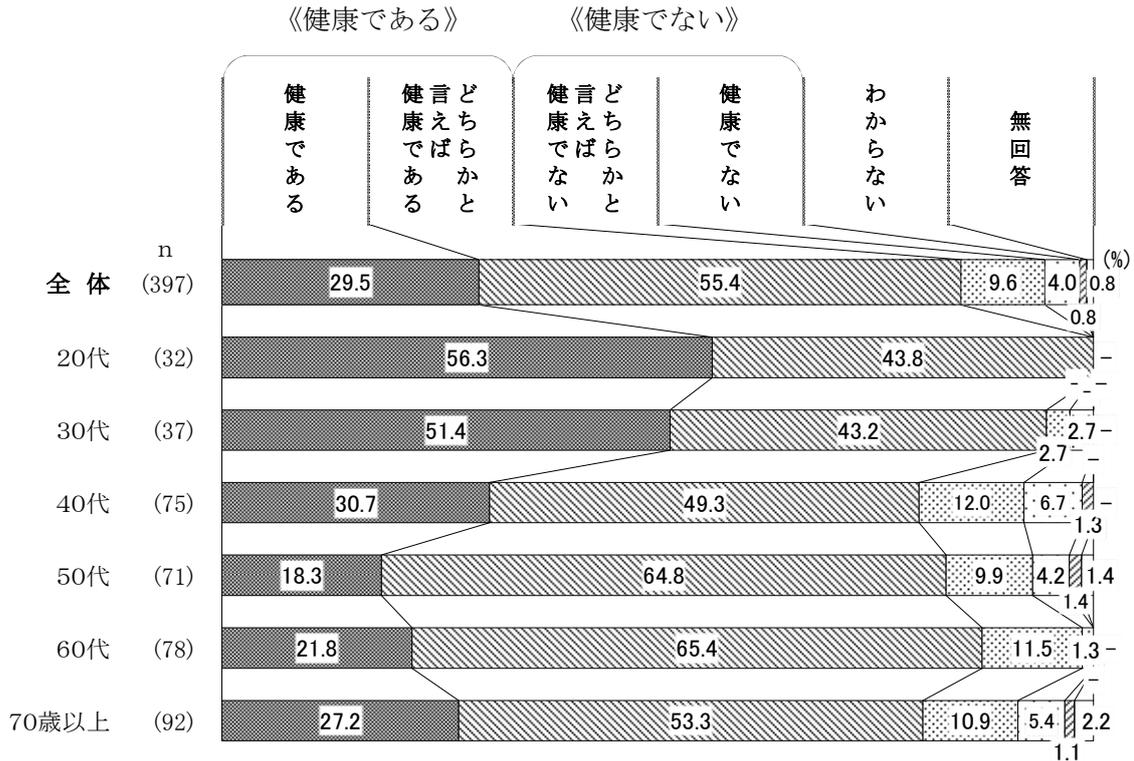
過去との比較でみると、《健康である》は平成26年よりもわずかに増加している。

【性別】



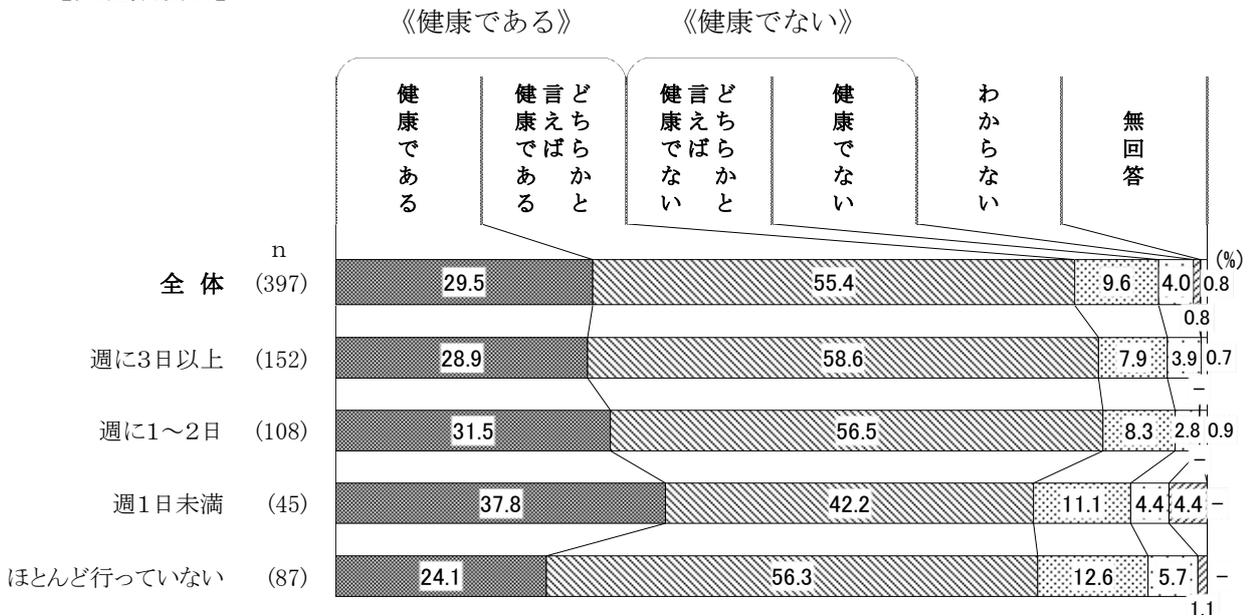
性別にみると、《健康である》は男女ともに8割半ばとなっている。

【年代別】



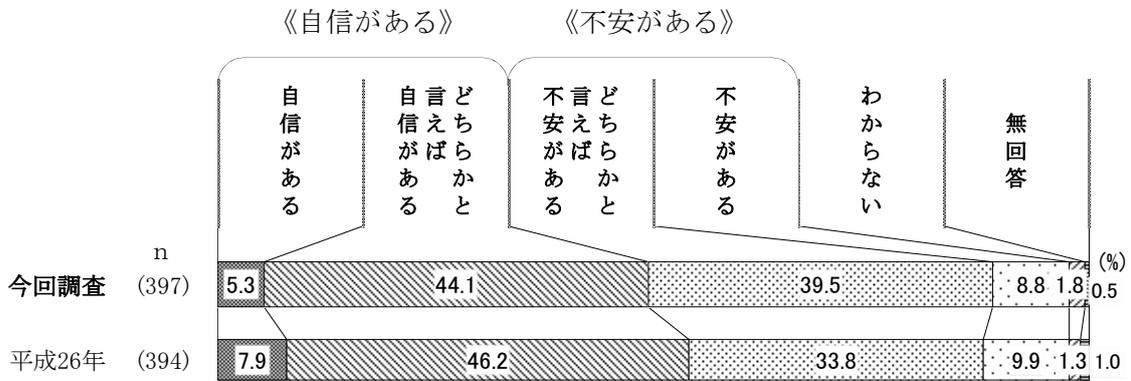
年代別にみると、「健康である」は20代～50代で年代があがるにつれて概ね減少する傾向にある。一方、「健康でない」は40代で6割を超えて多く、年代別において一番高くなっている。

【実施頻度別】



実施頻度別にみると、「健康である」は週に1～2日と週3日以上運動・スポーツを実施している人で9割近くと多くなっている。一方、「健康でない」は運動・スポーツをほとんど行っていない人で18.3%と、週1日以上行っている人よりも約7ポイント高くなっている。

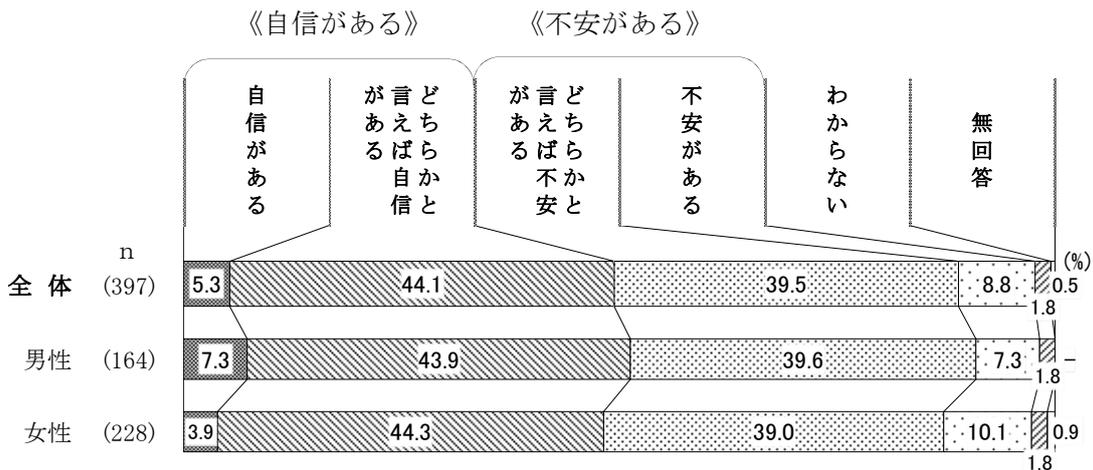
問2 ご自分の体力についてどのように感じていますか。【全員回答】



自分の体力について、「自信がある」と「どちらかと言え自信がある」を合わせた《自信がある》は49.4%、「不安がある」と「どちらかと言え不安がある」を合わせた《不安がある》は48.3%となっている。

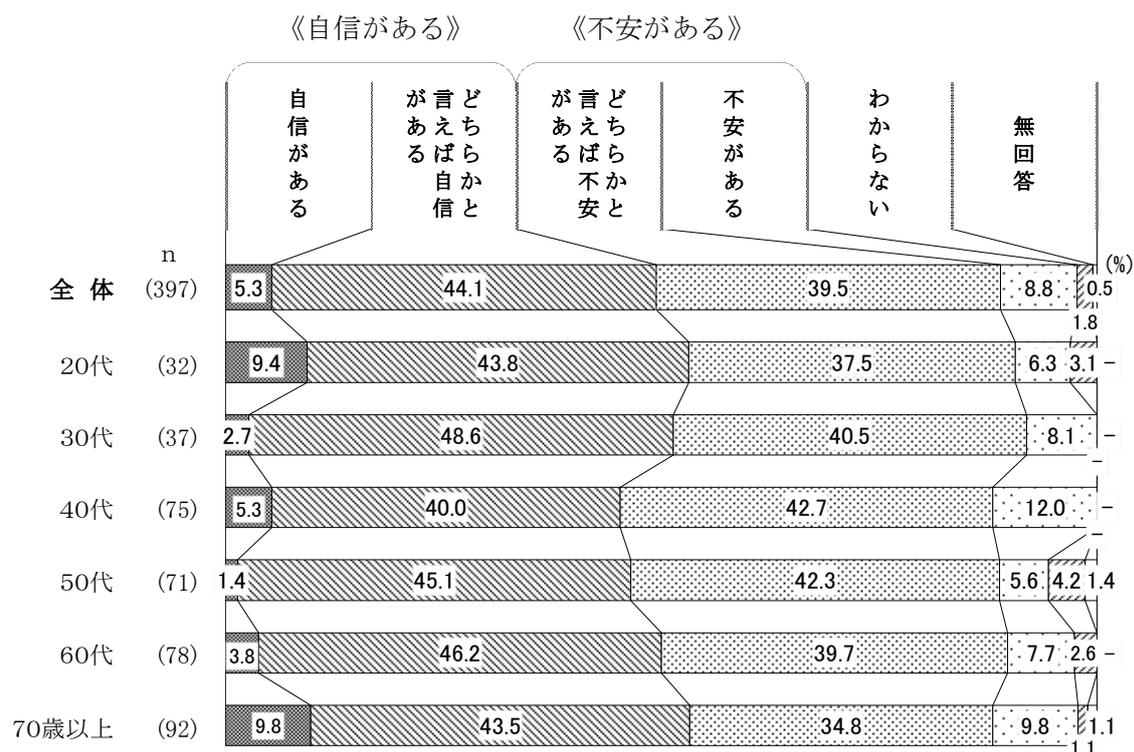
過去との比較でみると、《自信がある》は平成26年よりも4.7ポイント減少している。

【性別】



性別にみると、《自信がある》は男性で半数を超えており、女性よりも3ポイント高くなっている。

【年代別】

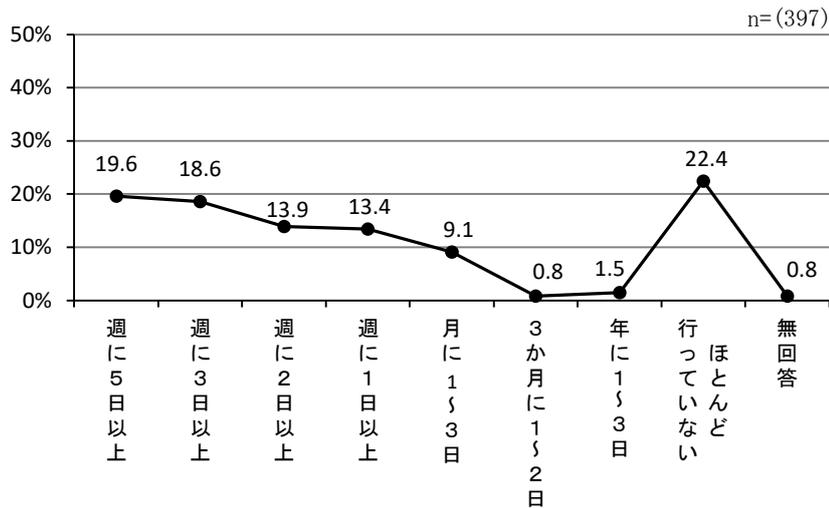


年代別にみると、《自信がある》は20代と70歳以上で5割を超えて多く、40代以降は年代があがるにつれ《自信がある》が増加している。

（3）運動・スポーツの実施状況等について

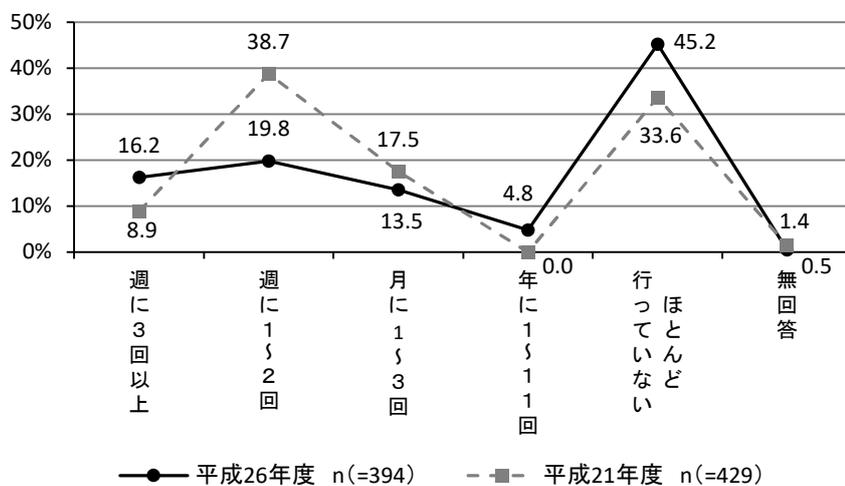
問3 運動・スポーツをどの程度行っていますか。【全員回答】

※ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩、ラジオ体操など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を広く含む。

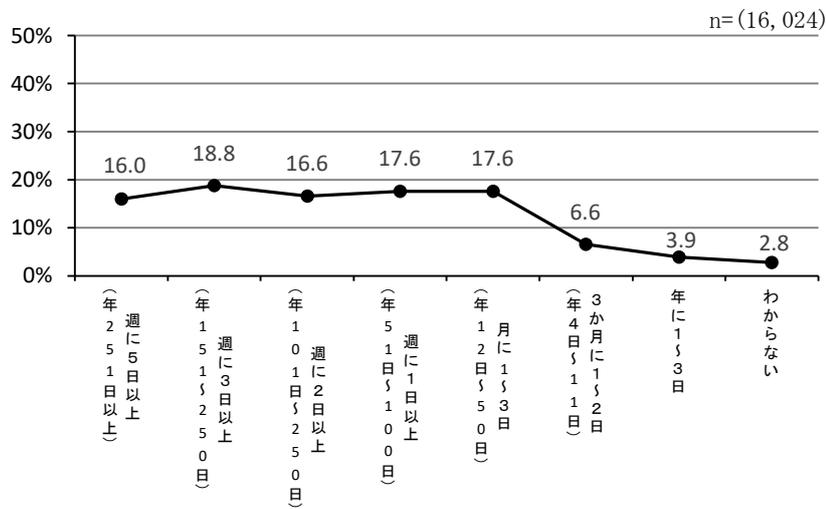


運動・スポーツの実施状況では、「ほとんど行っていない」が22.4%で最も高くなっているが、行っていると回答した人の中では、「週に5日以上」が19.6%で最も高く、次いで「週に3日以上」が18.6%、「週に2日以上」が13.9%、「週に1日以上」が13.4%となっている。

【参考】過去の結果



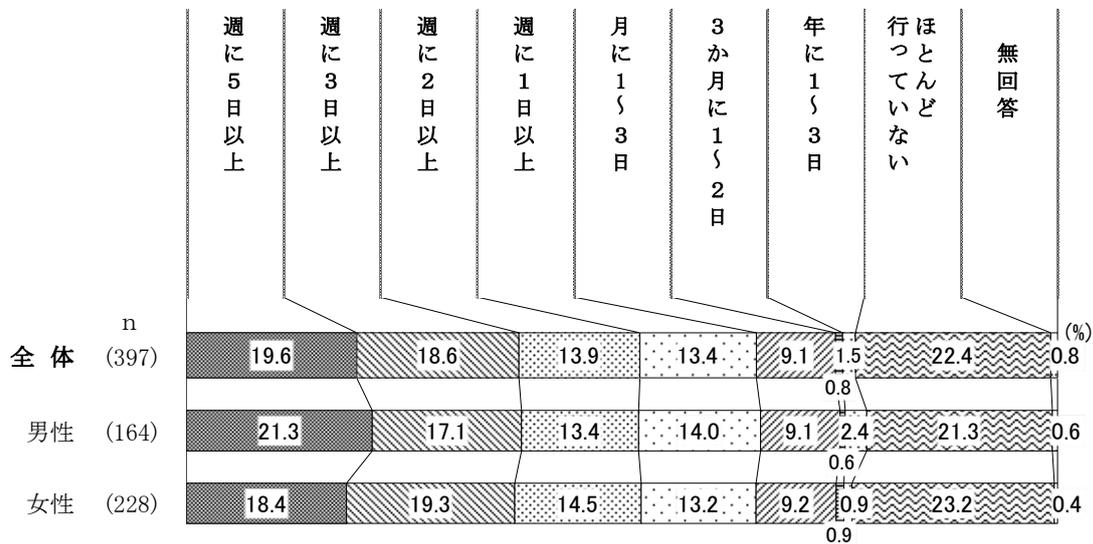
【参考】国の結果



※「この1年間に運動・スポーツはしなかった」は17.8%

出典:スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(平成31年1月)

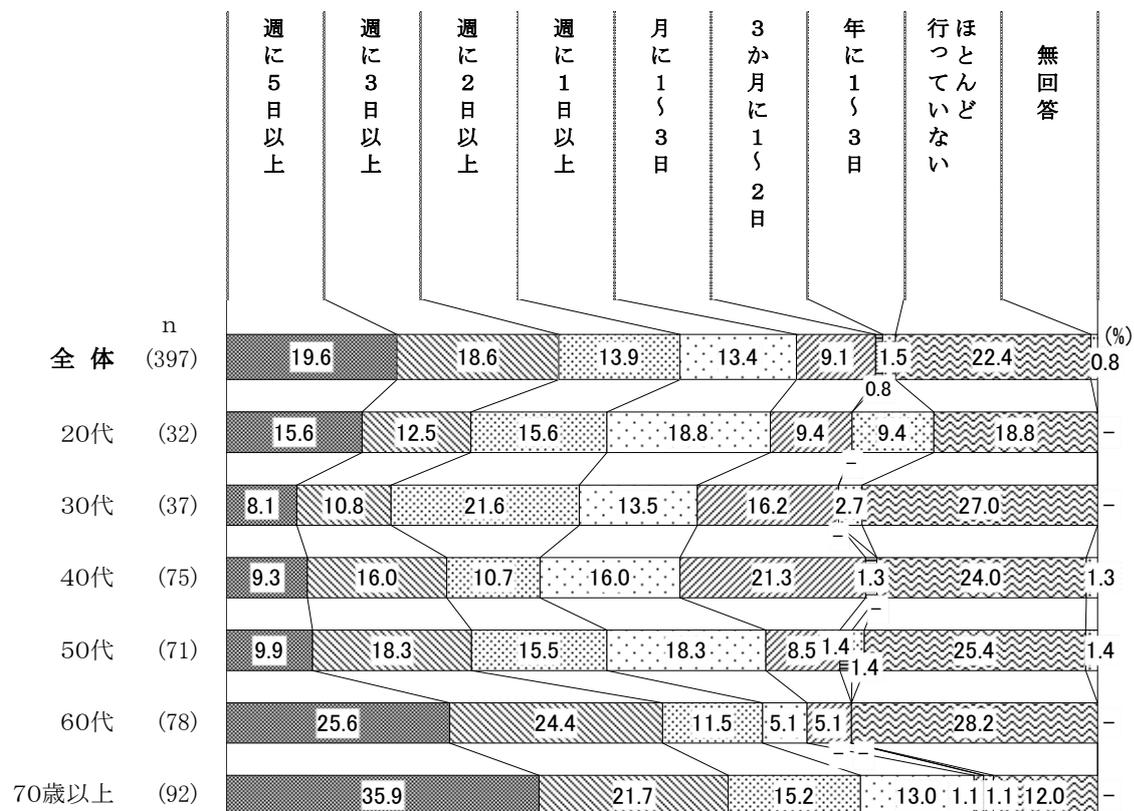
【性別】



性別にみると、「週に5日以上」は男性が女性より約3ポイント高く、「週に3日以上」は女性が男性より約2ポイント高くなっている。

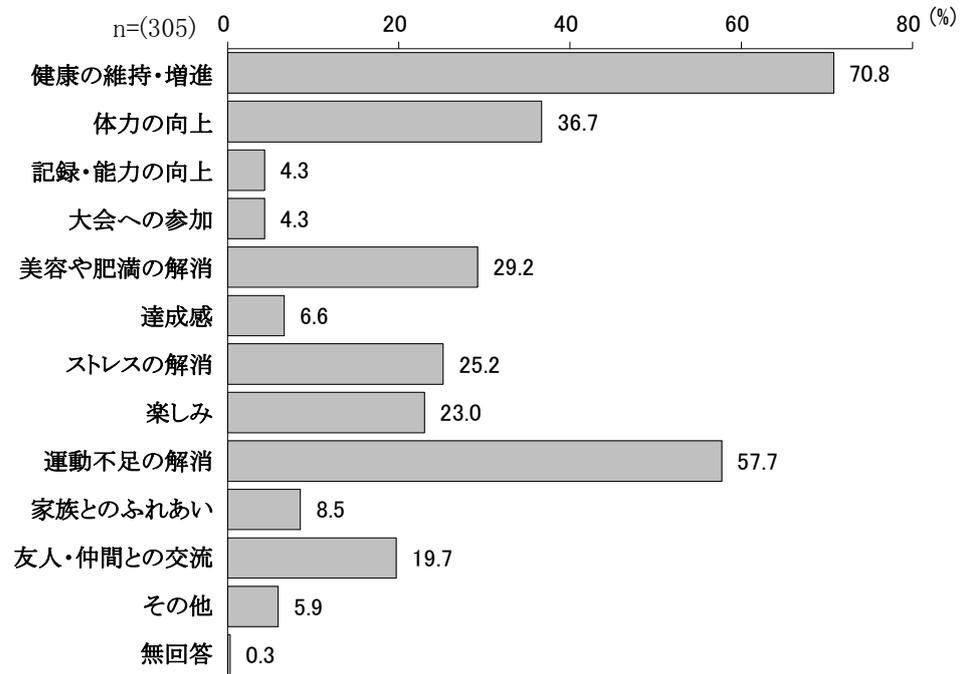
Ⅲ 調査結果（市民）

【年代別】



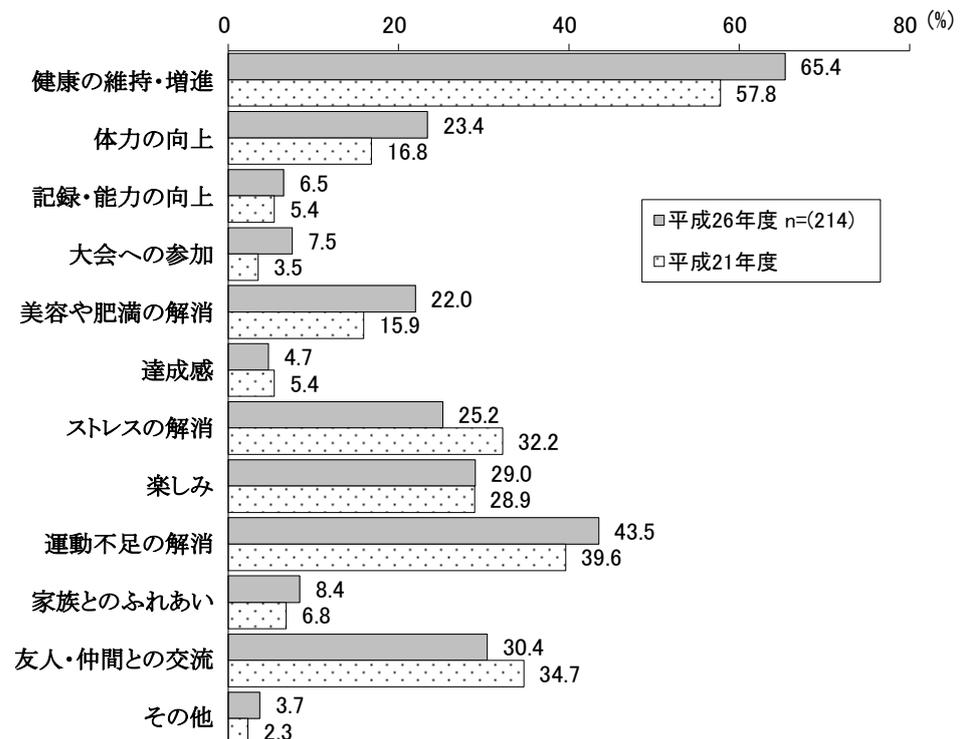
年代別にみると、「週に5日以上」は70歳以上で3割半ばとなっており、年代があがるにつれ割合は概ね増加する傾向にある。

問4 行う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で“行っている”に○をつけた方のみ】



運動・スポーツを行う理由では、「健康の維持・増進」が70.8%で最も高く、次いで「運動不足の解消」が57.7%、「体力の向上」が36.7%、「美容や肥満の解消」が29.2%、「ストレスの解消」が25.2%となっている。

【参考】過去の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康の維持・増進	体力の向上	記録・能力の向上	大会への参加	美容や肥満の解消	達成感	ストレスの解消	楽しみ	運動不足の解消	家族とのふれあい	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	305 100.0	216 70.8	112 36.7	13 4.3	13 4.3	89 29.2	20 6.6	77 25.2	70 23.0	176 57.7	26 8.5	60 19.7	18 5.9	1 0.3
男性	128 100.0	91 71.1	47 36.7	8 6.3	8 6.3	28 21.9	9 7.0	33 25.8	29 22.7	72 56.3	9 7.0	23 18.0	5 3.9	-
女性	174 100.0	122 70.1	63 36.2	5 2.9	5 2.9	60 34.5	11 6.3	43 24.7	41 23.6	102 58.6	17 9.8	37 21.3	13 7.5	1 0.6

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「健康の維持・増進」が一番多くなっている。また、「美容や肥満の解消」は女性で3割半ばと、男性よりも12.6ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康の維持・増進	体力の向上	記録・能力の向上	大会への参加	美容や肥満の解消	達成感	ストレスの解消	楽しみ	運動不足の解消	家族とのふれあい	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	305 100.0	216 70.8	112 36.7	13 4.3	13 4.3	89 29.2	20 6.6	77 25.2	70 23.0	176 57.7	26 8.5	60 19.7	18 5.9	1 0.3
20代	26 100.0	8 30.8	9 34.6	3 11.5	3 11.5	5 19.2	4 15.4	6 23.1	10 38.5	9 34.6	4 15.4	6 23.1	3 11.5	-
30代	27 100.0	18 66.7	7 25.9	2 7.4	3 11.1	11 40.7	3 11.1	10 37.0	5 18.5	14 51.9	7 25.9	6 22.2	1 3.7	-
40代	56 100.0	32 57.1	24 42.9	3 5.4	4 7.1	22 39.3	3 5.4	16 28.6	11 19.6	32 57.1	7 12.5	8 14.3	4 7.1	1 1.8
50代	52 100.0	43 82.7	19 36.5	3 5.8	-	22 42.3	6 11.5	19 36.5	20 38.5	31 59.6	3 5.8	7 13.5	4 7.7	-
60代	56 100.0	47 83.9	20 35.7	1 1.8	1 1.8	15 26.8	-	11 19.6	8 14.3	37 66.1	-	12 21.4	3 5.4	-
70歳以上	81 100.0	63 77.8	30 37.0	1 1.2	2 2.5	10 12.3	4 4.9	14 17.3	15 18.5	50 61.7	5 6.2	21 25.9	3 3.7	-

年代別にみると、「健康の維持・増進」は40代以上で一番多くなっている。また、「美容や肥満の解消」は50代で4割を超えて多くなっている。

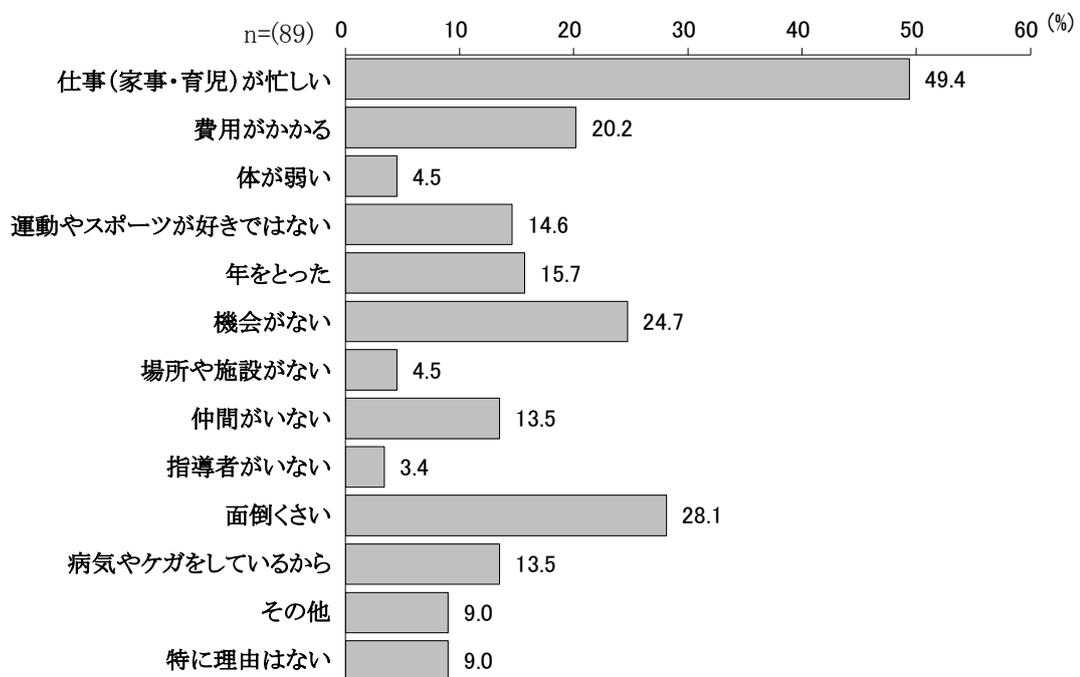
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康の維持・増進	体力の向上	記録・能力の向上	大会への参加	美容や肥満の解消	達成感	ストレスの解消	楽しみ	運動不足の解消	家族とのふれあい	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	305	216	112	13	13	89	20	77	70	176	26	60	18	1
	100.0	70.8	36.7	4.3	4.3	29.2	6.6	25.2	23.0	57.7	8.5	19.7	5.9	0.3
週に3日以上	152	124	62	8	5	51	11	33	26	101	5	27	14	-
	100.0	81.6	40.8	5.3	3.3	33.6	7.2	21.7	17.1	66.4	3.3	17.8	9.2	-
週に1～2日	108	72	36	5	6	26	7	34	28	56	15	19	3	1
	100.0	66.7	33.3	4.6	5.6	24.1	6.5	31.5	25.9	51.9	13.9	17.6	2.8	0.9
週1日未満	45	20	14	-	2	12	2	10	16	19	6	14	1	-
	100.0	44.4	31.1	-	4.4	26.7	4.4	22.2	35.6	42.2	13.3	31.1	2.2	-
ほとんど行っていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

実施頻度別にみると、週1日以上運動・スポーツを実施している人の上位3項目は全体と同じ傾向になっている。また、「楽しみ」は週1日未満で3割半ばとなっている。

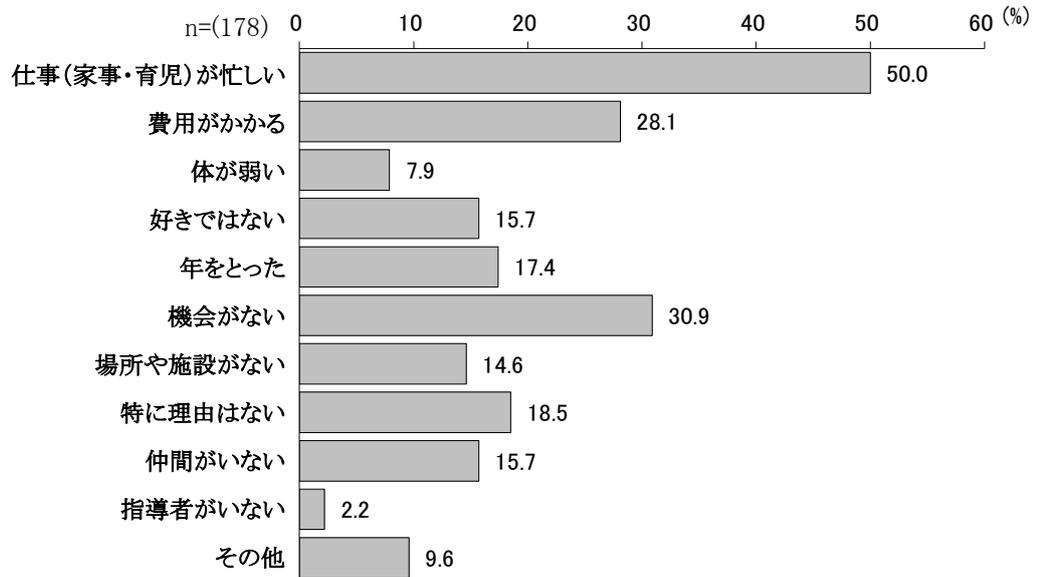
問5 行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で「ほとんど行っていない」に○をつけた方のみ】



運動・スポーツを行わない理由では、「仕事（家事・育児）が忙しい」が49.4%で最も高く、次いで「面倒くさい」が28.1%、「機会がない」が24.7%、「費用がかかる」が20.2%、「年をとった」が15.7%となっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【参考】平成26年の結果



【性別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	仕事(家事・育児)が忙しい	費用がかかる	体が弱い	運動やスポーツが好きではない	年をとった	機会がない	場所や施設がない	仲間がいない	指導者がいない	面倒くさい	病気やケガをしていないから	その他	特に理由はない
全体	89 100.0	44 49.4	18 20.2	4 4.5	13 14.6	14 15.7	22 24.7	4 4.5	12 13.5	3 3.4	25 28.1	12 13.5	8 9.0	8 9.0
男性	35 100.0	14 40.0	6 17.1	2 5.7	5 14.3	6 17.1	8 22.9	1 2.9	7 20.0	2 5.7	11 31.4	5 14.3	3 8.6	3 8.6
女性	53 100.0	30 56.6	12 22.6	2 3.8	7 13.2	7 13.2	14 26.4	3 5.7	5 9.4	1 1.9	14 26.4	7 13.2	5 9.4	5 9.4

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「仕事（家事・育児）が忙しい」が一番多くなっている。また、「仲間がいない」は男性で約2割と、女性よりも10.6ポイント高くなっている。

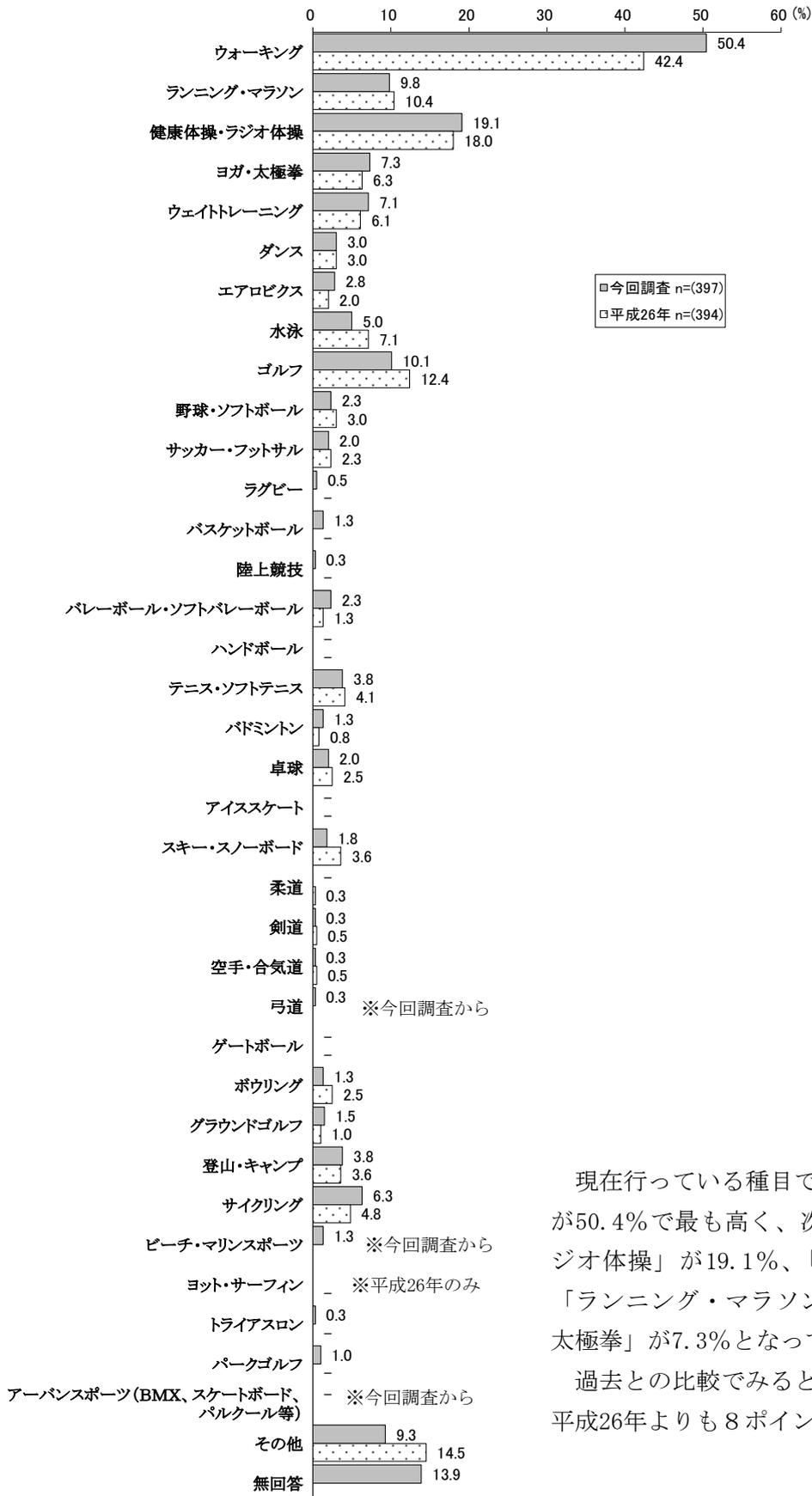
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	が仕事（家事・育児）が忙しい	費用がかかる	体が弱い	運動やスポーツが好きではない	年をとった	機会がない	場所や施設がない	仲間がない	指導者がいない	面倒くさい	病気やケガをしているから	その他	特に理由はない
全体	89 100.0	44 49.4	18 20.2	4 4.5	13 14.6	14 15.7	22 24.7	4 4.5	12 13.5	3 3.4	25 28.1	12 13.5	8 9.0	8 9.0
10代	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	2 100.0	-	-	-
20代	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	-	4 66.7	-	1 16.7	-	3 50.0	1 16.7	-	-
30代	10 100.0	9 90.0	2 20.0	-	2 20.0	-	3 30.0	2 20.0	2 20.0	-	3 30.0	-	-	-
40代	18 100.0	15 83.3	5 27.8	2 11.1	1 5.6	2 11.1	3 16.7	-	4 22.2	1 5.6	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6
50代	18 100.0	10 55.6	6 33.3	-	2 11.1	4 22.2	3 16.7	-	1 5.6	1 5.6	3 16.7	3 16.7	4 22.2	-
60代	22 100.0	4 18.2	3 13.6	1 4.5	2 9.1	7 31.8	4 18.2	1 4.5	2 9.1	1 4.5	9 40.9	4 18.2	2 9.1	4 18.2
70歳以上	11 100.0	2 18.2	1 9.1	-	2 18.2	-	3 27.3	1 9.1	2 18.2	-	2 18.2	3 27.3	-	3 27.3

年代別では回答者数が少ないため図示するに留めるが、回答傾向として「仕事（家事・育児）が忙しい」は30～50代で一番多くなっている。

問6 現在行っている種目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



現在行っている種目では、「ウォーキング」が50.4%で最も高く、次いで「健康体操・ラジオ体操」が19.1%、「ゴルフ」が10.1%、「ランニング・マラソン」が9.8%、「ヨガ・太極拳」が7.3%となっている。

過去との比較でみると、「ウォーキング」は平成26年よりも8ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	健康体操・ラジオ体操	ヨガ・太極拳	グウェイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	バレーボール・ソフトボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン
全体	397	200	39	76	29	28	12	11	20	40	9	8	2	5	1	9	-	15	5
	100.0	50.4	9.8	19.1	7.3	7.1	3.0	2.8	5.0	10.1	2.3	2.0	0.5	1.3	0.3	2.3	-	3.8	1.3
男性	164	79	23	21	4	14	2	2	8	33	9	7	2	2	1	4	-	8	2
	100.0	48.2	14.0	12.8	2.4	8.5	1.2	1.2	4.9	20.1	5.5	4.3	1.2	1.2	0.6	2.4	-	4.9	1.2
女性	228	118	16	54	25	14	9	9	11	6	-	1	-	3	-	5	-	7	3
	100.0	51.8	7.0	23.7	11.0	6.1	3.9	3.9	4.8	2.6	-	0.4	-	1.3	-	2.2	-	3.1	1.3

	調査数	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	弓道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ビーチ・マリンスポーツ	トライアスロン	パークゴルフ	MX、スケートボード等	その他	無回答
全体	397	8	-	7	-	1	1	1	-	5	6	15	25	5	1	4	-	37	55
	100.0	2.0	-	1.8	-	0.3	0.3	0.3	-	1.3	1.5	3.8	6.3	1.3	0.3	1.0	-	9.3	13.9
男性	164	5	-	3	-	1	1	-	-	4	4	6	14	3	1	2	-	11	16
	100.0	3.0	-	1.8	-	0.6	0.6	-	-	2.4	2.4	3.7	8.5	1.8	0.6	1.2	-	6.7	9.8
女性	228	3	-	4	-	-	-	1	-	1	2	9	10	2	-	2	-	26	38
	100.0	1.3	-	1.8	-	-	-	0.4	-	0.4	0.9	3.9	4.4	0.9	-	0.9	-	11.4	16.7

性別にみると、男女ともに「ウォーキング」が一番多くなっている。また、「ゴルフ」は男性で約2割と、女性よりも17.5ポイント高くなっている。一方、「健康体操・ラジオ体操」は女性で2割半ばと、男性よりも10.9ポイント高くなっている。

【年代別】

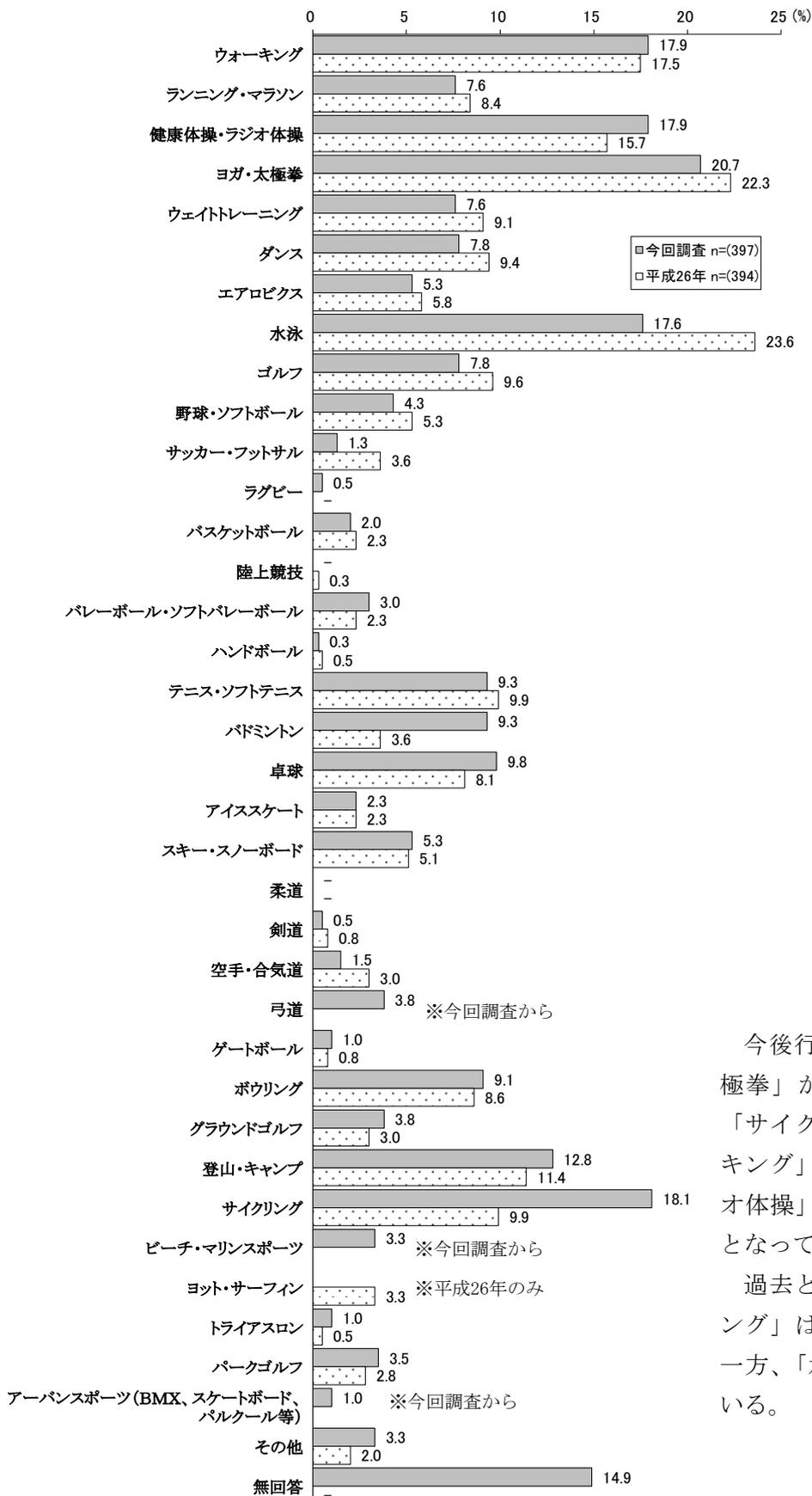
（上段：件数、下段：％）

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	健康体操・ラジオ体操	ヨガ・太極拳	グウェイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	バレーボール・ソフトボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン
全体	397	200	39	76	29	28	12	11	20	40	9	8	2	5	1	9	-	15	5
	100.0	50.4	9.8	19.1	7.3	7.1	3.0	2.8	5.0	10.1	2.3	2.0	0.5	1.3	0.3	2.3	-	3.8	1.3
20代	32	9	10	-	2	1	1	-	1	3	1	3	-	2	-	1	-	2	1
	100.0	28.1	31.3	-	6.3	3.1	3.1	-	3.1	9.4	3.1	9.4	-	6.3	-	3.1	-	6.3	3.1
30代	37	18	6	1	4	6	-	-	2	-	-	5	-	2	1	2	-	-	1
	100.0	48.6	16.2	2.7	10.8	16.2	-	-	5.4	-	-	13.5	-	5.4	2.7	5.4	-	-	2.7
40代	75	33	12	10	5	5	2	1	3	5	3	-	1	1	-	3	-	5	-
	100.0	44.0	16.0	13.3	6.7	6.7	2.7	1.3	4.0	6.7	4.0	-	1.3	1.3	-	4.0	-	6.7	-
50代	71	38	5	9	8	6	-	6	4	9	3	-	1	-	-	-	-	2	1
	100.0	53.5	7.0	12.7	11.3	8.5	-	8.5	5.6	12.7	4.2	-	1.4	-	-	-	-	2.8	1.4
60代	78	41	5	19	3	6	4	2	5	8	-	-	-	-	-	1	-	3	1
	100.0	52.6	6.4	24.4	3.8	7.7	5.1	2.6	6.4	10.3	-	-	-	-	-	1.3	-	3.8	1.3
70歳以上	92	56	1	35	7	2	4	2	3	14	2	-	-	-	-	1	-	2	1
	100.0	60.9	1.1	38.0	7.6	2.2	4.3	2.2	3	15.2	2.2	-	-	-	-	1.1	-	2.2	1.1

	調査数	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	弓道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ビーチ・マリンスポーツ	トライアスロン	パークゴルフ	MX、スケートボード等	その他	無回答
全体	397	8	-	7	-	1	1	1	-	5	6	15	25	5	1	4	-	37	55
	100.0	2.0	-	1.8	-	0.3	0.3	0.3	-	1.3	1.5	3.8	6.3	1.3	0.3	1.0	-	9.3	13.9
20代	32	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	3	6
	100.0	-	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	9.4	3.1	-	-	-	-	9.4	18.8
30代	37	1	-	1	-	-	-	-	1	1	1	1	4	1	1	-	-	4	7
	100.0	2.7	-	2.7	-	-	-	-	2.7	2.7	2.7	10.8	2.7	2.7	-	-	-	10.8	18.9
40代	75	-	-	1	-	1	-	-	-	-	8	4	4	1	-	-	-	11	9
	100.0	-	-	1.3	-	1.3	-	-	-	-	10.7	5.3	1.3	-	-	-	-	14.7	12.0
50代	71	-	-	2	-	-	-	1	-	1	2	5	3	-	-	-	-	8	7
	100.0	-	-	2.8	-	-	-	1.4	-	1.4	2.8	7.0	4.2	-	-	-	-	11.3	9.9
60代	78	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	1	-	5	14
	100.0	1.3	-	1.3	-	-	-	-	-	1.3	1.3	-	3.8	-	-	1.3	-	6.4	17.9
70歳以上	92	6	-	-	-	-	1	-	-	2	4	1	7	-	-	3	-	5	10
	100.0	6.5	-	-	-	-	1.1	-	-	2.2	4.3	1.1	7.6	-	-	3.3	-	5.4	10.9

年代別にみると、「ウォーキング」は30代以降で年代があがるにつれ概ね増加する傾向となっている。

問7 今後、行ってみたい種目は何ですか。（上の問6の選択肢から、上位3つまで番号を記入）【全員回答】



今後行いたい種目では、「ヨガ・太極拳」が20.7%で最も高く、次いで「サイクリング」が18.1%、「ウォーキング」が17.9%、「健康体操・ラジオ体操」が17.9%、「水泳」が17.6%となっている。

過去との比較でみると、「サイクリング」は8.2ポイント増加している。一方、「水泳」は6ポイント減少している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	健康体操・ラジオ体操	ヨガ・太極拳	グウェイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	バレーボール・ソフトボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン
全体	397 100.0	71 17.9	30 7.6	71 17.9	82 20.7	30 7.6	31 7.8	21 5.3	70 17.6	31 7.8	17 4.3	5 1.3	2 0.5	8 2.0	-	12 3.0	1 0.3	37 9.3	37 9.3
男性	164 100.0	30 18.3	13 7.9	23 14.0	7 4.3	12 7.3	2 1.2	2 1.2	23 14.0	23 14.0	17 10.4	5 3.0	2 1.2	5 3.0	-	4 2.4	1 0.6	14 8.5	14 8.5
女性	228 100.0	39 17.1	17 7.5	45 19.7	70 30.7	9 3.9	29 12.7	19 8.3	45 19.7	8 3.5	-	-	-	3 1.3	-	8 3.5	-	23 10.1	23 10.1

	調査数	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	弓道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ビーチ・マリンスポーツ	トライアスロン	パークゴルフ	ド、X、M、P、等	その他	無回答
全体	397 100.0	39 9.8	9 2.3	21 5.3	-	2 0.5	6 1.5	15 3.8	4 1.0	36 9.1	15 3.8	51 12.8	72 18.1	13 3.3	4 1.0	14 3.5	4 1.0	13 3.3	59 14.9
男性	164 100.0	12 7.3	2 1.2	7 4.3	-	1 0.6	5 3.0	7 4.3	1 0.6	18 11.0	8 4.9	28 17.1	39 23.8	7 4.3	2 1.2	4 2.4	3 1.8	7 4.3	22 13.4
女性	228 100.0	26 11.4	7 3.1	14 6.1	-	1 0.4	1 0.4	8 3.5	3 1.3	18 7.9	7 3.1	23 10.1	32 14.0	6 2.6	2 0.9	5 2.2	1 0.4	6 2.6	36 15.8

性別にみると、「ヨガ・太極拳」は女性で3割を超え、男性よりも23.4ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

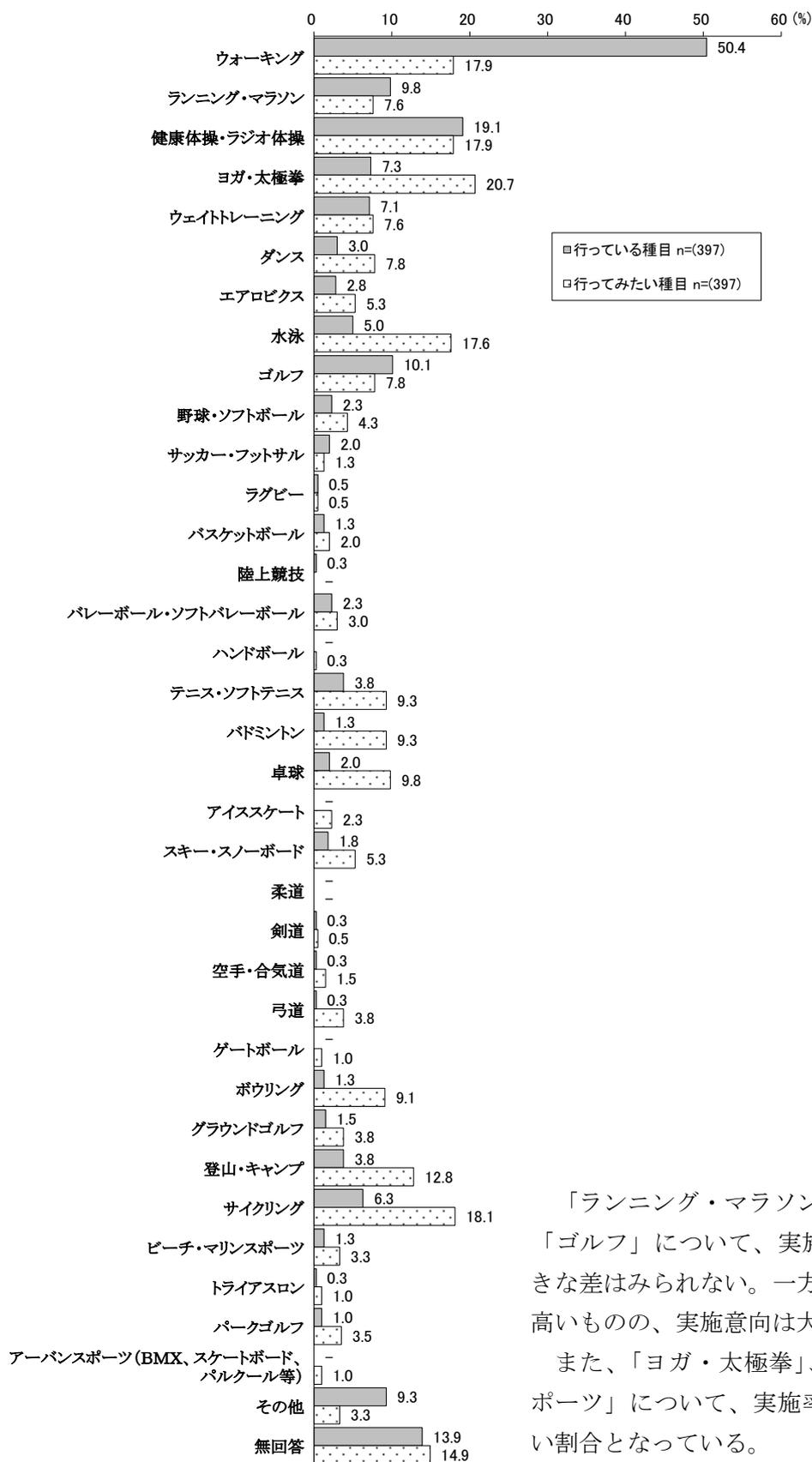
	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	健康体操・ラジオ体操	ヨガ・太極拳	グウェイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	バレーボール・ソフトボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン
全体	397 100.0	71 17.9	30 7.6	71 17.9	82 20.7	30 7.6	31 7.8	21 5.3	70 17.6	31 7.8	17 4.3	5 1.3	2 0.5	8 2.0	-	12 3.0	1 0.3	37 9.3	37 9.3
20代	32 100.0	4 12.5	4 12.5	-	25.0	8 9.4	3 9.4	-	3 9.4	3 9.4	5 15.6	1 3.1	1 3.1	4 12.5	-	2 6.3	-	-	4 12.5
30代	37 100.0	4 10.8	3 8.1	4 10.8	8 21.6	4 10.8	6 16.2	3 8.1	5 13.5	6 16.2	2 5.4	1 2.7	1 2.7	2 5.4	-	-	-	5 13.5	6 16.2
40代	75 100.0	9 12.0	9 12.0	9 12.0	20 26.7	12 16.0	2 2.7	5 6.7	17 22.7	2 2.7	2 2.7	1 1.3	-	1 1.3	-	5 6.7	-	16 21.3	10 13.3
50代	71 100.0	12 16.9	7 9.9	10 14.1	12 16.9	6 8.5	7 9.9	7 9.9	17 23.9	7 9.9	4 5.6	1 1.4	-	1 1.4	-	2 2.8	-	3 4.2	3 4.2
60代	78 100.0	19 24.4	4 5.1	21 26.9	21 26.9	5 6.4	8 10.3	5 6.4	15 19.2	7 9.0	1 1.3	1 1.3	-	-	-	1 1.3	-	8 10.3	6 7.7
70歳以上	92 100.0	20 21.7	2 2.2	25 27.2	12 13.0	-	3 3.3	2 2.2	10 10.9	6 6.5	2 2.2	-	-	-	-	2 2.2	-	4 4.3	8 8.7

	調査数	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	弓道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ビーチ・マリンスポーツ	トライアスロン	パークゴルフ	ド、X、M、P、等	その他	無回答
全体	397 100.0	39 9.8	9 2.3	21 5.3	-	2 0.5	6 1.5	15 3.8	4 1.0	36 9.1	15 3.8	51 12.8	72 18.1	13 3.3	4 1.0	14 3.5	4 1.0	13 3.3	59 14.9
20代	32 100.0	3 9.4	2 6.3	2 6.3	-	-	3 9.4	2 6.3	-	3 9.4	-	5 15.6	6 18.8	2 6.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3	1 3.1
30代	37 100.0	2 5.4	1 2.7	5 13.5	-	-	3 8.1	2 5.4	-	2 5.4	-	9 24.3	5 13.5	2 5.4	2 5.4	-	-	5 13.5	2 5.4
40代	75 100.0	4 5.3	1 1.3	7 9.3	-	-	-	3 4.0	-	5 6.7	-	14 18.7	20 26.7	4 5.3	1 1.3	1 1.3	2 2.7	2 2.7	4 5.3
50代	71 100.0	9 12.7	1 1.4	4 5.6	-	-	1 1.4	3 4.2	1 1.4	6 8.5	1 1.4	11 15.5	14 19.7	3 4.2	-	-	1 1.4	4 5.6	11 15.5
60代	78 100.0	8 10.3	1 1.3	-	-	1 1.3	-	-	2 2.6	8 10.3	5 6.4	6 7.7	12 15.4	2 2.6	-	3 3.8	-	2 2.6	12 15.4
70歳以上	92 100.0	10 10.9	2 2.2	1 1.1	-	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	12 13.0	9 9.8	6 6.5	12 13.0	-	-	8 8.7	-	1 1.1	28 30.4

年代別にみると、「健康体操・ラジオ体操」は60代で3割近くとなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

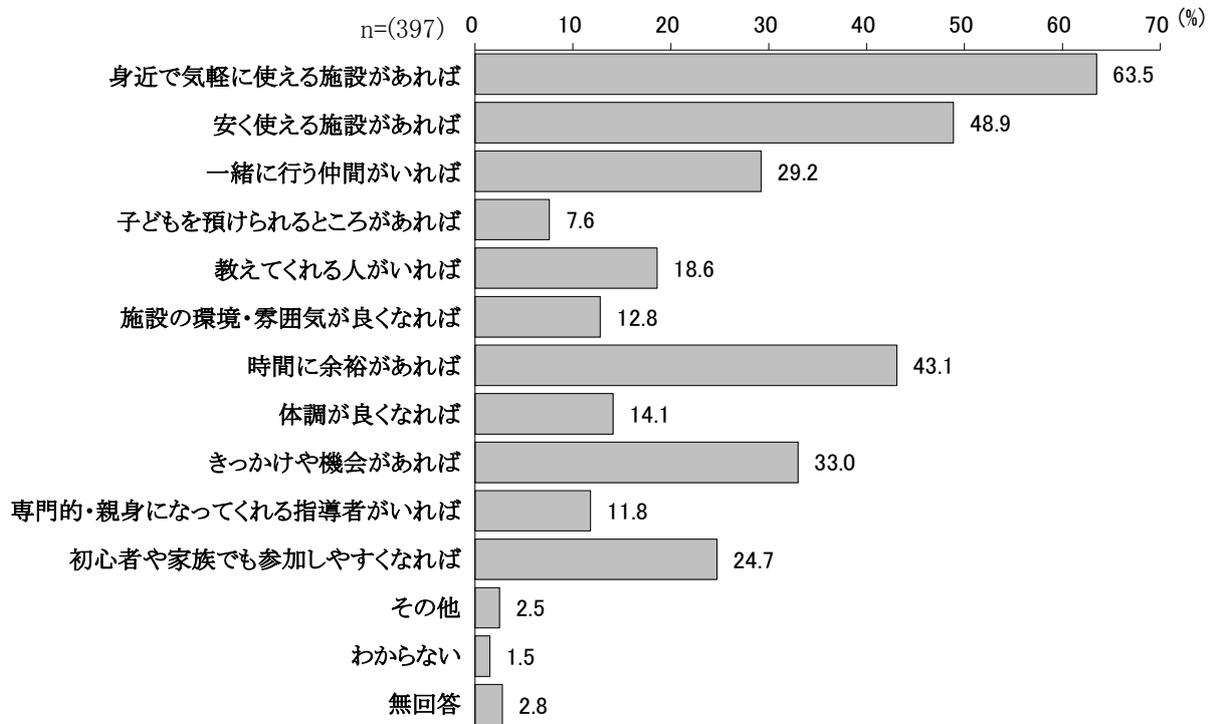
【設問比較】 行っている種目、行ってみたい種目



「ランニング・マラソン」、「健康体操・ラジオ体操」、「ゴルフ」について、実施割合と実施意向割合に特に大きな差はみられない。一方、「ウォーキング」の実施率は高いものの、実施意向は大きく下がっている。

また、「ヨガ・太極拳」、「水泳」、「ビーチ・マリンスポーツ」について、実施率は低いものの、実施意向は高い割合となっている。

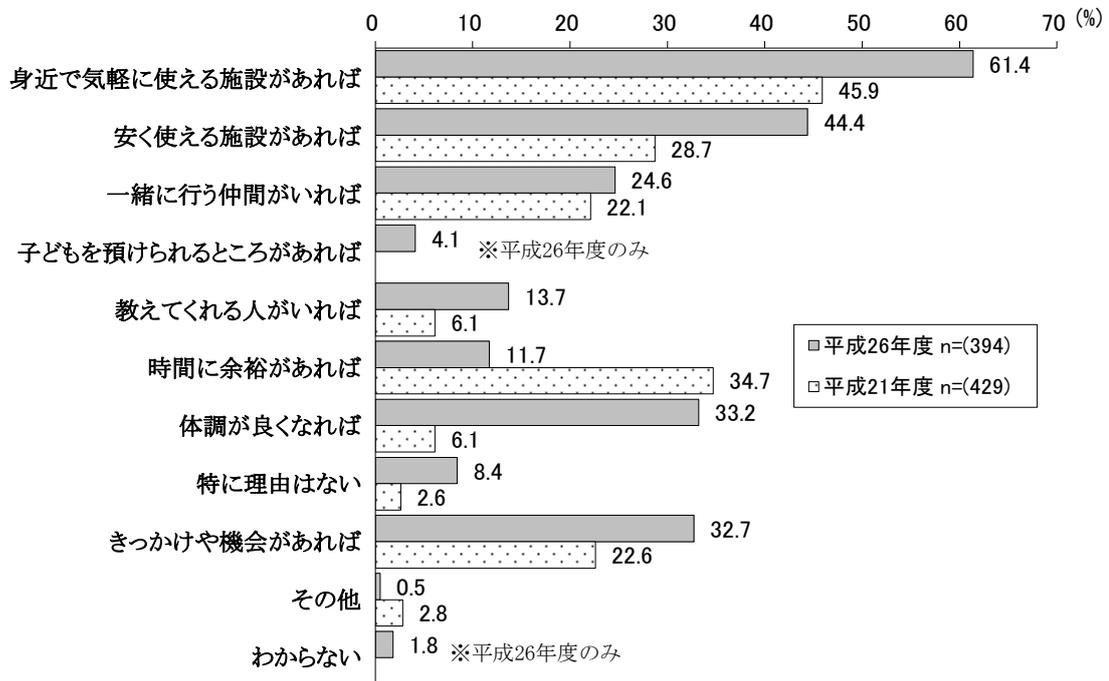
問8 より多く運動・スポーツを行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



より多く運動・スポーツを行うためのきっかけなどでは、「身近で気軽に使える施設があれば」が63.5%で最も高く、次いで「安く使える施設があれば」が48.9%、「時間に余裕があれば」が43.1%、「きっかけや機会があれば」が33.0%、「一緒に行く仲間がいれば」が29.2%となっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【参考】過去の比較



【性別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	身近で気軽に使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒に行く仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	教えてくれる人がいれば	施設の良い環境・雰囲気	時間に余裕があれば	体調が良くなれば	きっかけや機会があれば	専門的・親身な指導者がいれば	初心者や家族でも参加しやすい	その他	わからない	無回答
全体	397	252	194	116	30	74	51	171	56	131	47	98	10	6	11
	100.0	63.5	48.9	29.2	7.6	18.6	12.8	43.1	14.1	33.0	11.8	24.7	2.5	1.5	2.8
男性	164	110	81	62	10	29	21	69	25	52	19	35	7	5	-
	100.0	67.1	49.4	37.8	6.1	17.7	12.8	42.1	15.2	31.7	11.6	21.3	4.3	3.0	-
女性	228	138	111	53	20	44	29	102	30	76	26	62	3	1	10
	100.0	60.5	48.7	23.2	8.8	19.3	12.7	44.7	13.2	33.3	11.4	27.2	1.3	0.4	4.4

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「身近で気軽に使える施設があれば」が一番多くなっている。また、「一緒に行く仲間がいれば」は男性で4割近くと多く、女性よりも14.6ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	身近で気軽に使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒に使う仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	教えてくれる人がいれば	施設の良い環境・雰囲気	時間に余裕があれば	体調が良くなれば	きつかけや機会があれば	専門的・親身になつてくれる指導者がいれば	初心者や家族でも参加しやすい	その他	わからない	無回答
全体	397 100.0	252 63.5	194 48.9	116 29.2	30 7.6	74 18.6	51 12.8	171 43.1	56 14.1	131 33.0	47 11.8	98 24.7	10 2.5	6 1.5	11 2.8
20代	32 100.0	17 53.1	18 56.3	14 43.8	6 18.8	8 25.0	3 9.4	17 53.1	1 3.1	13 40.6	3 9.4	10 31.3	2 6.3	-	-
30代	37 100.0	25 67.6	21 56.8	16 43.2	16 43.2	8 21.6	8 21.6	28 75.7	2 5.4	8 21.6	4 10.8	12 32.4	-	-	-
40代	75 100.0	42 56.0	44 58.7	18 24.0	7 9.3	12 16.0	9 12.0	57 76.0	10 13.3	23 30.7	7 9.3	22 29.3	1 1.3	-	-
50代	71 100.0	49 69.0	39 54.9	10 14.1	-	9 12.7	10 14.1	33 46.5	10 14.1	18 25.4	8 11.3	11 15.5	2 2.8	2 2.8	-
60代	78 100.0	54 69.2	32 41.0	21 26.9	1 1.3	15 19.2	13 16.7	15 19.2	15 19.2	35 44.9	9 11.5	20 25.6	2 2.6	3 3.8	1 1.3
70歳以上	92 100.0	56 60.9	33 35.9	34 37.0	-	19 20.7	6 6.5	18 19.6	15 16.3	28 30.4	13 14.1	19 20.7	3 3.3	1 1.1	9 9.8

年代別にみると、「身近で気軽に使える施設があれば」は50～60代で7割近くと多くなっている。また、「安く使える施設があれば」は20～50代で5割台と多くなっている。

【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

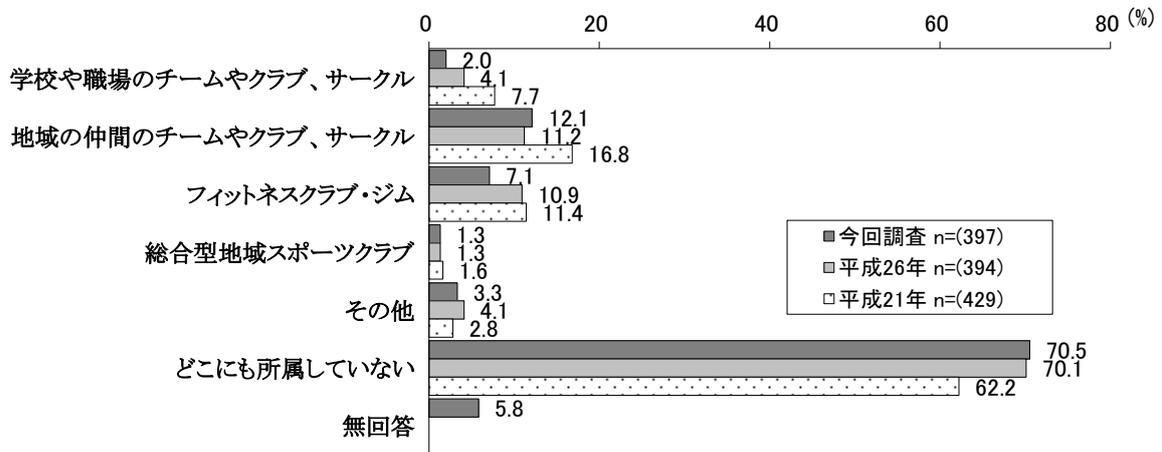
	調査数	身近で気軽に使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒に使う仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	教えてくれる人がいれば	施設の良い環境・雰囲気	時間に余裕があれば	体調が良くなれば	きつかけや機会があれば	専門的・親身になつてくれる指導者がいれば	初心者や家族でも参加しやすい	その他	わからない	無回答
全体	397 100.0	252 63.5	194 48.9	116 29.2	30 7.6	74 18.6	51 12.8	171 43.1	56 14.1	131 33.0	47 11.8	98 24.7	10 2.5	6 1.5	11 2.8
週に3日以上	152 100.0	106 69.7	74 48.7	46 30.3	4 2.6	28 18.4	24 15.8	45 29.6	19 12.5	51 33.6	23 15.1	33 21.7	5 3.3	-	5 3.3
週に1～2日	108 100.0	70 64.8	54 50.0	32 29.6	7 6.5	26 24.1	13 12.0	48 44.4	12 11.1	34 31.5	11 10.2	33 30.6	2 1.9	-	3 2.8
週1日未満	45 100.0	29 64.4	27 60.0	15 33.3	6 13.3	7 15.6	5 11.1	31 68.9	5 11.1	11 24.4	4 8.9	12 26.7	-	3 6.7	-
ほとんど行っていない	87 100.0	43 49.4	37 42.5	23 26.4	13 14.9	13 14.9	9 10.3	45 51.7	19 21.8	33 37.9	8 9.2	19 21.8	3 3.4	3 3.4	3 3.4

実施頻度別にみると、「身近で気軽に使える施設があれば」は週に3日以上で約7割と多くなっている。また、「安く使える施設があれば」は週1日未満で約6割と多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

（４）運動・スポーツの団体について

問9 現在、運動・スポーツの団体（チーム、クラブ、サークル等）に所属していますか。
（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



運動・スポーツ団体への所属状況では、「どこにも所属していない」が70.5%で最も高くなっているが、所属していると回答した人の中では「地域の仲間のチームやクラブ、サークル」が12.1%で最も高く、次いで「フィットネスクラブ・ジム」が7.1%、「学校や職場のチームやクラブ、サークル」が2.0%となっている。

過去との比較でみると、所属している人は全体的に減少傾向にあるといえる。

※平成21年、26年調査では「フィットネスクラブ・ジム」を「民間のスポーツクラブ」と表現していた。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	学校や職場のチームやサークル	地域の仲間のチームやサークル	フィットネスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	その他	どこにも所属していない	無回答
全体	397 100.0	8 2.0	48 12.1	28 7.1	5 1.3	13 3.3	280 70.5	23 5.8
男性	164 100.0	8 4.9	19 11.6	9 5.5	2 1.2	6 3.7	118 72.0	7 4.3
女性	228 100.0	-	28 12.3	19 8.3	3 1.3	7 3.1	160 70.2	14 6.1

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じになっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	や学校やクラブ、職場のサークル	や地域の仲間、サークル	フィットネスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	その他	どこにも所属していない	無回答
全体	397 100.0	8 2.0	48 12.1	28 7.1	5 1.3	13 3.3	280 70.5	23 5.8
20代	32 100.0	3 9.4	2 6.3	5 15.6	-	1 3.1	22 68.8	-
30代	37 100.0	1 2.7	3 8.1	1 2.7	1 2.7	1 2.7	31 83.8	-
40代	75 100.0	2 2.7	7 9.3	3 4.0	-	3 4.0	61 81.3	1 1.3
50代	71 100.0	-	6 8.5	13 18.3	1 1.4	1 1.4	50 70.4	2 2.8
60代	78 100.0	-	10 12.8	3 3.8	2 2.6	1 1.3	58 74.4	5 6.4
70歳以上	92 100.0	2 2.2	19 20.7	2 2.2	1 1.1	6 6.5	51 55.4	12 13.0

年代別にみると、「地域の仲間のチームやクラブ、サークル」は70歳以上で2割を超えている。また、「どこにも所属していない」は30代と40代で8割台と多くなっている。

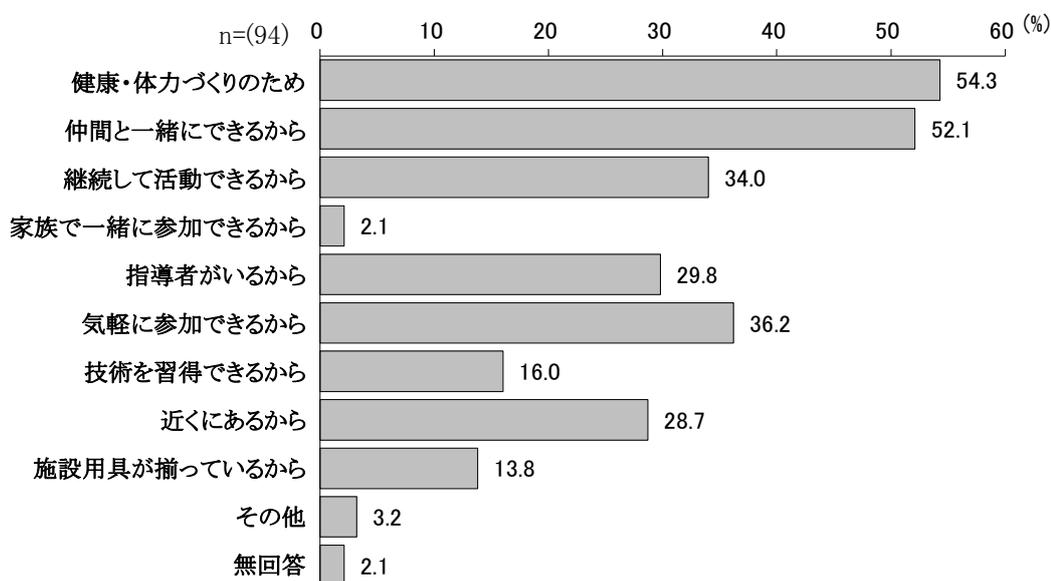
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	や学校やクラブ、職場のサークル	や地域の仲間、サークル	フィットネスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	その他	どこにも所属していない	無回答
全体	397 100.0	8 2.0	48 12.1	28 7.1	5 1.3	13 3.3	280 70.5	23 5.8
週に3日以上	152 100.0	3 2.0	21 13.8	14 9.2	1 0.7	6 3.9	97 63.8	12 7.9
週に1～2日	108 100.0	2 1.9	19 17.6	12 11.1	3 2.8	7 6.5	69 63.9	2 1.9
週1日未満	45 100.0	2 4.4	7 15.6	2 4.4	1 2.2	-	33 73.3	-
ほとんど行っていない	87 100.0	1 1.1	1 1.1	-	-	-	79 90.8	6 6.9

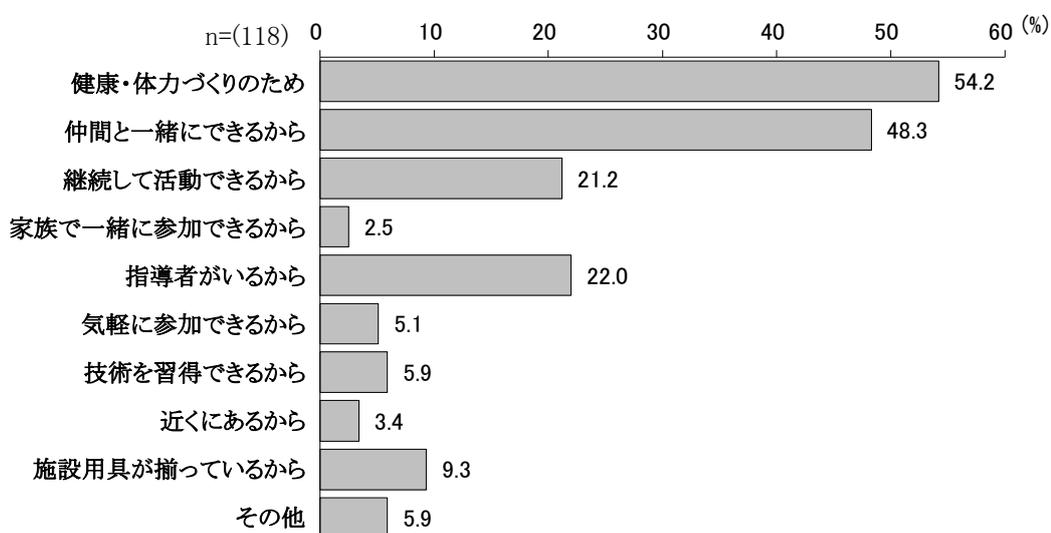
実施頻度別では特に大きな差はみられないが、週に3日以上と週に1～2日で運動・スポーツを実施している人でも、6割以上が「どこにも所属していない」と回答している。

問10 チームやクラブ、サークルに所属している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問9でいずれかの団体に○をつけた方のみ】



チームやクラブ、サークルに所属している理由では、「健康・体力づくりのため」が54.3%で最も高く、次いで「仲間と一緒にできるから」が52.1%、「気軽に参加できるから」が36.2%、「継続して活動できるから」が34.0%、「指導者がいるから」が29.8%となっている。

【参考】平成26年の結果



【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康・体力づくりのため	仲間と一緒にできるから	継続して活動できるから	家族と一緒に参加できるから	指導者がいるから	気軽に参加できるから	技術を習得できるから	近くにあるから	施設用具が揃っているから	その他	無回答
全体	94 100.0	51 54.3	49 52.1	32 34.0	2 2.1	28 29.8	34 36.2	15 16.0	27 28.7	13 13.8	3 3.2	2 2.1
男性	39 100.0	18 46.2	19 48.7	11 28.2	2 5.1	7 17.9	11 28.2	4 10.3	8 20.5	6 15.4	3 7.7	1 2.6
女性	54 100.0	32 59.3	29 53.7	21 38.9	-	21 38.9	23 42.6	11 20.4	18 33.3	7 13.0	-	1 1.9

性別にみると、「健康・体力づくりのため」は女性で6割近くと多く、男性よりも13.1ポイント高くなっている。また、「気軽に参加できるから」は女性で4割を超えて多く、男性よりも14.4ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康・体力づくりのため	仲間と一緒にできるから	継続して活動できるから	家族と一緒に参加できるから	指導者がいるから	気軽に参加できるから	技術を習得できるから	近くにあるから	施設用具が揃っているから	その他	無回答
全体	94 100.0	51 54.3	49 52.1	32 34.0	2 2.1	28 29.8	34 36.2	15 16.0	27 28.7	13 13.8	3 3.2	2 2.1
20代	10 100.0	3 30.0	6 60.0	4 40.0	-	3 30.0	3 30.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-
30代	6 100.0	2 33.3	5 83.3	1 16.7	-	-	2 33.3	-	-	1 16.7	-	1 16.7
40代	13 100.0	3 23.1	6 46.2	2 15.4	2 15.4	4 30.8	5 38.5	3 23.1	8 61.5	2 15.4	-	-
50代	19 100.0	13 68.4	5 26.3	8 42.1	-	10 52.6	2 10.5	4 21.1	3 15.8	5 26.3	1 5.3	-
60代	15 100.0	12 80.0	9 60.0	5 33.3	-	3 20.0	6 40.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7	1 6.7	-
70歳以上	29 100.0	16 55.2	17 58.6	12 41.4	-	8 27.6	16 55.2	5 17.2	8 27.6	2 6.9	1 3.4	1 3.4

年代別では回答者数が少ないため図示するに留めるが、回答傾向として「健康・体力づくりのため」は50代と60代、「仲間と一緒にできるから」は20～30代と70歳以上で多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

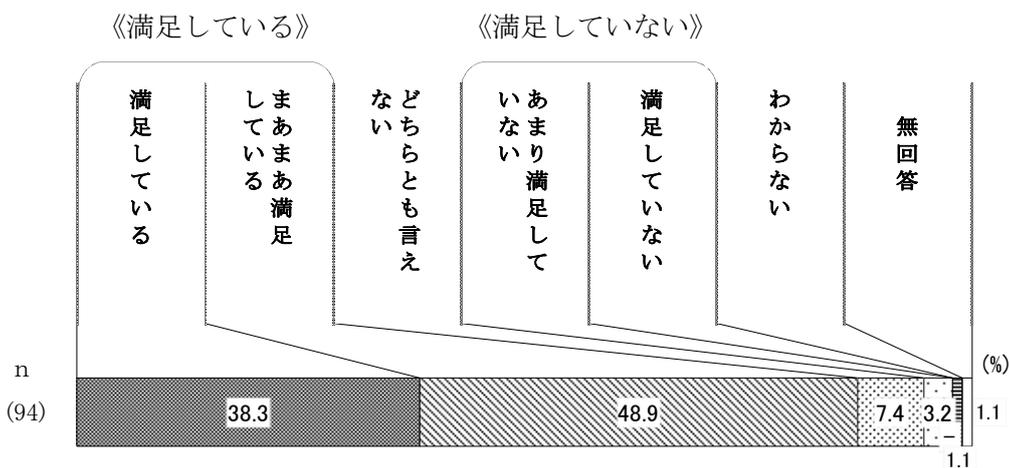
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康・体力づくりのため	仲間と一緒にできるから	継続して活動できるから	家族と一緒に参加できるから	指導者がいるから	気軽に参加できるから	技術を習得できるから	近くにあるから	施設用具が揃っているから	その他	無回答
全体	94	51	49	32	2	28	34	15	27	13	3	2
	100.0	54.3	52.1	34.0	2.1	29.8	36.2	16.0	28.7	13.8	3.2	2.1
週に3日以上	43	30	26	19	-	16	16	8	10	7	1	1
	100.0	69.8	60.5	44.2	-	37.2	37.2	18.6	23.3	16.3	2.3	2.3
週に1～2日	37	17	15	11	2	10	12	6	12	4	1	-
	100.0	45.9	40.5	29.7	5.4	27.0	32.4	16.2	32.4	10.8	2.7	-
週1日未満	12	4	7	2	-	2	6	1	5	1	-	1
	100.0	33.3	58.3	16.7	-	16.7	50.0	8.3	41.7	8.3	-	8.3
ほとんど行っていない	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-

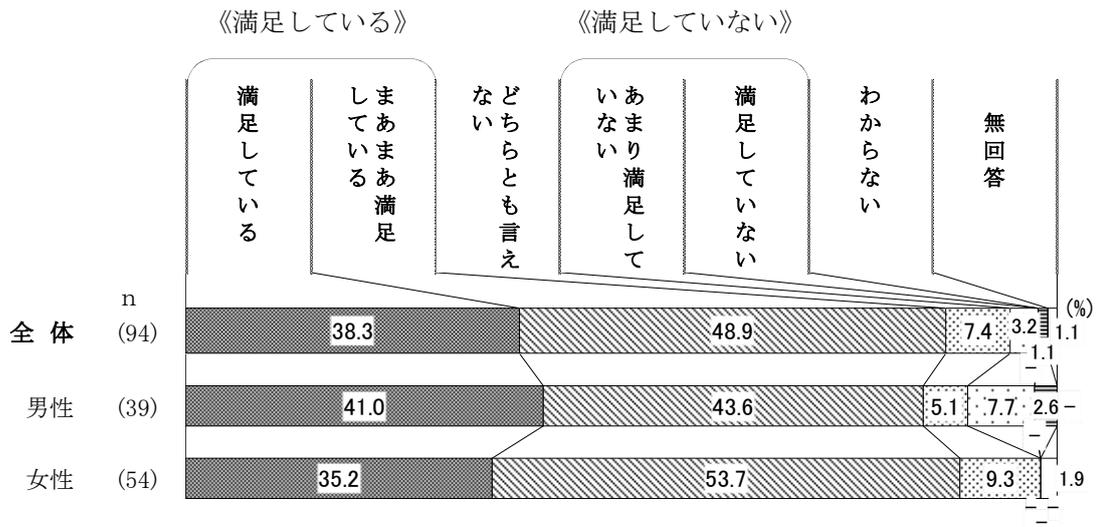
実施頻度別にみると、上位2項目は全体と同じ傾向になっている。また、「健康・体力づくりのため」は週に3日以上で約7割と特に多くなっている。

問11 チームやクラブ、サークルの活動について満足していますか。【問9でいずれかの団体に○をつけた方のみ】



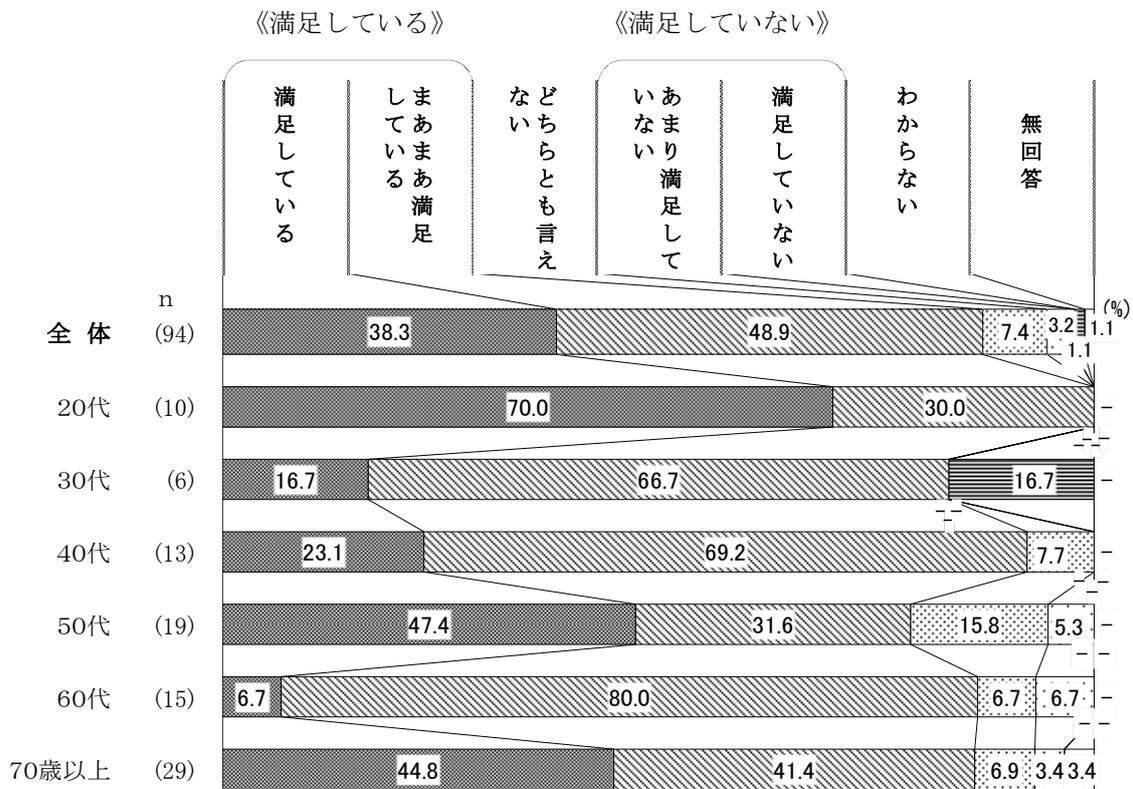
チームやクラブ、サークルの活動への満足度では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた《満足している》は87.2%と9割近くを占めており、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた《満足していない》は3.2%となっている。

【性別】



性別にみると、《満足している》は男女ともに8割を超えている。

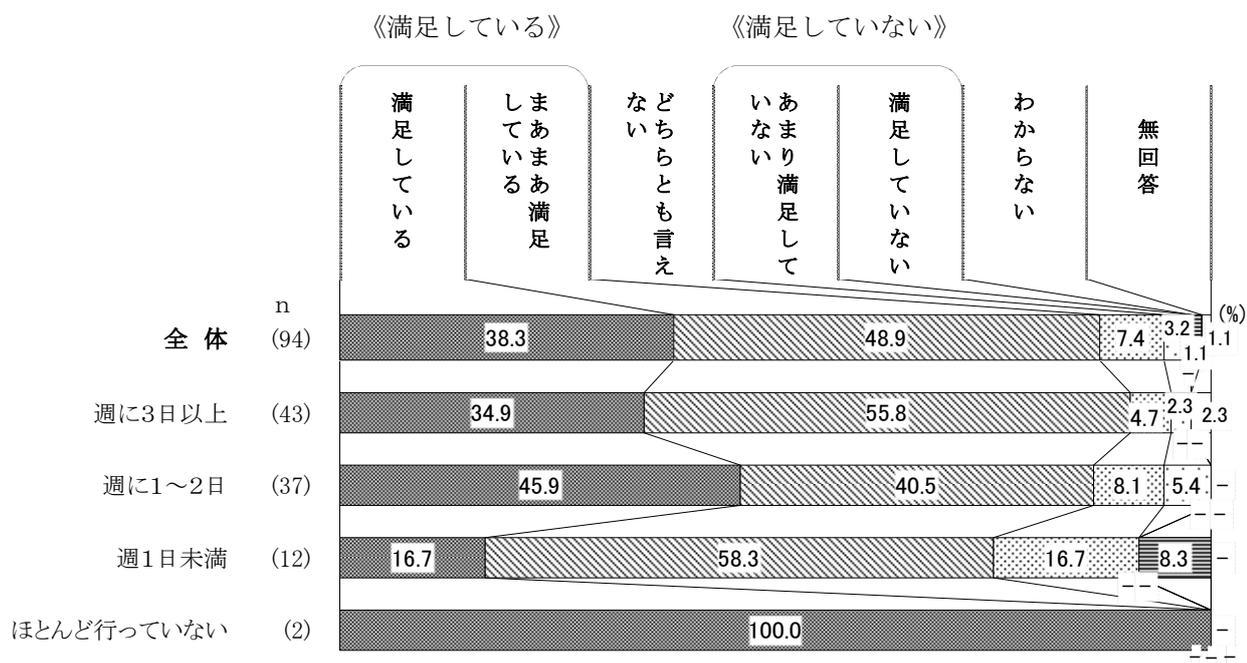
【年代別】



年代別ではそれぞれの回答者数が少ないため図示するに留めるが、回答傾向として《満足している》がどの年代でも7割以上となっている。

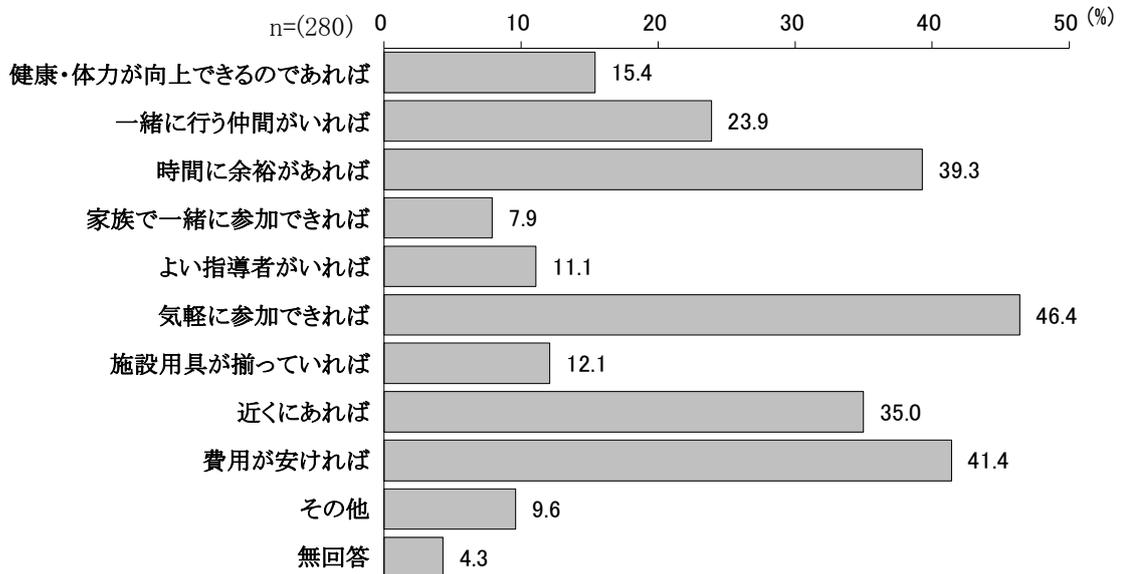
Ⅲ 調査結果（市民）

【実施頻度別】



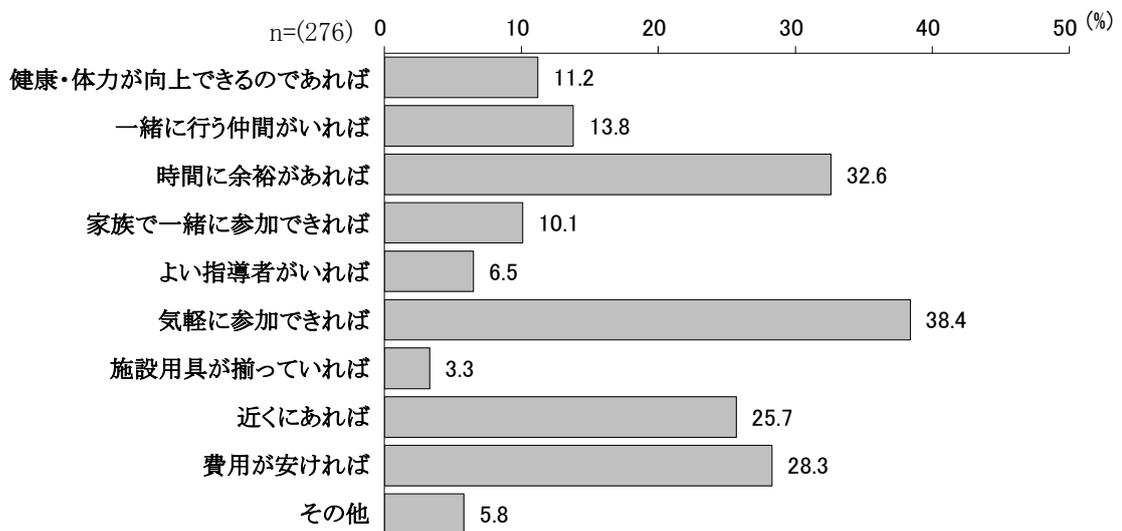
実施頻度別にみると、《満足している》は週に3日以上で9割を超えて多くなっている。

問12 どのような状況であれば所属したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【問9で「どこにも所属していない」に○をつけた方のみ】



チームなどに所属したいと思える状況では、「気軽に参加できれば」が46.4%で最も高く、次いで「費用が安ければ」が41.4%、「時間に余裕があれば」が39.3%、「近くにあれば」が35.0%、「一緒に行く仲間がいれば」が23.9%となっている。

【参考】平成26年の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康 の 体力が 向上 でき れば	一 緒に 行く 仲間 がい れば	時 間に 余裕 があ れば	家 族で 一緒 に参 加で き れば	よ い指 導者 がい れば	気 軽に 参加 でき れば	施 設用 具が 揃っ てい れば	近 くに あ れば	費 用が 安 けれ ば	そ の 他	無 回 答
全 体	280 100.0	43 15.4	67 23.9	110 39.3	22 7.9	31 11.1	130 46.4	34 12.1	98 35.0	116 41.4	27 9.6	12 4.3
男性	118 100.0	21 17.8	40 33.9	43 36.4	6 5.1	16 13.6	55 46.6	18 15.3	38 32.2	43 36.4	11 9.3	4 3.4
女性	160 100.0	21 13.1	27 16.9	67 41.9	16 10.0	14 8.8	73 45.6	16 10.0	58 36.3	72 45.0	16 10.0	8 5.0

性別にみると、上位3項目は男女ともに全体と同じ傾向になっている。また、「費用が安ければ」は女性で4割半ばと多く、男性よりも8.6ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康 の 体力が 向上 でき れば	一 緒に 行く 仲間 がい れば	時 間に 余裕 があ れば	家 族で 一緒 に参 加で き れば	よ い指 導者 がい れば	気 軽に 参加 でき れば	施 設用 具が 揃っ てい れば	近 くに あ れば	費 用が 安 けれ ば	そ の 他	無 回 答
全 体	280 100.0	43 15.4	67 23.9	110 39.3	22 7.9	31 11.1	130 46.4	34 12.1	98 35.0	116 41.4	27 9.6	12 4.3
20代	22 100.0	1 4.5	10 45.5	9 40.9	2 9.1	1 4.5	16 72.7	4 18.2	9 40.9	8 36.4	2 9.1	-
30代	31 100.0	1 3.2	11 35.5	16 51.6	11 35.5	3 9.7	12 38.7	5 16.1	8 25.8	13 41.9	3 9.7	3 9.7
40代	61 100.0	5 8.2	10 16.4	32 52.5	6 9.8	4 6.6	24 39.3	7 11.5	17 27.9	31 50.8	6 9.8	2 3.3
50代	50 100.0	5 10.0	14 28.0	22 44.0	2 4.0	4 8.0	25 50.0	5 10.0	16 32.0	19 38.0	7 14.0	-
60代	58 100.0	15 25.9	14 24.1	12 20.7	1 1.7	12 20.7	26 44.8	10 17.2	25 43.1	24 41.4	3 5.2	1 1.7
70歳以上	51 100.0	13 25.5	7 13.7	16 31.4	-	5 9.8	21 41.2	3 5.9	20 39.2	17 33.3	5 9.8	6 11.8

年代別にみると、「気軽に参加できれば」は50代で約5割と多くなっている。また、「費用が安ければ」は40代で5割を超えて多くなっている。

【実施頻度別】

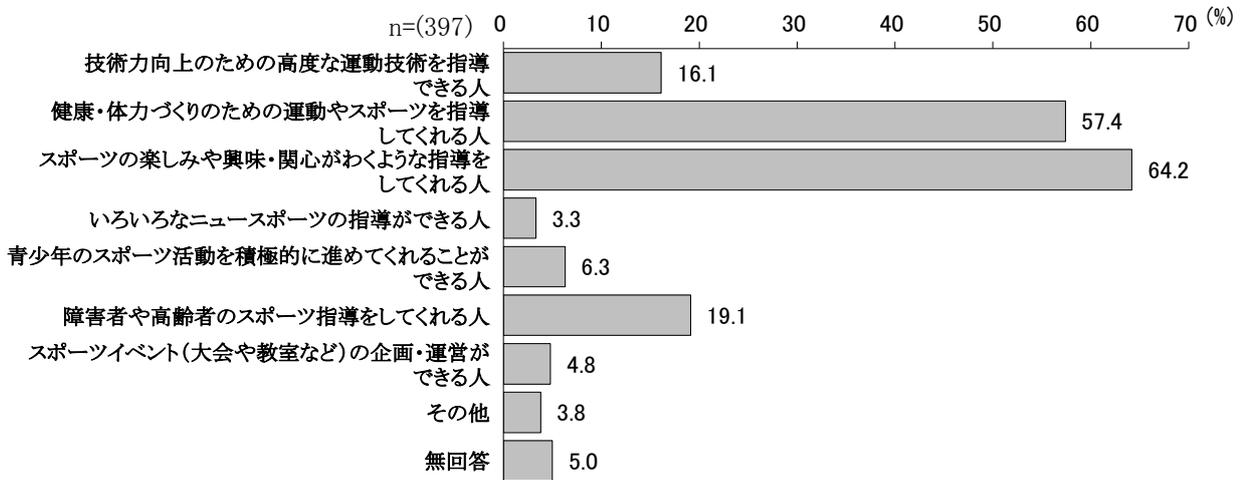
（上段：件数、下段：％）

	調査数	健康 の 体力が 向上 で あれば	一 緒に 行く 仲間 がい れば	時 間に 余裕 があ れば	家 族で 一緒 に参 加で き れば	よ い指 導者 がい れば	気 軽に 参加 でき れば	施 設用 具が 揃っ てい れば	近 くに あ れば	費 用が 安 けれ ば	そ の 他	無 回 答
全 体	280 100.0	43 15.4	67 23.9	110 39.3	22 7.9	31 11.1	130 46.4	34 12.1	98 35.0	116 41.4	27 9.6	12 4.3
週に3日以上	97 100.0	21 21.6	16 16.5	33 34.0	2 2.1	12 12.4	48 49.5	12 12.4	43 44.3	41 42.3	8 8.2	5 5.2
週に1～2日	69 100.0	9 13.0	16 23.2	28 40.6	4 5.8	12 17.4	35 50.7	14 20.3	22 31.9	28 40.6	6 8.7	6 8.7
週1日未満	33 100.0	3 9.1	8 24.2	14 42.4	4 12.1	2 6.1	12 36.4	2 6.1	10 30.3	15 45.5	5 15.2	-
ほとんど行っていない	79 100.0	10 12.7	26 32.9	34 43.0	12 15.2	5 6.3	34 43.0	6 7.6	21 26.6	31 39.2	8 10.1	1 1.3

実施頻度別にみると、「気軽に参加できれば」は週に1～2日で5割を超えて多くなっている。また、「費用が安ければ」は週1日未満で4割半ばと多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

問13 スポーツを行う上で、どのような指導者が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



スポーツを行う上で必要な指導者では、「スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人」が64.2%で最も高く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人」が57.4%、「障害者や高齢者のスポーツ指導をしてくれる人」が19.1%、「技術力向上のための高度な運動技術を指導できる人」が16.1%、「青少年のスポーツ活動を積極的に進めてくれることができる人」が6.3%となっている。

【性別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	高度な運動技術向上のための指導をしてくれる人	健康・体力づくりのための運動を指導してくれる人	スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人	いろいろなニュースポーツの指導ができる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めてくれることができる人	障害者や高齢者のスポーツ指導をしてくれる人	スポーツイベント(大会や教室など)の企画・運営ができる人	その他	無回答
全体	397	64	228	255	13	25	76	19	15	20
	100.0	16.1	57.4	64.2	3.3	6.3	19.1	4.8	3.8	5.0
男性	164	38	91	106	10	16	30	13	6	4
	100.0	23.2	55.5	64.6	6.1	9.8	18.3	7.9	3.7	2.4
女性	228	25	133	148	3	9	45	6	9	15
	100.0	11.0	58.3	64.9	1.3	3.9	19.7	2.6	3.9	6.6

性別にみると、男女ともに上位2項目は全体と同じになっている。また、「技術力向上のための高度な運動技術を指導できる人」は男性で2割を超えて、女性よりも12.2ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

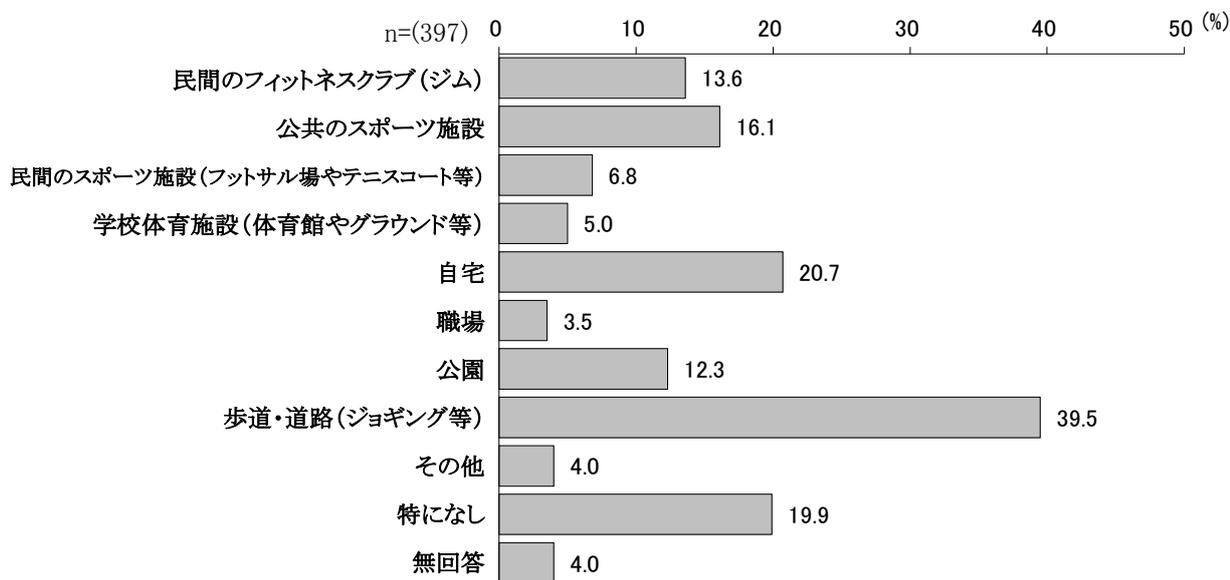
	調査数	高度な運動技術を指導できる人	技術力向上のための指導してくれる人	健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人	スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導してくれる人	スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導ができる人	いろいろなニーズがわかる人	いろいろなニーズがわかる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めてくれる人	障害者や高齢者のスポーツ指導をしてくれる人	障害者や高齢者のスポーツ指導をしてくれる人	画や教室など（大会・運営ができる人）の企画	スポーツイベント（大会や教室など）の企画	その他	無回答
全体	397 100.0	64 16.1	228 57.4	255 64.2	13 3.3	25 6.3	76 19.1	19 4.8	15 3.8	20 5.0					
20代	32 100.0	5 15.6	14 43.8	25 78.1	3 9.4	2 6.3	4 12.5	2 6.3	1 3.1	-					
30代	37 100.0	7 18.9	19 51.4	26 70.3	1 2.7	4 10.8	8 21.6	2 5.4	3 8.1	-					
40代	75 100.0	21 28.0	37 49.3	57 76.0	3 4.0	10 13.3	9 12.0	5 6.7	5 6.7	2 2.7					
50代	71 100.0	13 18.3	42 59.2	45 63.4	3 4.2	3 4.2	4 5.6	4 5.6	3 4.2	4 5.6					
60代	78 100.0	12 15.4	53 67.9	43 55.1	1 1.3	2 2.6	23 29.5	4 5.1	2 2.6	2 2.6					
70歳以上	92 100.0	4 4.3	56 60.9	53 57.6	2 2.2	4 4.3	25 27.2	1 1.1	1 1.1	11 12.0					

年代別にみると、「スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導をしてくれる人」は20代～40代で7割台と多くなっている。また、「健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人」は60代以上で6割台と多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

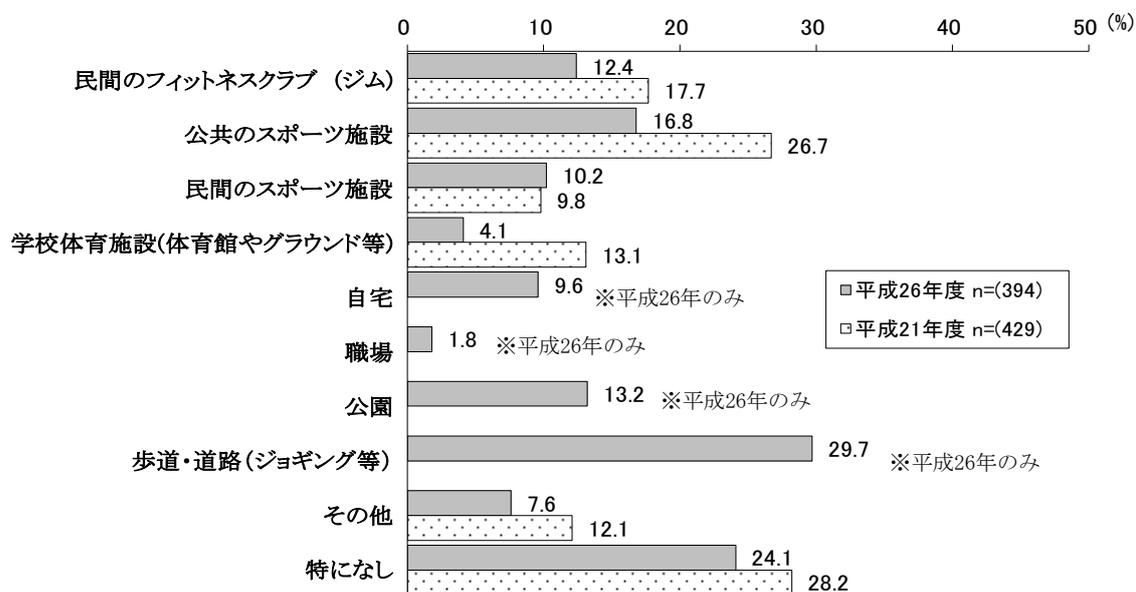
（5）運動・スポーツを行う場所・施設について

問14 主にどのような場所で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



運動・スポーツを主に行う場所では、「歩道・道路（ジョギング等）」が39.5%で最も高く、次いで「自宅」が20.7%、「公共のスポーツ施設」が16.1%、「民間のフィットネスクラブ（ジム）」が13.6%、「公園」が12.3%となっている。

【参考】過去の結果



【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	民間のクラブ（フィットネス）	公共のスポーツ施設	民間のスポーツコート等（フットサル場やテニスコート等）	学校やグラウンド等（体育館やグラウンド等）	自宅	職場	公園	歩道・道路（ジョギング等）	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	54 13.6	64 16.1	27 6.8	20 5.0	82 20.7	14 3.5	49 12.3	157 39.5	16 4.0	79 19.9	16 4.0
男性	164 100.0	17 10.4	31 18.9	21 12.8	7 4.3	27 16.5	6 3.7	25 15.2	71 43.3	6 3.7	32 19.5	1 0.6
女性	228 100.0	37 16.2	32 14.0	6 2.6	13 5.7	54 23.7	8 3.5	22 9.6	84 36.8	10 4.4	47 20.6	14 6.1

性別にみると、「歩道・道路（ジョギング等）」は男性で4割を超えて多く、女性よりも6.5ポイント高くなっている。一方、「自宅」は女性で2割半ばと、男性よりも7.2ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	民間のクラブ（フィットネス）	公共のスポーツ施設	民間のスポーツコート等（フットサル場やテニスコート等）	学校やグラウンド等（体育館やグラウンド等）	自宅	職場	公園	歩道・道路（ジョギング等）	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	54 13.6	64 16.1	27 6.8	20 5.0	82 20.7	14 3.5	49 12.3	157 39.5	16 4.0	79 19.9	16 4.0
20代	32 100.0	5 15.6	2 6.3	6 18.8	4 12.5	3 9.4	2 6.3	4 12.5	10 31.3	-	8 25.0	-
30代	37 100.0	4 10.8	6 16.2	1 2.7	5 13.5	11 29.7	4 10.8	7 18.9	15 40.5	1 2.7	6 16.2	-
40代	75 100.0	10 13.3	13 17.3	5 6.7	3 4.0	17 22.7	2 2.7	6 8.0	34 45.3	3 4.0	13 17.3	2 2.7
50代	71 100.0	18 25.4	14 19.7	4 5.6	-	9 12.7	3 4.2	7 9.9	27 38.0	2 2.8	18 25.4	-
60代	78 100.0	9 11.5	13 16.7	4 5.1	3 3.8	19 24.4	2 2.6	10 12.8	31 39.7	3 3.8	19 24.4	2 2.6
70歳以上	92 100.0	8 8.7	13 14.1	7 7.6	4 4.3	21 22.8	1 1.1	12 13.0	37 40.2	7 7.6	14 15.2	10 10.9

年代別にみると、「歩道・道路（ジョギング等）」は30～40代と70歳以上で4割台と多くなっている。また、「自宅」は30代で約3割となっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

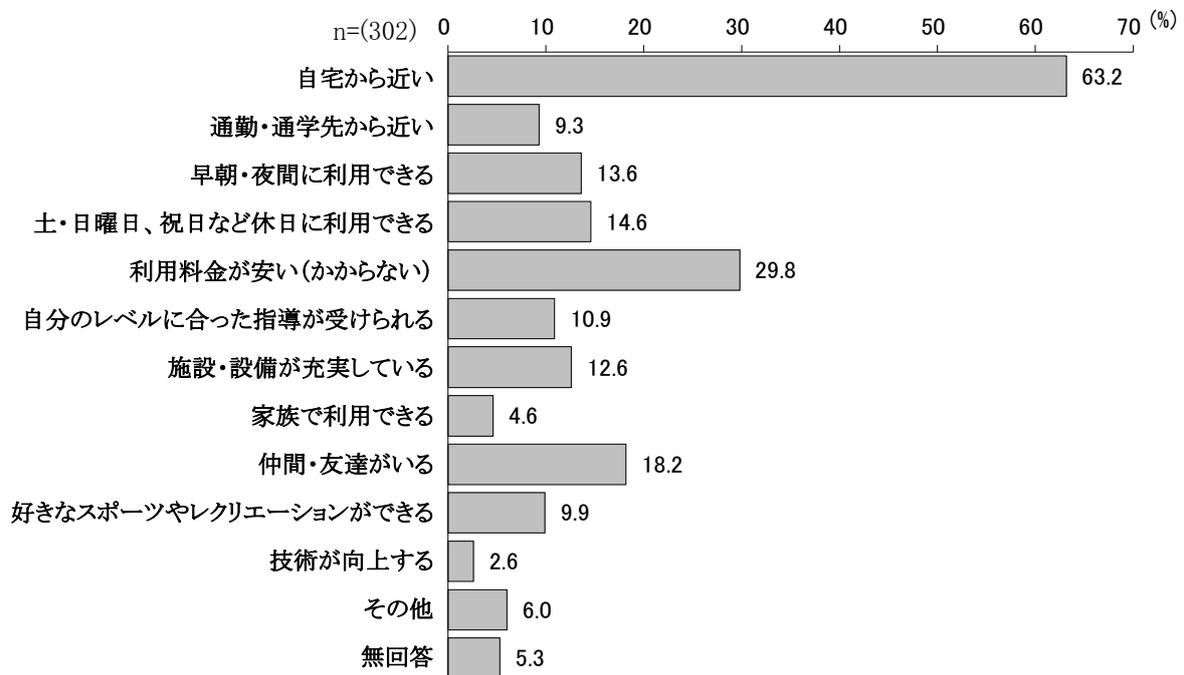
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	民間のフィットネス クラブ（ジム）	公共のスポーツ施設	民間のスポーツ施設 （フットサル場やテニスコート等）	学校体育施設（体育館やグラウンド等）	自宅	職場	公園	歩道・道路（ジョギング等）	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	54 13.6	64 16.1	27 6.8	20 5.0	82 20.7	14 3.5	49 12.3	157 39.5	16 4.0	79 19.9	16 4.0
週に3日以上	152 100.0	23 15.1	23 15.1	11 7.2	5 3.3	40 26.3	7 4.6	26 17.1	86 56.6	5 3.3	9 5.9	6 3.9
週に1～2日	108 100.0	22 20.4	27 25.0	8 7.4	11 10.2	21 19.4	3 2.8	12 11.1	46 42.6	10 9.3	7 6.5	3 2.8
週1日未満	45 100.0	6 13.3	12 26.7	8 17.8	3 6.7	8 17.8	1 2.2	4 8.9	13 28.9	-	7 15.6	-
ほとんど行っていない	87 100.0	2 2.3	2 2.3	-	1 1.1	12 13.8	3 3.4	6 6.9	11 12.6	1 1.1	55 63.2	6 6.9

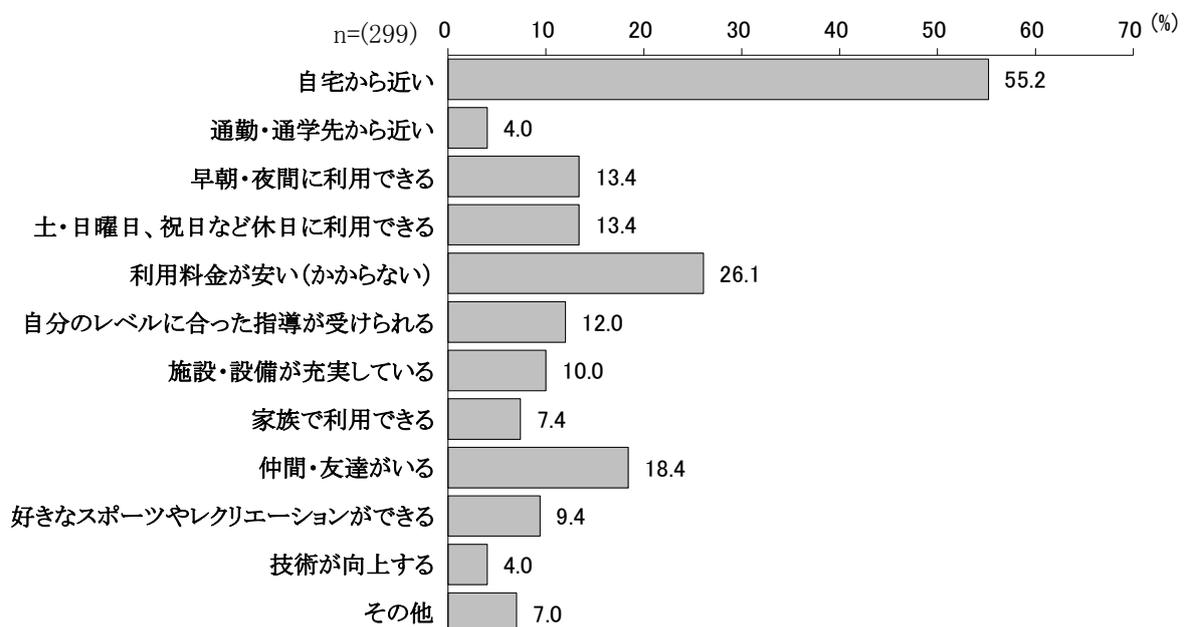
実施頻度別にみると、「歩道・道路（ジョギング等）」は週に3日以上で6割近くと特に多くなっている。また、「公共のスポーツ施設」は週に1～2日と週1日未満で2割台となっている。

問15 その場所を主に利用する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問14でいずれかの場所に○をつけた方のみ】



問14で回答した場所（p. 80）を主に利用する理由では、「自宅から近い」が63.2%で最も高く、次いで「利用料金が安い（かからない）」が29.8%、「仲間・友達がいる」が18.2%、「土・日曜日、祝日など休日に利用できる」が14.6%、「早朝・夜間に利用できる」が13.6%となっている。

【参考】平成26年の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	自宅から近い	通勤・通学先から近い	早期・夜間に利用できる	土・日曜日、祝日などに利用できる	利用料金が安い（かからない）	自分のレベルに合った指導が受けられる	施設・設備が充実している	家族で利用できる	仲間・友達がいる	好きなスポーツやレクリエーションができる	技術が向上する	その他	無回答
全体	302 100.0	191 63.2	28 9.3	41 13.6	44 14.6	90 29.8	33 10.9	38 12.6	14 4.6	55 18.2	30 9.9	8 2.6	18 6.0	16 5.3
男性	131 100.0	80 61.1	15 11.5	18 13.7	26 19.8	41 31.3	9 6.9	15 11.5	3 2.3	21 16.0	13 9.9	4 3.1	8 6.1	5 3.8
女性	167 100.0	109 65.3	13 7.8	23 13.8	18 10.8	48 28.7	24 14.4	22 13.2	11 6.6	33 19.8	17 10.2	4 2.4	10 6.0	9 5.4

性別にみると、男女ともに上位2項目は同じで、「土・日曜日、祝日など休日に利用できる」は男性で約2割と、女性よりも9ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	自宅から近い	通勤・通学先から近い	早期・夜間に利用できる	土・日曜日、祝日などに利用できる	利用料金が安い（かからない）	自分のレベルに合った指導が受けられる	施設・設備が充実している	家族で利用できる	仲間・友達がいる	好きなスポーツやレクリエーションができる	技術が向上する	その他	無回答
全体	302 100.0	191 63.2	28 9.3	41 13.6	44 14.6	90 29.8	33 10.9	38 12.6	14 4.6	55 18.2	30 9.9	8 2.6	18 6.0	16 5.3
20代	24 100.0	13 54.2	6 25.0	5 20.8	6 25.0	7 29.2	2 8.3	3 12.5	-	6 25.0	6 25.0	1 4.2	1 4.2	-
30代	31 100.0	20 64.5	3 9.7	3 9.7	6 19.4	10 32.3	2 6.5	4 12.9	4 12.9	7 22.6	4 12.9	1 3.2	2 6.5	-
40代	60 100.0	38 63.3	7 11.7	13 21.7	10 16.7	22 36.7	5 8.3	4 6.7	5 8.3	4 6.7	8 13.3	2 3.3	1 1.7	2 3.3
50代	53 100.0	33 62.3	8 15.1	5 9.4	11 20.8	14 26.4	6 11.3	11 20.8	2 3.8	8 15.1	1 1.9	1 1.9	1 1.9	3 5.7
60代	57 100.0	37 64.9	2 3.5	5 8.8	6 10.5	12 21.1	6 10.5	3 5.3	-	9 15.8	4 7.0	1 1.8	9 15.8	3 5.3
70歳以上	68 100.0	46 67.6	1 1.5	9 13.2	4 5.9	21 30.9	12 17.6	11 16.2	3 4.4	19 27.9	7 10.3	2 2.9	4 5.9	6 8.8

年代別にみると、「自宅から近い」はほぼすべての年代で6割台となっている。また、「利用料金が安い（かからない）」30～40代と70歳以上で3割台となっており、「仲間・友達がいる」は30代と70歳以上で2割台となっている。

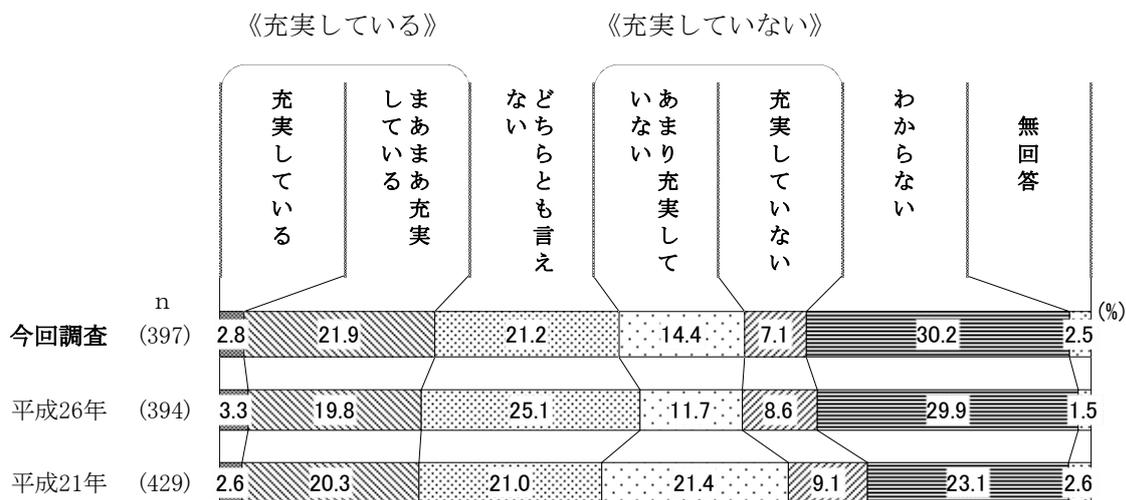
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	自宅から近い	通勤・通学先から近い	早期・夜間に利用できる	土日・日曜日に利用できる	利用料金が安い（かからない）	自分のレベルに合った指導が受けられる	施設・設備が充実している	家族で利用できる	仲間・友達がいる	好きなスポーツやレクリエーションができる	技術が向上する	その他	無回答
全体	302	191	28	41	44	90	33	38	14	55	30	8	18	16
	100.0	63.2	9.3	13.6	14.6	29.8	10.9	12.6	4.6	18.2	9.9	2.6	6.0	5.3
週に3日以上	137	94	13	20	16	34	15	15	4	25	16	4	11	5
	100.0	68.6	9.5	14.6	11.7	24.8	10.9	10.9	2.9	18.2	11.7	2.9	8.0	3.6
週に1～2日	98	65	11	14	18	36	15	20	6	22	8	2	4	5
	100.0	66.3	11.2	14.3	18.4	36.7	15.3	20.4	6.1	22.4	8.2	2.0	4.1	5.1
週1日未満	38	20	2	3	7	16	3	2	3	8	5	1	-	1
	100.0	52.6	5.3	7.9	18.4	42.1	7.9	5.3	7.9	21.1	13.2	2.6	-	2.6
ほとんど行っていない	26	10	2	4	2	4	-	-	1	-	1	1	3	4
	100.0	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4	-	-	3.8	-	3.8	3.8	11.5	15.4

実施頻度別にみると、利用している人の上位3項目は全体と同じ傾向になっており、「自宅から近い」は実施頻度が高いほど割合は高くなっている。一方、「利用料金が安い（かからない）」は実施頻度が低いほど割合は高くなっている。

問16 千葉市は公共や民間も含めスポーツ施設が充実していると思いますか。【全員回答】

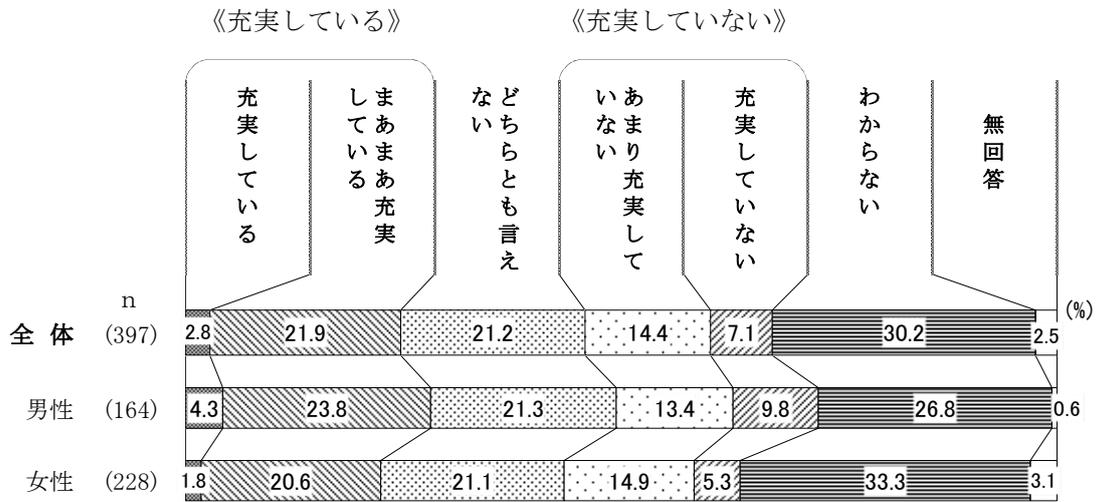


千葉市のスポーツ施設充実度では、「充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた《充実している》は24.7%、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた《充実していない》は21.5%となっている。

過去との比較でみると、《充実している》は年々わずかながら増加している。

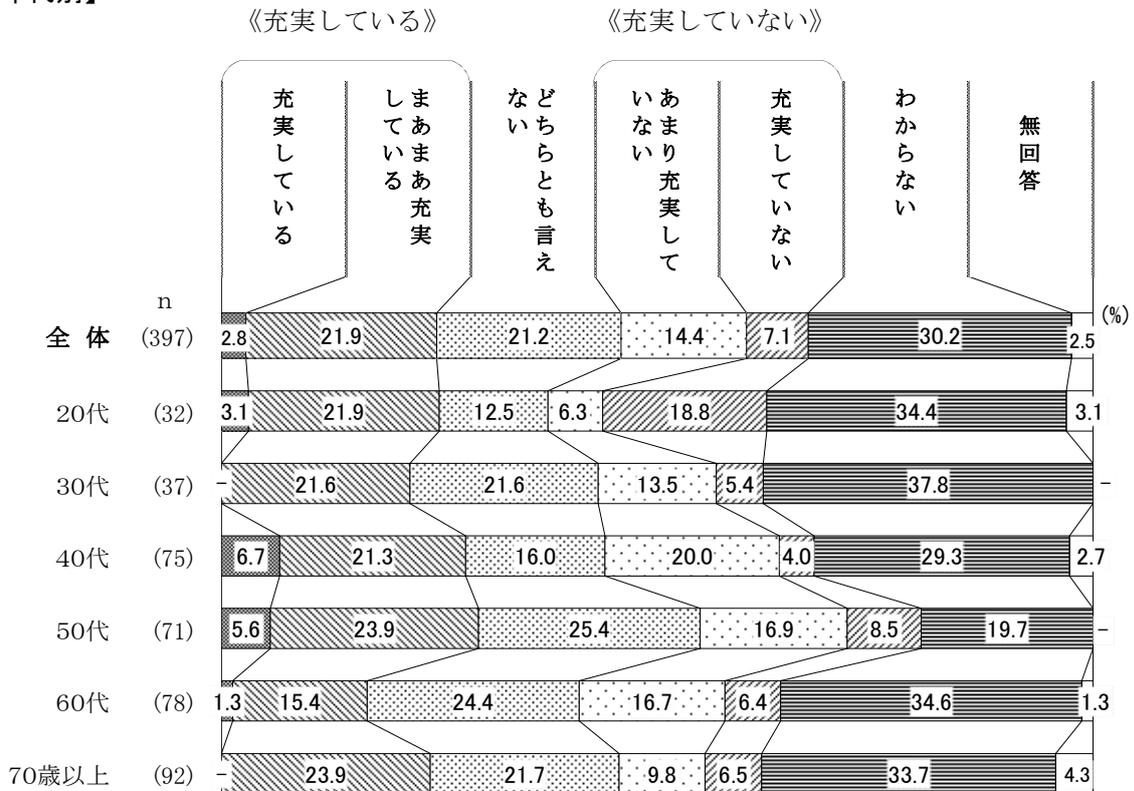
Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】



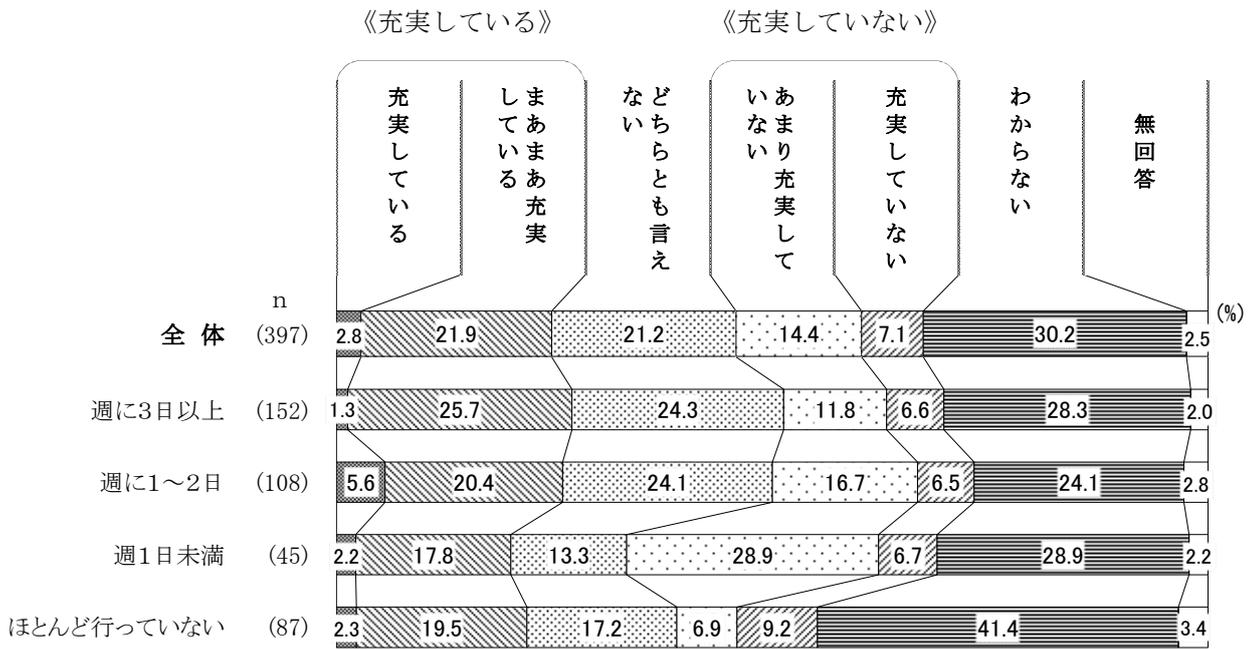
性別にみると、《充実している》は男性で3割近くと、女性よりも5.7ポイント高くなっている。

【年代別】



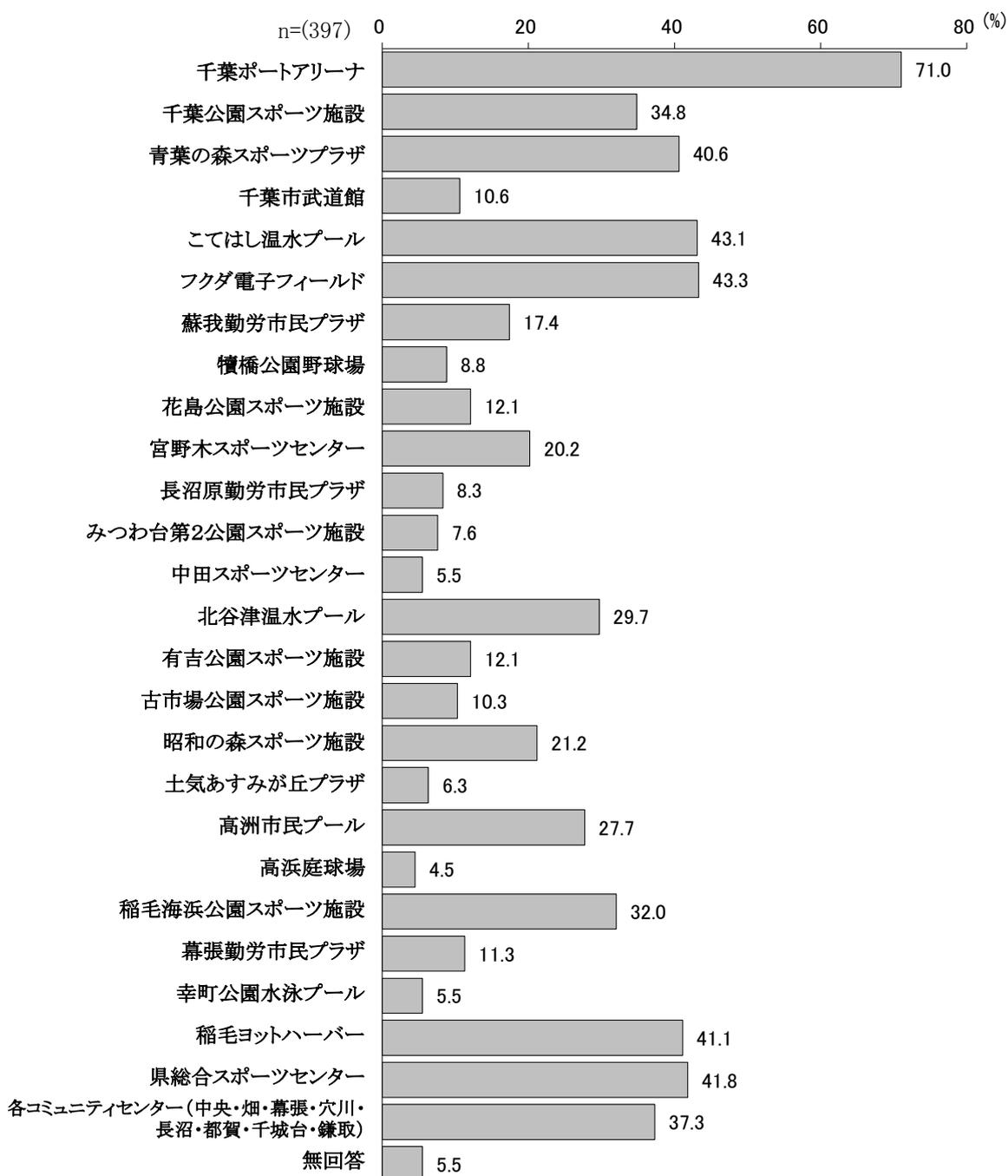
年代別にみると、《充実している》は40～50代で3割近くとなっている。

【実施頻度別】



実施頻度別にみると、頻度が高いほど《充実している》は高くなっている。一方、頻度が低いほど《充実していない》は高くなっている。

問17 次の主な公共スポーツ施設について知っていますか。（知っているものすべてに○）
【全員回答】



公共スポーツ施設の認知度では、「千葉ポートアリーナ」が71.0%で最も高く、次いで「フクダ電子フィールド」が43.3%、「こてはし温水プール」が43.1%、「県総合スポーツセンター」が41.8%、「稲毛ヨットハーバー」が41.1%となっている。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉ポートアリーナ	設 千葉公園スポーツ施	ラ 青葉の森スポーツ	千葉市武道館	こ てはし温水プール	ド フクダ電子フィールド	蘇 我勤労市民プラザ	積 橋公園野球場	設 花島公園スポーツ施	宮 野木スポーツセン	ザ 長沼原勤労市民プラ	ポ みつわ台第2公園ス	中 田スポーツセン	北 谷津温水プール
全 体	397 100.0	282 71.0	138 34.8	161 40.6	42 10.6	171 43.1	172 43.3	69 17.4	35 8.8	48 12.1	80 20.2	33 8.3	30 7.6	22 5.5	118 29.7
男性	164 100.0	115 70.1	58 35.4	66 40.2	23 14.0	73 44.5	78 47.6	25 15.2	24 14.6	24 14.6	36 22.0	15 9.1	12 7.3	11 6.7	51 31.1
女性	228 100.0	165 72.4	78 34.2	93 40.8	19 8.3	96 42.1	93 40.8	44 19.3	11 4.8	23 10.1	44 19.3	18 7.9	18 7.9	11 4.8	66 28.9

	調査数	設 有吉公園スポーツ施	古 市場公園スポーツ	設 昭和の森スポーツ施	ザ 土気あすみが丘プラ	高 洲市民プール	高 浜庭球場	稲 毛海浜公園スポー	幕 張勤労市民プラザ	幸 町公園水泳プール	稲 毛ヨットハーバ	タ ー 県総合スポーツセン	各 共 ・ 煙 ・ 幕 張 ・ 穴 川 ・ 長 沼 ・ 都 賀 ・ 千 城 台 ・ 鎌 取	無 回 答
全 体	397 100.0	48 12.1	41 10.3	84 21.2	25 6.3	110 27.7	18 4.5	127 32.0	45 11.3	22 5.5	163 41.1	166 41.8	148 37.3	22 5.5
男性	164 100.0	22 13.4	18 11.0	40 24.4	14 8.5	44 26.8	7 4.3	62 37.8	16 9.8	7 4.3	74 45.1	78 47.6	59 36.0	7 4.3
女性	228 100.0	26 11.4	23 10.1	44 19.3	11 4.8	65 28.5	11 4.8	65 28.5	29 12.7	15 6.6	88 38.6	87 38.2	88 38.6	12 5.3

性別にみると、「千葉ポートアリーナ」は男女ともに7割台と多くなっている。また、「フクダ電子フィールド」は男性で5割近くと、女性よりも6.8ポイント高くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【年代別】

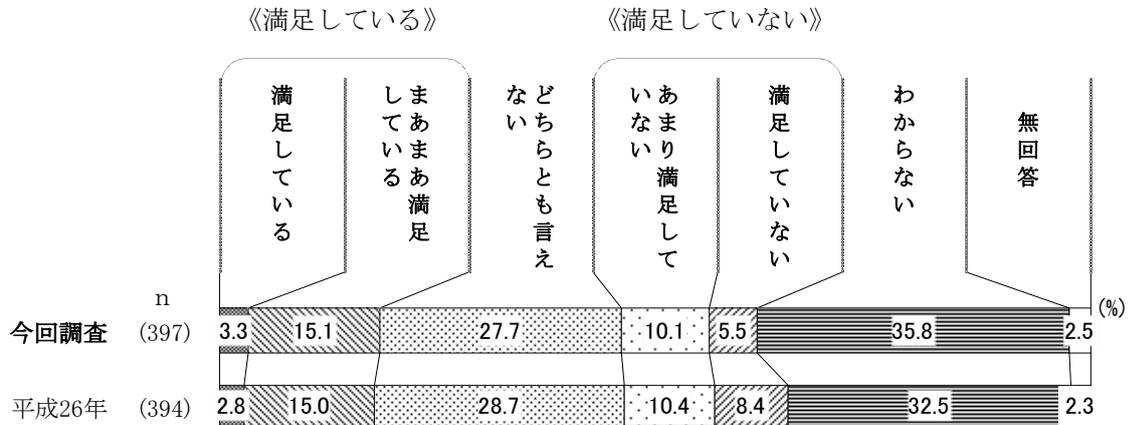
（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉ポートアリーナ	設 千葉公園スポーツ施	青 葉の森スポーツ	千葉市武道館	こ てはし温水プール	ド クダ電子フィールド	蘇 我勤労市民プラザ	檜 橋公園野球場	設 花島公園スポーツ施	宮 野木スポーツセン	長 沼原勤労市民プラ	み つわ台第2公園ス	中 田スポーツセン	北 谷津温水プール
全体	397 100.0	282 71.0	138 34.8	161 40.6	42 10.6	171 43.1	172 43.3	69 17.4	35 8.8	48 12.1	80 20.2	33 8.3	30 7.6	22 5.5	118 29.7
20代	32 100.0	22 68.8	12 37.5	19 59.4	2 6.3	17 53.1	20 62.5	5 15.6	1 3.1	2 6.3	7 21.9	3 9.4	3 9.4	-	3 9.4
30代	37 100.0	24 64.9	13 35.1	18 48.6	3 8.1	16 43.2	18 48.6	5 13.5	-	7 18.9	7 18.9	1 2.7	2 5.4	1 2.7	14 37.8
40代	75 100.0	58 77.3	33 44.0	32 42.7	8 10.7	42 56.0	40 53.3	14 18.7	10 13.3	11 14.7	14 18.7	10 13.3	8 10.7	4 5.3	21 28.0
50代	71 100.0	54 76.1	27 38.0	26 36.6	12 16.9	37 52.1	37 52.1	10 14.1	10 14.1	11 15.5	21 29.6	7 9.9	5 7.0	5 7.0	23 32.4
60代	78 100.0	57 73.1	26 33.3	28 35.9	7 9.0	29 37.2	25 32.1	14 17.9	4 5.1	4 5.1	15 19.2	4 5.1	6 7.7	4 5.1	25 32.1
70歳以上	92 100.0	58 63.0	23 25.0	30 32.6	8 8.7	23 25.0	29 31.5	20 21.7	8 8.7	11 12.0	15 16.3	7 7.6	5 5.4	8 8.7	28 30.4

	調査数	設 有吉公園スポーツ施	古 市場公園スポーツ	設 昭和の森スポーツ施	ザ 士気あすみが丘プラ	高 洲市民プール	高 浜庭球場	稲 毛海浜公園スポー	幕 張勤労市民プラザ	幸 町公園水泳プール	稲 毛ヨットハーバー	タ 県総合スポーツセン	各 市・区・市町村・中 央・千葉・長沼・中 都	無 回答
全体	397 100.0	48 12.1	41 10.3	84 21.2	25 6.3	110 27.7	18 4.5	127 32.0	45 11.3	22 5.5	163 41.1	166 41.8	148 37.3	22 5.5
20代	32 100.0	4 12.5	4 12.5	11 34.4	2 6.3	6 18.8	-	9 28.1	2 6.3	1 3.1	9 28.1	11 34.4	9 28.1	2 6.3
30代	37 100.0	3 8.1	3 8.1	8 21.6	1 2.7	13 35.1	1 2.7	13 35.1	4 10.8	-	13 35.1	10 27.0	16 43.2	4 10.8
40代	75 100.0	11 14.7	10 13.3	18 24.0	5 6.7	25 33.3	8 10.7	31 41.3	11 14.7	6 8.0	33 44.0	29 38.7	22 29.3	3 4.0
50代	71 100.0	13 18.3	11 15.5	18 25.4	5 7.0	22 31.0	2 2.8	28 39.4	11 15.5	6 8.5	33 46.5	30 42.3	20 28.2	1 1.4
60代	78 100.0	9 11.5	8 10.3	15 19.2	10 12.8	21 26.9	3 3.8	19 24.4	6 7.7	5 6.4	39 50.0	38 48.7	28 35.9	5 6.4
70歳以上	92 100.0	8 8.7	5 5.4	12 13.0	1 1.1	21 22.8	4 4.3	23 25.0	9 9.8	4 4.3	33 35.9	44 47.8	48 52.2	4 4.3

年代別にみると、「千葉ポートアリーナ」は40代で8割近くと多くなっている。また、「フクダ電子フィールド」は20代で6割を超えて多くなっている。

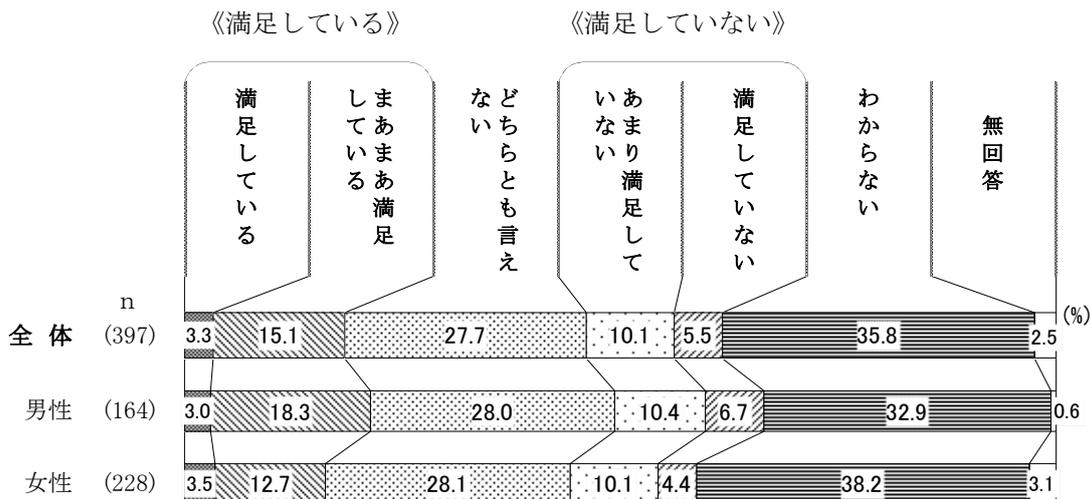
問18 市のスポーツ施設について満足していますか。【全員回答】



市のスポーツ施設への満足度では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた《満足している》は18.4%、「満足していない」と「あまり満足していない」とを合わせた《満足していない》は15.6%となっている。

過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

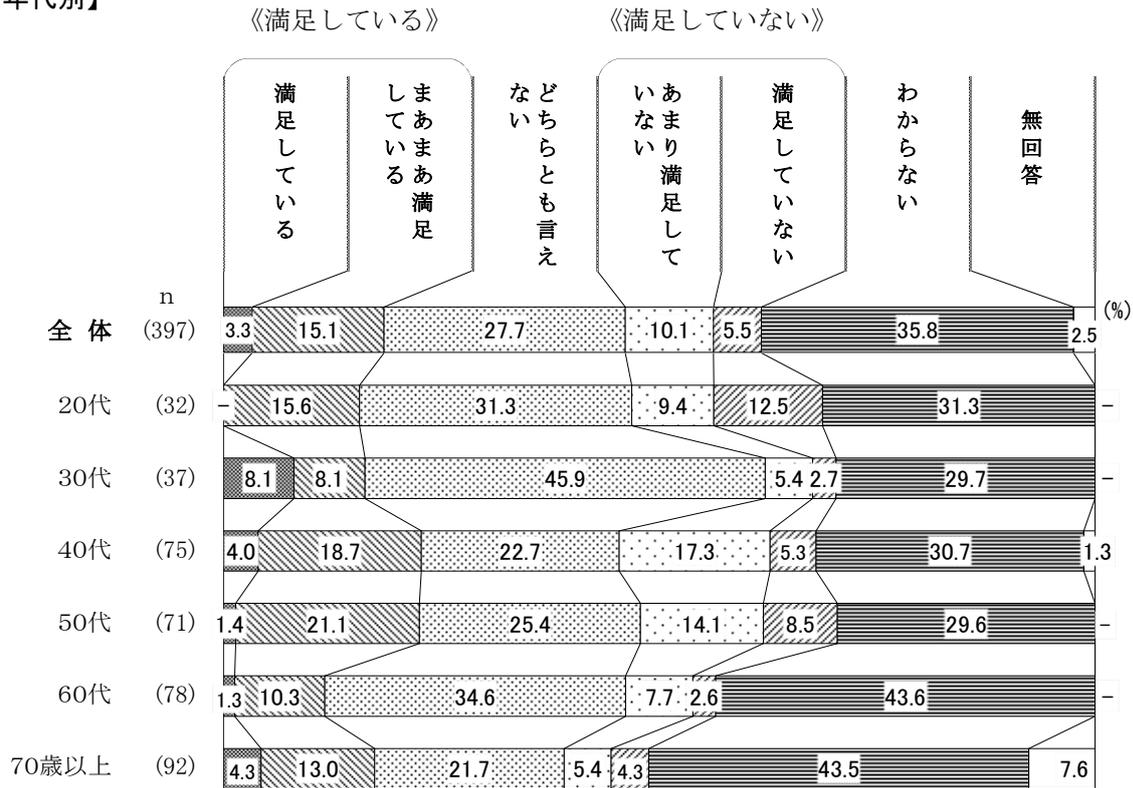
【性別】



性別にみると、《満足している》は男性で2割を超えて、女性よりも5.1ポイント高くなっている。

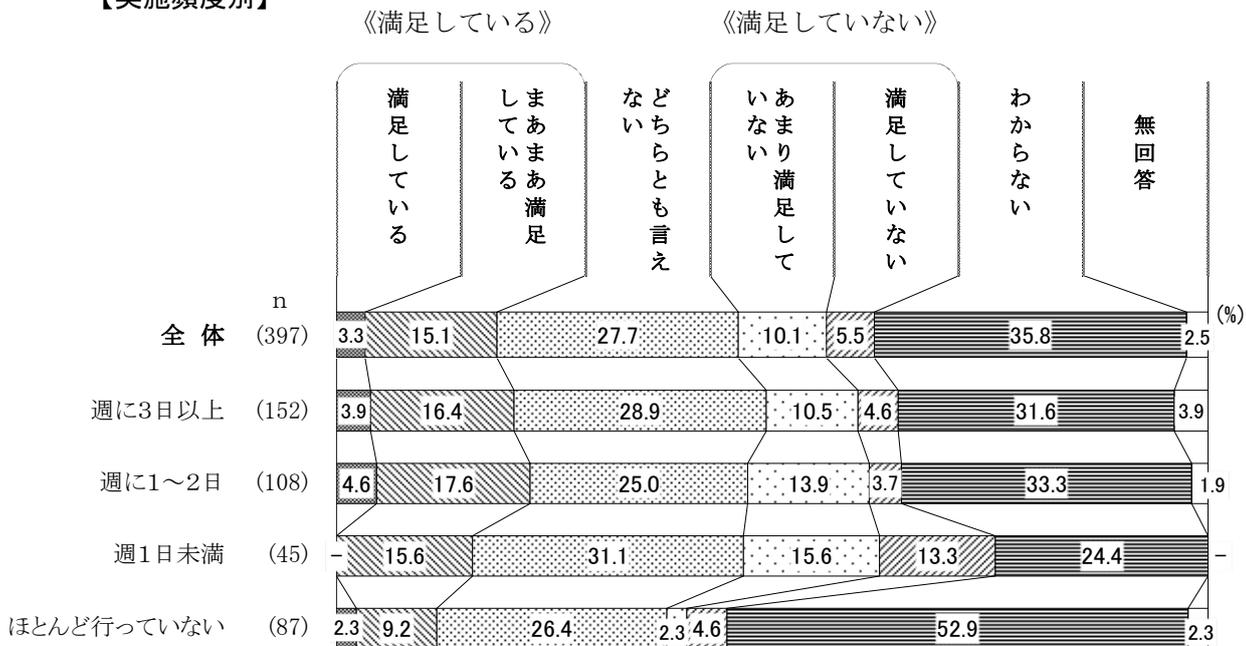
Ⅲ 調査結果（市民）

【年代別】



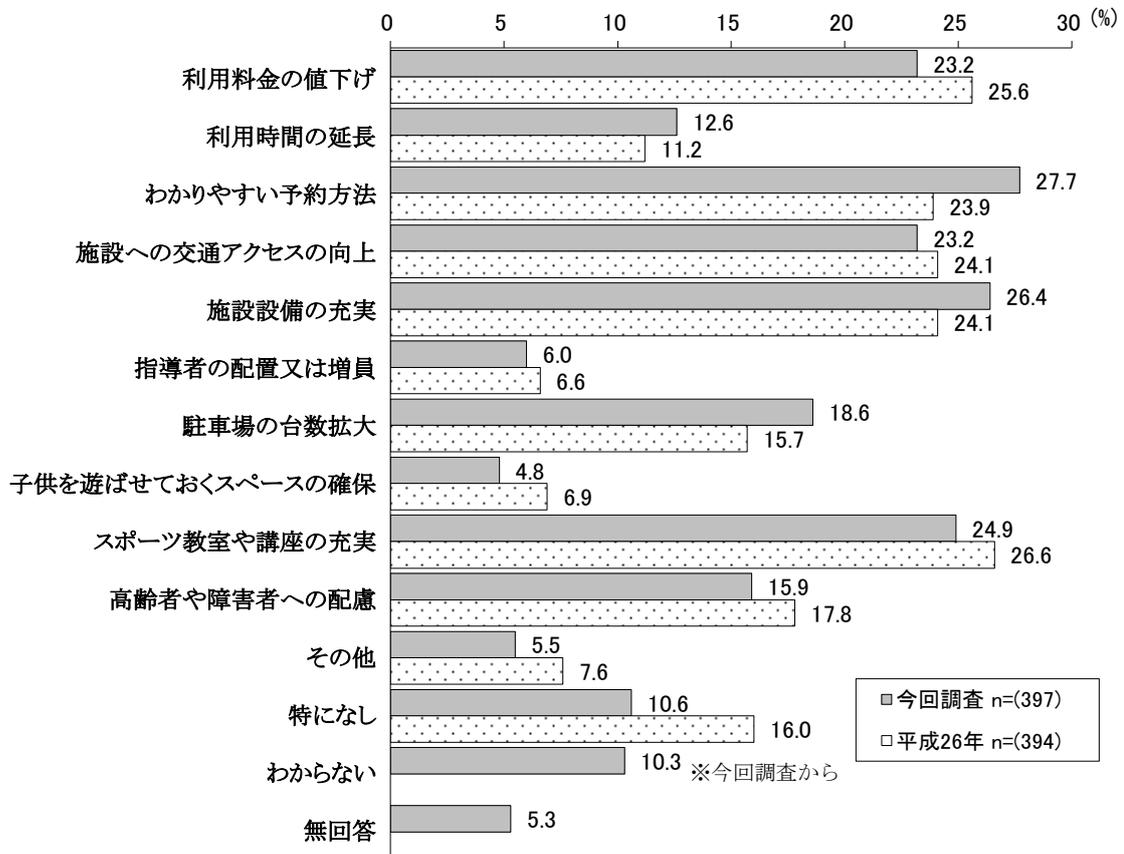
年代別にみると、「満足している」は40～50代で2割台となっている。

【実施頻度別】



実施頻度別にみると、「満足している」は週に3日以上と週に1～2日で2割台となっており、「満足していない」は週1日未満で3割近くとなっている。

問19 市の公共スポーツ施設に望むことはなんですか。（上位3つまで記入）【全員回答】



市の公共スポーツ施設に望むことでは、「わかりやすい予約方法」が27.7%で最も高く、次いで「施設設備の充実」が26.4%、「スポーツ教室や講座の充実」が24.9%、「利用料金の値下げ」、「施設への交通アクセスの向上」が23.2%となっている。

過去との比較でみると、「わかりやすい予約方法」は3.8ポイント、「駐車場の台数拡大」は2.9ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	利用料金の値下げ	利用時間の延長	わかりやすい予約方法	施設への交通アクセス	施設設備の充実	指導者の配置又は増	駐車場の台数拡大	子供を遊ばせておくスペースの確保	スポーツ教室や講座の充実	高齢者や障害者への配慮	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397 100.0	92 23.2	50 12.6	110 27.7	92 23.2	105 26.4	24 6.0	74 18.6	19 4.8	99 24.9	63 15.9	22 5.5	42 10.6	41 10.3	21 5.3
男性	164 100.0	42 25.6	27 16.5	44 26.8	32 19.5	43 26.2	13 7.9	32 19.5	7 4.3	33 20.1	30 18.3	12 7.3	14 8.5	22 13.4	5 3.0
女性	228 100.0	48 21.1	23 10.1	66 28.9	59 25.9	62 27.2	11 4.8	42 18.4	12 5.3	65 28.5	32 14.0	10 4.4	27 11.8	19 8.3	14 6.1

性別にみると、「スポーツ教室や講座の充実」は女性で3割近くと、男性よりも8.4ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	利用料金の値下げ	利用時間の延長	わかりやすい予約方法	施設への交通アクセス	施設設備の充実	指導者の配置又は増	駐車場の台数拡大	子供を遊ばせておくスペースの確保	スポーツ教室や講座の充実	高齢者や障害者への配慮	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397 100.0	92 23.2	50 12.6	110 27.7	92 23.2	105 26.4	24 6.0	74 18.6	19 4.8	99 24.9	63 15.9	22 5.5	42 10.6	41 10.3	21 5.3
20代	32 100.0	11 34.4	6 18.8	11 34.4	13 40.6	9 28.1	2 6.3	1 3.1	3 9.4	2 6.3	2 6.3	1 3.1	3 9.4	2 6.3	2 6.3
30代	37 100.0	7 18.9	8 21.6	8 21.6	10 27.0	15 40.5	2 5.4	7 18.9	8 21.6	11 29.7	4 10.8	3 8.1	2 5.4	3 8.1	1 2.7
40代	75 100.0	24 32.0	13 17.3	26 34.7	20 26.7	29 38.7	4 5.3	20 26.7	5 6.7	14 18.7	2 2.7	5 6.7	3 4.0	8 10.7	2 2.7
50代	71 100.0	18 25.4	13 18.3	23 32.4	16 22.5	21 29.6	5 7.0	16 22.5	1 1.4	22 31.0	2 2.8	4 5.6	6 8.5	9 12.7	2 2.8
60代	78 100.0	14 17.9	6 7.7	19 24.4	16 20.5	19 24.4	6 7.7	16 20.5	2 2.6	25 32.1	25 32.1	4 5.1	11 14.1	6 7.7	1 1.3
70歳以上	92 100.0	14 15.2	4 4.3	20 21.7	14 15.2	7 7.6	5 5.4	14 15.2	-	20 21.7	27 29.3	4 4.3	16 17.4	13 14.1	11 12.0

年代別にみると、「わかりやすい予約方法」は20代と40～50代で3割台となっている。また、「施設設備の充実」は30代で4割を超えて多くなっている。

【実施頻度別】

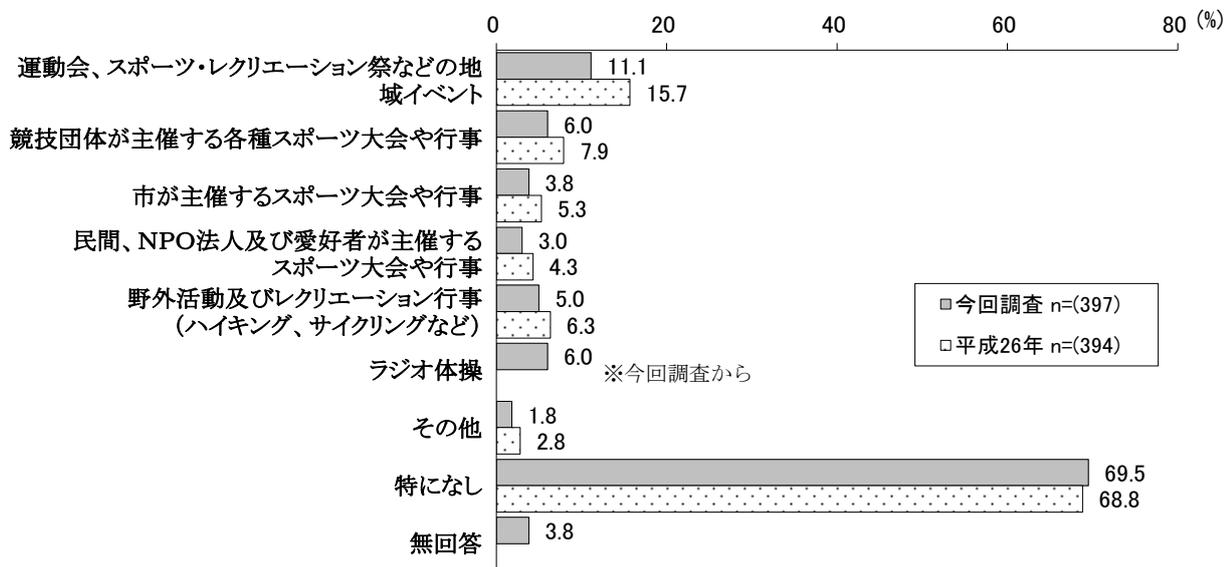
（上段：件数、下段：％）

	調査数	利用料金の値下げ	利用時間の延長	わかりやすい予約方法	施設への交通アクセス	施設設備の充実	指導者の配置又は増	駐車場の台数拡大	子供を遊ばせておくスペースの確保	スポーツ教室や講座の充実	高齢者や障害者への配慮	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397	92	50	110	92	105	24	74	19	99	63	22	42	41	21
	100.0	23.2	12.6	27.7	23.2	26.4	6.0	18.6	4.8	24.9	15.9	5.5	10.6	10.3	5.3
週に3日以上	152	32	13	45	41	35	13	26	5	45	31	8	15	14	11
	100.0	21.1	8.6	29.6	27.0	23.0	8.6	17.1	3.3	29.6	20.4	5.3	9.9	9.2	7.2
週に1～2日	108	23	15	28	29	34	10	19	4	31	17	7	10	9	5
	100.0	21.3	13.9	25.9	26.9	31.5	9.3	17.6	3.7	28.7	15.7	6.5	9.3	8.3	4.6
週1日未満	45	15	10	16	10	16	-	12	4	8	-	4	5	3	1
	100.0	33.3	22.2	35.6	22.2	35.6	-	26.7	8.9	17.8	-	8.9	11.1	6.7	2.2
ほとんど行っていない	87	19	11	20	12	19	1	17	6	14	15	3	11	15	3
	100.0	21.8	12.6	23.0	13.8	21.8	1.1	19.5	6.9	16.1	17.2	3.4	12.6	17.2	3.4

実施頻度別にみると、「わかりやすい予約方法」は週1日未満で3割半ばとなっている。また、「施設設備の充実」は週に1～2日と週1日未満で3割台となっている。

（6）運動・スポーツの行事について

問20 この1年間に、どのような行事に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間に参加した行事では、「特になし」が69.5%で最も高くなっているが、参加したと回答した人の中では、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」が11.1%で最も高く、次いで「競技団体が主催する各種スポーツ大会や行事」、「ラジオ体操」が6.0%、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が5.0%となっている。

過去との比較でみると、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」は平成26年よりも4.6ポイント減少している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント	各種スポーツ大会や行事	競技団体が主催する各種大会や行事	市が主催するスポーツ大会や行事	スポーツ愛好者が主催する大会や行事	民間、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	市民、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	その他	ラジオ体操	野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	44 11.1	24 6.0	15 3.8	12 3.0	20 5.0	24 6.0	7 1.8	276 69.5	15 3.8				
男性	164 100.0	20 12.2	15 9.1	10 6.1	10 6.1	12 7.3	9 5.5	2 1.2	107 65.2	3 1.8				
女性	228 100.0	23 10.1	9 3.9	4 1.8	2 0.9	8 3.5	15 6.6	5 2.2	168 73.7	9 3.9				

性別にみると、「特になし」を除くと男女ともに「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」が最も多くなっている。

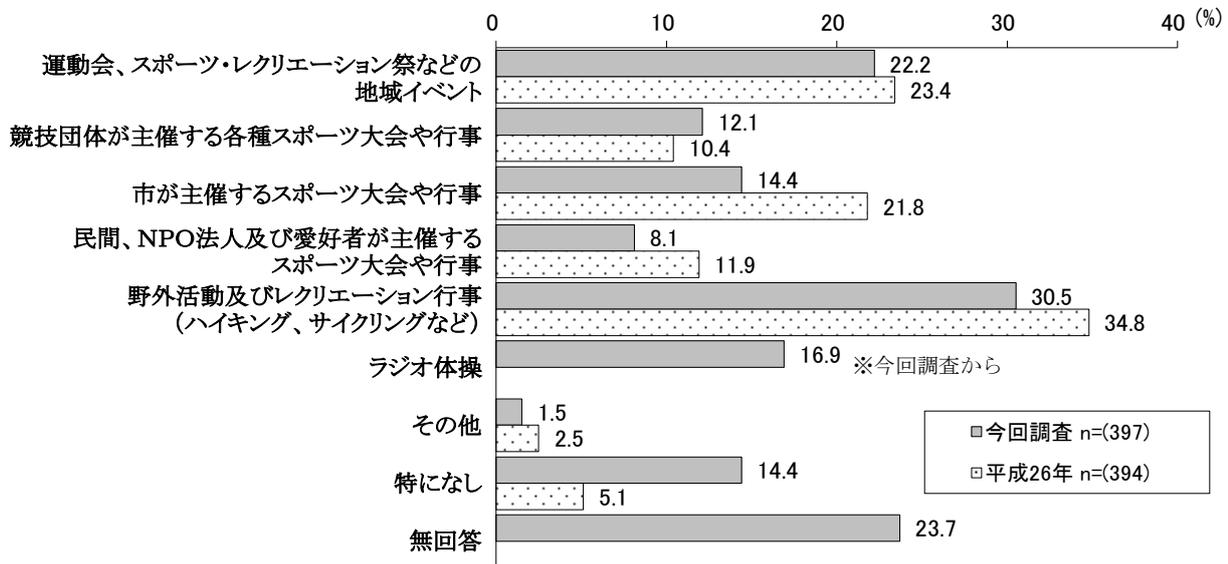
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント	各種スポーツ大会や行事	競技団体が主催する各種大会や行事	市が主催するスポーツ大会や行事	スポーツ愛好者が主催する大会や行事	民間、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	市民、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	その他	ラジオ体操	野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	44 11.1	24 6.0	15 3.8	12 3.0	20 5.0	24 6.0	7 1.8	276 69.5	15 3.8				
20代	32 100.0	1 3.1	7 21.9	3 9.4	2 6.3	2 6.3	-	-	20 62.5	-				
30代	37 100.0	6 16.2	3 8.1	-	2 5.4	2 5.4	1 2.7	1 2.7	25 67.6	-				
40代	75 100.0	6 8.0	6 8.0	4 5.3	2 2.7	1 1.3	2 2.7	-	59 78.7	2 2.7				
50代	71 100.0	7 9.9	2 2.8	1 1.4	1 1.4	6 8.5	3 4.2	4 5.6	48 67.6	2 2.8				
60代	78 100.0	15 19.2	1 1.3	2 2.6	1 1.3	3 3.8	7 9.0	1 1.3	59 75.6	1 1.3				
70歳以上	92 100.0	8 8.7	4 4.3	4 4.3	4 4.3	5 5.4	11 12.0	1 1.1	59 64.1	7 7.6				

年代別にみると、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」は60代で2割近くとなっている。また、「競技団体が主催する各種スポーツ大会や行事」は20代で2割を超えている。

問21 今後、どのような行事に参加したいですか。（問20の選択肢から、上位2つまで記入）
【全員回答】



参加したい行事では、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が30.5%で最も高く、次いで「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」が22.2%、「ラジオ体操」が16.9%、「市が主催するスポーツ大会や行事」が14.4%となっている。

過去との比較でみると、「市が主催するスポーツ大会や行事」は平成26年よりも7.4ポイント減少している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	運動会、スポーツ祭などの地域イベント	レクリエーション行事	各種スポーツ大会や行事	競技団体が主催する大会や行事	市が主催するスポーツ大会や行事	市民、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	民間、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	（ハイキング、サイクリングなど）	野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）	ラジオ体操	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	88 22.2	48 12.1	57 14.4	32 8.1	121 30.5	67 16.9	6 1.5	57 14.4	94 23.7				
男性	164 100.0	41 25.0	23 14.0	25 15.2	24 14.6	49 29.9	26 15.9	1 0.6	21 12.8	35 21.3				
女性	228 100.0	46 20.2	25 11.0	32 14.0	8 3.5	71 31.1	40 17.5	5 2.2	36 15.8	56 24.6				

性別にみると、男女ともに「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が一番多くなっている。

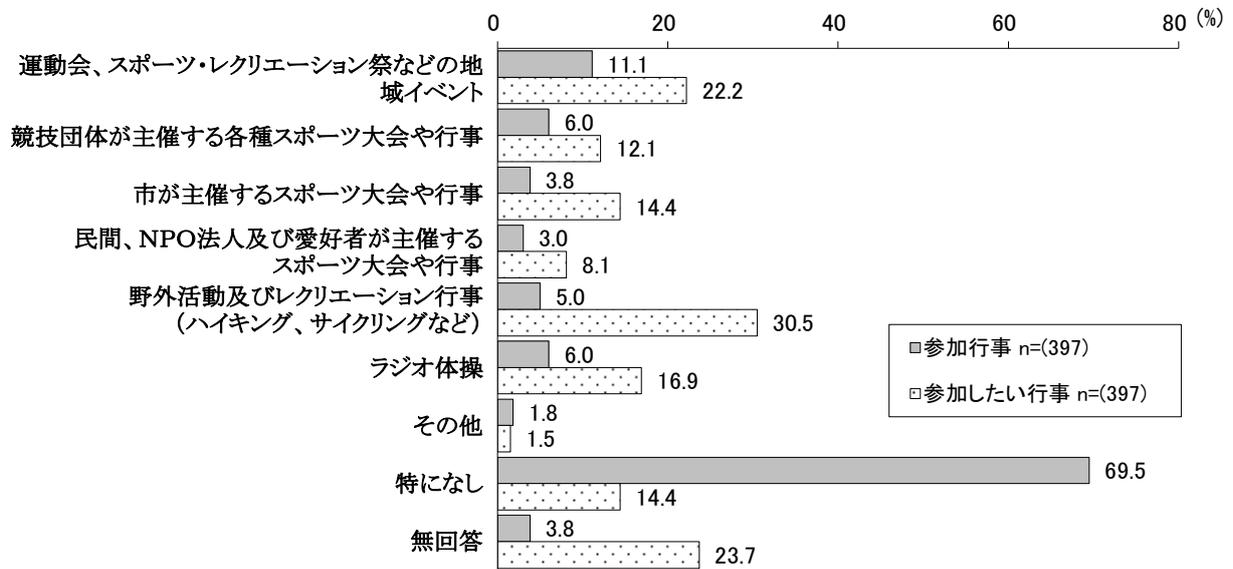
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	運動会、スポーツ祭などの地域イベント	レクリエーション行事	各種スポーツ大会や行事	競技団体が主催する大会や行事	市が主催するスポーツ大会や行事	市民、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	民間、NPO法人及び愛好者が主催する大会や行事	（ハイキング、サイクリングなど）	野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）	ラジオ体操	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	88 22.2	48 12.1	57 14.4	32 8.1	121 30.5	67 16.9	6 1.5	57 14.4	94 23.7				
20代	32 100.0	12 37.5	6 18.8	9 28.1	4 12.5	6 18.8	1 3.1	1 3.1	5 15.6	4 12.5				
30代	37 100.0	6 16.2	7 18.9	4 10.8	4 10.8	9 24.3	5 13.5	1 2.7	10 27.0	6 16.2				
40代	75 100.0	18 24.0	12 16.0	13 17.3	5 6.7	24 32.0	9 12.0	-	16 21.3	12 16.0				
50代	71 100.0	14 19.7	13 18.3	8 11.3	3 4.2	27 38.0	10 14.1	3 4.2	12 16.9	12 16.9				
60代	78 100.0	13 16.7	2 2.6	13 16.7	9 11.5	30 38.5	15 19.2	1 1.3	7 9.0	21 26.9				
70歳以上	92 100.0	22 23.9	8 8.7	8 8.7	6 6.5	21 22.8	24 26.1	-	6 6.5	36 39.1				

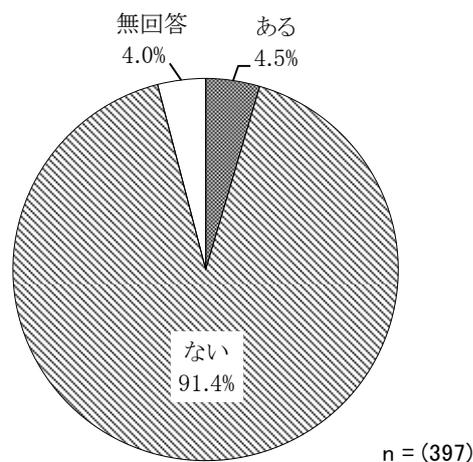
年代別にみると、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント」は20代で4割近くと多くなっている。

【設問比較】参加行事、参加したい行事



いずれの行事も参加割合よりも参加意向割合が多くなっている。特に「野外活動及びレクリエーション行事」については6倍以上の割合となっている。

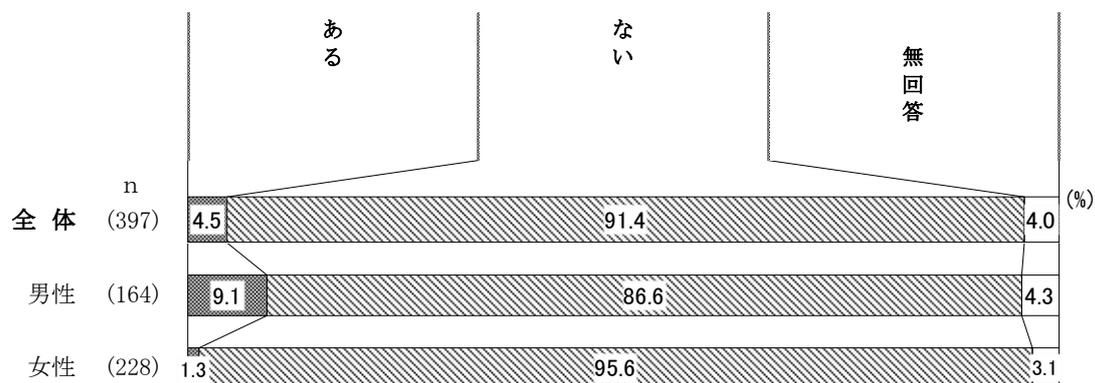
問22 この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。【全員回答】



この1年間のボランティア活動の有無では、「ある」が4.5%、「ない」が91.4%となっている。

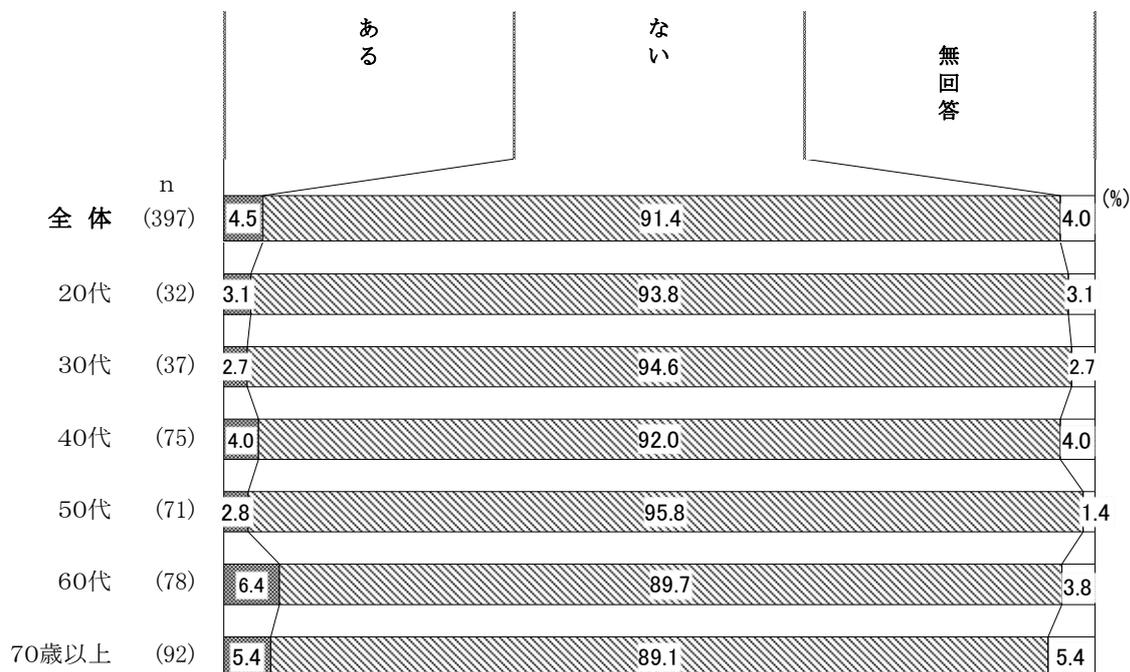
Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】



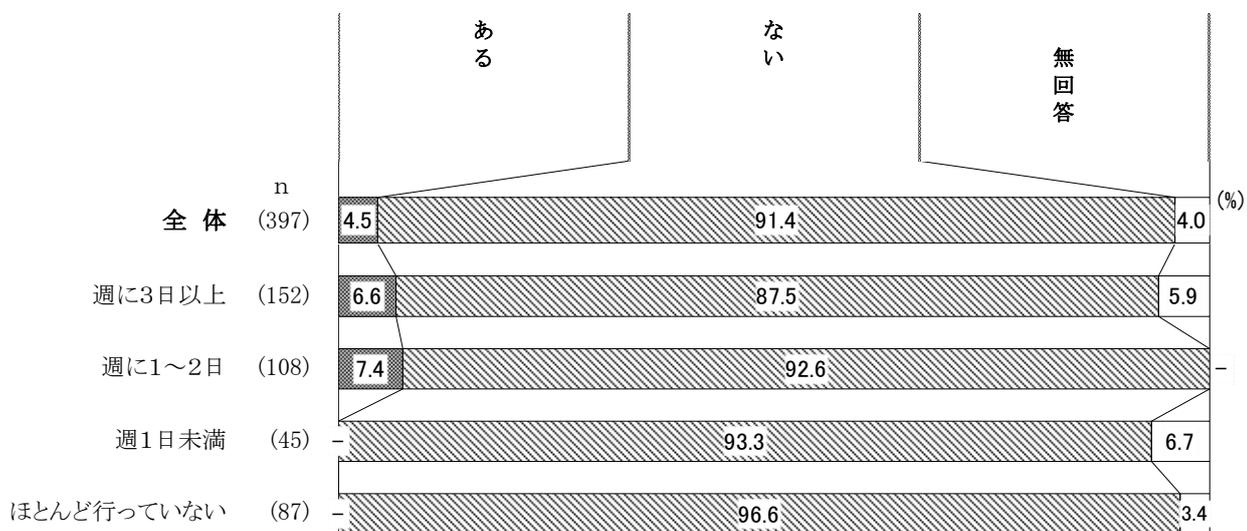
性別にみると、「ある」は男性が1割近くと、女性よりも7.8ポイント高くなっている。

【年代別】



年代別にみると、特に大きな差はみられない。

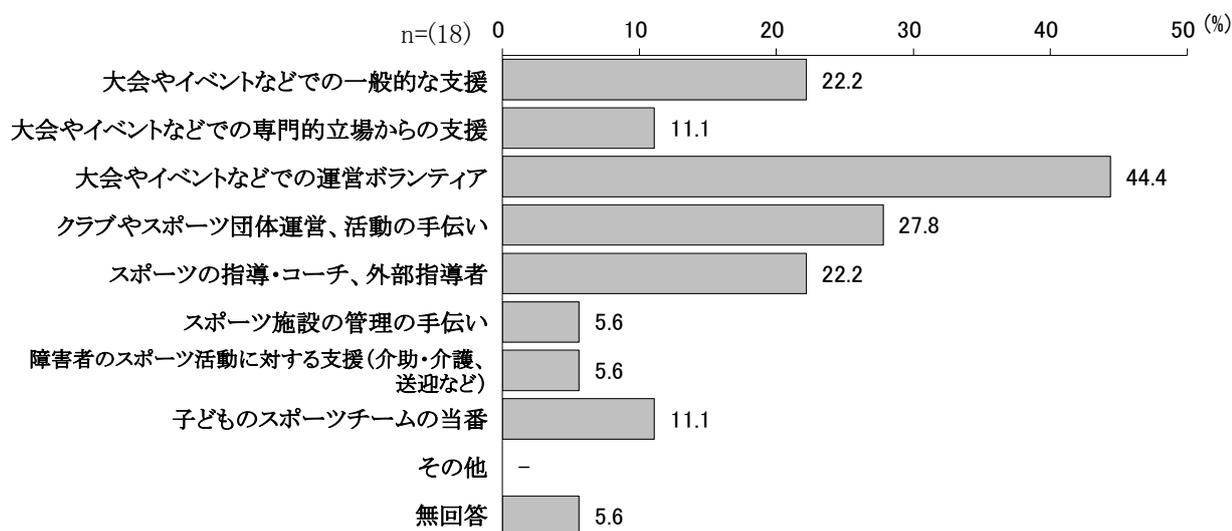
【実施頻度別】



実施頻度別にみると、週1日以上運動・スポーツを実施している人のみが「ある」と回答している。

Ⅲ 調査結果（市民）

問23 行ったことがあるボランティア活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問22で「ある」に○をつけた方のみ】



行ったことがあるボランティア活動では、回答者数が少ないため図示するにとどめるが、回答傾向として「大会やイベントなどでの運営ボランティア」が44.4%で最も高く、次いで「クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い」が27.8%、「大会やイベントなどでの一般的な支援」、「スポーツの指導・コーチ、外部指導者」が22.2%、「大会やイベントなどでの専門的立場からの支援」、「子どものスポーツチームの当番」が11.1%となっている。

【性別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	大会やイベントなどでの一般的な支援	大会や専門的立場からの支援	大会やイベントなどでの運営ボランティア	大会やイベントなどでの専門的立場からの支援	クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い	スポーツの指導・コーチ、外部指導者	スポーツ施設の管理の手伝い	障害者のスポーツ活動に対する支援 (介助・介護、送迎など)	子どものスポーツチームの当番	その他	無回答
全体	18	4	2	8	5	4	1	1	1	2	-	1
	100.0	22.2	11.1	44.4	27.8	22.2	5.6	5.6	11.1	-	-	5.6
男性	15	3	2	7	3	4	1	1	1	2	-	1
	100.0	20.0	13.3	46.7	20.0	26.7	6.7	6.7	13.3	-	-	6.7
女性	3	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-

性別では回答者数が少ないため図示するに留める。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	大会やイベントなどの一般的な支援	大会やイベントの専門的立場からの支援	大会やイベントの運営ボランティア	大会やイベントの手伝い	クラブやスポーツ団体の運営、活動の手伝い	スポーツの指導・コーチ、外部指導者	スポーツ施設の管理の手伝い	障害者のスポーツ活動に対する支援（介助・介護、送迎など）	子どものスポーツチームの当番	その他	無回答
全体	18 100.0	4 22.2	2 11.1	8 44.4	5 27.8	4 22.2	1 5.6	1 5.6	2 11.1	-	-	1 5.6
20代	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
30代	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
40代	3 100.0	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-
50代	2 100.0	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
60代	5 100.0	3 60.0	-	4 80.0	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	5 100.0	1 20.0	-	2 40.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0

年代別では回答者数が少ないため図示するに留める。

【実施頻度別】

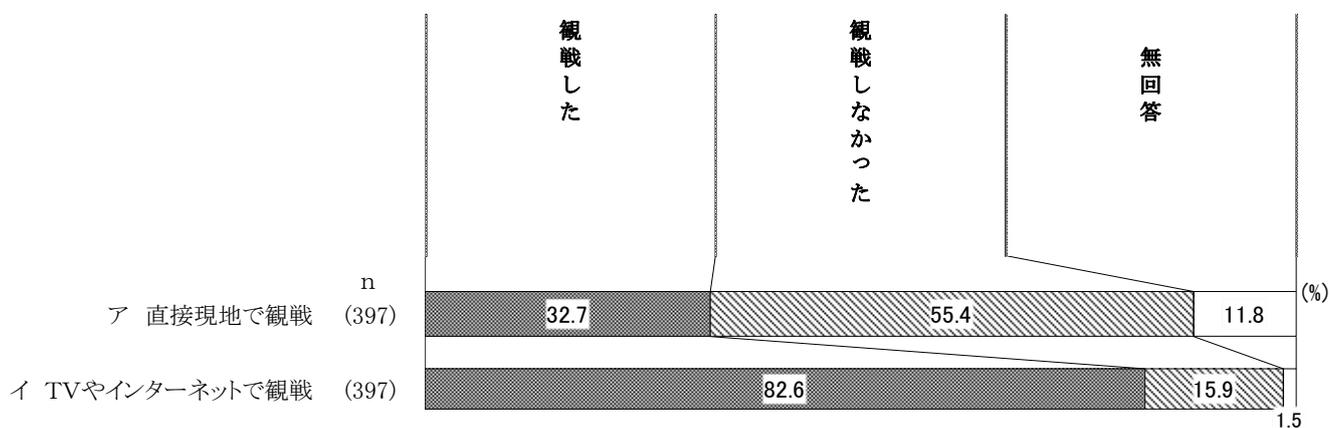
（上段：件数、下段：％）

	調査数	大会やイベントなどの一般的な支援	大会やイベントの専門的立場からの支援	大会やイベントの運営ボランティア	大会やイベントの手伝い	クラブやスポーツ団体の運営、活動の手伝い	スポーツの指導・コーチ、外部指導者	スポーツ施設の管理の手伝い	障害者のスポーツ活動に対する支援（介助・介護、送迎など）	子どものスポーツチームの当番	その他	無回答
全体	18 100.0	4 22.2	2 11.1	8 44.4	5 27.8	4 22.2	1 5.6	1 5.6	2 11.1	-	-	1 5.6
週に3日以上	10 100.0	4 40.0	1 10.0	5 50.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	-	-	-	1 10.0
週に1～2日	8 100.0	-	1 12.5	3 37.5	2 25.0	3 37.5	-	-	2 25.0	-	-	-
週1日未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ほとんど行っていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

実施頻度別では回答者数が少ないため図示するに留める。

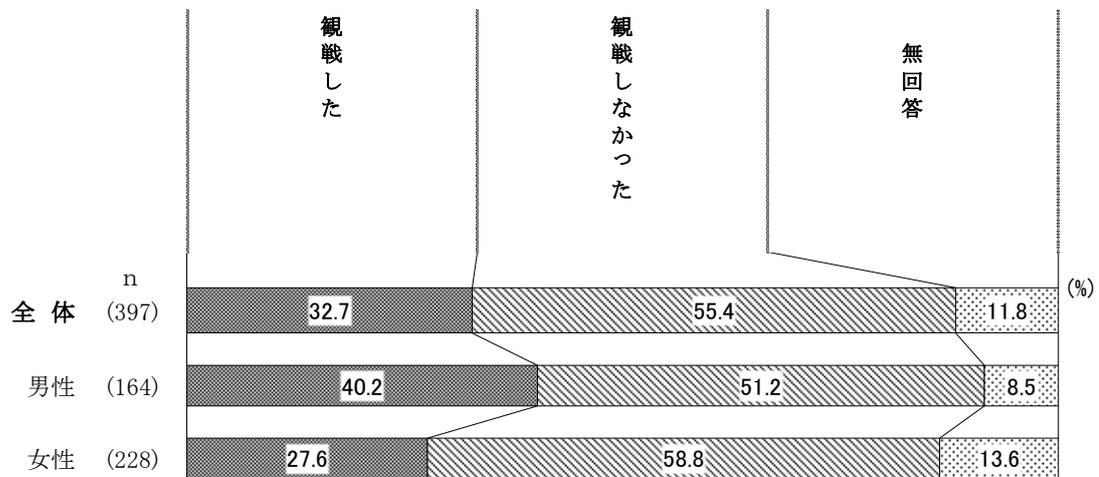
（7）スポーツ観戦について

問24 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。【全員回答】



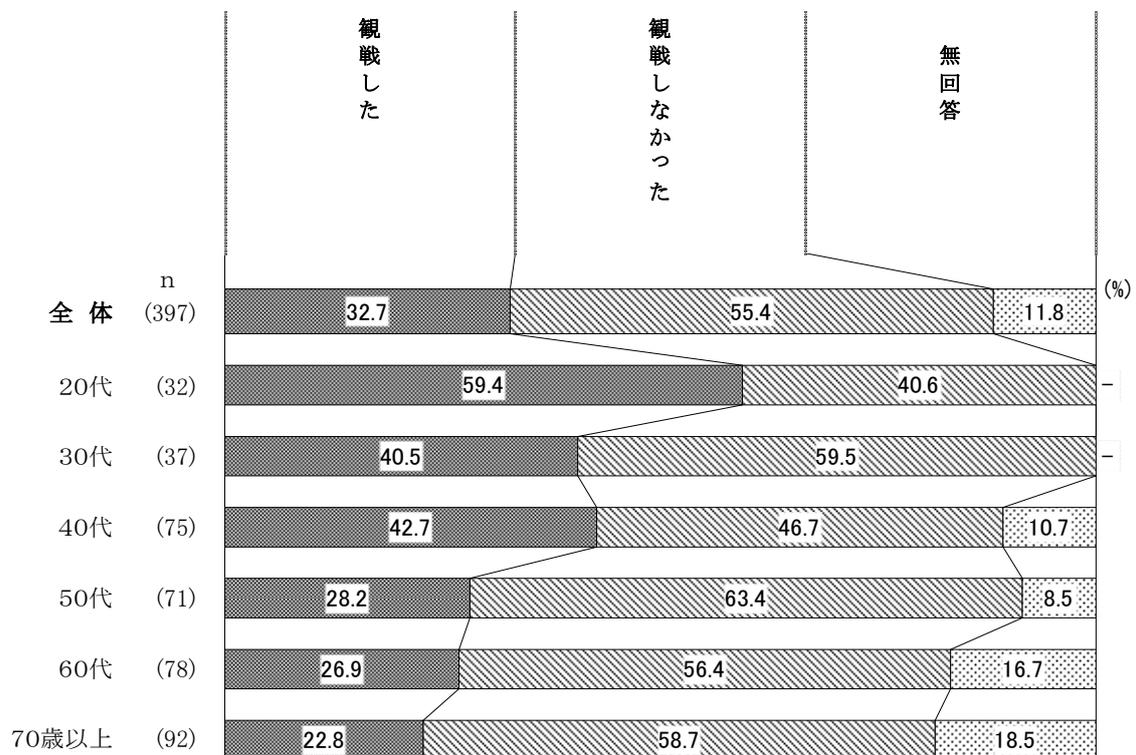
直接現地で観戦では、「観戦した」が32.7%、「観戦しなかった」が55.4%となっている。一方、TVやインターネットで観戦では、「観戦した」が82.6%、「観戦しなかった」が15.9%となっている。

【ア 直接現地で観戦／性別】



性別にみると、「観戦した」は男性で約4割と多く、女性よりも12.6ポイント高くなっている。

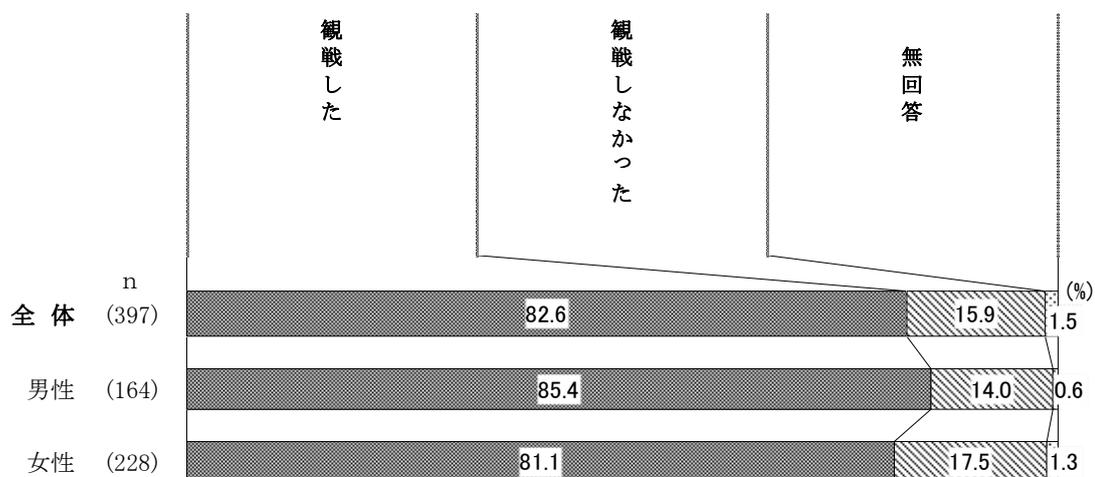
【ア 直接現地で観戦／年代別】



年代別にみると、「観戦した」は20代が6割近くと多く、年代があがるにつれて減少する傾向にある。

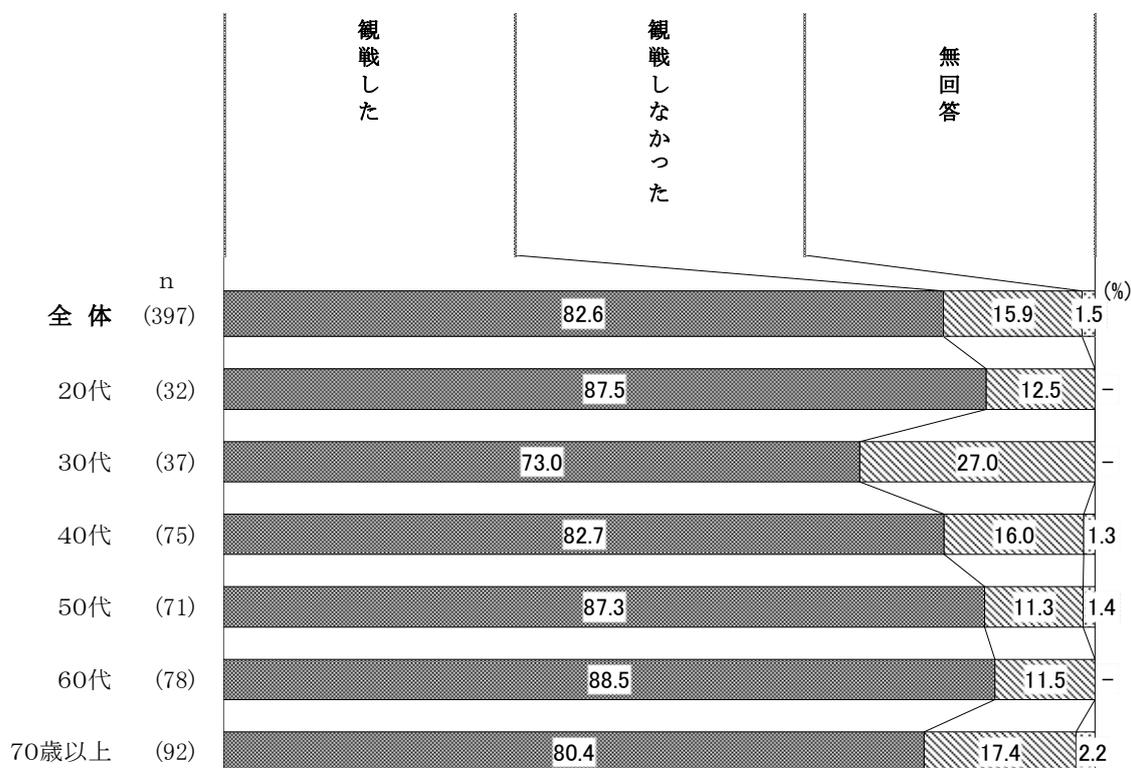
Ⅲ 調査結果（市民）

【イ TVやインターネットで観戦／性別】



性別にみると、「観戦した」は男女ともに8割台となっている。

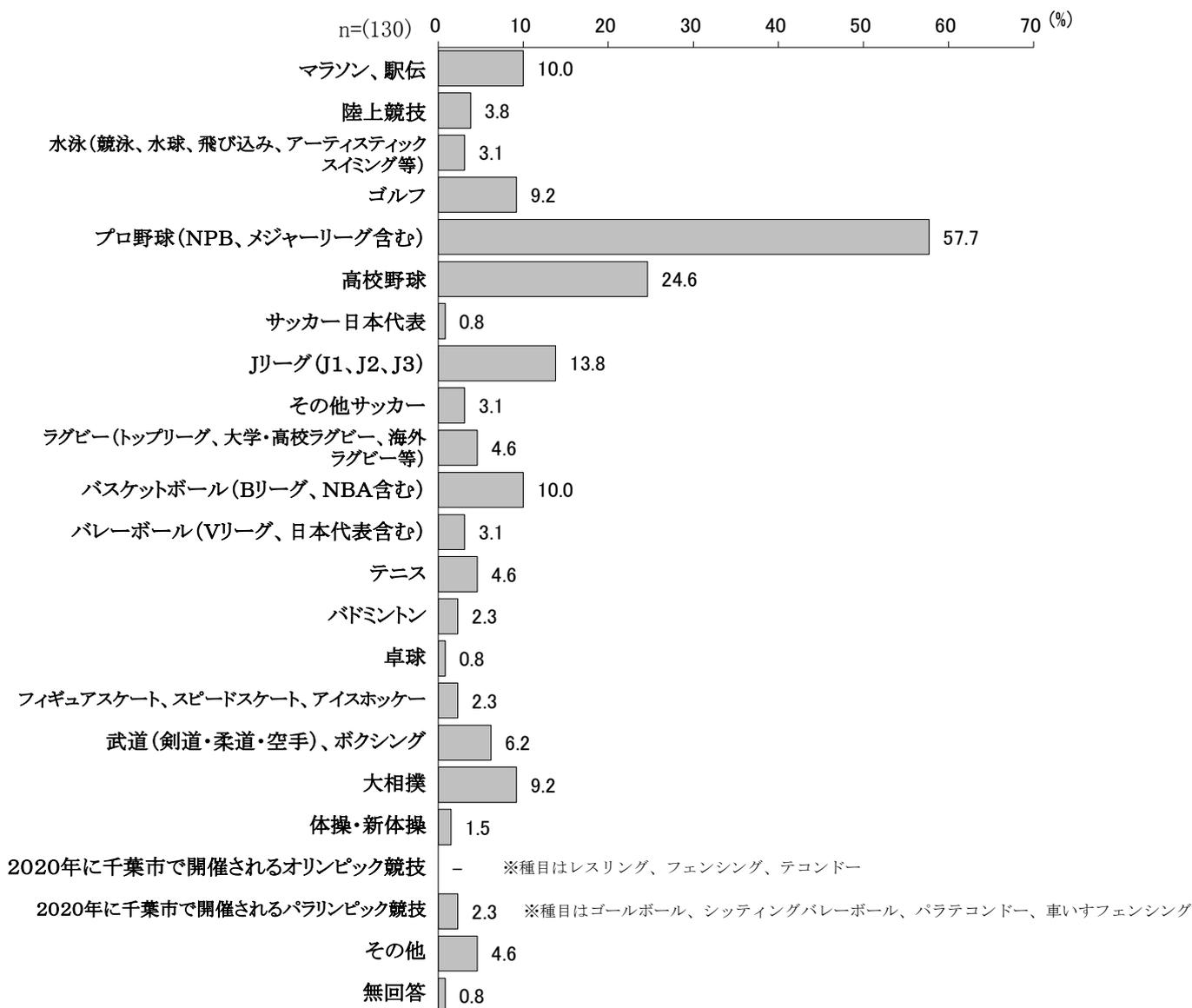
【イ TVやインターネットで観戦／年代別】



年代別にみると、「観戦した」は20代と50～60代でいずれも9割近くと多くなっている。

問25 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）【問24のいずれかの「観戦した」に○をつけた方のみ】

【ア 直接現地で観戦】



直接現地で観戦では、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が57.7%で最も高く、次いで「高校野球」が24.6%、「Jリーグ（J1、J2、J3）」が13.8%、「マラソン、駅伝」、「バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）」が10.0%となっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【ア 直接現地で観戦／性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	マラソン、 駅伝	陸上競技	水泳（競泳、水球、飛 び込み、アーティス ティックスイミング 等）	ゴルフ	プロ野球（NPB、 メジャーリーグ含 む）	高校野球	サッカー日本代表	2、Jリーグ（J1、J 2、J3）	その他サッカー	ラグビー（トップリー グ、大学・高校ラゲ ー、海外ラグビー 等）	バスケットボール （Bリーグ、NBA 含む）	バレーボール（V リーグ、日本代表 含む）
全体	130 100.0	13 10.0	5 3.8	4 3.1	12 9.2	75 57.7	32 24.6	1 0.8	18 13.8	4 3.1	6 4.6	13 10.0	4 3.1
男性	66 100.0	9 13.6	3 4.5	3 4.5	8 12.1	43 65.2	19 28.8	1 1.5	13 19.7	1 1.5	5 7.6	6 9.1	2 3.0
女性	63 100.0	4 6.3	2 3.2	1 1.6	3 4.8	31 49.2	13 20.6	-	5 7.9	3 4.8	1 1.6	7 11.1	2 3.2

	調査数	テニス	バドミントン	卓球	ト、 アイス ホッケー	フィギュアスケ ー	空手（剣道・柔道・ 武道（剣道・柔道・ ボクシング）	大相撲	体操・新体操	ピク ニック 競技	2 0 2 0 年 に 千 葉 市	2 0 2 0 年 に 千 葉 市	そ の 他	無 回 答
全体	130 100.0	6 4.6	3 2.3	1 0.8	3 2.3	8 6.2	12 9.2	2 1.5	-	-	3 2.3	6 4.6	1 0.8	
男性	66 100.0	3 4.5	2 3.0	-	1 1.5	2 3.0	5 7.6	1 1.5	-	-	1 1.5	3 4.5	1 1.5	
女性	63 100.0	3 4.8	1 1.6	1 1.6	2 3.2	6 9.5	7 11.1	1 1.6	-	-	2 3.2	3 4.8	-	

性別にみると、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」は男性で6割半ばと多く、女性よりも16ポイント高くなっている。また、「高校野球」は男性で3割近くと、女性よりも8.2ポイント高くなっている。

【ア 直接現地で観戦／年代別】

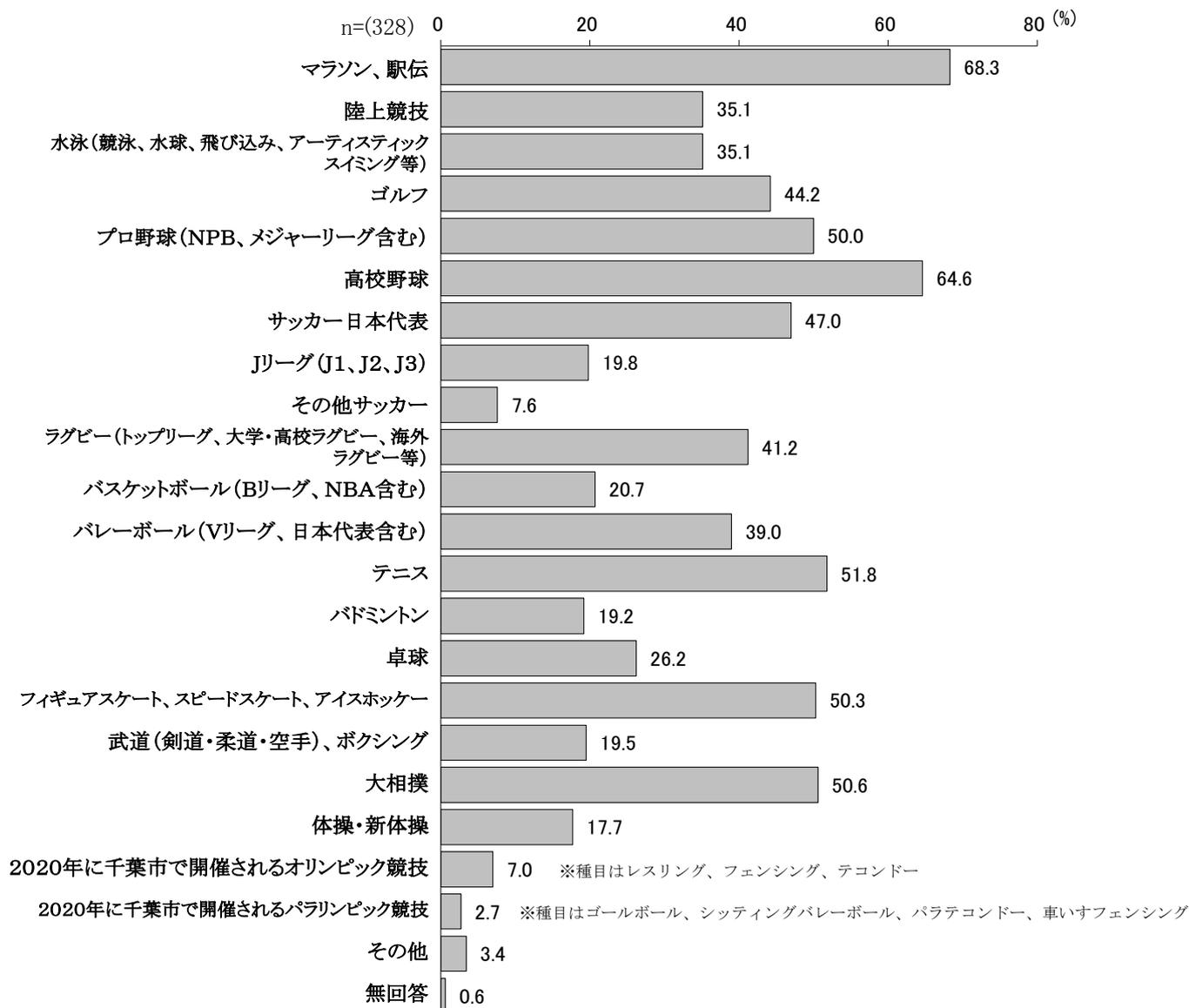
（上段：件数、下段：％）

	調査数	マラソン、 駅伝	陸上競技	水泳（競泳、水球、飛 び込み、アーティス ティックスイミング 等）	ゴルフ	プロ野球（NPB、 メジャーリーグ含む）	高校野球	サッカー日本代表	Jリーグ（J1、J 2、J3）	その他サッカー	ラグビー（トップリー グ、大学・高校ラグ ビー、海外ラグビー 等）	バスケットボール （Bリーグ、NBA 含む）	バレーボール（V リーグ、日本代表 含む）
全体	130 100.0	13 10.0	5 3.8	4 3.1	12 9.2	75 57.7	32 24.6	1 0.8	18 13.8	4 3.1	6 4.6	13 10.0	4 3.1
20代	19 100.0	2 10.5	1 5.3	1 5.3	-	13 68.4	4 21.1	-	3 15.8	-	-	3 15.8	1 5.3
30代	15 100.0	-	-	-	-	5 33.3	2 13.3	-	6 40.0	1 6.7	1 6.7	3 20.0	-
40代	32 100.0	1 3.1	1 3.1	1 3.1	1 3.1	19 59.4	9 28.1	-	4 12.5	1 3.1	1 3.1	6 18.8	1 3.1
50代	20 100.0	-	-	1 5.0	2 10.0	13 65.0	4 20.0	-	3 15.0	1 5.0	2 10.0	-	-
60代	21 100.0	4 19.0	3 14.3	1 4.8	3 14.3	12 57.1	5 23.8	1 4.8	2 9.5	-	1 4.8	-	1 4.8
70歳以上	21 100.0	6 28.6	-	-	5 23.8	12 57.1	7 33.3	-	-	1 4.8	1 4.8	1 4.8	1 4.8

	調査数	テニス	バドミントン	卓球	ト、ア イス ホッ スケ ー	ト、ギ アス ケ ー	空手（ ）、ボ クシ ング・	武 道（ ）、剣 道・柔 道・	大相撲	体操・ 新体操	で開 催さ れる オリ ン ピッ ク競 技	で開 催さ れる 千葉 市 オリ ン ピッ ク競 技	20年 に千 葉市 オリ ン ピッ ク競 技	その他	無回答
全体	130 100.0	6 4.6	3 2.3	1 0.8	3 2.3	8 6.2	12 9.2	2 1.5	2 1.5	-	3 2.3	6 4.6	1 0.8		
20代	19 100.0	1 5.3	-	-	-	3 15.8	2 10.5	-	-	-	1 5.3	1 5.3	-		
30代	15 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 6.7	-	-		
40代	32 100.0	2 6.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3	1 3.1	1 3.1	-	-	1 3.1	4 12.5	-		
50代	20 100.0	-	-	-	1 5.0	-	2 10.0	-	-	-	-	1 5.0	-		
60代	21 100.0	2 9.5	1 4.8	-	1 4.8	-	3 14.3	-	-	-	-	-	1 4.8		
70歳以上	21 100.0	-	1 4.8	-	-	3 14.3	4 19.0	1 4.8	-	-	-	-	-		

年代別ではそれぞれの回答者数が少ないため図示するに留めるが、回答傾向として、40代では「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が最も多くなっている。

【イ TVやインターネットで観戦】



TVやインターネットで観戦では、「マラソン、駅伝」が68.3%で最も高く、次いで「高校野球」が64.6%、「テニス」が51.8%、「大相撲」が50.6%、「フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー」が50.3%となっている。

【イ TVやインターネットで観戦／性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	マラソン、 駅伝	陸上競技	水泳（競泳、水球、飛 び込み、アーティス ティックスイミング 等）	ゴルフ	プロ野球（NPB、 む）	高校野球	サッカー 日本代表	Jリーグ（J1、J 2、J3）	その他サッカー	ラグビー（トップリー グ・大学・高校ラ グビー、海外ラ グビー）	バスケットボール （Bリーグ、NB A含む）	バレーボール（V リーグ、日本代 表含む）
全体	328 100.0	224 68.3	115 35.1	115 35.1	145 44.2	164 50.0	212 64.6	154 47.0	65 19.8	25 7.6	135 41.2	68 20.7	128 39.0
男性	140 100.0	83 59.3	47 33.6	44 31.4	79 56.4	91 65.0	104 74.3	71 50.7	46 32.9	15 10.7	66 47.1	30 21.4	52 37.1
女性	185 100.0	138 74.6	67 36.2	69 37.3	64 34.6	72 38.9	106 57.3	81 43.8	18 9.7	9 4.9	66 35.7	38 20.5	74 40.0

	調査数	テニス	バドミントン	卓球	フィギュアスケート、 アイスホッケー	空手（ボクシング・ 武道（剣道・柔道・ 空手））	大相撲	体操・新体操	ビク競	2020年オリ ンピック	2020年千 葉市	2020年千 葉市	その他	無回答
全体	328 100.0	170 51.8	63 19.2	86 26.2	165 50.3	64 19.5	166 50.6	58 17.7	23 7.0	9 2.7	11 3.4	2 0.6		
男性	140 100.0	63 45.0	30 21.4	34 24.3	55 39.3	39 27.9	83 59.3	23 16.4	16 11.4	4 2.9	6 4.3	2 1.4		
女性	185 100.0	106 57.3	32 17.3	51 27.6	109 58.9	23 12.4	82 44.3	34 18.4	7 3.8	5 2.7	5 2.7	-		

性別にみると、「マラソン・駅伝」は女性で7割半ばと多く、男性よりも15.3ポイント高くなっている。一方、「高校野球」は男性で7割半ばと多く、女性よりも17ポイント高くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【イ TVやインターネットで観戦／年代別】

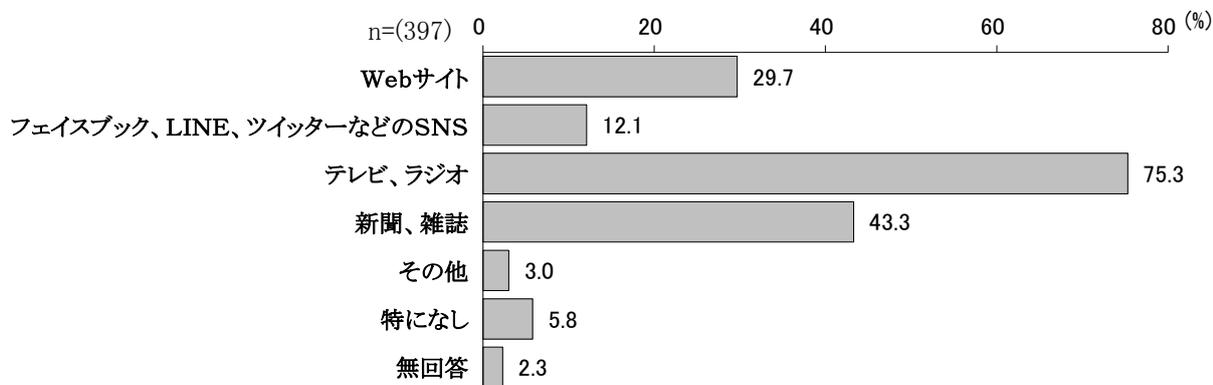
（上段：件数、下段：％）

	調査数	マラソン、 駅伝	陸上競技	水泳（競泳、水球、飛 び込み、アーティステ ィックスイミング等）	ゴルフ	プロ野球（NPB、 む）	高校野球	サッカー 日本代表	Jリーグ（J1、J 2、J3）	その他サッカー	ラグビー（トップリー グ、大学・高校ラ グビー、海外ラ グビー）	バスケットボール （Bリーグ、NB A含む）	バレーボール（V リーグ、日本代 表含む）
全体	328 100.0	224 68.3	115 35.1	115 35.1	145 44.2	164 50.0	212 64.6	154 47.0	65 19.8	25 7.6	135 41.2	68 20.7	128 39.0
20代	28 100.0	12 42.9	4 14.3	7 25.0	6 21.4	14 50.0	14 50.0	14 50.0	6 21.4	2 7.1	9 32.1	10 35.7	10 35.7
30代	27 100.0	10 37.0	7 25.9	8 29.6	6 22.2	13 48.1	15 55.6	11 40.7	9 33.3	5 18.5	13 48.1	10 37.0	13 48.1
40代	62 100.0	39 62.9	23 37.1	17 27.4	20 32.3	33 53.2	39 62.9	33 53.2	9 14.5	3 4.8	27 43.5	9 14.5	18 29.0
50代	62 100.0	44 71.0	26 41.9	23 37.1	25 40.3	22 35.5	35 56.5	34 54.8	13 21.0	4 6.5	36 58.1	9 14.5	25 40.3
60代	69 100.0	55 79.7	28 40.6	31 44.9	39 56.5	39 56.5	46 66.7	31 44.9	10 14.5	7 10.1	25 36.2	14 20.3	24 34.8
70歳以上	74 100.0	60 81.1	25 33.8	26 35.1	46 62.2	40 54.1	58 78.4	26 35.1	16 21.6	3 4.1	20 27.0	15 20.3	33 44.6

	調査数	テニス	バドミントン	卓球	ト、 ト、 ア、 イ、 ス、 ホ、 ツ、 ケ、 ー	フ、 ィ、 ギ、 ュ、 ア、 ス、 ケ、 ー	空 手 （ 、 ボ、 ク、 シ、 ン、 グ、 ）	武 道 （ 、 剣、 道、 柔、 道、 ）	大 相、 撲	体 操、 新、 体、 操	ピ、 ク、 競、 技	で、 開、 催、 さ、 れ、 る、 オ、 リ、 ン	で、 開、 催、 さ、 れ、 る、 千、 葉、 市	2、 0、 2、 0、 年、 に、 千、 葉、 市	そ、 の、 他	無 回、 答
全体	328 100.0	170 51.8	63 19.2	86 26.2	165 50.3	64 19.5	166 50.6	58 17.7	23 7.0	9 2.7	11 3.4	2 0.6	2 0.6			
20代	28 100.0	10 35.7	3 10.7	6 21.4	10 35.7	4 14.3	6 21.4	2 7.1	1 3.6	—	2 7.1	—	—			
30代	27 100.0	11 40.7	2 7.4	4 14.8	8 29.6	2 7.4	8 29.6	3 11.1	1 3.7	—	1 3.7	—	—			
40代	62 100.0	31 50.0	7 11.3	14 22.6	28 45.2	6 9.7	22 35.5	8 12.9	1 1.6	—	4 6.5	—	—			
50代	62 100.0	38 61.3	10 16.1	9 14.5	32 51.6	11 17.7	22 35.5	10 16.1	2 3.2	1 1.6	2 3.2	—	—			
60代	69 100.0	39 56.5	18 26.1	21 30.4	40 58.0	18 26.1	49 71.0	12 17.4	5 7.2	—	1 1.4	2 2.9	—			
70歳以上	74 100.0	38 51.4	20 27.0	29 39.2	45 60.8	18 24.3	56 75.7	21 28.4	12 16.2	7 9.5	1 1.4	—	—			

年代別にみると、「マラソン、駅伝」は50代以上で7割台を超えて多くなっている。また、「高校野球」は70歳以上で8割近くと多くなっている。

問26 スポーツ観戦に関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



スポーツ観戦に関する情報の入手先では、「テレビ、ラジオ」が75.3%で最も高く、次いで「新聞、雑誌」が43.3%、「Webサイト」が29.7%、「フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS」が12.1%となっている。

【性別】

（上段：件数、下段：%）

	調査数	Webサイト	フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	118 29.7	48 12.1	299 75.3	172 43.3	12 3.0	23 5.8	9 2.3
男性	164 100.0	61 37.2	14 8.5	130 79.3	81 49.4	4 2.4	9 5.5	-
女性	228 100.0	57 25.0	34 14.9	166 72.8	90 39.5	8 3.5	14 6.1	7 3.1

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「テレビ、ラジオ」が一番多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

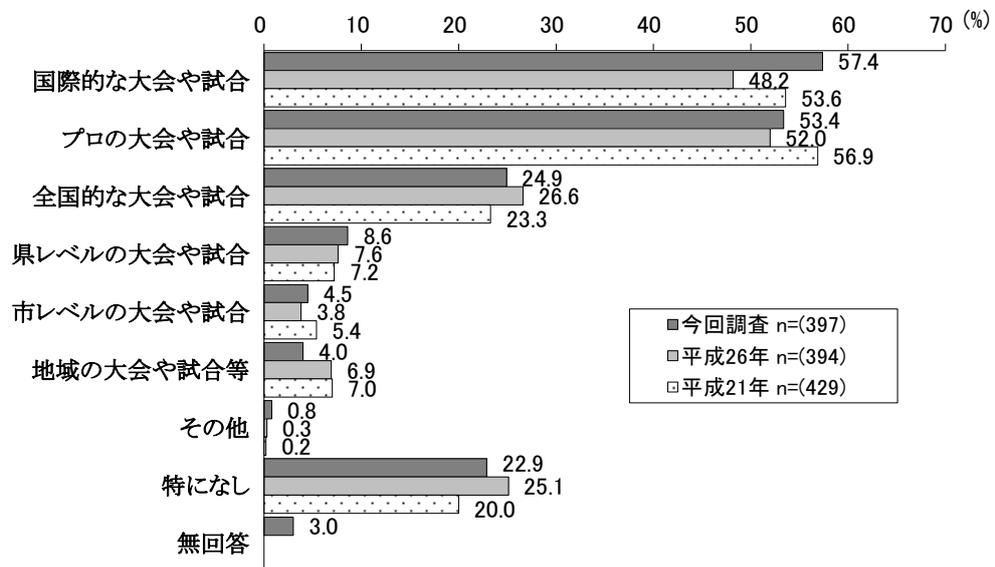
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	Web サイト	INS などのSNS	フェイス ブック、 LINE、 Twitter	テレビ、 ラジオ	新聞、 雑誌	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	118 29.7	48 12.1	299 75.3	172 43.3	12 3.0	23 5.8	9 2.3	
20代	32 100.0	12 37.5	12 37.5	21 65.6	4 12.5	3 9.4	1 3.1	-	
30代	37 100.0	20 54.1	9 24.3	27 73.0	5 13.5	-	4 10.8	-	
40代	75 100.0	37 49.3	11 14.7	56 74.7	21 28.0	4 5.3	7 9.3	1 1.3	
50代	71 100.0	25 35.2	9 12.7	49 69.0	31 43.7	2 2.8	2 2.8	-	
60代	78 100.0	14 17.9	2 2.6	65 83.3	52 66.7	1 1.3	3 3.8	-	
70歳以上	92 100.0	8 8.7	2 2.2	73 79.3	58 63.0	1 1.1	5 5.4	6 6.5	

年代別にみると、「テレビ、ラジオ」はすべての年代で一番多く、特に60代では8割台となっている。

問27 今後、どのような大会や試合を会場で観戦したいですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



会場で観戦したい大会や試合では、「国際的な大会や試合」が57.4%で最も高く、次いで「プロの大会や試合」が53.4%、「全国的な大会や試合」が24.9%、「県レベルの大会や試合」が8.6%となっている。

過去との比較でみると、「国際的な大会や試合」は平成26年よりも9.2ポイント増加している。また、「県レベルの大会や試合」は平成21年からわずかではあるが増加傾向にある。

【性別】

（上段：件数、下段：%）

	調査数	国際的な大会や試合	プロの大会や試合	全国的な大会や試合	合県レベルの大会や試合	合市レベルの大会や試合	地域の大会や試合等	その他	特になし	無回答
全体	397	228	212	99	34	18	16	3	91	12
	100.0	57.4	53.4	24.9	8.6	4.5	4.0	0.8	22.9	3.0
男性	164	100	97	52	18	8	6	1	34	1
	100.0	61.0	59.1	31.7	11.0	4.9	3.7	0.6	20.7	0.6
女性	228	126	113	47	16	10	10	2	57	9
	100.0	55.3	49.6	20.6	7.0	4.4	4.4	0.9	25.0	3.9

性別にみると、「特になし」を除き、男女ともに上位3項目は同じで「国際的な大会や試合」が一番多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	国際的な大会や試合	プロの大会や試合	全国的な大会や試合	合県レベルの大会や試合	合市レベルの大会や試合	地域の大会や試合等	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	228 57.4	212 53.4	99 24.9	34 8.6	18 4.5	16 4.0	3 0.8	91 22.9	12 3.0
20代	32 100.0	25 78.1	21 65.6	8 25.0	1 3.1	-	-	-	4 12.5	-
30代	37 100.0	21 56.8	24 64.9	8 21.6	6 16.2	1 2.7	2 5.4	-	9 24.3	-
40代	75 100.0	46 61.3	44 58.7	21 28.0	8 10.7	5 6.7	3 4.0	1 1.3	19 25.3	1 1.3
50代	71 100.0	47 66.2	36 50.7	20 28.2	4 5.6	1 1.4	-	1 1.4	10 14.1	-
60代	78 100.0	47 60.3	39 50.0	21 26.9	5 6.4	4 5.1	4 5.1	-	18 23.1	-
70歳以上	92 100.0	36 39.1	43 46.7	19 20.7	9 9.8	6 6.5	6 6.5	-	29 31.5	9 9.8

年代別にみると、「国際的な大会や試合」は20代で8割近くと多くなっている。また、「プロの大会や試合」は20～30代で6割半ばと多くなっている。

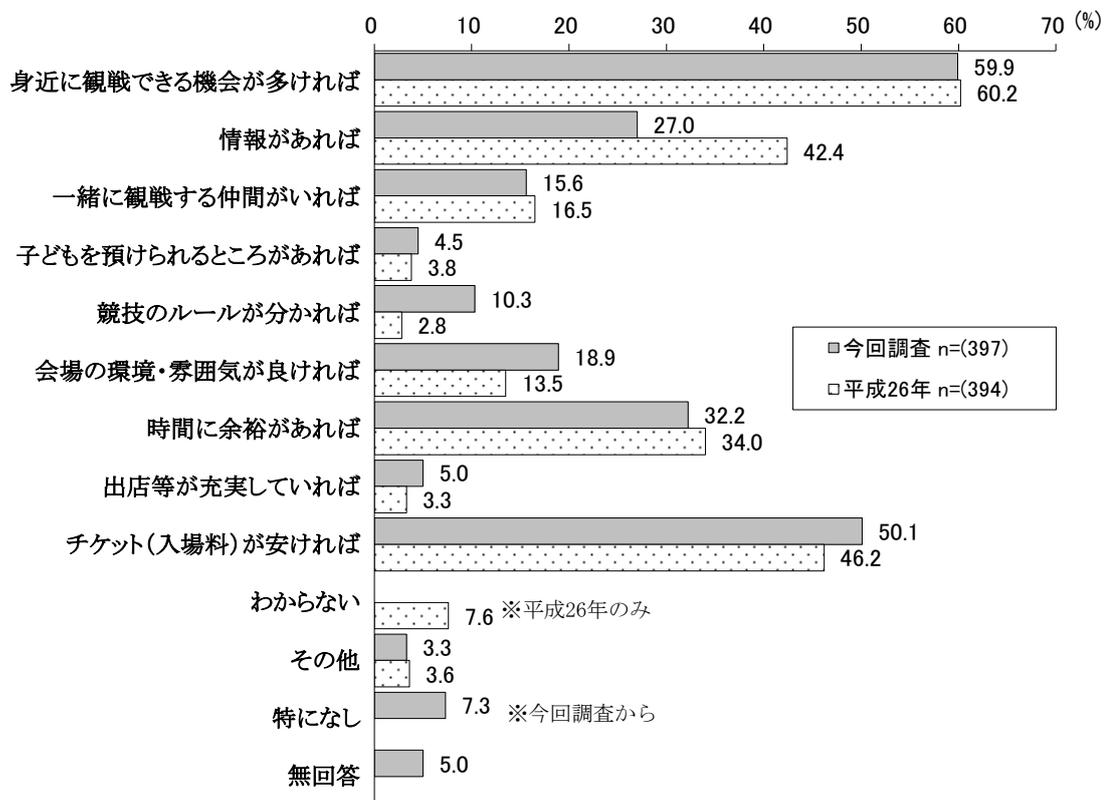
【実施頻度別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	国際的な大会や試合	プロの大会や試合	全国的な大会や試合	合県レベルの大会や試合	合市レベルの大会や試合	地域の大会や試合等	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	228 57.4	212 53.4	99 24.9	34 8.6	18 4.5	16 4.0	3 0.8	91 22.9	12 3.0
週に3日以上	152 100.0	82 53.9	84 55.3	34 22.4	9 5.9	7 4.6	9 5.9	2 1.3	37 24.3	5 3.3
週に1～2日	108 100.0	67 62.0	58 53.7	33 30.6	13 12.0	7 6.5	5 4.6	-	22 20.4	5 4.6
週1日未満	45 100.0	37 82.2	28 62.2	16 35.6	4 8.9	1 2.2	2 4.4	-	6 13.3	-
ほとんど行っていない	87 100.0	40 46.0	38 43.7	16 18.4	7 8.0	3 3.4	-	1 1.1	25 28.7	2 2.3

実施頻度別にみると、「国際的な大会や試合」は週1日未満で8割を超えて多くなっている。

問28 今より観戦者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで数字を記入）【全員回答】



観戦者を増やすために必要なことでは、「身近に観戦できる機会が多ければ」が59.9%で最も高く、次いで「チケット（入場料）が安ければ」が50.1%、「時間に余裕があれば」が32.2%、「情報があれば」が27.0%、「会場の環境・雰囲気が良ければ」が18.9%となっている。

過去との比較でみると、「競技のルールが分かれば」は平成26年よりも7.5ポイント増加している。一方、「情報があれば」は15.4ポイント減少している。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	会 身 近 に 観 戦 で き る 機 会 が 多 け れ ば	情 報 が あ れ ば	が 一 緒 に 観 戦 す る 仲 間	と 子 ど も が あ れ ば 預 け ら れ る	れ 競 技 の ル ー ル が 分 か	が 会 場 の 環 境 ・ 雰 囲 気	時 間 に 余 裕 が あ れ ば	れ 出 店 等 が 充 実 し て い	が チ ケ ッ ト （ 入 場 料 ）	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全 体	397 100.0	238 59.9	107 27.0	62 15.6	18 4.5	41 10.3	75 18.9	128 32.2	20 5.0	199 50.1	13 3.3	29 7.3	20 5.0
男性	164 100.0	98 59.8	39 23.8	26 15.9	5 3.0	14 8.5	39 23.8	50 30.5	9 5.5	85 51.8	6 3.7	12 7.3	5 3.0
女性	228 100.0	138 60.5	67 29.4	35 15.4	13 5.7	26 11.4	35 15.4	78 34.2	11 4.8	112 49.1	7 3.1	17 7.5	13 5.7

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「身近に観戦できる機会が多ければ」が一番多くなっている。

【年代別】

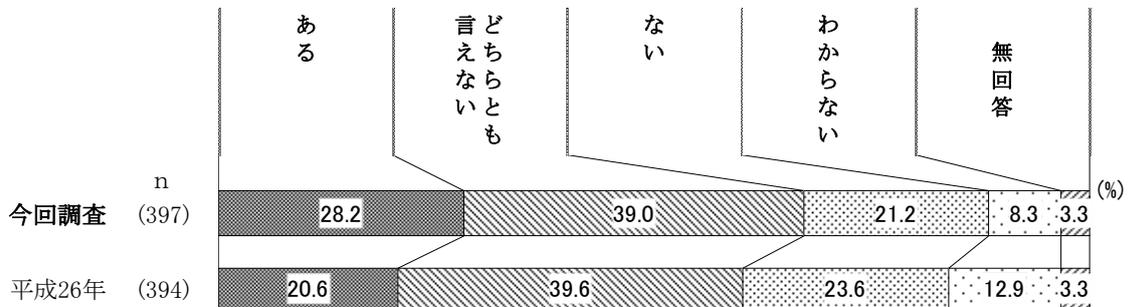
（上段：件数、下段：％）

	調査数	会 身 近 に 観 戦 で き る 機 会 が 多 け れ ば	情 報 が あ れ ば	が 一 緒 に 観 戦 す る 仲 間	と 子 ど も が あ れ ば 預 け ら れ る	れ 競 技 の ル ー ル が 分 か	が 会 場 の 環 境 ・ 雰 囲 気	時 間 に 余 裕 が あ れ ば	れ 出 店 等 が 充 実 し て い	が チ ケ ッ ト （ 入 場 料 ）	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全 体	397 100.0	238 59.9	107 27.0	62 15.6	18 4.5	41 10.3	75 18.9	128 32.2	20 5.0	199 50.1	13 3.3	29 7.3	20 5.0
20代	32 100.0	23 71.9	8 25.0	11 34.4	2 6.3	5 15.6	8 25.0	11 34.4	3 9.4	18 56.3	1 3.1	-	-
30代	37 100.0	22 59.5	11 29.7	8 21.6	8 21.6	3 8.1	9 24.3	14 37.8	4 10.8	18 48.6	1 2.7	1 2.7	-
40代	75 100.0	49 65.3	17 22.7	6 8.0	6 8.0	10 13.3	12 16.0	35 46.7	3 4.0	40 53.3	4 5.3	4 5.3	4 5.3
50代	71 100.0	46 64.8	21 29.6	9 12.7	-	5 7.0	13 18.3	30 42.3	3 4.2	37 52.1	3 4.2	2 2.8	3 4.2
60代	78 100.0	48 61.5	26 33.3	15 19.2	2 2.6	4 5.1	21 26.9	17 21.8	4 5.1	40 51.3	2 2.6	5 6.4	2 2.6
70歳以上	92 100.0	45 48.9	21 22.8	12 13.0	-	9 9.8	10 10.9	17 18.5	1 1.1	40 43.5	2 2.2	17 18.5	9 9.8

年代別にみると、「身近に観戦できる機会が多ければ」は20代で7割を超えて多く、「チケット（入場料）が安ければ」は5割半ばと多くなっている。また、「時間に余裕があれば」は40～50代で4割台と多くなっている。

（8）パラスポーツの推進について

問29 パラスポーツに関心がありますか。【全員回答】

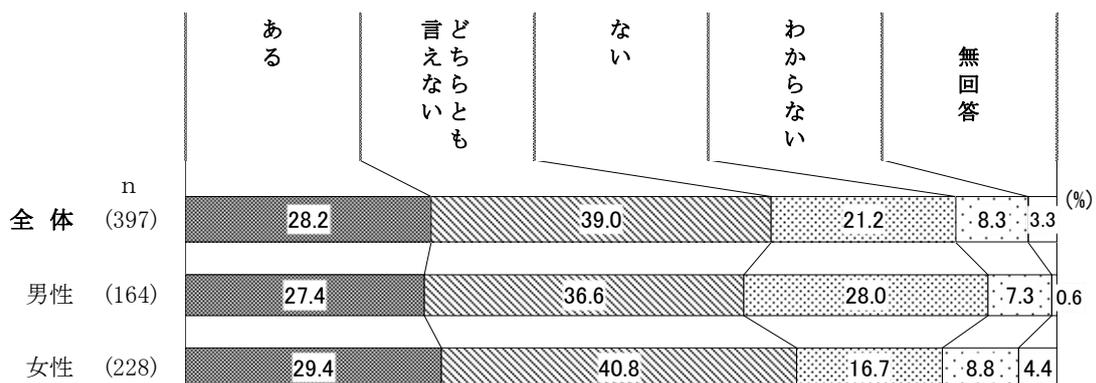


パラスポーツへの関心では、「ある」が28.2%、「どちらとも言えない」が39.0%、「ない」が21.2%となっている。

過去との比較でみると、関心が「ある」は平成26年から7.6ポイント増加している。

※平成26年調査では、「パラスポーツ」を「障害者スポーツ」と表記していた。

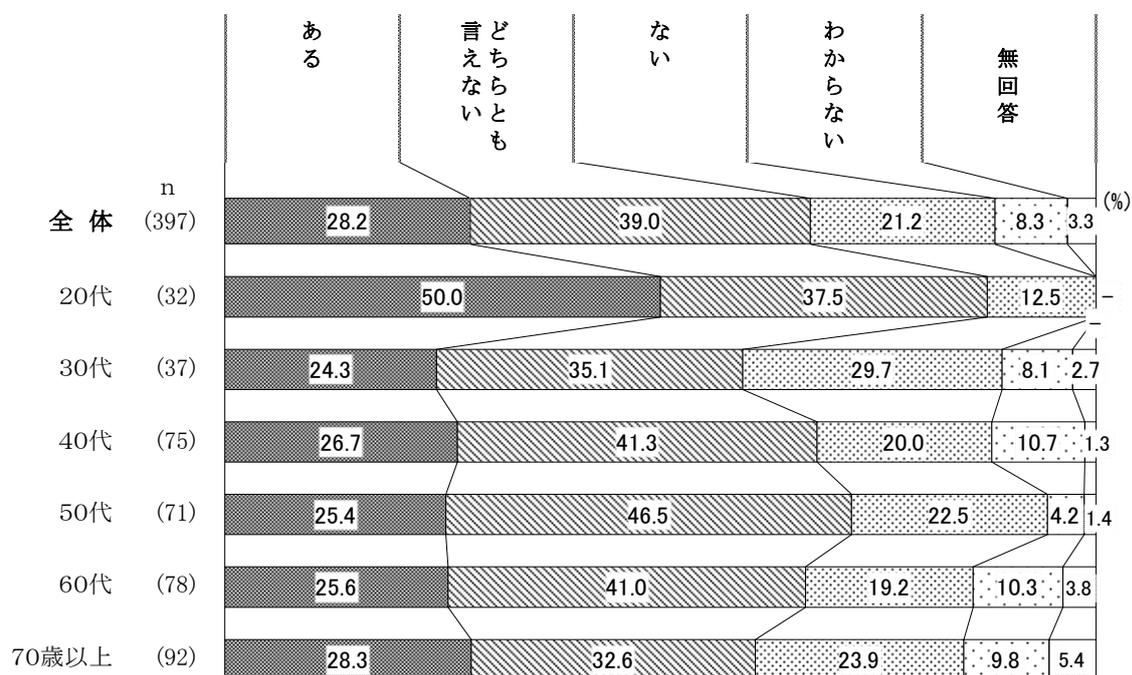
【性別】



性別にみると、関心が「ある」は特に大きな差はみられない。一方、「ない」は男性で3割近くと、女性よりも11.3ポイント高くなっている。

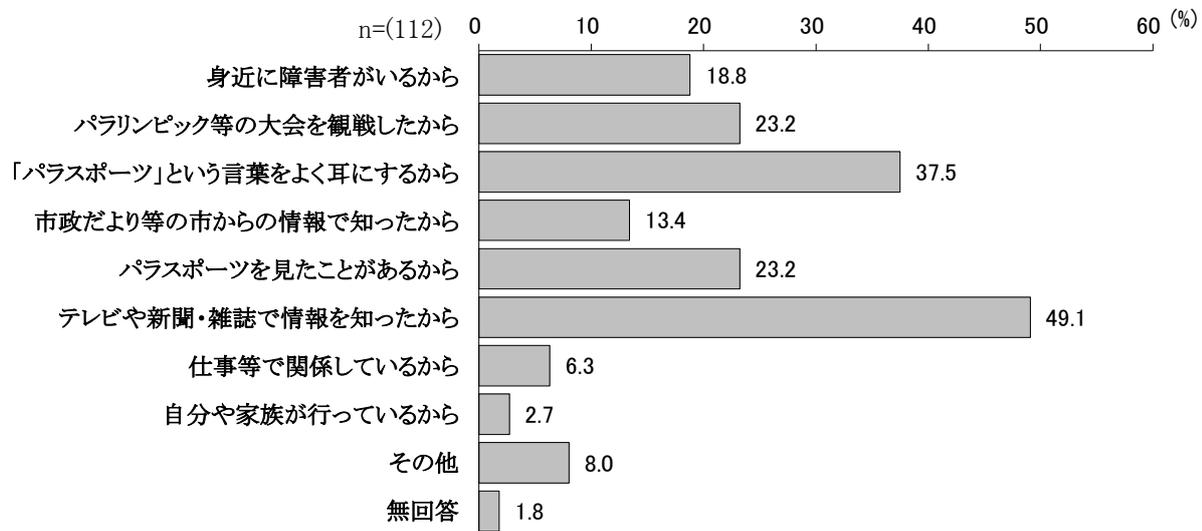
Ⅲ 調査結果（市民）

【年代別】



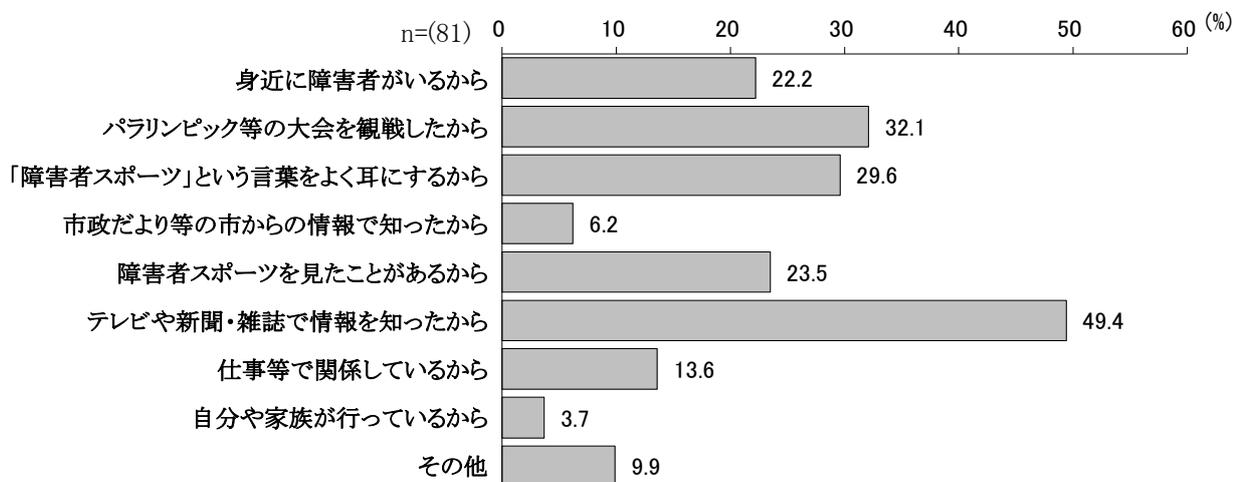
年代別にみると、関心が「ある」は20代で約5割と特に多くなっている。一方「ない」は30代で約3割となっている。

問30 関心がある理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）【問29で「ある」に○をつけた方のみ】



パラスポーツに関心がある理由では、「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」が49.1%で最も高く、次いで「「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから」が37.5%、「パラリンピック等の大会を観戦したから」、「パラスポーツを見たことがあるから」が23.2%、「身近に障害者がいるから」が18.8%となっている。

【参考】平成26年の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	から身近に障害者がいる	大会を観戦したから	パラリンピック等の	「パラスポーツをよく耳にするから」	「パラスポーツをよく耳にするから」	市の情報で知ったから	「パラスポーツを見たことがあるから」	テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから	仕事等で関係しているから	自分や家族が行っているから	その他	無回答
全体	112 100.0	21 18.8	26 23.2	42 37.5	15 13.4	26 23.2	55 49.1	7 6.3	3 2.7	9 8.0	2 1.8		
男性	45 100.0	11 24.4	14 31.1	17 37.8	7 15.6	11 24.4	20 44.4	3 6.7	2 4.4	4 8.9	-		
女性	67 100.0	10 14.9	12 17.9	25 37.3	8 11.9	15 22.4	35 52.2	4 6.0	1 1.5	5 7.5	2 3.0		

性別にみると、「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」は女性で5割を超えて多く、男性よりも7.8ポイント高くなっている。

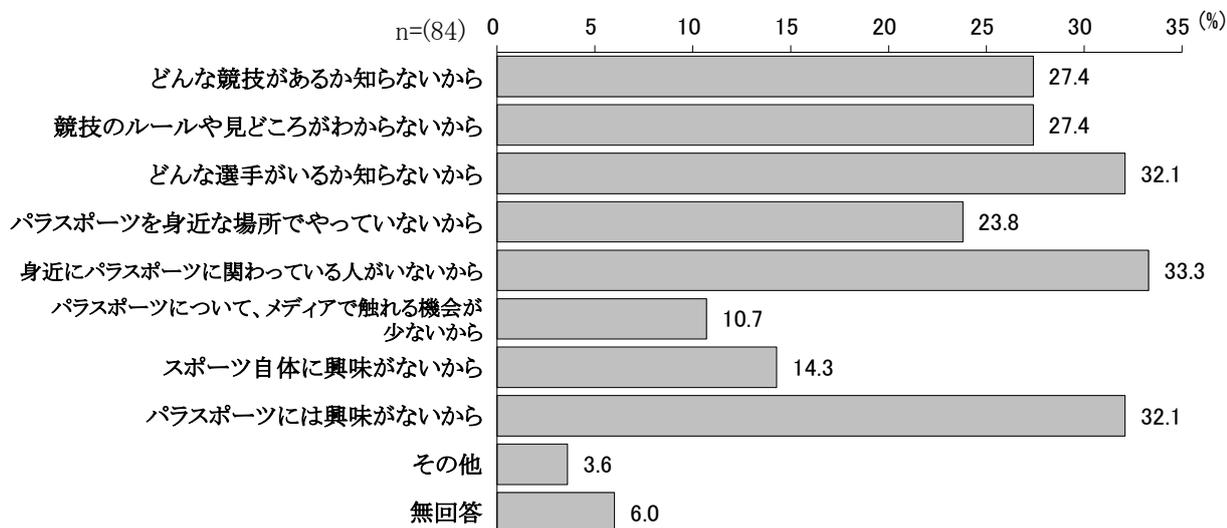
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	から身近に障害者がいる	大会を観戦したから	パラリンピック等の	「パラスポーツをよく耳にするから」	「パラスポーツをよく耳にするから」	市の情報で知ったから	「パラスポーツを見たことがあるから」	テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから	仕事等で関係しているから	自分や家族が行っているから	その他	無回答
全体	112 100.0	21 18.8	26 23.2	42 37.5	15 13.4	26 23.2	55 49.1	7 6.3	3 2.7	9 8.0	2 1.8		
20代	16 100.0	2 12.5	5 31.3	6 37.5	2 12.5	2 12.5	3 18.8	-	2 12.5	3 18.8	-		
30代	9 100.0	4 44.4	2 22.2	4 44.4	-	3 33.3	3 33.3	1 11.1	-	1 11.1	-		
40代	20 100.0	2 10.0	4 20.0	10 50.0	5 25.0	3 15.0	10 50.0	3 15.0	-	-	1 5.0		
50代	18 100.0	4 22.2	3 16.7	7 38.9	-	8 44.4	9 50.0	2 11.1	-	1 5.6	-		
60代	20 100.0	4 20.0	6 30.0	7 35.0	-	5 25.0	13 65.0	1 5.0	-	1 5.0	-		
70歳以上	26 100.0	3 11.5	6 23.1	8 30.8	8 30.8	3 11.5	17 65.4	-	-	3 11.5	1 3.8		

年代別ではそれぞれの回答者数が少ないため図示するに留めるが、回答傾向として20～40代では「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから」が最も高くなっている。

問31 関心がない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）【問29で「ない」に○をつけた方のみ】



パラスポーツに関心がない理由では、「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」が33.3%で最も高く、次いで「どんな選手がいるか知らないから」、「パラスポーツには興味がないから」が32.1%、「どんな競技があるか知らないから」、「競技のルールや見どころがわからないから」が27.4%となっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	知らないから 知らないから あるか										
全体	84 100.0	23 27.4	23 27.4	27 32.1	20 23.8	28 33.3	9 10.7	12 14.3	27 32.1	3 3.6	5 6.0	
男性	46 100.0	13 28.3	13 28.3	16 34.8	11 23.9	15 32.6	4 8.7	4 8.7	19 41.3	2 4.3	3 6.5	
女性	38 100.0	10 26.3	10 26.3	11 28.9	9 23.7	13 34.2	5 13.2	8 21.1	8 21.1	1 2.6	2 5.3	

性別にみると、「どんな選手がいるか知らないから」は男性で3割半ばと、女性よりも5.9ポイント高くなっている。また、「パラスポーツには興味がないから」は男性で4割を超えて多く、女性よりも20.2ポイント高くなっている。

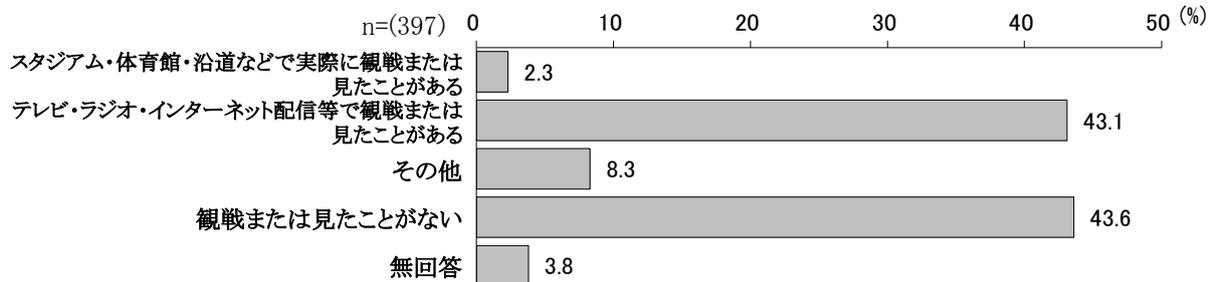
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	知らないから 知らないから あるか										
全体	84 100.0	23 27.4	23 27.4	27 32.1	20 23.8	28 33.3	9 10.7	12 14.3	27 32.1	3 3.6	5 6.0	
20代	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	3 75.0	-	-	
30代	11 100.0	4 36.4	2 18.2	4 36.4	2 18.2	3 27.3	2 18.2	4 36.4	2 18.2	-	1 9.1	
40代	15 100.0	4 26.7	5 33.3	7 46.7	5 33.3	7 46.7	1 6.7	1 6.7	6 40.0	-	-	
50代	16 100.0	7 43.8	6 37.5	5 31.3	3 18.8	5 31.3	1 6.3	2 12.5	4 25.0	-	2 12.5	
60代	15 100.0	1 6.7	4 26.7	6 40.0	3 20.0	5 33.3	1 6.7	2 13.3	4 26.7	1 6.7	2 13.3	
70歳以上	22 100.0	4 18.2	4 18.2	4 18.2	5 22.7	6 27.3	3 13.6	3 13.6	8 36.4	2 9.1	-	

年代別ではそれぞれの回答者数が少ないため図示するに留める。

問32 この1年間にパラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



※「テレビ・ラジオ・インターネット配信等」には、ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含まれる

この1年間におけるパラスポーツの観戦経験では、「観戦または見たことがない」が43.6%で最も高くなっているが、見たことがあると回答した人の中では「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」が43.1%で多くを占めており、「スタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦または見たことがある」は2.3%となっている。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	スタジアム・体育館・浴道など 実際に観戦または見たこと がある	テレビ・ラジオ・インターネット 配信等で観戦または 見たことがある	その他	観戦または見たことが ない	無回答
全体	397 100.0	9 2.3	171 43.1	33 8.3	173 43.6	15 3.8
男性	164 100.0	7 4.3	67 40.9	17 10.4	70 42.7	6 3.7
女性	228 100.0	2 0.9	103 45.2	16 7.0	101 44.3	7 3.1

性別にみると、特に大きな差はみられない。

Ⅲ 調査結果（市民）

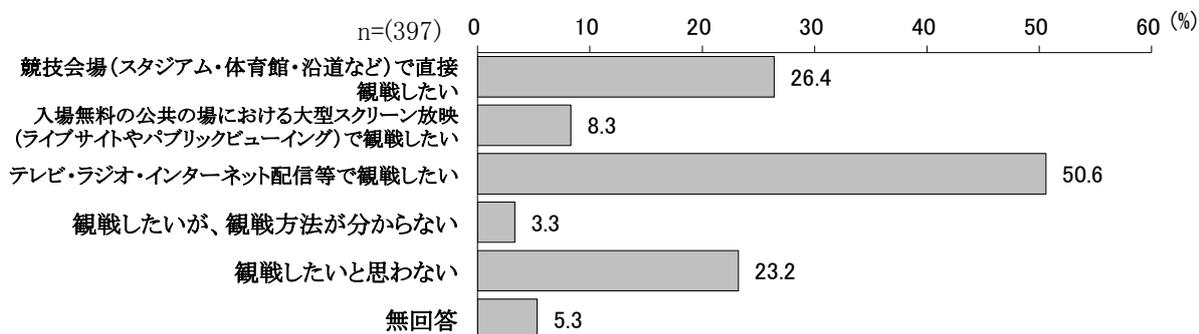
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	スタジアム・体育館・沿道などでは見たことがある	テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある	その他	観戦または見たことがない	無回答
全体	397 100.0	9 2.3	171 43.1	33 8.3	173 43.6	15 3.8
20代	32 100.0	2 6.3	9 28.1	5 15.6	16 50.0	-
30代	37 100.0	2 5.4	11 29.7	8 21.6	16 43.2	1
40代	75 100.0	2 2.7	28 37.3	6 8.0	39 52.0	1
50代	71 100.0	2 2.8	29 40.8	6 8.5	33 46.5	1
60代	78 100.0	-	43 55.1	3 3.8	30 38.5	2
70歳以上	92 100.0	1 1.1	47 51.1	3 3.3	35 38.0	8

年代別にみると、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」は60代以上で5割台と多くなっている。

問33 パラスポーツをどのようにして観戦したいですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



パラスポーツの希望する観戦方法では、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい」が50.6%で最も高く、次いで「競技会場（スタジアム・体育館・沿道など）で直接観戦したい」が26.4%、「観戦したいと思わない」が23.2%、「入場無料の公共の場における大型スクリーン放映（ライブサイトやパブリックビ」が8.3%、「観戦したいが、観戦方法が分からない」が3.3%となっている。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	競技会場（スタジアム・体育館・沿道など）で直接観戦したい	入場無料の公共の場における大型スクリーン放映（ライブサイトやパブリックビューイング）で観戦したい	テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい	観戦したいが、観戦方法が分からない	観戦したいと思わない	無回答
全体	397 100.0	105 26.4	33 8.3	201 50.6	13 3.3	92 23.2	21 5.3
男性	164 100.0	44 26.8	12 7.3	73 44.5	6 3.7	50 30.5	6 3.7
女性	228 100.0	61 26.8	21 9.2	126 55.3	7 3.1	41 18.0	13 5.7

性別にみると、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい」は女性で5割半ばと多く、男性よりも10.8ポイント高くなっている。一方、「観戦したいと思わない」は男性で3割を超えて、女性よりも12.5ポイント高くなっている。

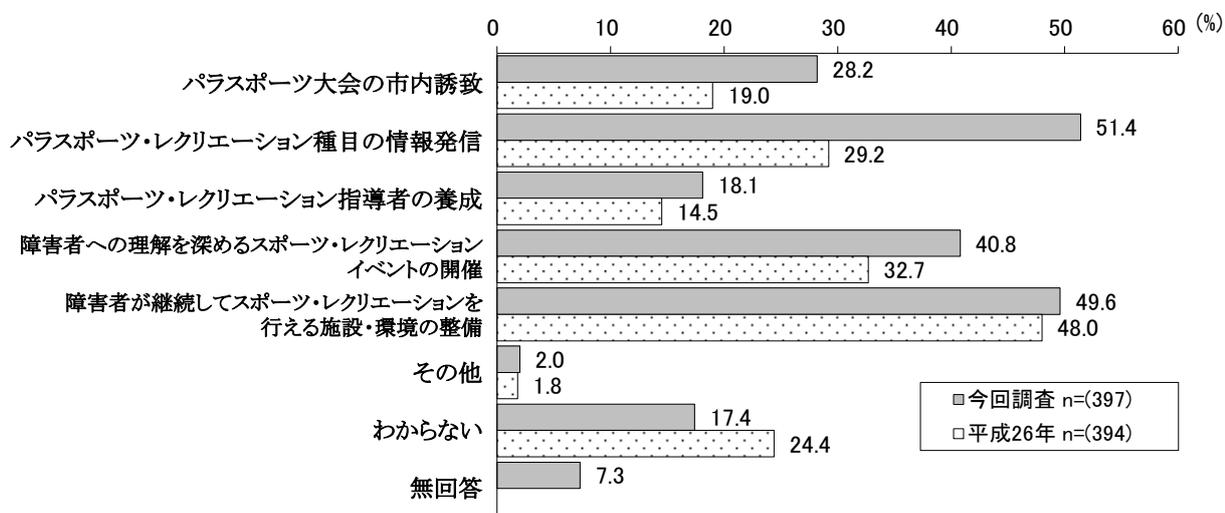
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	競技会場（スタジアム・体育館・沿道など）で直接観戦したい	入場無料の公共の場における大型スクリーン放映（ライブサイトやパブリックビューイング）で観戦したい	テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい	観戦したいが、観戦方法が分からない	観戦したいと思わない	無回答
全体	397 100.0	105 26.4	33 8.3	201 50.6	13 3.3	92 23.2	21 5.3
20代	32 100.0	11 34.4	6 18.8	12 37.5	1 3.1	7 21.9	-
30代	37 100.0	11 29.7	6 16.2	17 45.9	1 2.7	10 27.0	-
40代	75 100.0	27 36.0	3 4.0	33 44.0	4 5.3	18 24.0	2 2.7
50代	71 100.0	20 28.2	5 7.0	40 56.3	2 2.8	16 22.5	2 2.8
60代	78 100.0	18 23.1	6 7.7	41 52.6	4 5.1	17 21.8	4 5.1
70歳以上	92 100.0	17 18.5	7 7.6	51 55.4	1 1.1	22 23.9	11 12.0

年代別にみると、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい」は年代があがるにつれ割合が概ね多くなる傾向となっている。また、「競技会場（スタジアム・体育館・沿道など）で直接観戦したい」は20代と40代で3割台と多くなっている。

問34 パラスポーツを推進するために、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（上位3つまで記入）【全員回答】



パラスポーツを推進するために市が取り組むべきことでは、「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」が51.4%で最も高く、次いで「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が49.6%、「障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が40.8%、「パラスポーツ大会の市内誘致」が28.2%、「パラスポーツ・レクリエーション指導者の養成」が18.1%となっている。

過去との比較で見ると、すべての項目で平成26年を上回っており、特に「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」は22.2ポイント増加している。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	市内誘致 パラスポーツ大会の	情報発信 パラスポーツ種目の	養成 パラスポーツ指導者の	開催 パラスポーツ・レクリエーションイベントの	障害者への理解を深める パラスポーツ・レクリエーションイベントの	環境の整備 障害者への理解を深める パラスポーツ・レクリエーションを行える施設・	障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・	その他	わからない	無回答
全体	397 100.0	112 28.2	204 51.4	72 18.1	162 40.8	197 49.6	8 2.0	69 17.4	29 7.3		
男性	164 100.0	48 29.3	82 50.0	31 18.9	67 40.9	75 45.7	3 1.8	35 21.3	8 4.9		
女性	228 100.0	64 28.1	121 53.1	41 18.0	94 41.2	121 53.1	5 2.2	32 14.0	19 8.3		

性別にみると、「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」は男女ともに5割台と多くなっている。また、「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」は女性で5割を超えて多く、男性よりも7.4ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

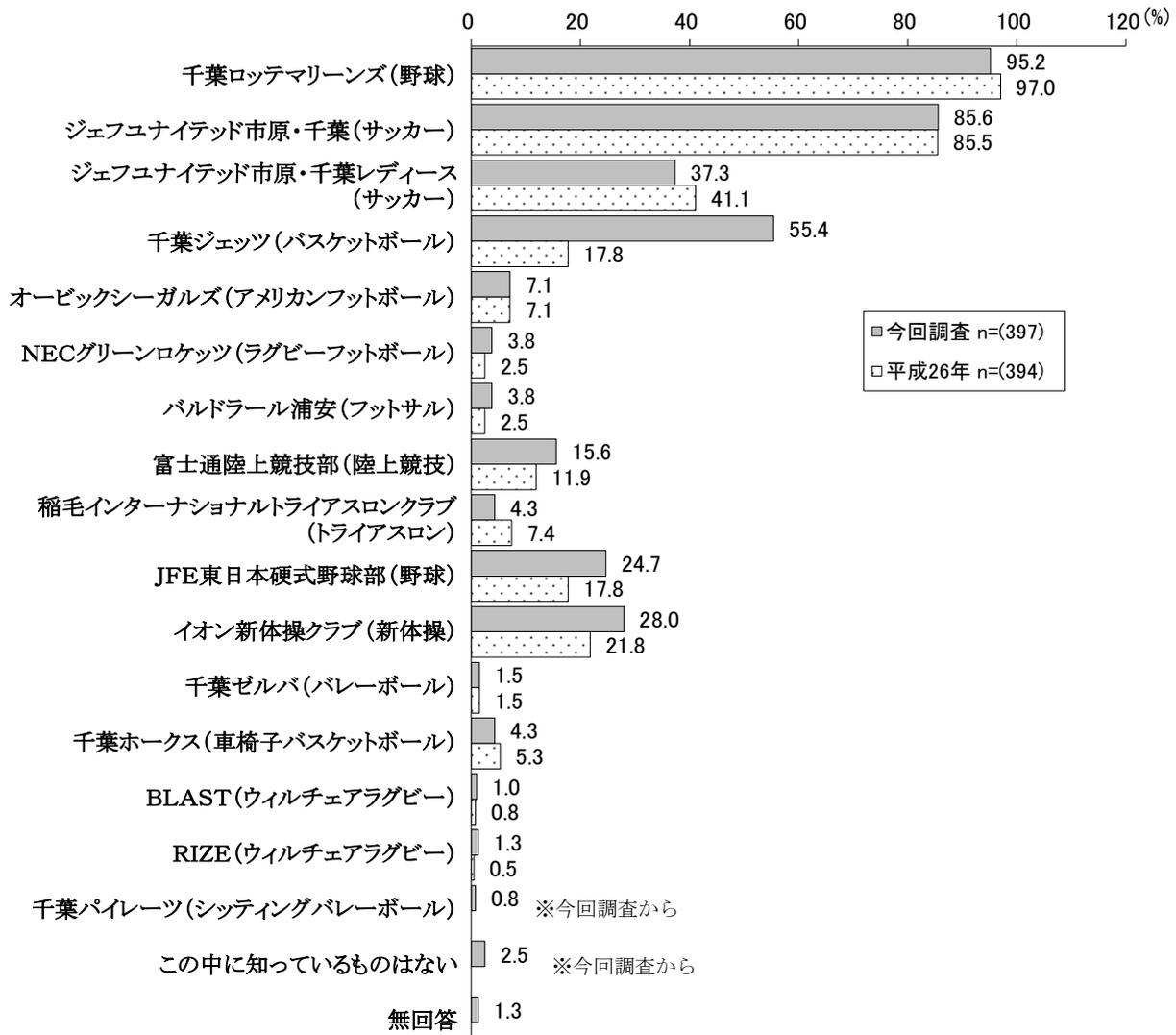
	調査数	市内誘致 パラスポーツ大会の	情報発信 パラスポーツ種目の	養成 パラスポーツ指導者の	開催 パラスポーツ・レクリエーションイベントの	障害者への理解を深める パラスポーツ・レクリエーションイベントの	環境の整備 障害者への理解を深める パラスポーツ・レクリエーションを行える施設・	障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・	その他	わからない	無回答
全体	397 100.0	112 28.2	204 51.4	72 18.1	162 40.8	197 49.6	8 2.0	69 17.4	29 7.3		
20代	32 100.0	17 53.1	21 65.6	3 9.4	12 37.5	16 50.0	1 3.1	4 12.5	-		
30代	37 100.0	8 21.6	21 56.8	4 10.8	20 54.1	15 40.5	2 5.4	9 24.3	-		
40代	75 100.0	26 34.7	44 58.7	14 18.7	29 38.7	41 54.7	3 4.0	13 17.3	2 2.7		
50代	71 100.0	21 29.6	39 54.9	8 11.3	36 50.7	34 47.9	2 2.8	9 12.7	5 7.0		
60代	78 100.0	20 25.6	41 52.6	22 28.2	33 42.3	49 62.8	-	12 15.4	2 2.6		
70歳以上	92 100.0	18 19.6	32 34.8	19 20.7	27 29.3	39 42.4	-	19 20.7	18 19.6		

年代別にみると、「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」は20代で6割半ばと多くなっている。また、「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」は60代で6割を超えて多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

（９）トップスポーツとの交流について

問35 次のトップスポーツチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



トップスポーツチームの認知では、「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が95.2%で最も高く、次いで「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」が85.6%、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」が55.4%、「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）」が37.3%、「イオン新体操クラブ（新体操）」が28.0%となっている。

過去との比較でみると、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」は平成26年よりも3倍以上増加している。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉ロッテマリーンズ（野球）	原・千葉（サッカ―）	ジェフユナイテッド市（サッカ―）	ジェフユナイテッド市（バスケットボール）	千葉ジェッツ（バスケットボール）	オービックシーガルズ（アメリカンフットボール）	ポール（ラグビーフットボール）	NECグリーンロケッツ（ラグビーフットボール）	バルドラール浦安（フットサル）	富士通陸上競技部（陸上競技）	稲毛インターナショナル（トライアスロンクラブ）	JFE東日本硬式野球部（野球）	イオン新体操クラブ（新体操）	千葉ゼルバ（バレーボール）	千葉ホークス（車椅子バスケットボール）	BLAST（ウイールチェアラグビー）	RIZE（ウイールチェアラグビー）	千葉バイレッツ（シットイングバレーボール）	この中に知っているものはない	無回答
全体	397 100.0	378 95.2	340 85.6	148 37.3	220 55.4	28 7.1	15 3.8	15 3.8	62 15.6	17 4.3	98 24.7	111 28.0	6 1.5	17 4.3	4 1.0	5 1.3	3 0.8	10 2.5	5 1.3		
男性	164 100.0	158 96.3	147 89.6	63 38.4	96 58.5	21 12.8	13 7.9	12 7.3	34 20.7	6 3.7	58 35.4	30 18.3	2 1.2	7 4.3	1 0.6	-	-	1 0.6	3 1.8	2 1.2	
女性	228 100.0	217 95.2	191 83.8	83 36.4	122 53.5	7 3.1	2 0.9	3 1.3	28 12.3	11 4.8	40 17.5	79 34.6	4 1.8	10 4.4	3 1.3	5 2.2	2 0.9	7 3.1	1 0.4		

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が一番多くなっている。

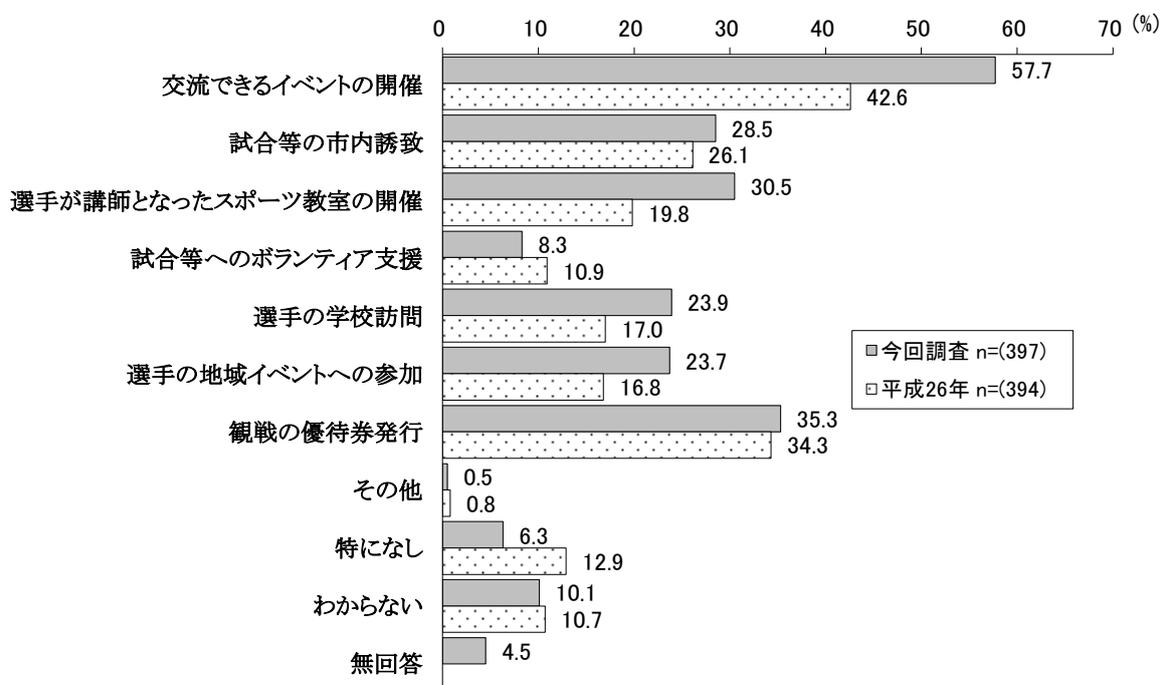
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉ロッテマリーンズ（野球）	原・千葉（サッカ―）	ジェフユナイテッド市（サッカ―）	ジェフユナイテッド市（バスケットボール）	千葉ジェッツ（バスケットボール）	オービックシーガルズ（アメリカンフットボール）	ポール（ラグビーフットボール）	NECグリーンロケッツ（ラグビーフットボール）	バルドラール浦安（フットサル）	富士通陸上競技部（陸上競技）	稲毛インターナショナル（トライアスロンクラブ）	JFE東日本硬式野球部（野球）	イオン新体操クラブ（新体操）	千葉ゼルバ（バレーボール）	千葉ホークス（車椅子バスケットボール）	BLAST（ウイールチェアラグビー）	RIZE（ウイールチェアラグビー）	千葉バイレッツ（シットイングバレーボール）	この中に知っているものはない	無回答
全体	397 100.0	378 95.2	340 85.6	148 37.3	220 55.4	28 7.1	15 3.8	15 3.8	62 15.6	17 4.3	98 24.7	111 28.0	6 1.5	17 4.3	4 1.0	5 1.3	3 0.8	10 2.5	5 1.3		
20代	32 100.0	31 96.9	28 87.5	12 37.5	24 75.0	3 9.4	2 6.3	2 6.3	4 12.5	-	-	6 18.8	3 9.4	1 3.1	3 9.4	-	3 9.4	-	-	-	-
30代	37 100.0	33 89.2	30 81.1	12 32.4	23 62.2	1 2.7	2 5.4	4 10.8	6 16.2	3 8.1	7 18.9	10 27.0	3 8.1	1 2.7	2 5.4	1 2.7	2 5.4	1 2.7	3 8.1	1 2.7	-
40代	75 100.0	74 98.7	71 94.7	33 44.0	54 72.0	8 10.7	4 5.3	5 6.7	11 14.7	5 6.7	11 14.7	9 12.0	22 29.3	31 41.3	3 4.0	3 4.0	1 1.3	1 1.3	2 2.7	-	1 1.3
50代	71 100.0	68 95.8	64 90.1	27 38.0	46 64.8	5 7.0	4 5.6	2 2.8	10 14.1	2 2.8	14 19.7	14 35.2	25 35.2	1 1.4	-	1 1.4	1 2.8	2 2.8	-	2 2.8	-
60代	78 100.0	76 97.4	74 94.9	30 38.5	35 44.9	5 6.4	2 2.6	1 1.3	14 17.9	1 1.3	14 17.9	1 1.3	25 32.1	25 32.1	-	6 7.7	1 1.3	-	-	1 1.3	-
70歳以上	92 100.0	86 93.5	65 70.7	31 33.7	34 37.0	6 6.5	1 1.1	1 1.1	16 17.4	1 1.1	16 17.4	2 2.2	24 26.1	15 16.3	-	2 2.2	-	-	-	4 4.3	2 2.2

年代別にみると、すべての年代において上位3項目は同じで「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が一番多くなっている。

問36 トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。（上位3つまで記入）【全員回答】



トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるために市に取り組んでほしいことでは、「交流できるイベントの開催」が57.7%で最も高く、次いで「観戦の優待券発行」が35.3%、「選手が講師となったスポーツ教室の開催」が30.5%、「試合等の市内誘致」が28.5%、「選手の学校訪問」が23.9%となっている。

過去との比較でみると、「交流できるイベントの開催」は15.1ポイント、「選手が講師となったスポーツ教室の開催」は10.7ポイント増加している。

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	の交流できるイベントの開催	試合等の市内誘致	選手が講師となったスポーツ教室の開催	試合等へのボランティア支援	選手の学校訪問	選手の地域イベントへの参加	観戦の優待券発行	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397 100.0	229 57.7	113 28.5	121 30.5	33 8.3	95 23.9	94 23.7	140 35.3	2 0.5	25 6.3	40 10.1	18 4.5
男性	164 100.0	91 55.5	53 32.3	43 26.2	10 6.1	32 19.5	48 29.3	60 36.6	1 0.6	12 7.3	15 9.1	7 4.3
女性	228 100.0	136 59.6	60 26.3	77 33.8	23 10.1	63 27.6	45 19.7	79 34.6	1 0.4	13 5.7	24 10.5	9 3.9

性別にみると、「選手が講師となったスポーツ教室の開催」は女性で3割半ばと、男性よりも7.6ポイント高くなっている。

【年代別】

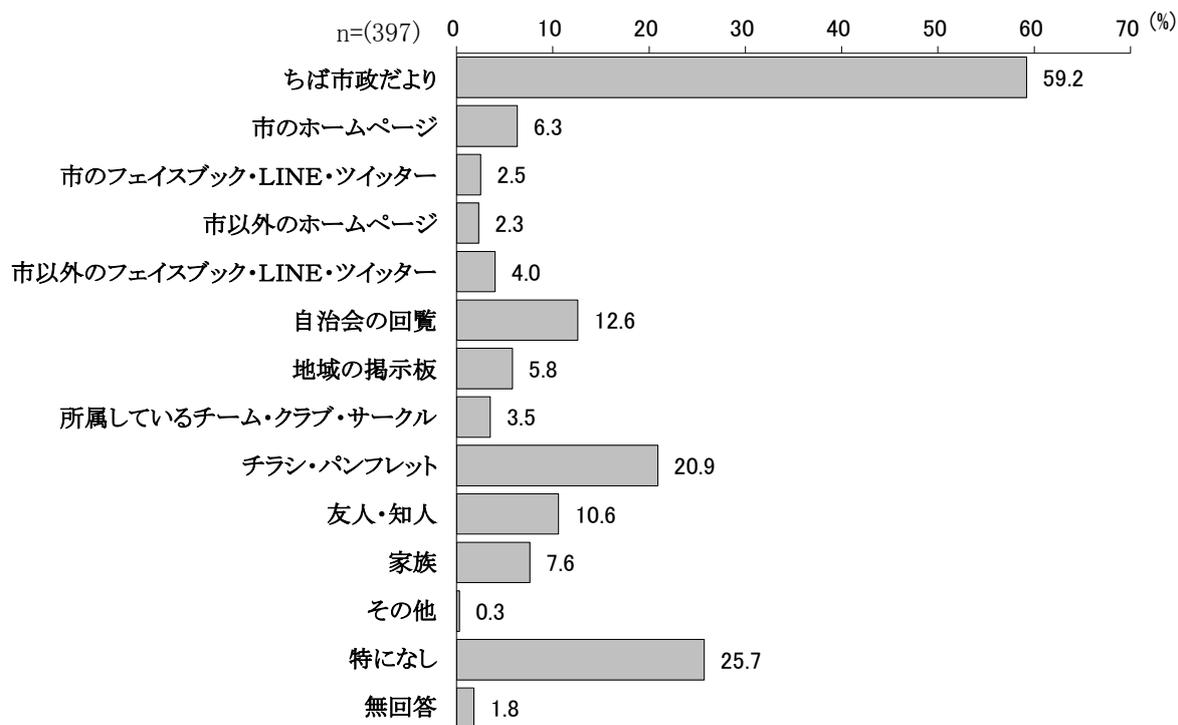
（上段：件数、下段：％）

	調査数	の交流できるイベントの開催	試合等の市内誘致	選手が講師となったスポーツ教室の開催	試合等へのボランティア支援	選手の学校訪問	選手の地域イベントへの参加	観戦の優待券発行	その他	特になし	わからない	無回答
全体	397 100.0	229 57.7	113 28.5	121 30.5	33 8.3	95 23.9	94 23.7	140 35.3	2 0.5	25 6.3	40 10.1	18 4.5
20代	32 100.0	23 71.9	12 37.5	7 21.9	2 6.3	8 25.0	6 18.8	18 56.3	-	-	3 9.4	-
30代	37 100.0	24 64.9	12 32.4	16 43.2	3 8.1	11 29.7	9 24.3	9 24.3	-	4 10.8	3 8.1	-
40代	75 100.0	50 66.7	19 25.3	27 36.0	11 14.7	27 36.0	19 25.3	34 45.3	-	3 4.0	4 5.3	-
50代	71 100.0	42 59.2	21 29.6	22 31.0	7 9.9	18 25.4	16 22.5	30 42.3	-	3 4.2	5 7.0	3 4.2
60代	78 100.0	45 57.7	24 30.8	26 33.3	6 7.7	16 20.5	22 28.2	24 30.8	1 1.3	4 5.1	9 11.5	2 2.6
70歳以上	92 100.0	38 41.3	23 25.0	19 20.7	3 3.3	13 14.1	21 22.8	21 22.8	1 1.1	11 12.0	14 15.2	11 12.0

年代別にみると、「交流できるイベントの開催」は20代で7割を超えて多く、また年代があがるにつれ割合は概ね減少する傾向にある。

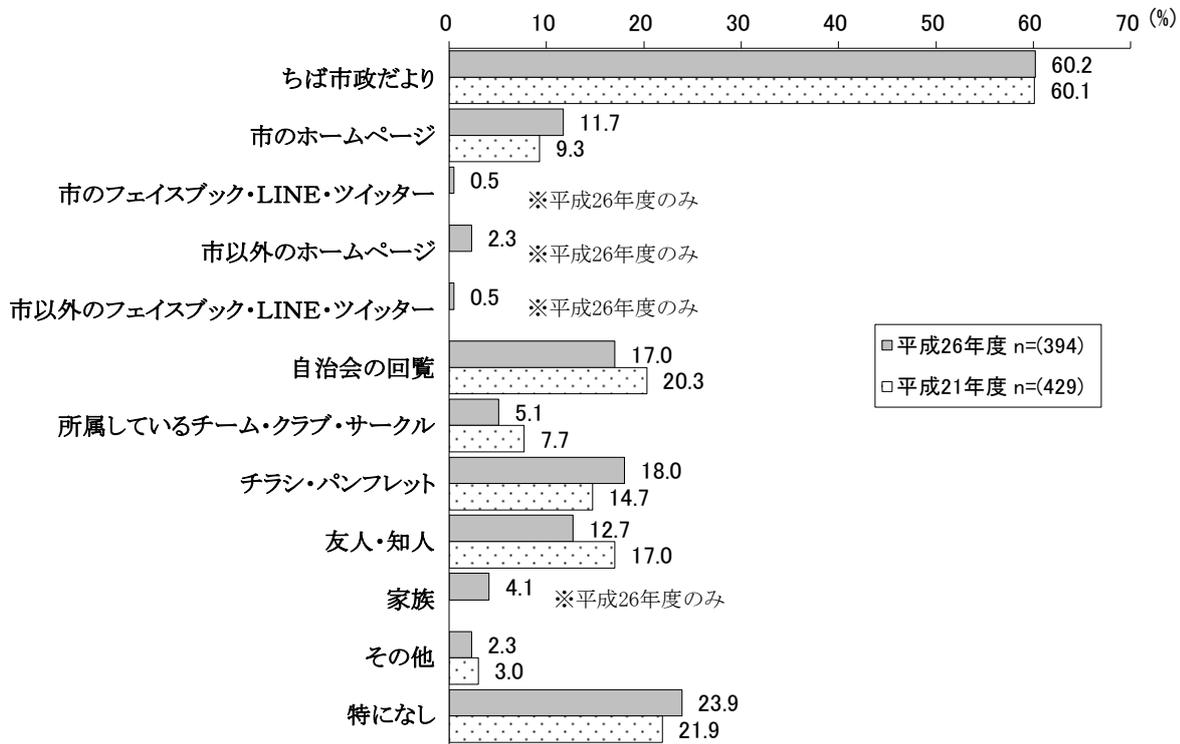
(10) 運動・スポーツの情報について

問37 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



市内の運動・スポーツなどに関する情報の入手先では、「ちば市政だより」が59.2%で最も高く、次いで「チラシ・パンフレット」が20.9%、「自治会の回覧」が12.6%、「友人・知人」が10.6%、「家族」が7.6%となっている。

【参考】過去の結果



【性別】

(上段：件数、下段：%)

	調査数	ちば市政だより	市のホームページ	市のフェイスブック・LINE・ツイッター	市以外のホームページ	市以外のフェイスブック・LINE・ツイッター	自治会の回覧	地域の掲示板	所属しているチーム・クラブ・サークル	チラシ・パンフレット	友人・知人	家族	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	235 59.2	25 6.3	10 2.5	9 2.3	16 4.0	50 12.6	23 5.8	14 3.5	83 20.9	42 10.6	30 7.6	1 0.3	102 25.7	7 1.8
男性	164 100.0	91 55.5	15 9.1	4 2.4	5 3.0	5 3.0	17 10.4	7 4.3	9 5.5	35 21.3	20 12.2	8 4.9	-	44 26.8	1 0.6
女性	228 100.0	143 62.7	10 4.4	6 2.6	4 1.8	11 4.8	32 14.0	16 7.0	5 2.2	47 20.6	22 9.6	21 9.2	1 0.4	57 25.0	4 1.8

性別にみると、男女ともに上位3項目は同じで「ちば市政だより」が一番多くなっている。

Ⅲ 調査結果（市民）

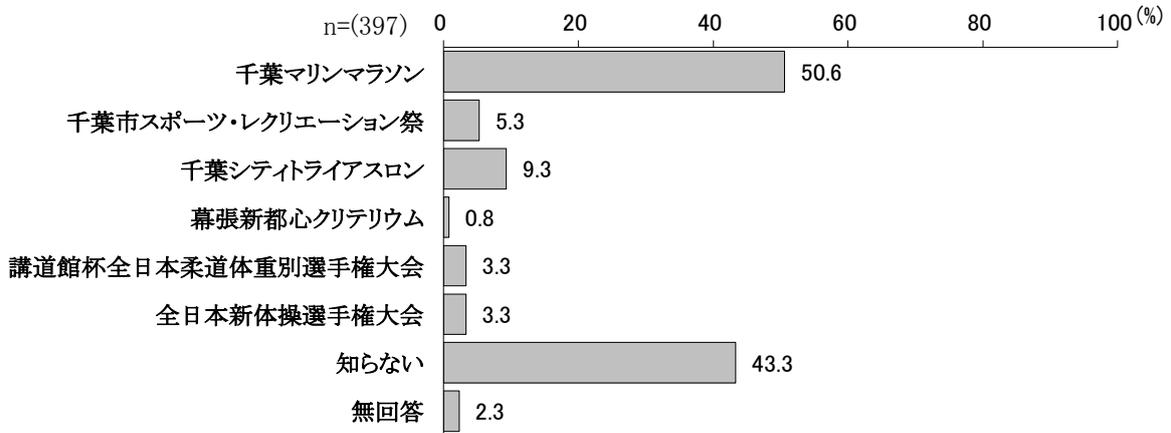
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	ちば市政だより	市のホームページ	市のフェイスブック・LINE・ツイッター	市以外のホームページ	市以外のフェイスブック・LINE・ツイッター	自治会の回覧	地域の掲示板	所属しているチーム・クラブ・サークル	チラシ・パンフレット	友人・知人	家族	その他	特になし	無回答
全体	397 100.0	235 59.2	25 6.3	10 2.5	9 2.3	16 4.0	50 12.6	23 5.8	14 3.5	83 20.9	42 10.6	30 7.6	1 0.3	102 25.7	7 1.8
20代	32 100.0	6 18.8	2 6.3	-	-	2 6.3	-	1 3.1	1 3.1	3 9.4	5 15.6	4 12.5	-	16 50.0	-
30代	37 100.0	19 51.4	2 5.4	3 8.1	2 5.4	5 13.5	-	1 2.7	2 5.4	6 16.2	4 10.8	8 21.6	-	15 40.5	-
40代	75 100.0	40 53.3	7 9.3	4 5.3	3 4.0	7 9.3	6 8.0	5 6.7	4 5.3	16 21.3	8 10.7	6 8.0	1 1.3	21 28.0	-
50代	71 100.0	44 62.0	5 7.0	2 2.8	2 2.8	1 1.4	7 9.9	3 4.2	2 2.8	18 25.4	4 5.6	3 4.2	-	17 23.9	-
60代	78 100.0	57 73.1	5 6.4	-	2 2.6	1 1.3	12 15.4	9 11.5	-	16 20.5	9 11.5	4 5.1	-	14 17.9	-
70歳以上	92 100.0	67 72.8	4 4.3	1 1.1	-	-	24 26.1	4 4.3	5 5.4	23 25.0	12 13.0	4 4.3	-	12 13.0	5 5.4

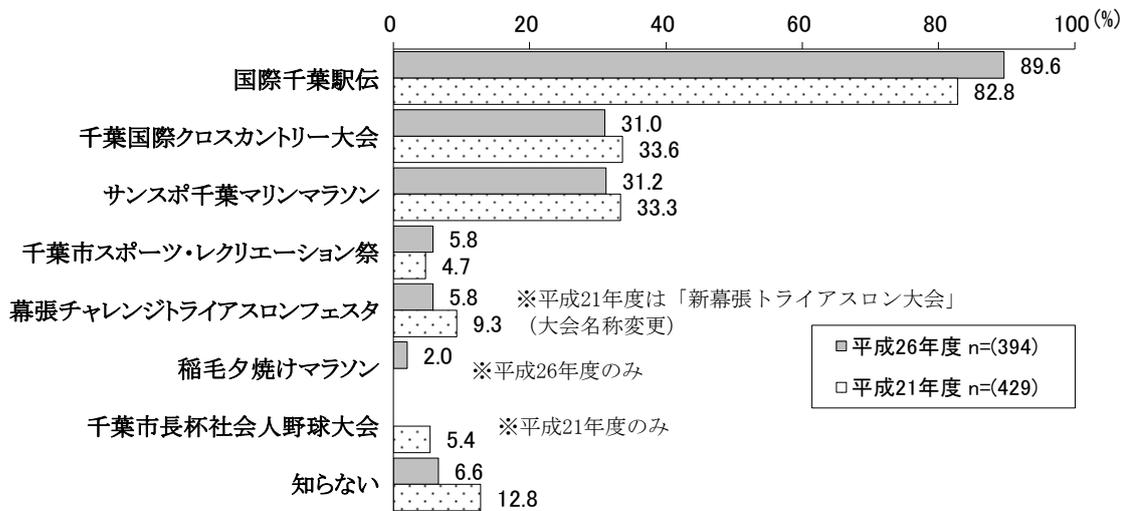
年代別にみると、「ちば市政だより」は60代以上で7割台と多く、年代があがるにつれて割合が概ね増加する傾向にある。

問38 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



市内で開催されているスポーツイベント等についての認知度では、「知らない」が43.3%と高くなっているが、知っていると回答した人の中では、「千葉マリンマラソン」が50.6%で最も高く、次いで「千葉シティトライアスロン」が9.3%、「千葉市スポーツ・レクリエーション祭」が5.3%、「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」、「全日本新体操選手権大会」が3.3%となっている。

【参考】過去の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉マリンマラソン	千葉県スポーツ・レクリエーション祭	千葉シティトライアスロン	幕張新都心クリテリウム	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	全日本新体操選手権大会	知らない	無回答
全体	397 100.0	201 50.6	21 5.3	37 9.3	3 0.8	13 3.3	13 3.3	172 43.3	9 2.3
男性	164 100.0	91 55.5	9 5.5	17 10.4	2 1.2	9 5.5	4 2.4	65 39.6	2 1.2
女性	228 100.0	109 47.8	12 5.3	20 8.8	1 0.4	4 1.8	9 3.9	105 46.1	5 2.2

性別にみると、「千葉マリンマラソン」は男性で5割半ばと多く、女性よりも7.7ポイント高くなっている。一方、「知らない」は女性で4割半ばと多く、男性よりも6.5ポイント高くなっている。

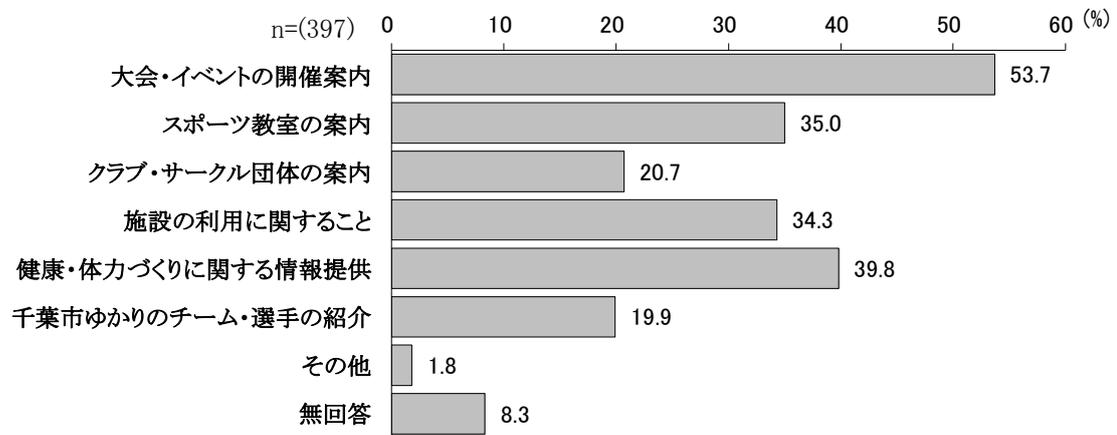
【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	千葉マリンマラソン	千葉県スポーツ・レクリエーション祭	千葉シティトライアスロン	幕張新都心クリテリウム	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	全日本新体操選手権大会	知らない	無回答
全体	397 100.0	201 50.6	21 5.3	37 9.3	3 0.8	13 3.3	13 3.3	172 43.3	9 2.3
20代	32 100.0	13 40.6	2 6.3	1 3.1	-	2 6.3	1 3.1	16 50.0	-
30代	37 100.0	15 40.5	1 2.7	6 16.2	-	1 2.7	-	22 59.5	-
40代	75 100.0	34 45.3	2 2.7	7 9.3	1 1.3	2 2.7	2 2.7	37 49.3	-
50代	71 100.0	42 59.2	1 1.4	8 11.3	1 1.4	1 1.4	-	29 40.8	-
60代	78 100.0	49 62.8	9 11.5	4 5.1	1 1.3	2 2.6	2 2.6	27 34.6	-
70歳以上	92 100.0	45 48.9	5 5.4	9 9.8	-	5 5.4	8 8.7	36 39.1	7 7.6

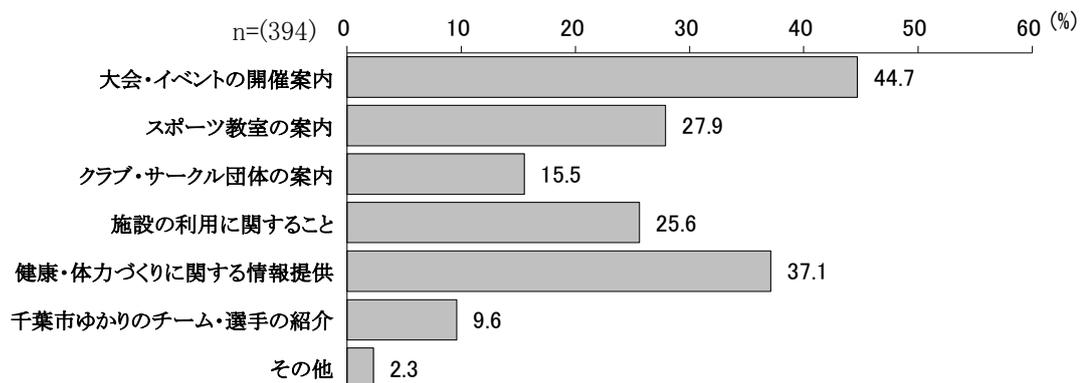
年代別にみると、「千葉マリンマラソン」は60代で6割を超えて多く、年代があがるにつれて割合が概ね増加する傾向にある。一方、「知らない」は30代で約6割と多く、年代が若いほど割合が高くなっている。

問39 市には特にどのような情報を提供してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）
【全員回答】



市に提供してほしい情報では、「大会・イベントの開催案内」が53.7%で最も高く、次いで「健康・体力づくりに関する情報提供」が39.8%、「スポーツ教室の案内」が35.0%、「施設の利用に関すること」が34.3%、「クラブ・サークル団体の案内」が20.7%となっている。

【参考】平成26年の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	大会・イベントの開催案内	スポーツ教室の案内	クラブ・サークル団体の案内	施設の利用に関すること	健康・体力づくりに関する情報提供	千葉市ゆかりのチーム・選手の紹介	その他	無回答
全体	397 100.0	213 53.7	139 35.0	82 20.7	136 34.3	158 39.8	79 19.9	7 1.8	33 8.3
男性	164 100.0	99 60.4	54 32.9	37 22.6	61 37.2	62 37.8	38 23.2	3 1.8	8 4.9
女性	228 100.0	114 50.0	84 36.8	44 19.3	75 32.9	96 42.1	41 18.0	4 1.8	21 9.2

性別にみると、「大会・イベントの開催案内」は男性で約6割と多く、女性よりも10.4ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	大会・イベントの開催案内	スポーツ教室の案内	クラブ・サークル団体の案内	施設の利用に関すること	健康・体力づくりに関する情報提供	千葉市ゆかりのチーム・選手の紹介	その他	無回答
全体	397 100.0	213 53.7	139 35.0	82 20.7	136 34.3	158 39.8	79 19.9	7 1.8	33 8.3
20代	32 100.0	21 65.6	12 37.5	6 18.8	8 25.0	9 28.1	8 25.0	-	-
30代	37 100.0	19 51.4	16 43.2	13 35.1	17 45.9	9 24.3	7 18.9	1 2.7	3 8.1
40代	75 100.0	50 66.7	30 40.0	16 21.3	27 36.0	23 30.7	15 20.0	2 2.7	1 1.3
50代	71 100.0	40 56.3	27 38.0	16 22.5	22 31.0	27 38.0	15 21.1	2 2.8	4 5.6
60代	78 100.0	39 50.0	28 35.9	13 16.7	30 38.5	40 51.3	17 21.8	1 1.3	6 7.7
70歳以上	92 100.0	39 42.4	21 22.8	14 15.2	26 28.3	47 51.1	16 17.4	1 1.1	15 16.3

年代別にみると、「大会、イベントの開催案内」は20代と40代で6割台と多くなっている。また、「健康・体力づくりに関する情報提供」は60代以上で5割台と多くなっている。

【実施頻度別】

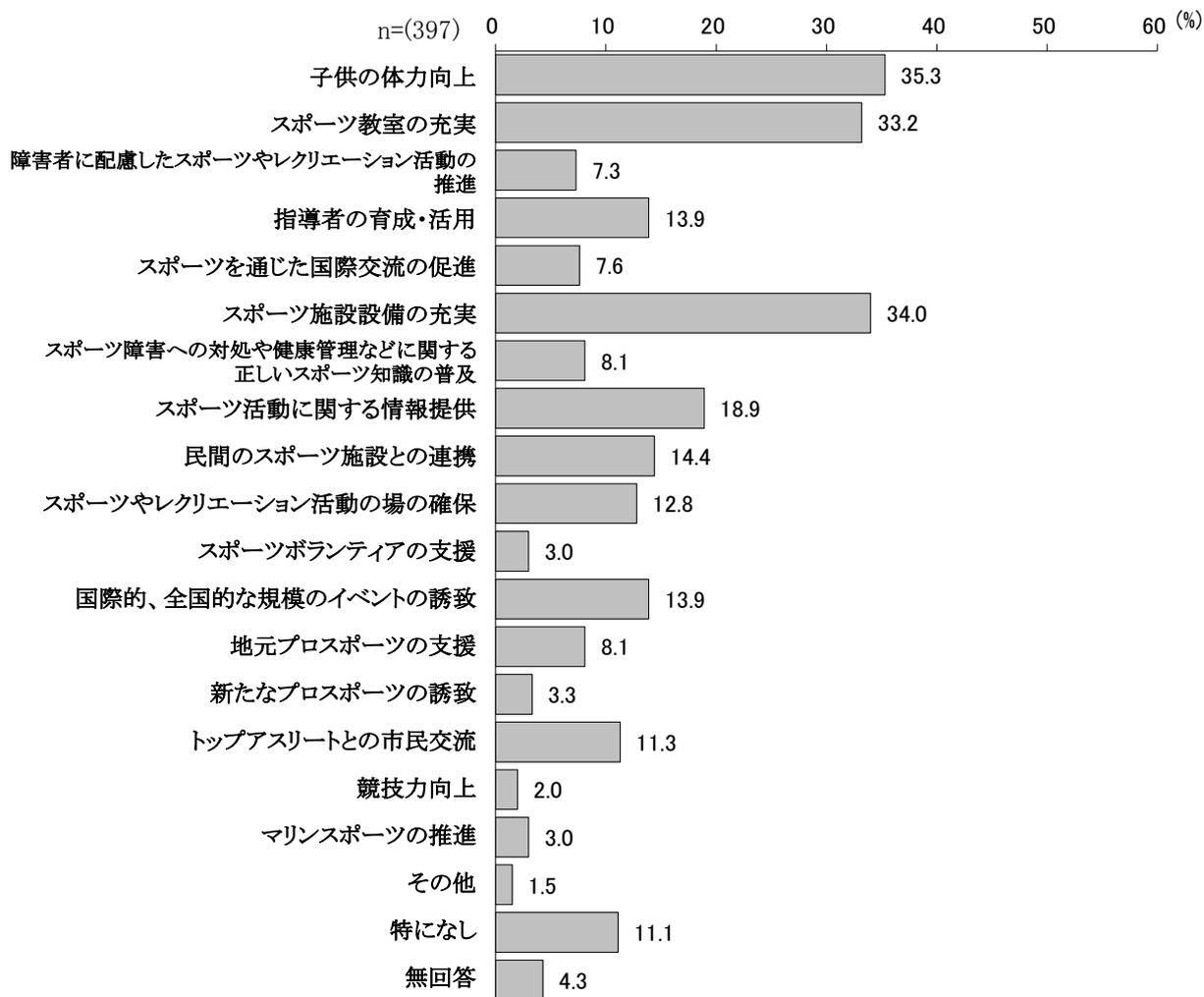
（上段：件数、下段：％）

	調査数	大会・イベントの開催案内	スポーツ教室の案内	クラブ・サークル団体の案内	施設の利用に関すること	健康・体力づくりに関する情報提供	千葉市ゆかりのチーム・選手の紹介	その他	無回答
全体	397 100.0	213 53.7	139 35.0	82 20.7	136 34.3	158 39.8	79 19.9	7 1.8	33 8.3
週に3日以上	152 100.0	80 52.6	48 31.6	25 16.4	48 31.6	78 51.3	28 18.4	2 1.3	17 11.2
週に1～2日	108 100.0	60 55.6	44 40.7	30 27.8	36 33.3	41 38.0	16 14.8	-	5 4.6
週1日未満	45 100.0	31 68.9	20 44.4	13 28.9	21 46.7	13 28.9	15 33.3	1 2.2	1 2.2
ほとんど行っていない	87 100.0	41 47.1	26 29.9	12 13.8	29 33.3	24 27.6	19 21.8	4 4.6	10 11.5

実施頻度別にみると、「大会・イベントの開催案内」は週1日未満で7割近くと多く、「健康・体力づくりに関する情報提供」は週3日以上で5割を超えて多くなっている。また「スポーツ教室の案内」は、実施していると回答した人の中でも頻度が低いほど割合が高くなっている。

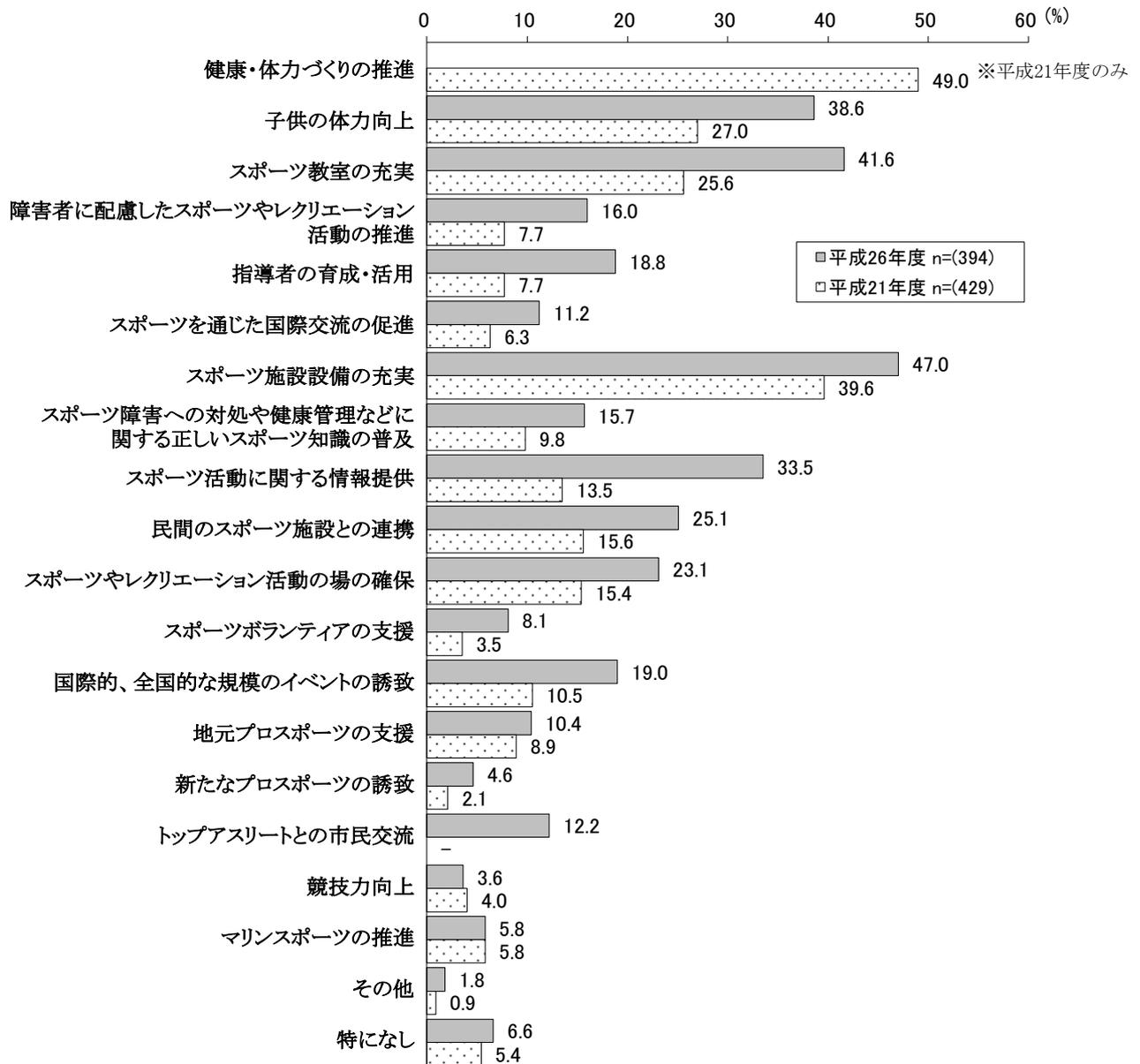
(11) 運動・スポーツに関する市の施策に対する期待について

問40 運動・スポーツをもっと振興させるために、市にはどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまで数字を記入）【全員回答】



運動・スポーツを振興させるために市に力を入れてほしいことでは、「子供の体力向上」が35.3%で最も高く、次いで「スポーツ施設設備の充実」が34.0%、「スポーツ教室の充実」が33.2%、「スポーツ活動に関する情報提供」が18.9%、「民間のスポーツ施設との連携」が14.4%となっている。

【参考】過去の結果



Ⅲ 調査結果（市民）

【性別】

（上段：件数、下段：％）

	調査数	子供の体力向上	スポーツ教室の充実	障害者に配慮したスポーツやレクリエーション活動の推進	指導者の育成・活用	交流の促進	実スポーツ施設設備の充実	健康管理等に関する正しい知識の普及	情報提供	スポーツ活動に関する情報提供	民間のスポーツ施設との連携	スポーツやレクリエーション活動の場の確保	スポーツボランティアの支援	国際的、全国的な規模のイベントの誘致	地元プロスポーツの支援	新たなプロスポーツの誘致	市民交流	トップアスリートとの交流	競技力向上	マリンスポーツの推進	その他	特になし	無回答
全体	397	140	132	29	55	30	135	32	75	57	51	12	55	32	13	45	8	12	6	44	17		
	100.0	35.3	33.2	7.3	13.9	7.6	34.0	8.1	18.9	14.4	12.8	3.0	13.9	8.1	3.3	11.3	2.0	3.0	1.5	11.1	4.3		
男性	164	58	51	13	25	14	61	13	35	26	18	7	26	12	5	11	4	5	5	16	7		
	100.0	35.4	31.1	7.9	15.2	8.5	37.2	7.9	21.3	15.9	11.0	4.3	15.9	7.3	3.0	6.7	2.4	3.0	3.0	9.8	4.3		
女性	228	82	81	16	30	16	73	19	40	31	33	5	29	20	8	34	4	7	1	28	6		
	100.0	36.0	35.5	7.0	13.2	7.0	32.0	8.3	17.5	13.6	14.5	2.2	12.7	8.8	3.5	14.9	1.8	3.1	0.4	12.3	2.6		

性別にみると、「スポーツ施設設備の充実」は男性で4割近くと多く、女性よりも5.2ポイント高くなっている。

【年代別】

（上段：件数、下段：％）

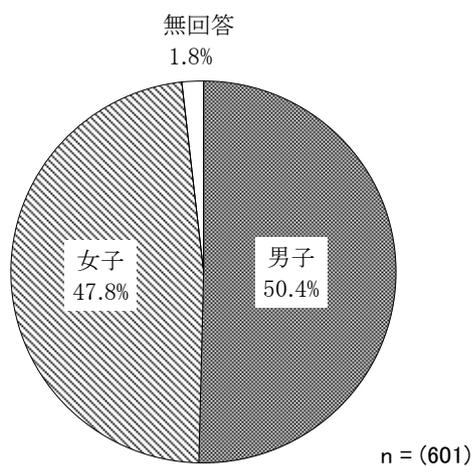
	調査数	子供の体力向上	スポーツ教室の充実	障害者に配慮したスポーツやレクリエーション活動の推進	指導者の育成・活用	交流の促進	実スポーツ施設設備の充実	健康管理等に関する正しい知識の普及	情報提供	スポーツ活動に関する情報提供	民間のスポーツ施設との連携	スポーツやレクリエーション活動の場の確保	スポーツボランティアの支援	国際的、全国的な規模のイベントの誘致	地元プロスポーツの支援	新たなプロスポーツの誘致	市民交流	トップアスリートとの交流	競技力向上	マリンスポーツの推進	その他	特になし	無回答
全体	397	140	132	29	55	30	135	32	75	57	51	12	55	32	13	45	8	12	6	44	17		
	100.0	35.3	33.2	7.3	13.9	7.6	34.0	8.1	18.9	14.4	12.8	3.0	13.9	8.1	3.3	11.3	2.0	3.0	1.5	11.1	4.3		
20代	32	10	15	3	3	7	10	4	5	3	4	1	5	4	1	2	3	2	-	2	-		
	100.0	31.3	46.9	9.4	9.4	21.9	31.3	12.5	15.6	9.4	12.5	3.1	15.6	12.5	3.1	6.3	9.4	6.3	-	6.3	-		
30代	37	21	16	3	4	3	13	2	4	4	1	-	6	3	-	5	-	1	2	4	1		
	100.0	56.8	43.2	8.1	10.8	8.1	35.1	5.4	10.8	10.8	2.7	-	16.2	8.1	-	13.5	-	2.7	5.4	10.8	2.7		
40代	75	25	24	7	10	5	26	6	12	18	5	5	15	9	2	15	-	4	3	6	-		
	100.0	33.3	32.0	9.3	13.3	6.7	34.7	8.0	16.0	24.0	6.7	6.7	20.0	12.0	2.7	20.0	-	5.3	4.0	8.0	-		
50代	71	23	23	2	9	4	35	3	12	17	13	1	14	5	6	8	2	2	-	6	1		
	100.0	32.4	32.4	2.8	12.7	5.6	49.3	4.2	16.9	23.9	18.3	1.4	19.7	7.0	8.5	11.3	2.8	2.8	-	8.5	1.4		
60代	78	25	22	9	17	8	29	7	20	6	19	5	9	5	3	14	2	2	-	4	2		
	100.0	32.1	28.2	11.5	21.8	10.3	37.2	9.0	25.6	7.7	24.4	6.4	11.5	6.4	3.8	17.9	2.6	2.6	-	5.1	2.6		
70歳以上	92	33	29	5	10	2	18	9	20	9	9	-	5	5	1	1	1	1	-	1	21		
	100.0	35.9	31.5	5.4	10.9	2.2	19.6	9.8	21.7	9.8	9.8	-	5.4	5.4	1.1	1.1	1.1	-	1.1	22.8	9.8		

年代別にみると、「子供の体力向上」は30代で6割近くと多く、「スポーツ施設設備の充実」は50代で5割近くと多くなっている。また、「スポーツ教室の充実」は20代で5割近くと多くなっている。

2. 小学生アンケート

（1）属性

性別を教えてください。【全員回答】

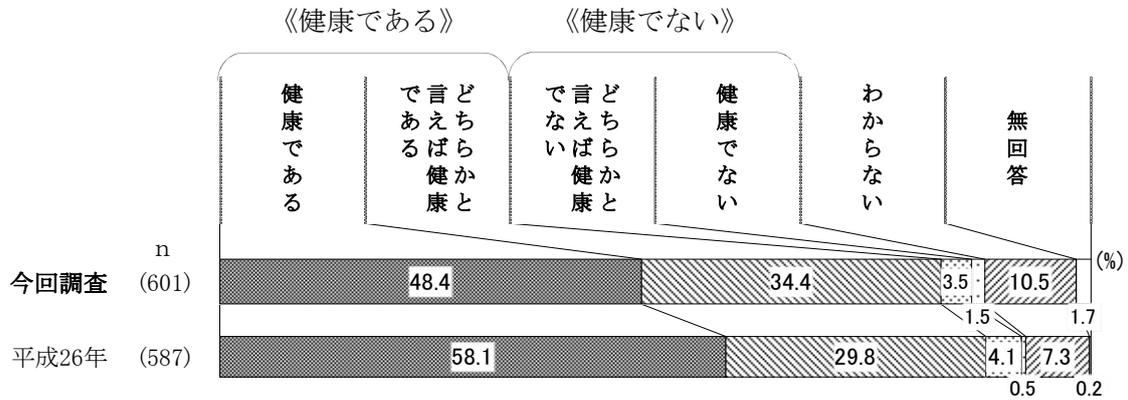


「男子」が50.4%、「女子」が47.8%で男子の回答割合が多くなっている。

Ⅲ 調査結果（小学生）

（2）あなたの健康状態等について

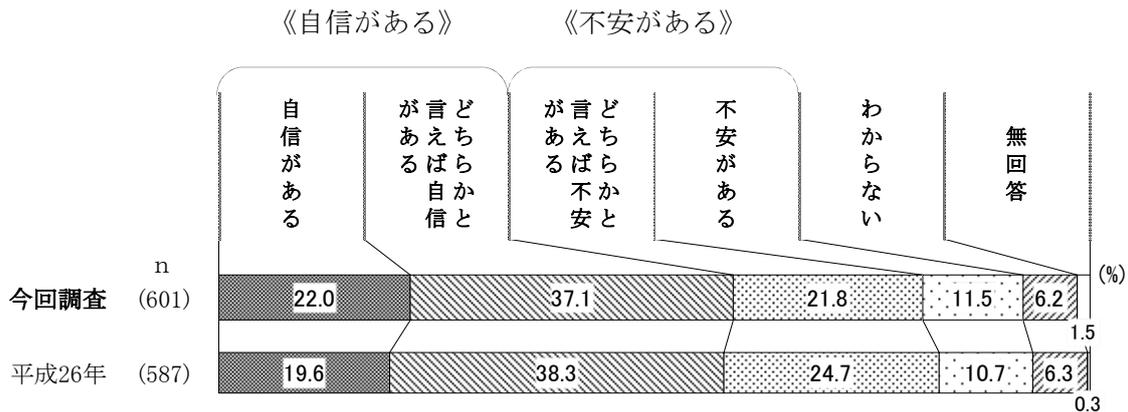
問2 健康状態をどのように感じていますか。【全員回答】



健康状態では、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた《健康である》は82.8%、「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」を合わせた《健康でない》は5.0%となっている。

過去との比較でみると、《健康である》は平成26年よりも5.1ポイント減少している。

問3 体力についてどのように感じていますか。【全員回答】



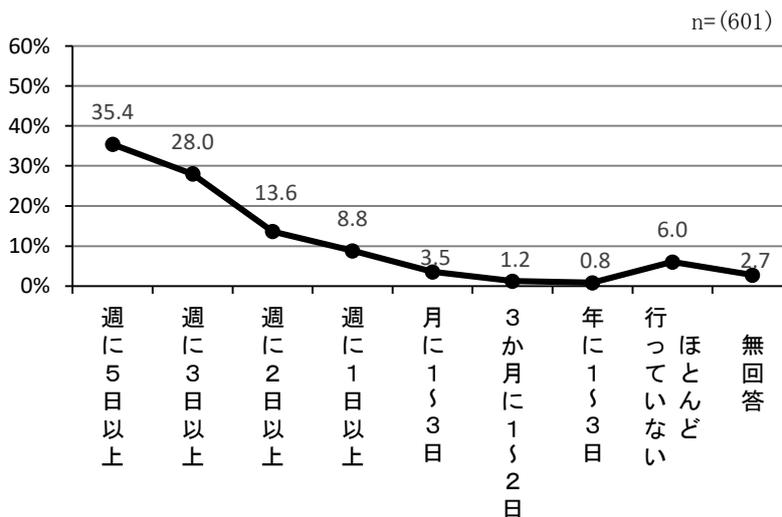
自分の体力については、「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」を合わせた《自信がある》は59.1%、「不安がある」と「どちらかといえば不安がある」を合わせた《不安がある》は33.3%となっている。

過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

（3）運動・スポーツの実施状況等について

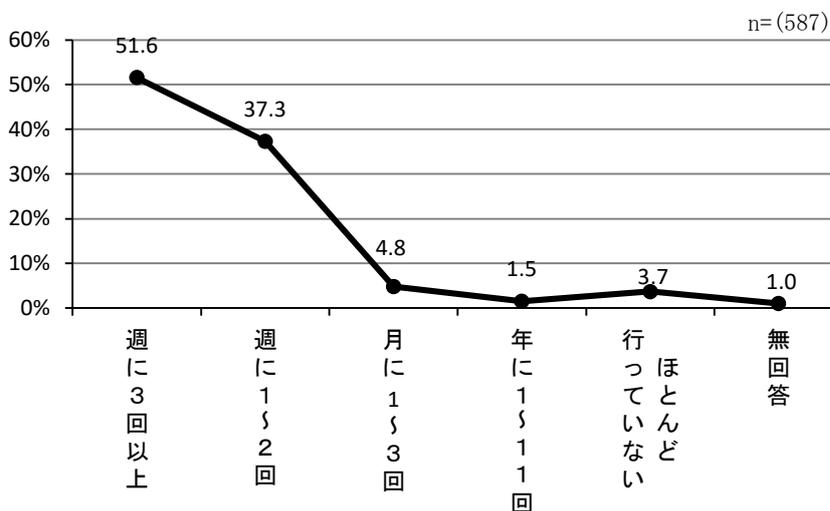
問4 体育の授業以外で、運動・スポーツをどれくらいしますか。【全員回答】

※ここでいう「運動」や「スポーツ」には、野球・サッカーなどのルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、縄跳びや自転車に乗るなど、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含む。

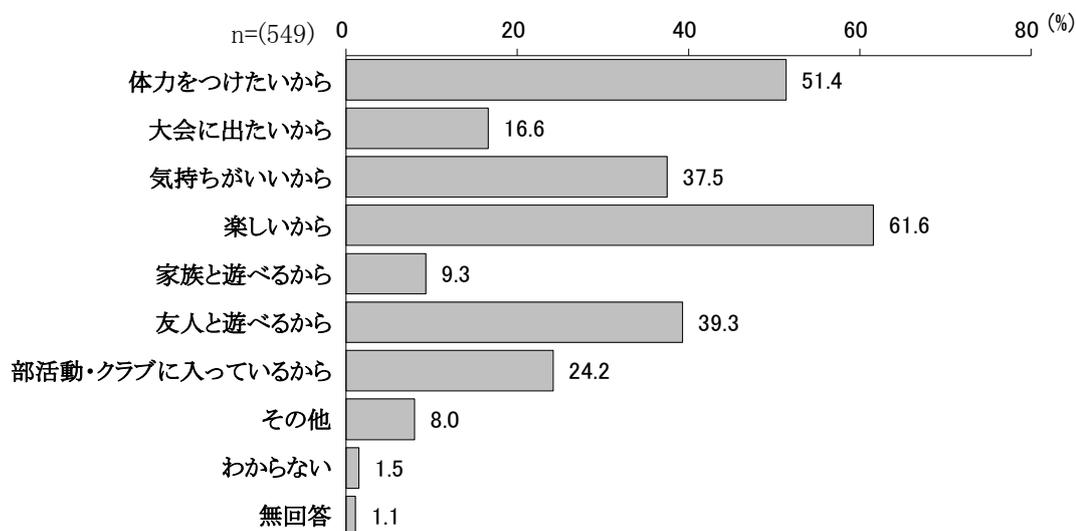


運動・スポーツの実施状況では、「週に5日以上」が35.4%で最も高く、次いで「週に3日以上」が28.0%、「週に2日以上」が13.6%、「週に1日以上」が8.8%、「ほとんど行っていない」が6.0%となっている。

【参考】平成26年の結果

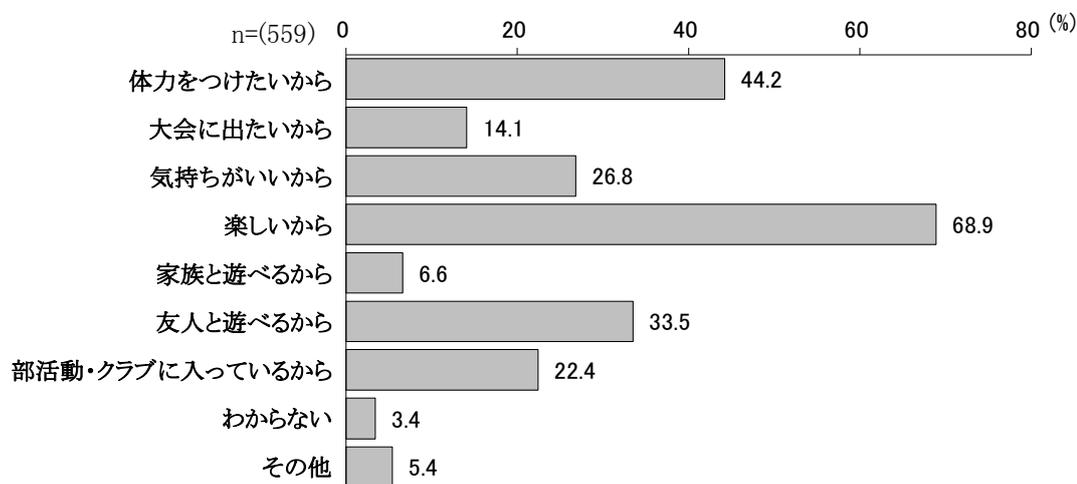


問5 する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問4で“行っている”に○をつけた人だけ教えてください】

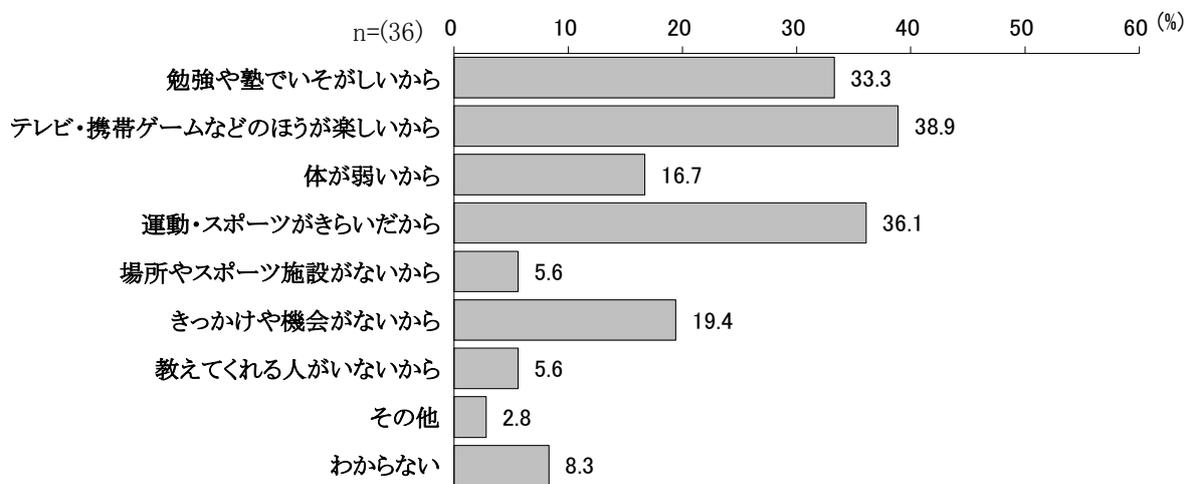


運動・スポーツをする理由では、「楽しいから」が61.6%で最も高く、次いで「体力をつけたいから」が51.4%、「友人と遊べるから」が39.3%、「気持ちがいいから」が37.5%、「部活動・クラブに入っているから」が24.2%となっている。

【参考】平成26年の結果

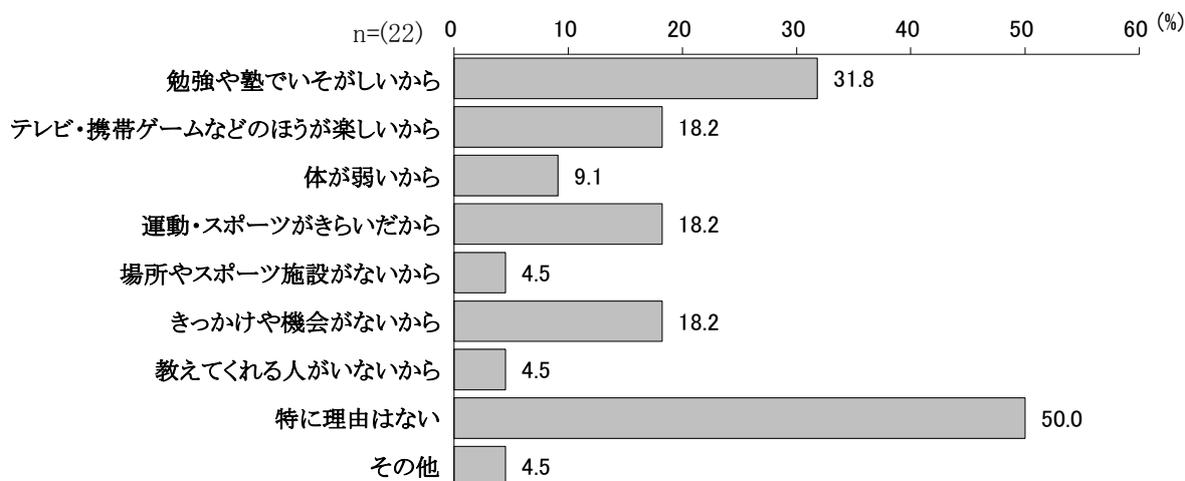


問6 ほとんどしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問4で「ほとんど行っていない」に○をつけた人だけ教えてください】

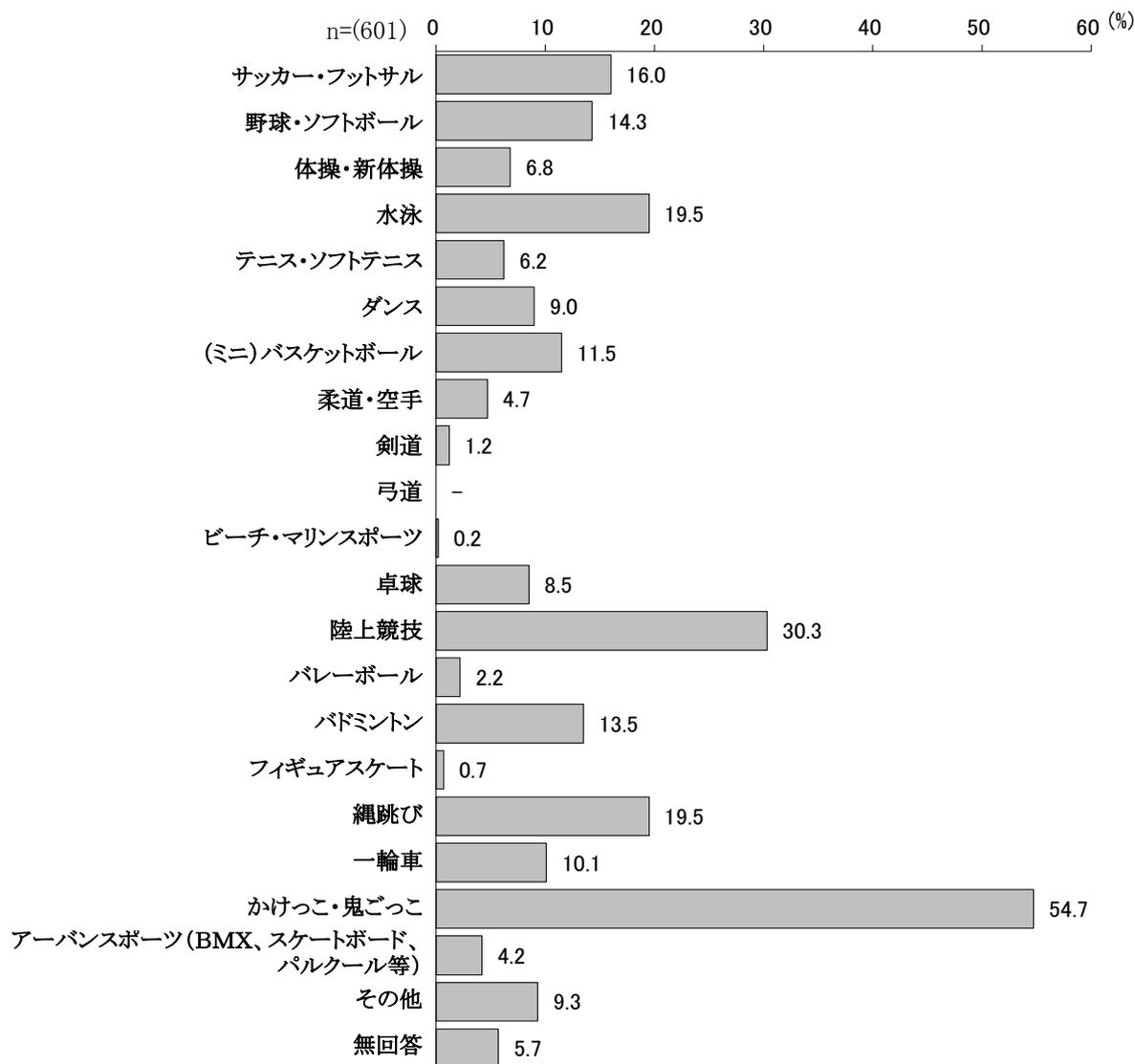


運動・スポーツをしない理由では、「テレビ・携帯ゲームなどのほうが楽しいから」が38.9%で最も高く、次いで「運動・スポーツがきらいだから」が36.1%、「勉強や塾でいそがしいから」が33.3%、「きっかけや機会がないから」が19.4%、「体が弱いから」が16.7%となっている。

【参考】平成26年の結果

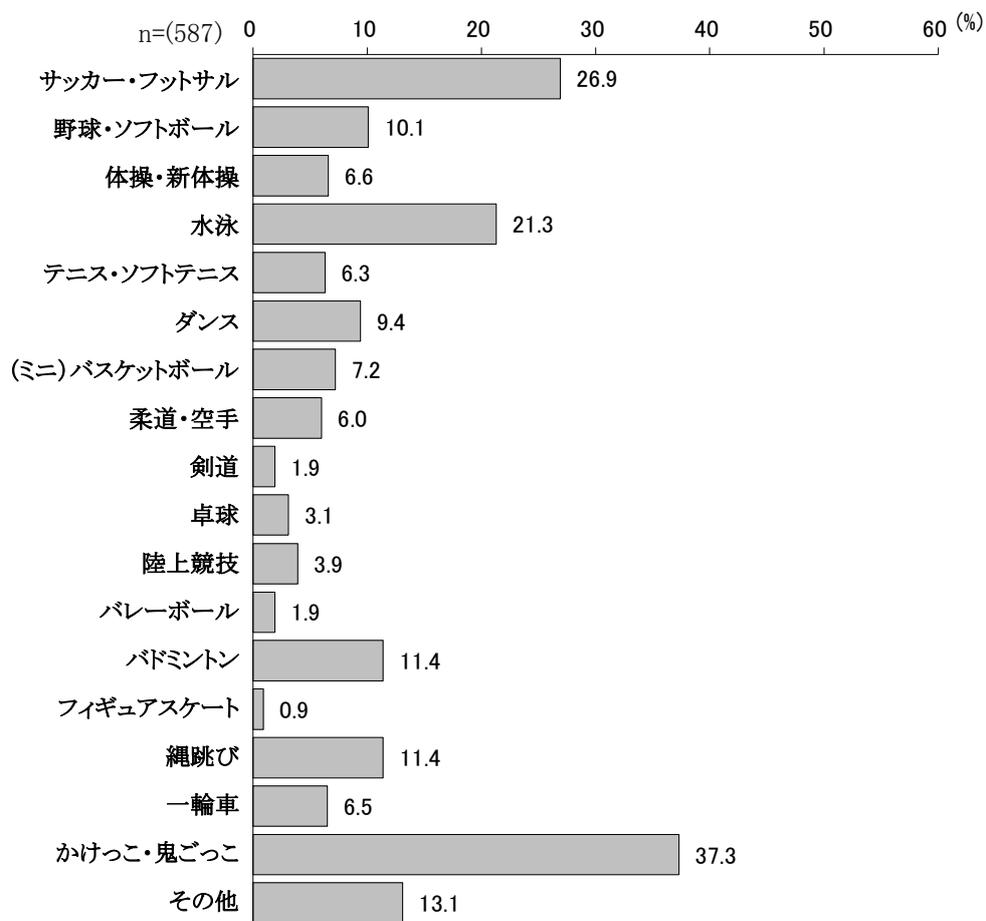


問7 現在やっている運動・スポーツは何ですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

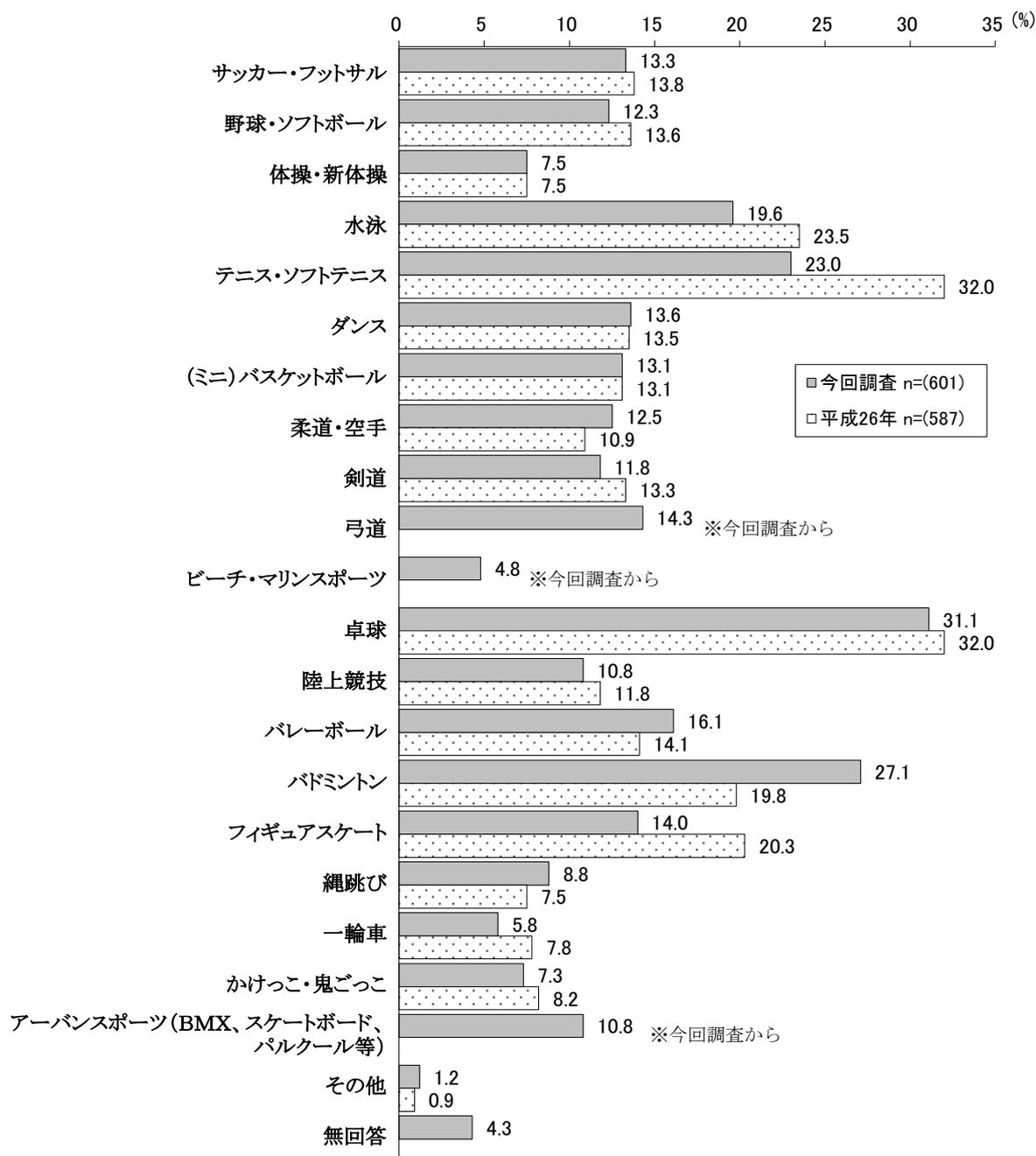


現在やっている運動やスポーツでは、「かけっこ・鬼ごっこ」が54.7%で最も高く、次いで「陸上競技」が30.3%、「水泳」、「縄跳び」が19.5%、「サッカー・フットサル」が16.0%となっている。

【参考】平成26年の結果



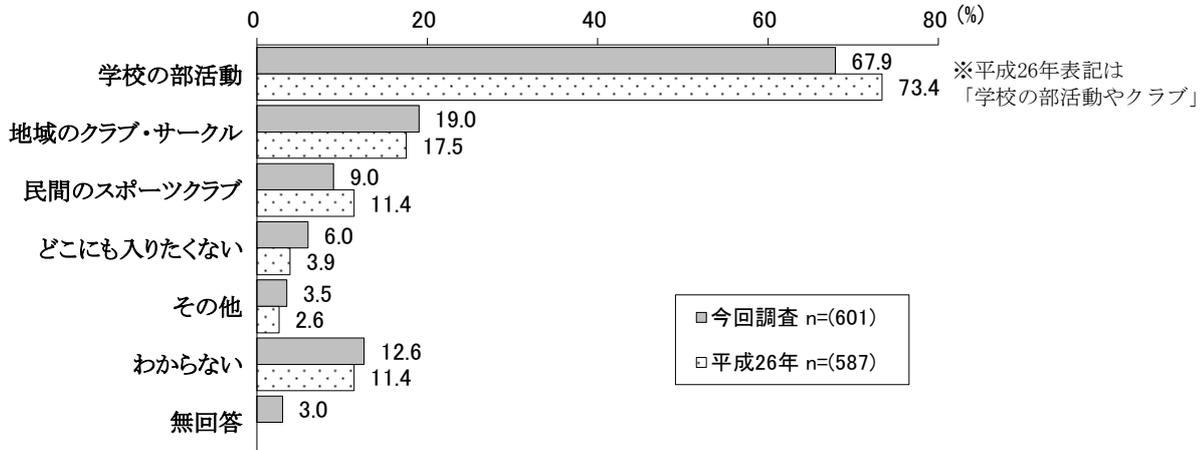
問8 今後、やってみたいものは何ですか。（問7の20個の選択肢から、上位3つまで記入）
【全員回答】



今後やってみたい運動やスポーツでは、「卓球」が31.1%で最も高く、次いで「バドミントン」が27.1%、「テニス・ソフトテニス」が23.0%、「水泳」が19.6%、「バレーボール」が16.1%となっている。

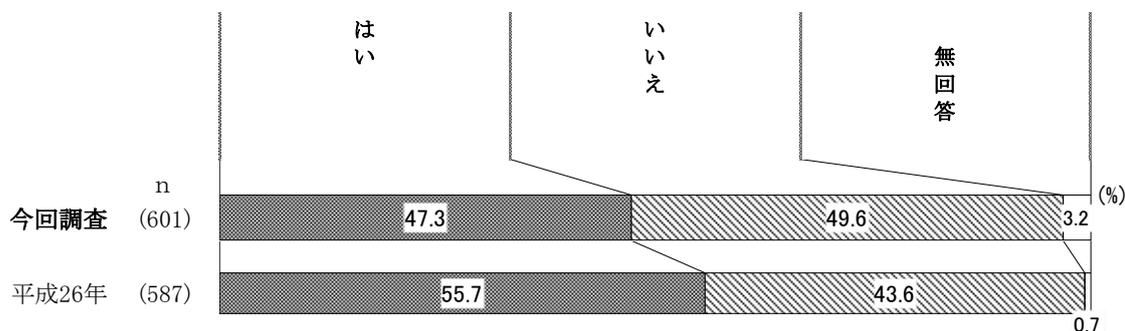
過去との比較でみると、「バドミントン」は7.3ポイント増加している。一方、「テニス・ソフトテニス」は9.0ポイント、「フィギュアスケート」は6.3ポイント減少している。

問9 中学生になったら、どのようなところで運動・スポーツをしたいですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



中学生になったら運動やスポーツをしたい場所では、「学校の部活動」が67.9%で最も高く、次いで「地域のクラブ・サークル」が19.0%、「民間のスポーツクラブ」が9.0%となっている。過去との比較でみると、「学校の部活動」は平成26年よりも5.5ポイント減少している。

問10 スイミングクラブや、地域の野球チームのような学校以外のスポーツクラブに入っていますか。【全員回答】



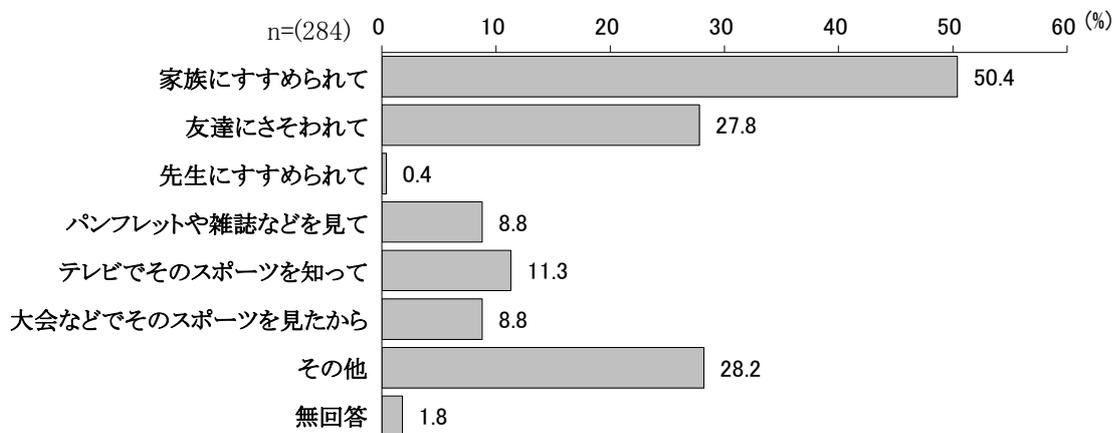
学校以外のスポーツクラブへの所属の有無では、「はい」が47.3%、「いいえ」が49.6%となっている。

過去との比較でみると、「はい」は平成26年よりも8.4ポイント減少している。

【参考】入っているスポーツクラブ

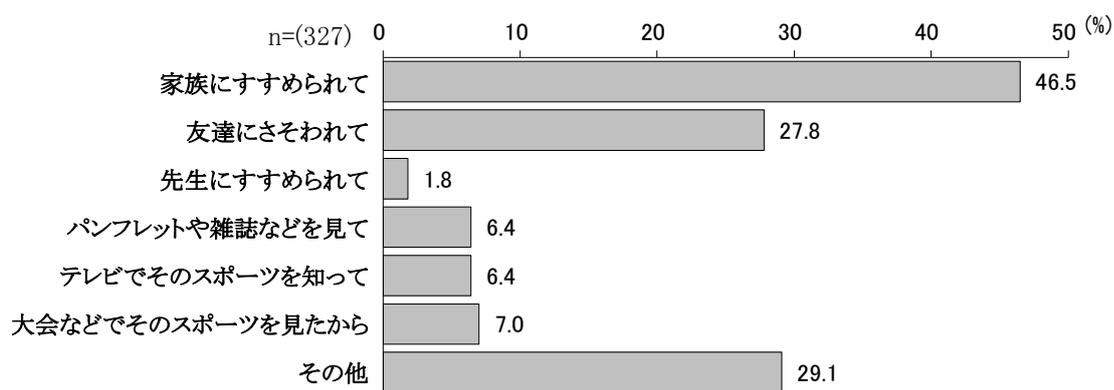
項目	件数
水泳	75
サッカー	48
ダンス	26
野球	23
テニス	20
体操	19
バスケットボール	17
ミニバスケットボール	11
空手	9
新体操	7
バレーボール	6
陸上	5
フットサル	4
バドミントン	4
合気道	3
チアリーディング	3
バレエ	2
ラグビー	2
自転車	2
その他	16

問11 入ったきっかけとそのスポーツは何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問10で「はい」に○をつけた人だけ教えてください】



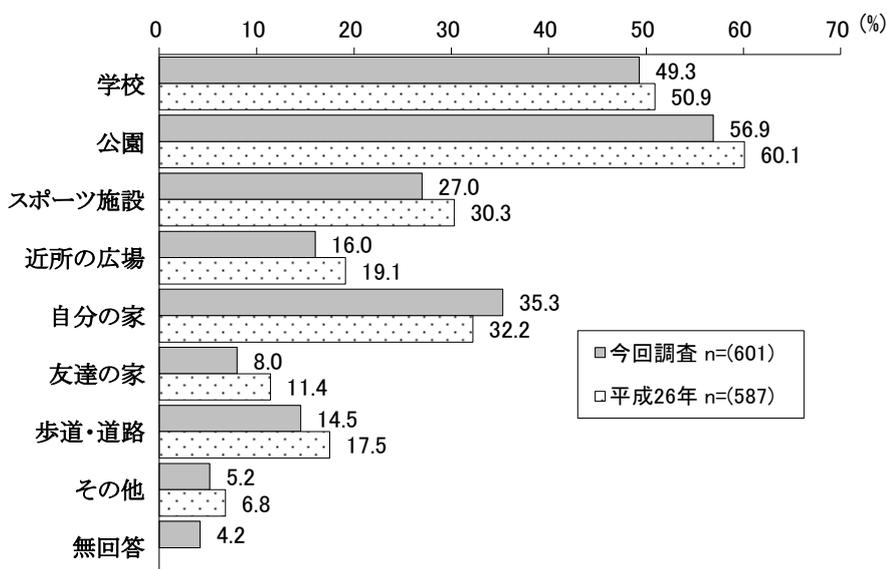
スポーツクラブに入ったきっかけとそのスポーツでは、「家族にすすめられて」が50.4%で最も高く、次いで「友達にさそわれて」が27.8%、「テレビでそのスポーツを知って」が11.3%、「パンフレットや雑誌などを見て」、「大会などでそのスポーツを見たから」が8.8%となっている。また、「その他」が28.2%となっているが、記述内容をみると「兄や姉がやっていて憧れた、楽しそうだったから」や「自分がやりたい、入りたいと思ったから」などがある。

【参考】平成26年の結果



（４）運動・スポーツを行う場所・施設について

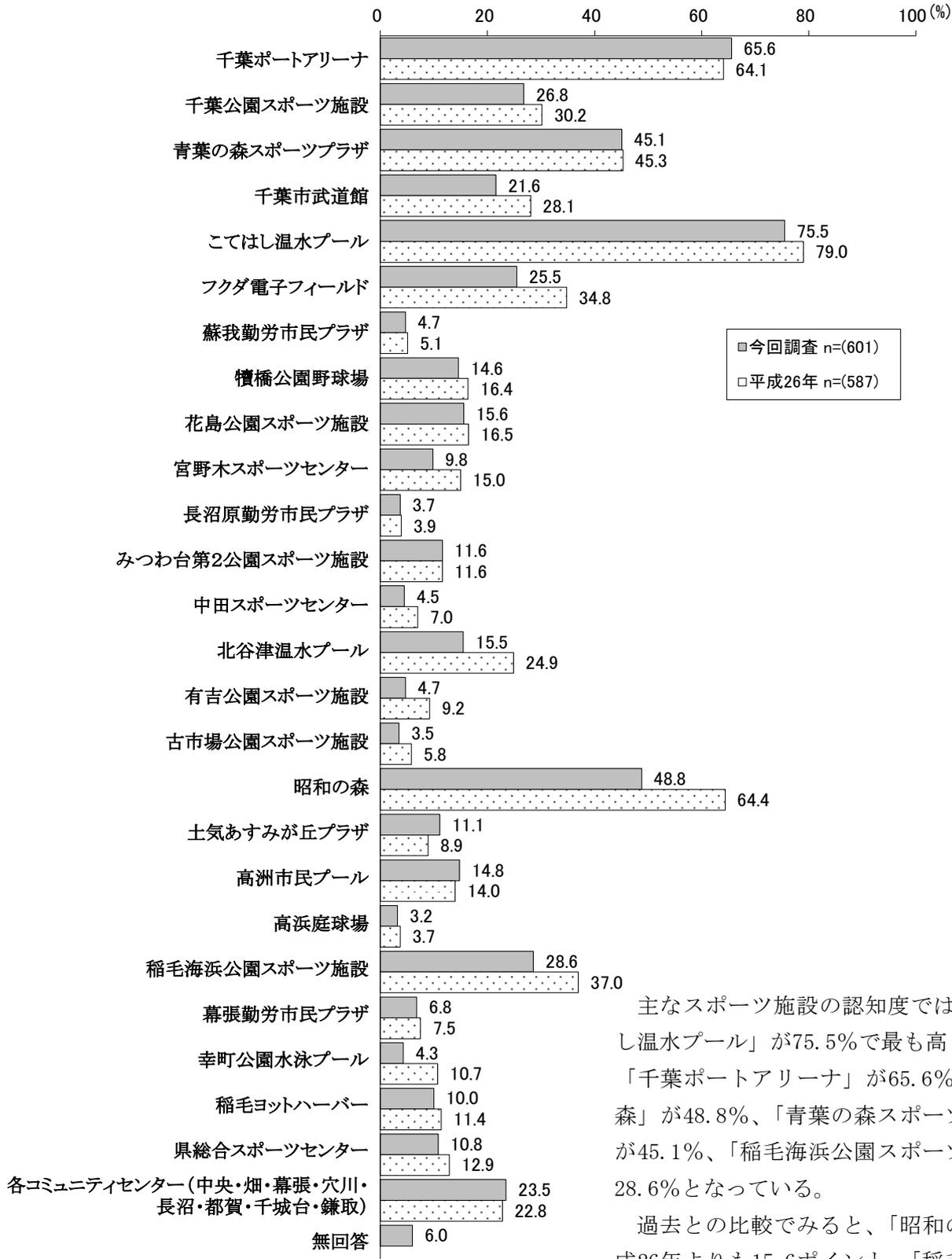
問12 体育の授業以外で、どのようなところで運動・スポーツをしていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



体育の授業以外に行っている運動やスポーツの実施場所では、「公園」が56.9%で最も高く、次いで「学校」が49.3%、「自分の家」が35.3%、「スポーツ施設」が27.0%、「近所の広場」が16.0%となっている。

過去との比較でみると、「自分の家」は平成26年よりも3.1ポイント増加しているが、それ以外の項目は減少している。

問13 次の主なスポーツ施設を知っていますか。（知っているものすべてに○）【全員回答】

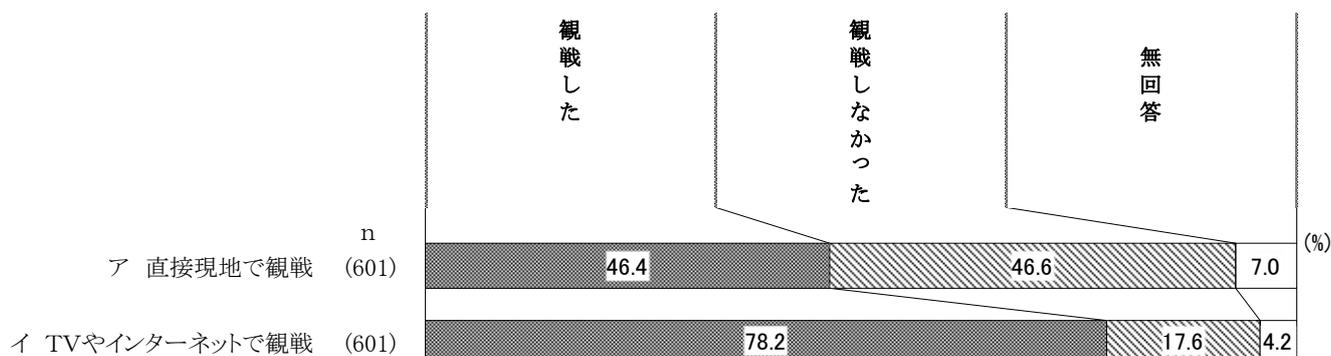


主なスポーツ施設の認知度では、「こてはし温水プール」が75.5%で最も高く、次いで「千葉ポートアリーナ」が65.6%、「昭和の森」が48.8%、「青葉の森スポーツプラザ」が45.1%、「稲毛海浜公園スポーツ施設」が28.6%となっている。

過去との比較でみると、「昭和の森」は平成26年よりも15.6ポイント、「稲毛海浜公園スポーツ施設」は8.4ポイント、「フクダ電子フィールド」は9.3ポイント減少している。

（5）スポーツ観戦について

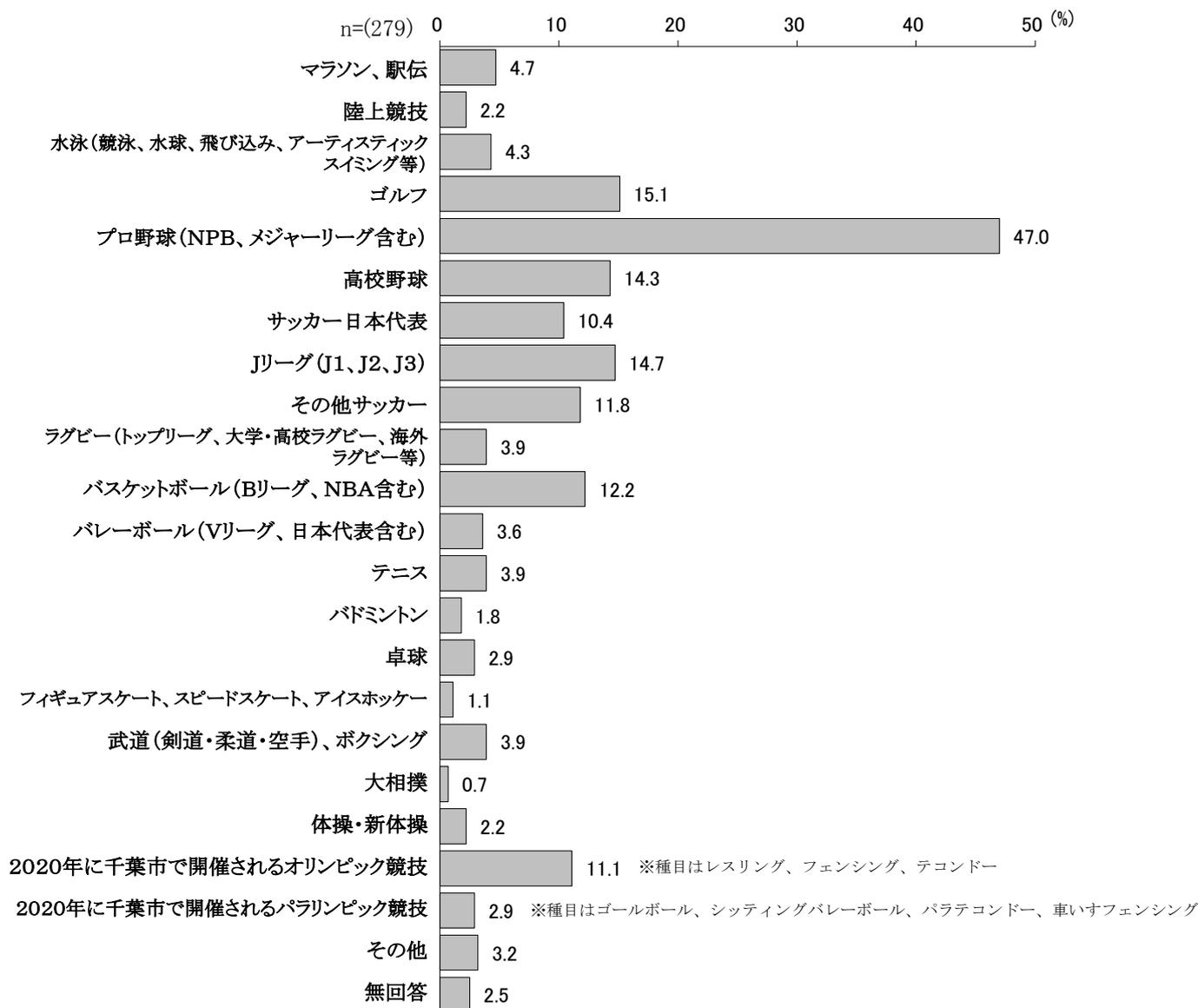
問14 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。【全員回答】



直接現地で観戦では、「観戦した」が46.4%、「観戦しなかった」が46.6%となっている。一方、TVやインターネットで観戦では、「観戦した」が78.2%、「観戦しなかった」が17.6%となっている。

問15 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）【問14のいずれかの「観戦した」に○をつけた方のみ】

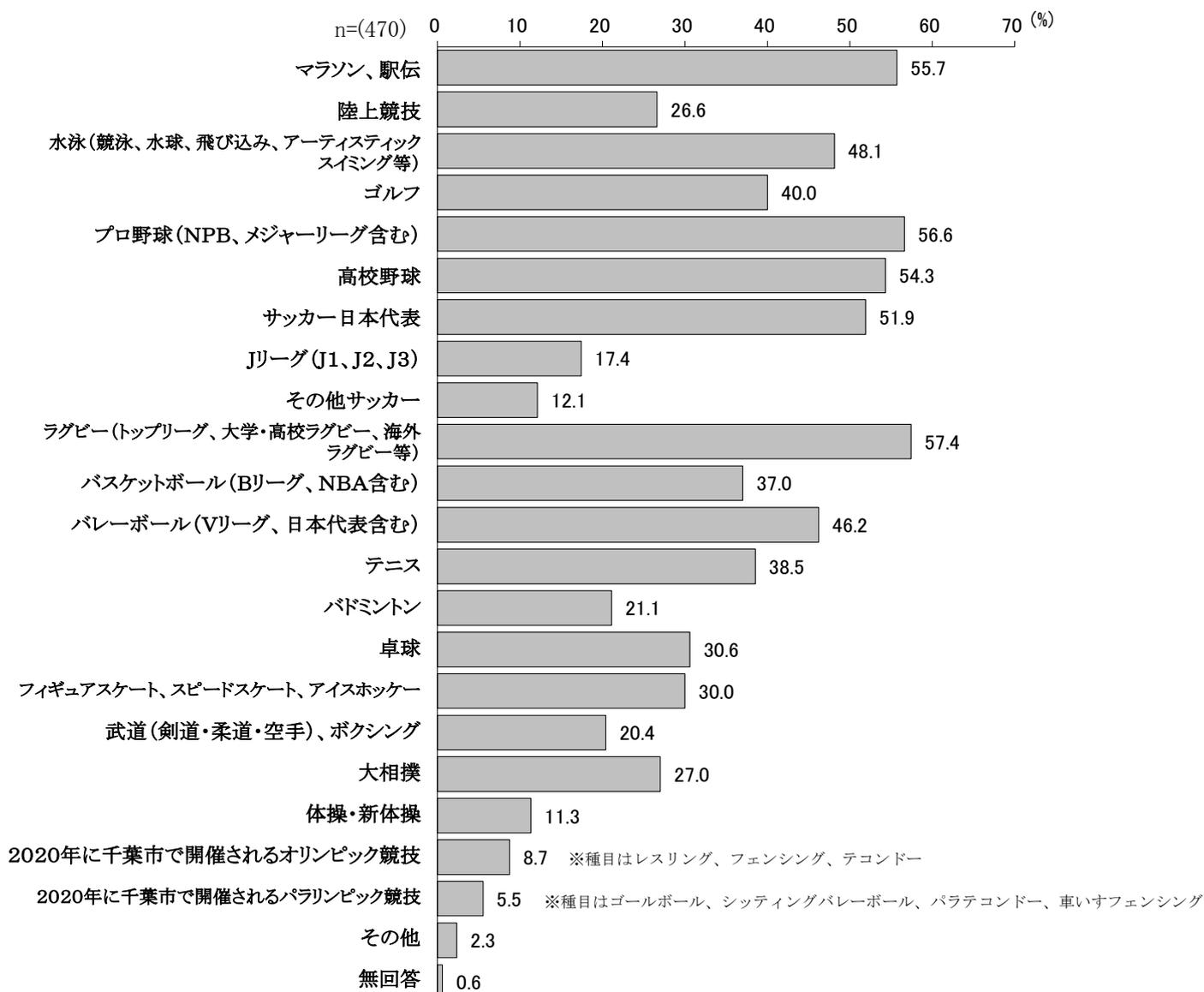
【ア 直接現地で観戦】



直接現地で観戦では、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が47.0%で最も高く、次いで「ゴルフ」が15.1%、「Jリーグ（J1、J2、J3）」が14.7%、「高校野球」が14.3%、「バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）」が12.2%となっている。

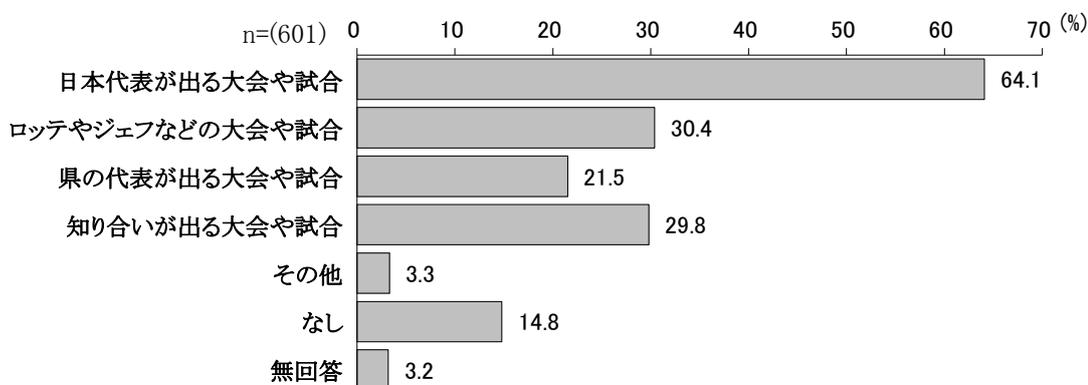
Ⅲ 調査結果（小学生）

【イ TVやインターネットで観戦】



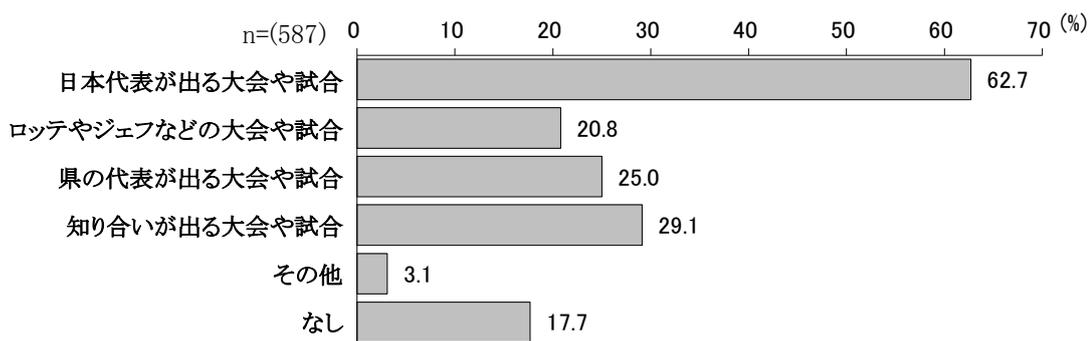
TVやインターネットで観戦では、「ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等）」が77.4%で最も高く、次いで「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が56.6%、「マラソン、駅伝」が55.7%、「高校野球」が54.3%、「サッカー日本代表」が51.9%となっている。

問16 今後、どのような試合や大会を会場で見たいですか。（あてはまるものすべてに○）
【全員回答】

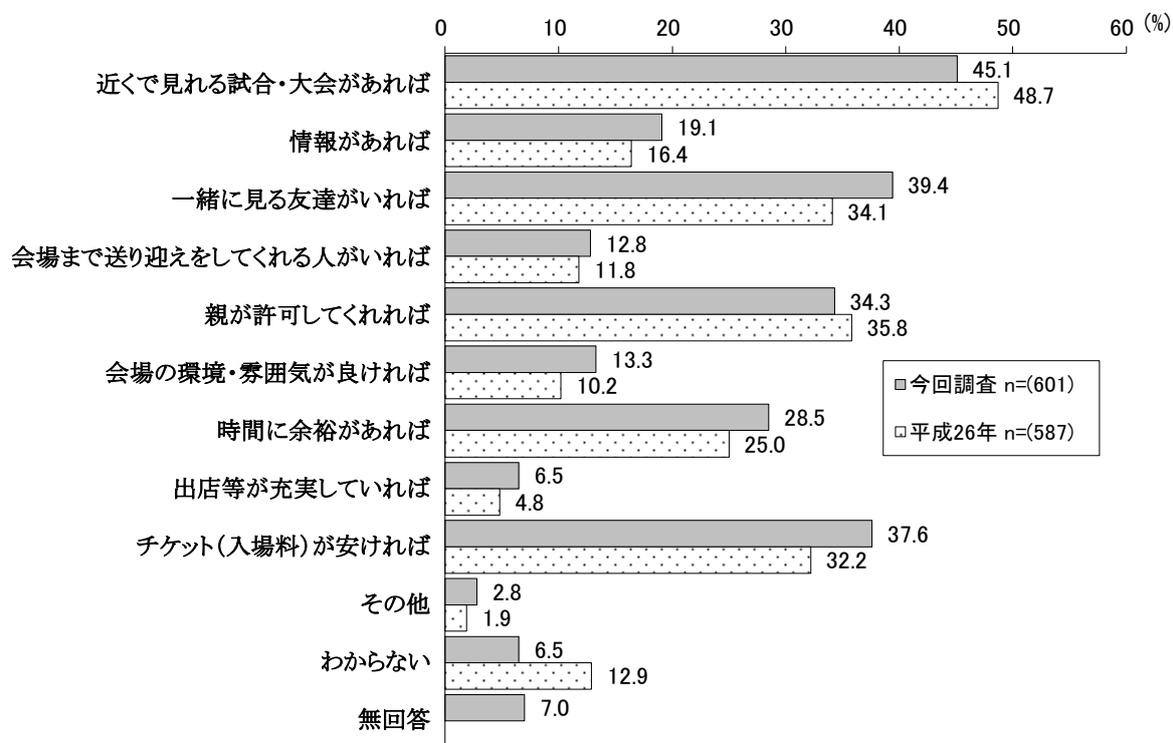


会場で見たい試合や大会では、「日本代表が出る大会や試合」が64.1%で最も高く、次いで「ロッテやジェフなどの大会や試合」が30.4%、「知り合いが出る大会や試合」が29.8%、「県の代表が出る大会や試合」が21.5%となっている。

【参考】平成26年の結果



問17 会場でもっと見るようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで記入）【全員回答】

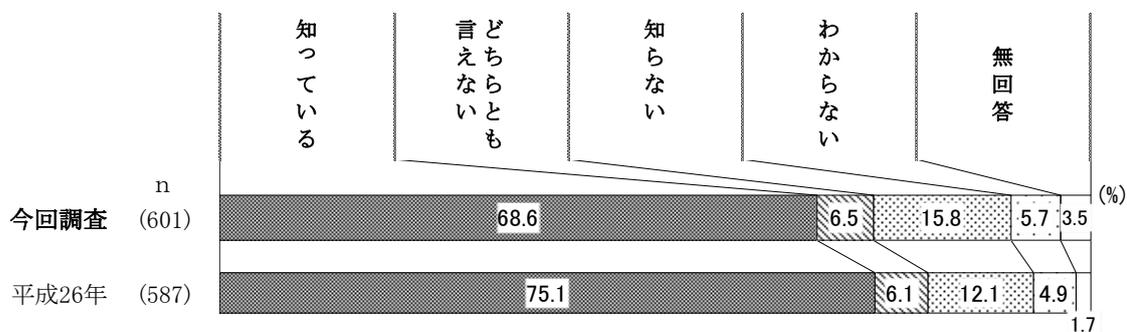


見る人を増やすために必要なことでは、「近くで見れる試合・大会があれば」が45.1%で最も高く、次いで「一緒に見る友達がいれば」が39.4%、「チケット（入場料）が安ければ」が37.6%、「親が許可してくれれば」が34.3%、「時間に余裕があれば」が28.5%となっている。

過去との比較でみると、「チケット（入場料）が安ければ」は平成26年よりも5.4ポイント、「一緒に見る友達がいれば」は5.3ポイント増加している。一方、「近くで見れる試合・大会があれば」は3.6ポイント減少している。

（6）パラスポーツの推進について

問18 パラスポーツを知っていますか。【全員回答】



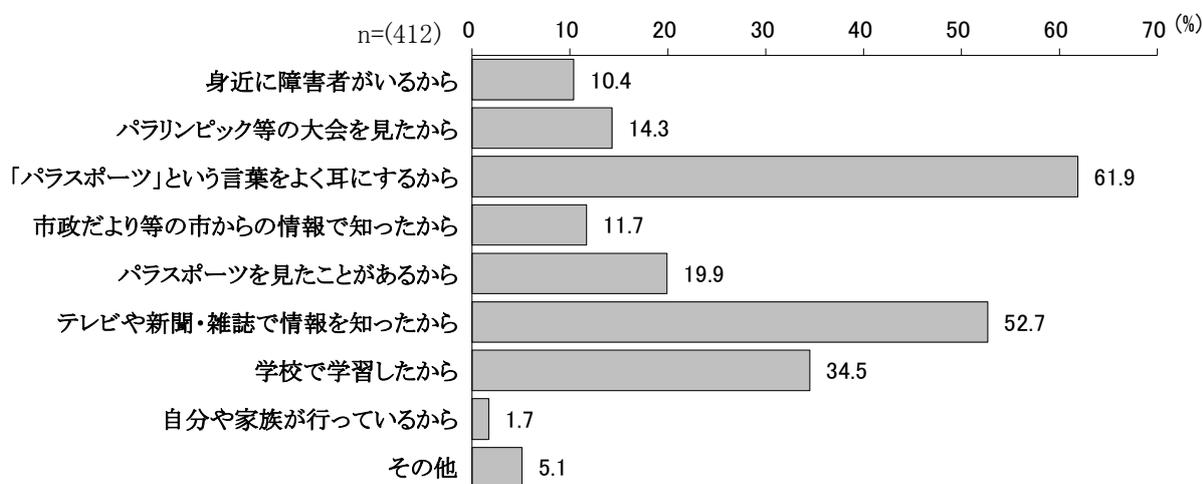
パラスポーツの認知では、「知っている」が68.6%、「どちらとも言えない」が6.5%、「知らない」が15.8%、「わからない」が5.7%となっている。

過去との比較で見ると、「知っている」は平成26年から6.5ポイント減少している。

※平成26年調査では、「パラスポーツ」を「障害者スポーツ」と表記していた。

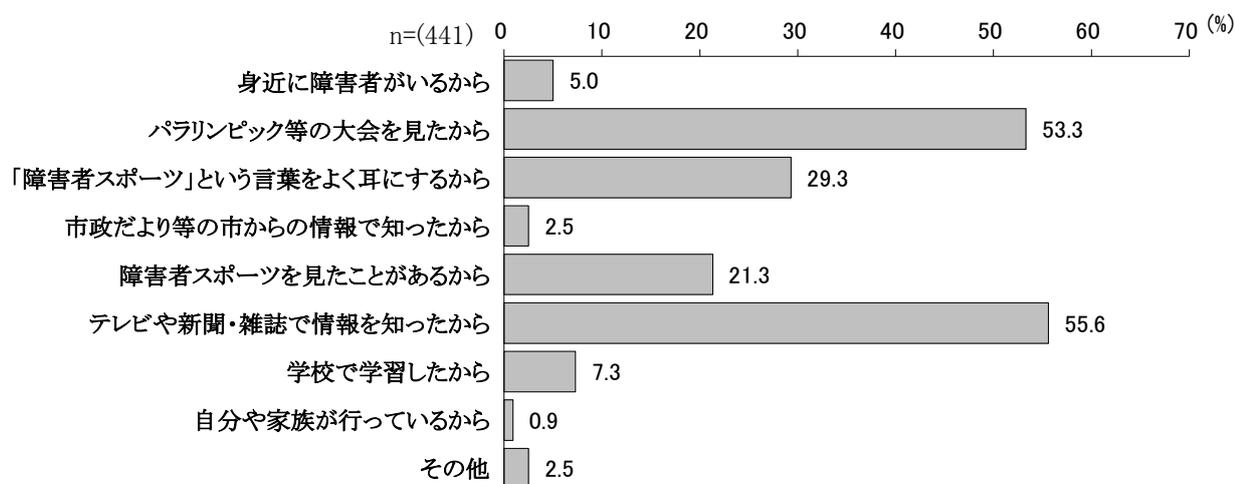
Ⅲ 調査結果（小学生）

問19 パラスポーツを知っている理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）【問18で「知っている」に○をつけた方のみ】

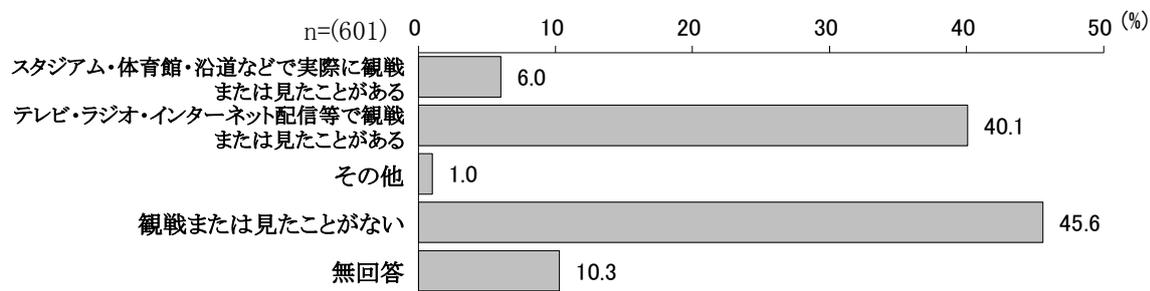


パラスポーツを知っている理由では、「「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから」が61.9%で最も高く、次いで「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」が52.7%、「学校で学習したから」が34.5%、「パラスポーツを見たことがあるから」が19.9%、「パラリンピック等の大会を見たから」が14.3%となっている。

【参考】平成26年の結果



問20 この1年間にパラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

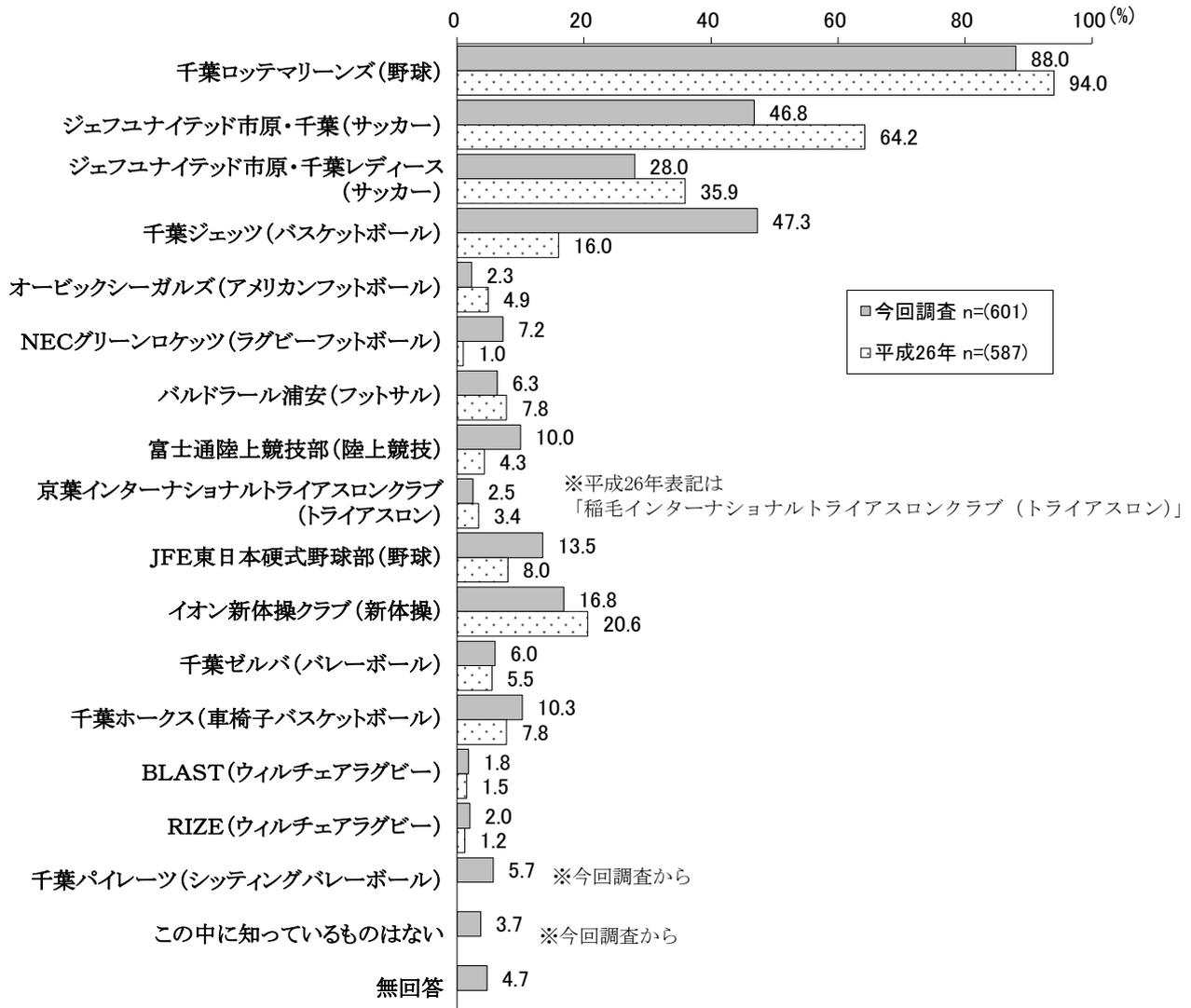


※「テレビ・ラジオ・インターネット配信等」には、
ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含まれる

この1年間におけるパラスポーツの観戦経験では、「観戦または見たことがない」が45.6%で最も高くなっているが、見たことがことがあるものとしては「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」が40.1%で最も高く、次いで「スタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦または見たことがある」が6.0%となっている。

（7）プロスポーツなどとの交流について

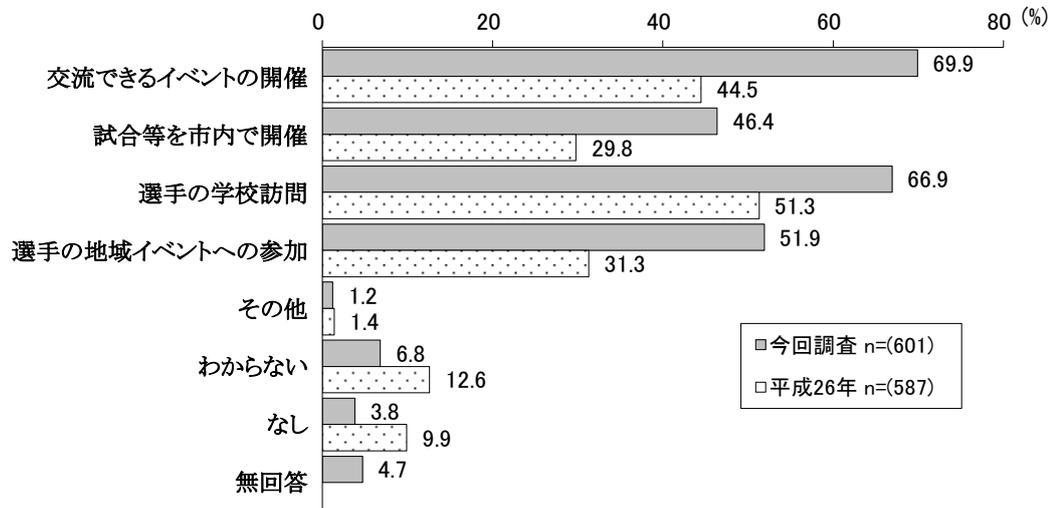
問21 次のチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



プロスポーツチームの認知では、「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が88.0%で最も高く、次いで「千葉ジェッツ（バスケットボール）」が47.3%、「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」が46.8%、「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）」が28.0%、「イオン新体操クラブ（新体操）」が16.8%となっている。

過去との比較でみると、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」は平成26年よりも31.3ポイント増加している。一方、「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」は17.4ポイント減少している。

問22 プロスポーツ チーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。（上位3つまで数字を記入）【全員回答】



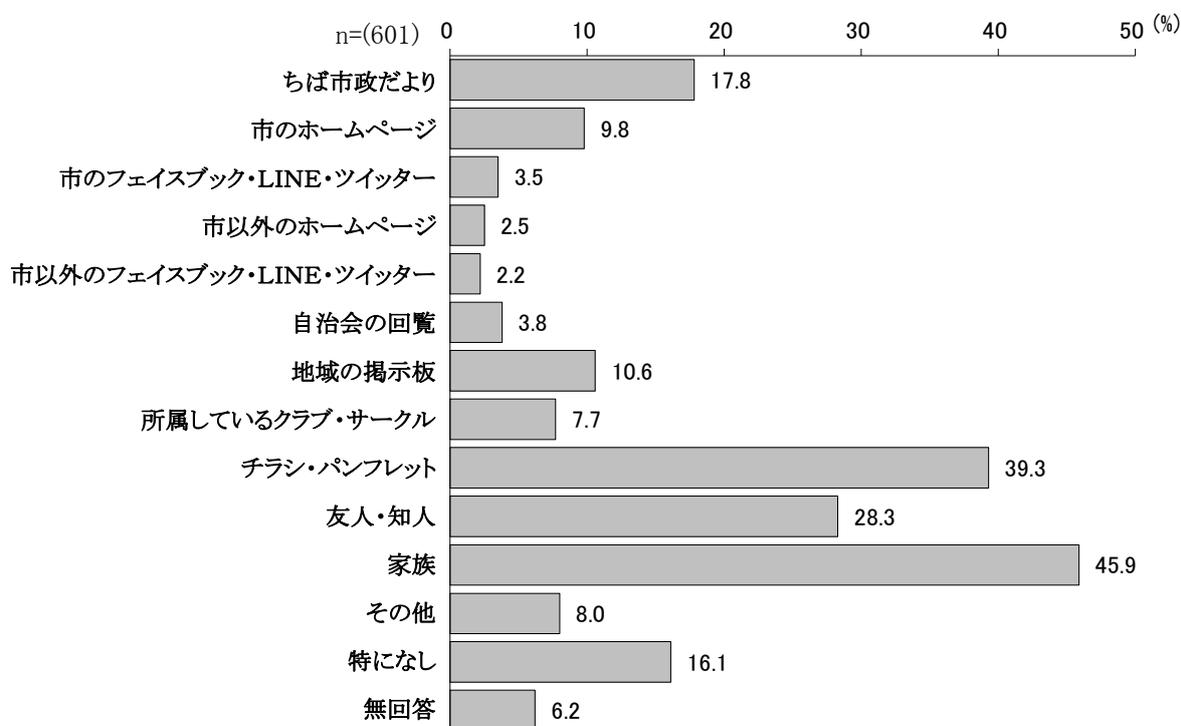
プロスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるために市が取り組むべきことでは、「交流できるイベントの開催」が69.9%で最も高く、次いで「選手の学校訪問」が66.9%、「選手の地域イベントへの参加」が51.9%、「試合等を市内で開催」が46.4%となっている。

過去との比較でみると、「交流できるイベントの開催」は25.4ポイント、「選手の地イベントへの参加」は20.6ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果（小学生）

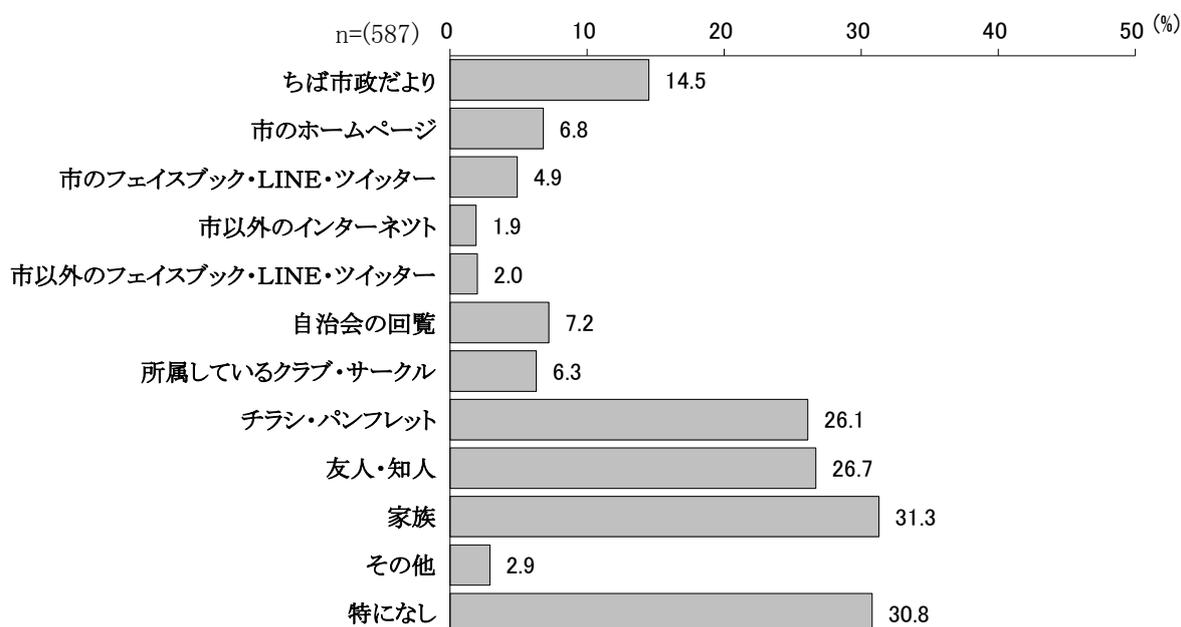
（8）運動・スポーツの情報について

問23 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

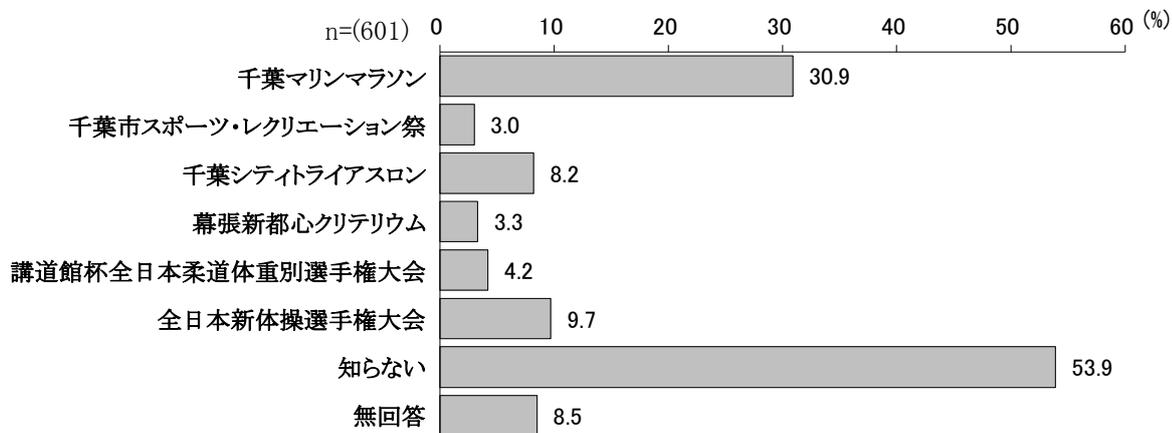


市内の運動・スポーツなどに関する情報の入手先では、「家族」が45.9%で最も高く、次いで「チラシ・パンフレット」が39.3%、「友人・知人」が28.3%、「ちば市政だより」が17.8%、「地域の掲示板」が10.6%となっている。

【参考】平成26年の結果

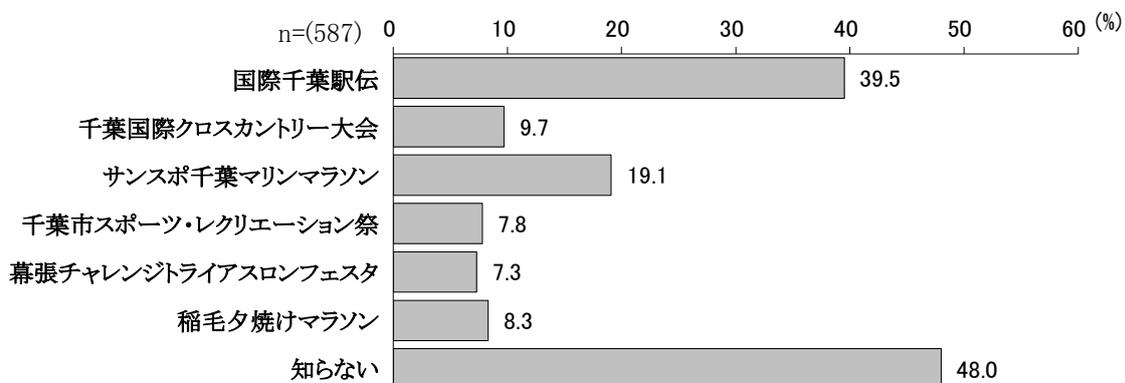


問24 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



市内で開催されているスポーツイベント等についての認知度では、「知らない」が53.9%で最も高くなっているが、知っていると回答した人の中では、「千葉マリンマラソン」が30.9%で最も高く、次いで「全日本新体操選手権大会」が9.7%、「千葉シティトライアスロン」が8.2%、「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」が4.2%となっている。

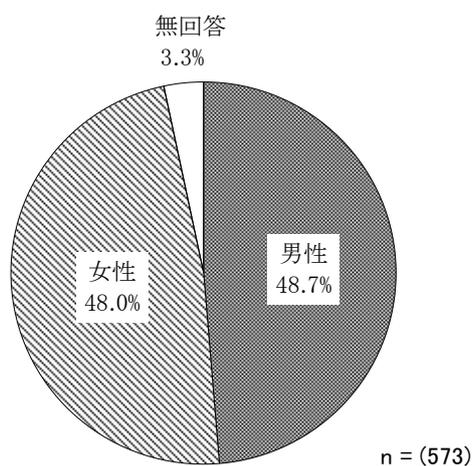
【参考】平成26年の結果



3. 中学生アンケート

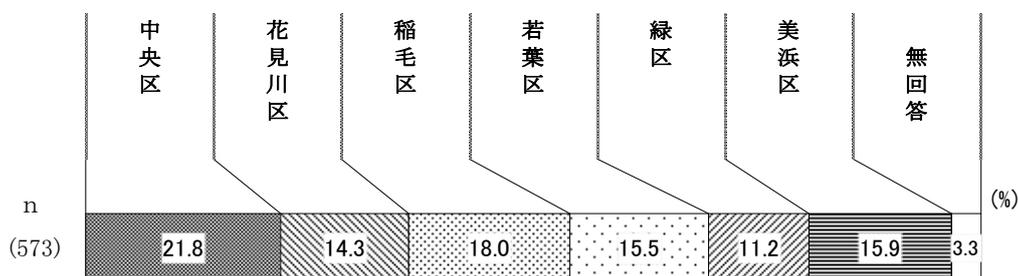
(1) 属性

性別を教えてください。【全員回答】



「男性」が48.7%、「女性」が48.0%でほぼ同じ割合となっている。

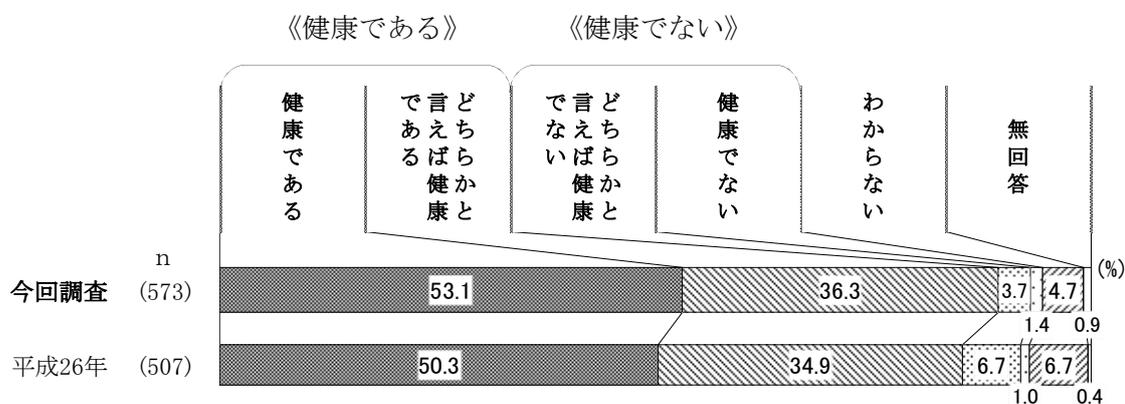
お住まいの区はどこですか。【全員回答】



「中央区」が21.8%で最も高く、次いで「稲毛区」が18.0%、「美浜区」が15.9%、「若葉区」が15.5%、「花見川区」が14.3%となっている。

（2）あなたの健康状態について

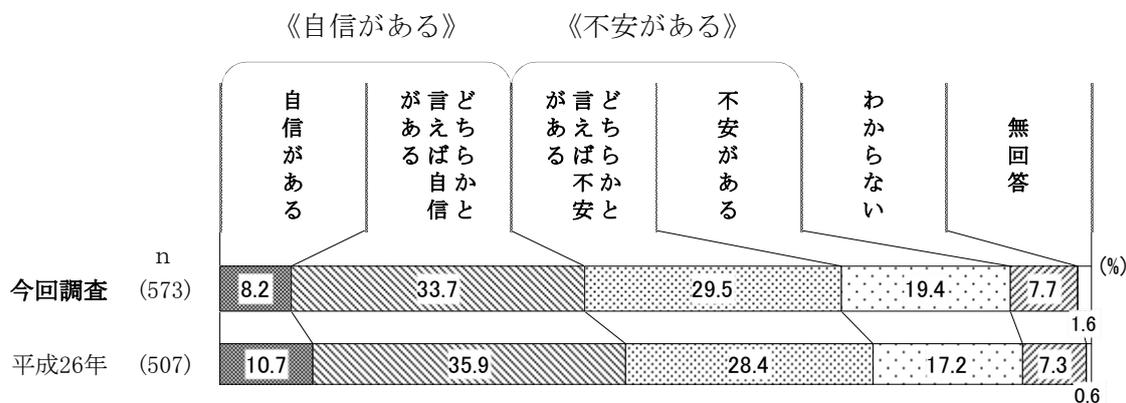
問1 健康状態をどのように感じていますか。【全員回答】



健康状態では、「健康である」と「どちらかと言えば健康である」を合わせた《健康である》は89.4%、「健康でない」と「どちらかと言えば健康でない」を合わせた《健康でない》は5.1%となっている。

過去との比較でみると、《健康である》は平成26年よりも4.2ポイント増加している。

問2 体力についてどのように感じていますか。【全員回答】



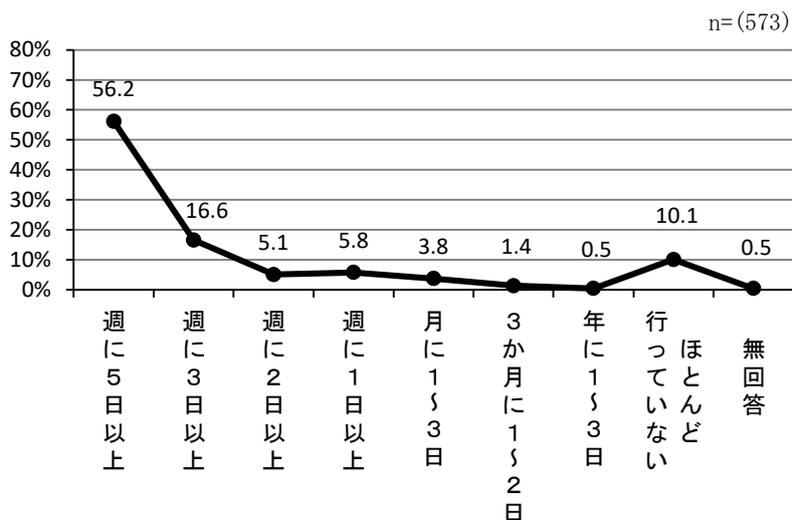
自分の体力については、「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」を合わせた《自信がある》は41.9%、「不安がある」と「どちらかといえば不安がある」を合わせた《不安がある》は48.9%となっている。

過去との比較でみると、《自信がある》は平成26年よりも4.7ポイント減少している。

（3）運動・スポーツの実施状況等について

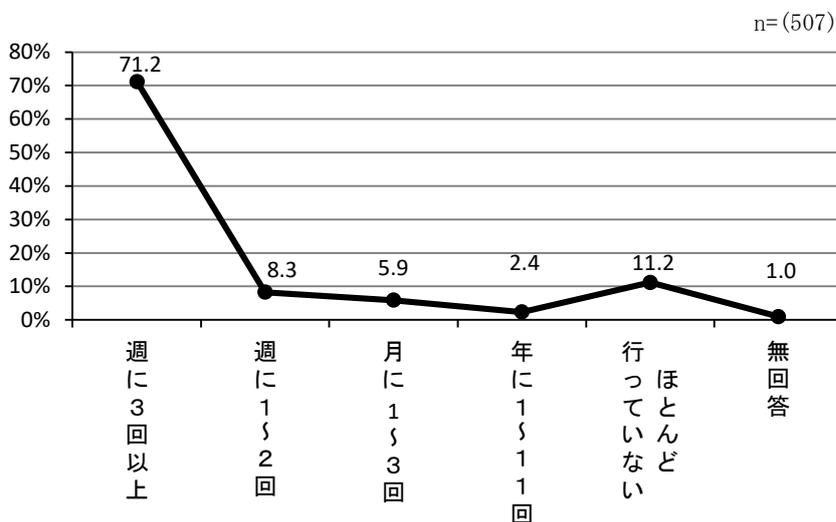
問3 運動・スポーツをどの程度行っていますか。【全員回答】

※ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含む。

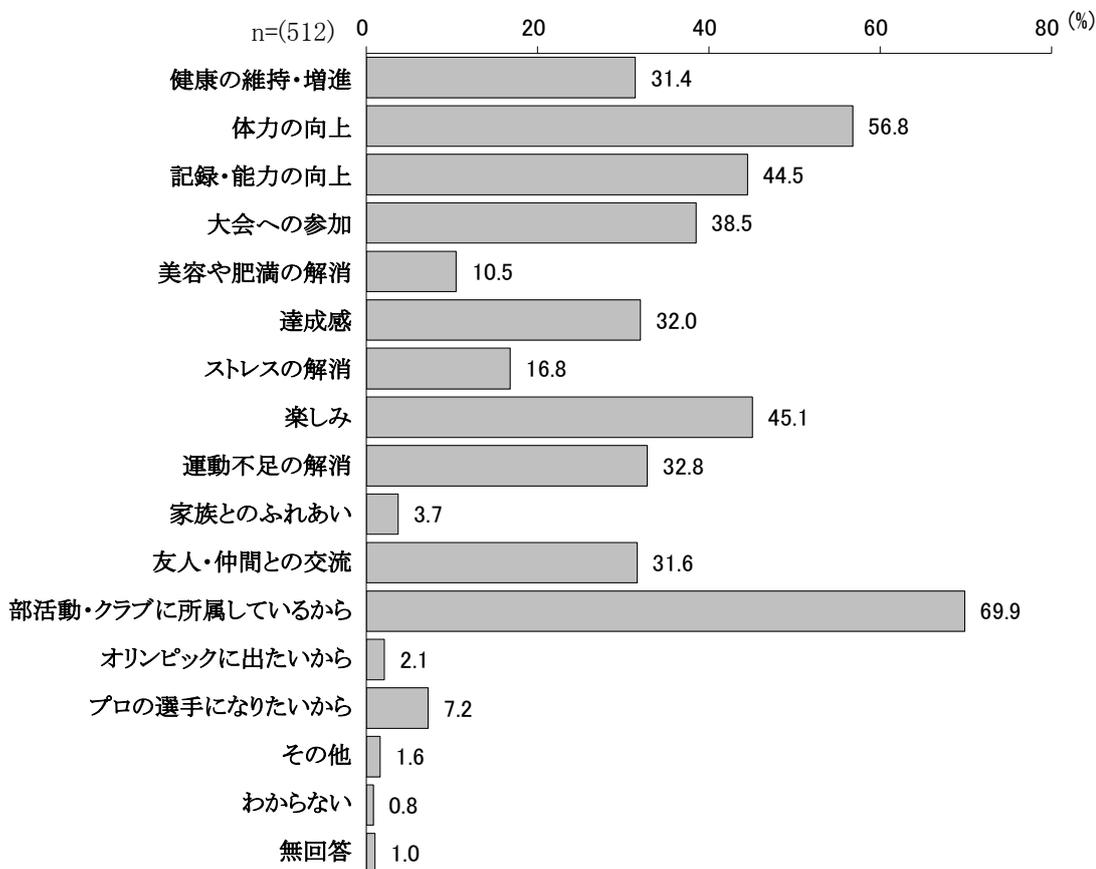


運動・スポーツの実施状況では、「ほとんど行っていない」を除き、「週に5日以上」が56.2%で最も高く、次いで「週に3日以上」が16.6%、「週に1日以上」が5.8%、「週に2日以上」が5.1%となっている。

【参考】平成26年の結果



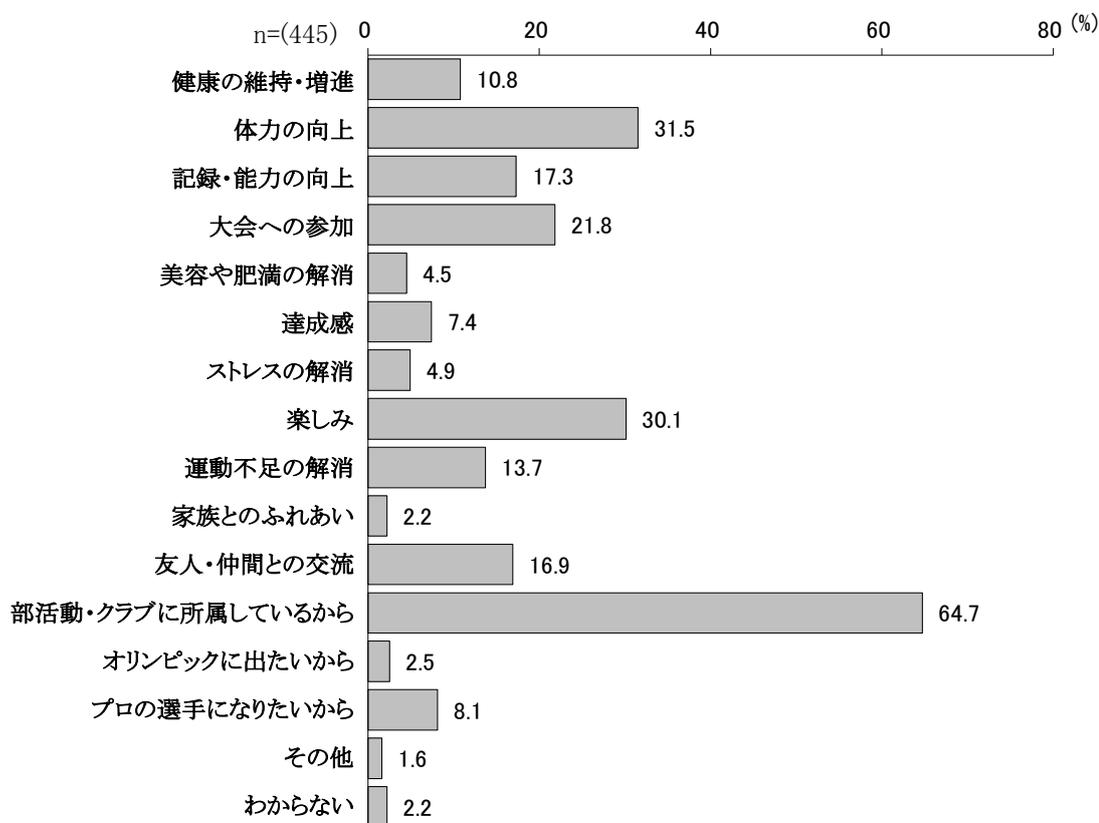
問4 行う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で“行っている”に○をつけた方のみ】



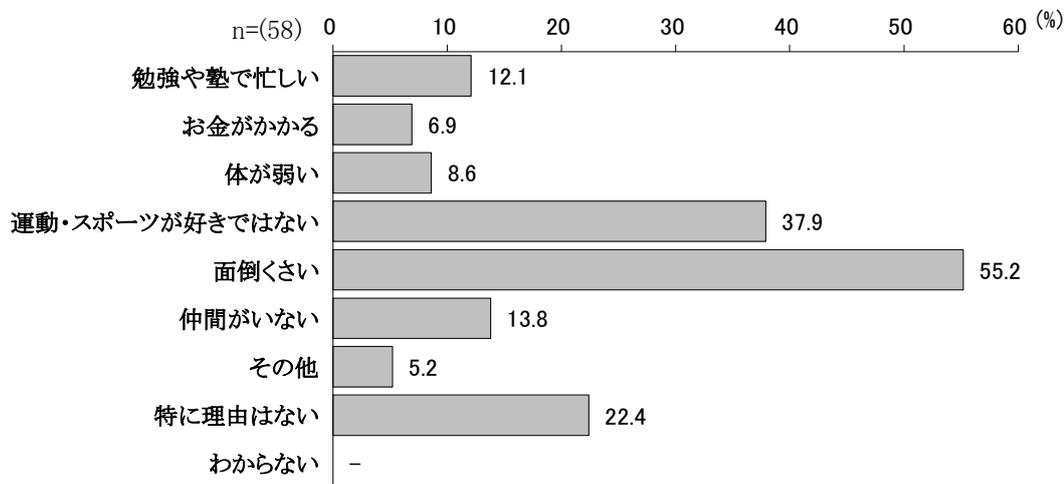
運動・スポーツを行う理由では、「部活動・クラブに所属しているから」が69.9%で最も高く、次いで「体力の向上」が56.8%、「楽しみ」が45.1%、「記録・能力の向上」が44.5%、「大会への参加」が38.5%となっている。

Ⅲ 調査結果（中学生）

【参考】平成26年の結果

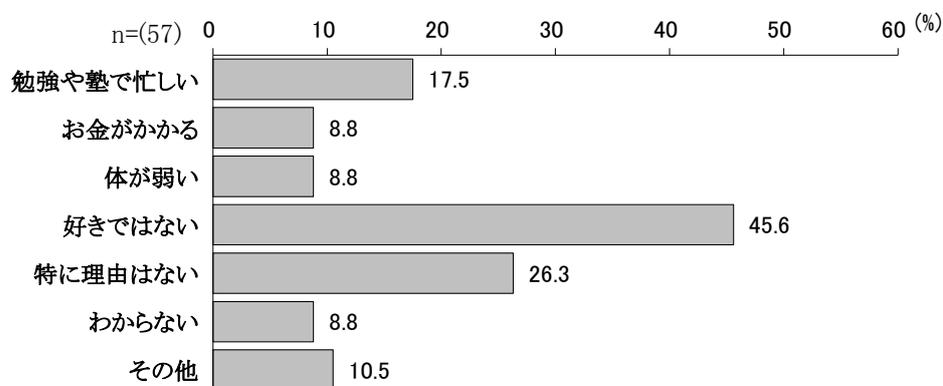


問5 行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で「ほとんど行っていない」に○をつけた方のみ】

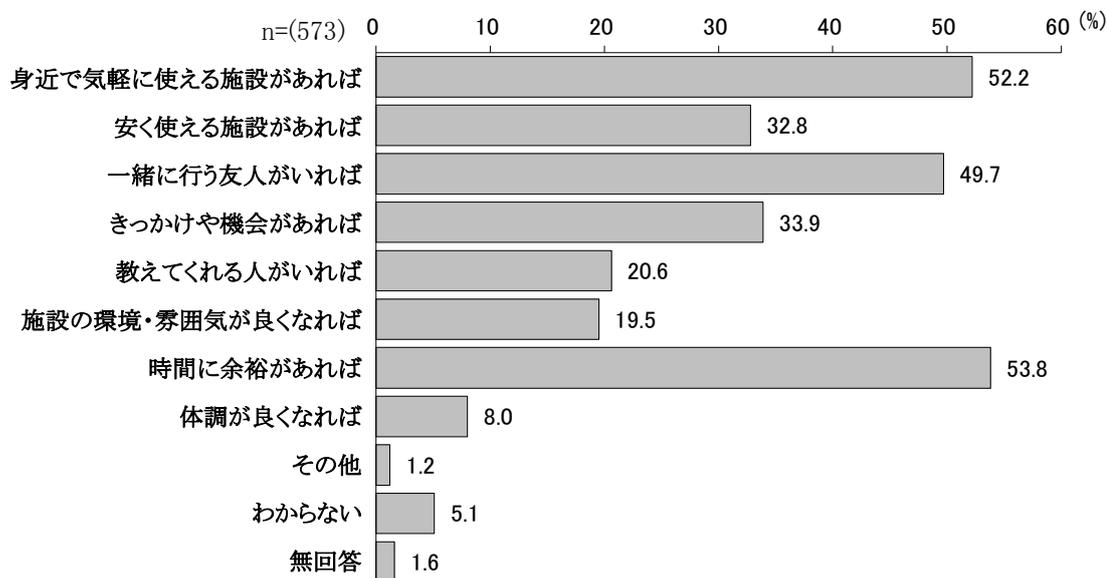


運動・スポーツを行わない理由では、「面倒くさい」が55.2%で最も高く、次いで「運動・スポーツが好きではない」が37.9%、「仲間がいない」が13.8%、「勉強や塾で忙しい」が12.1%、「体が弱い」が8.6%となっている。

【参考】平成26年の結果

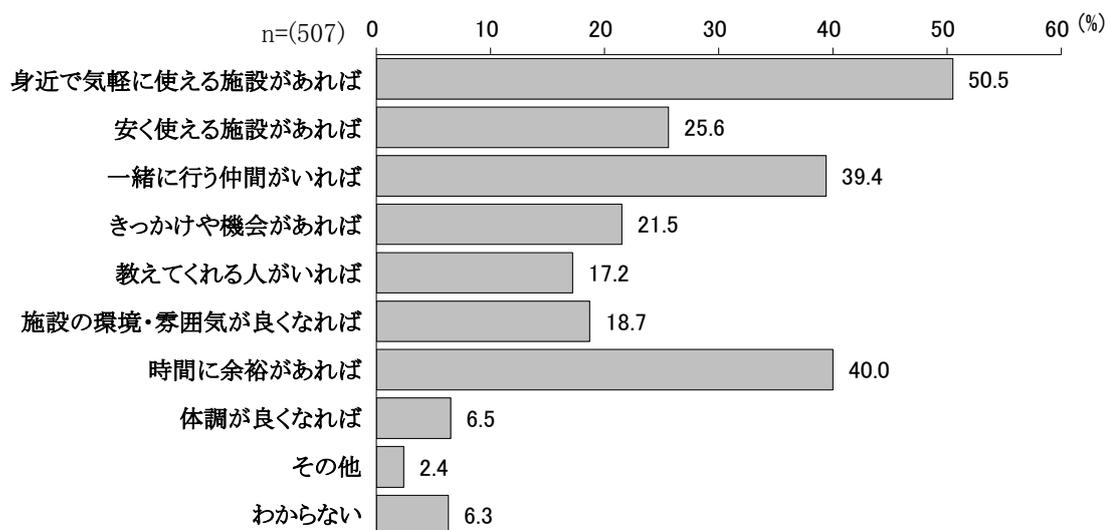


問6 より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

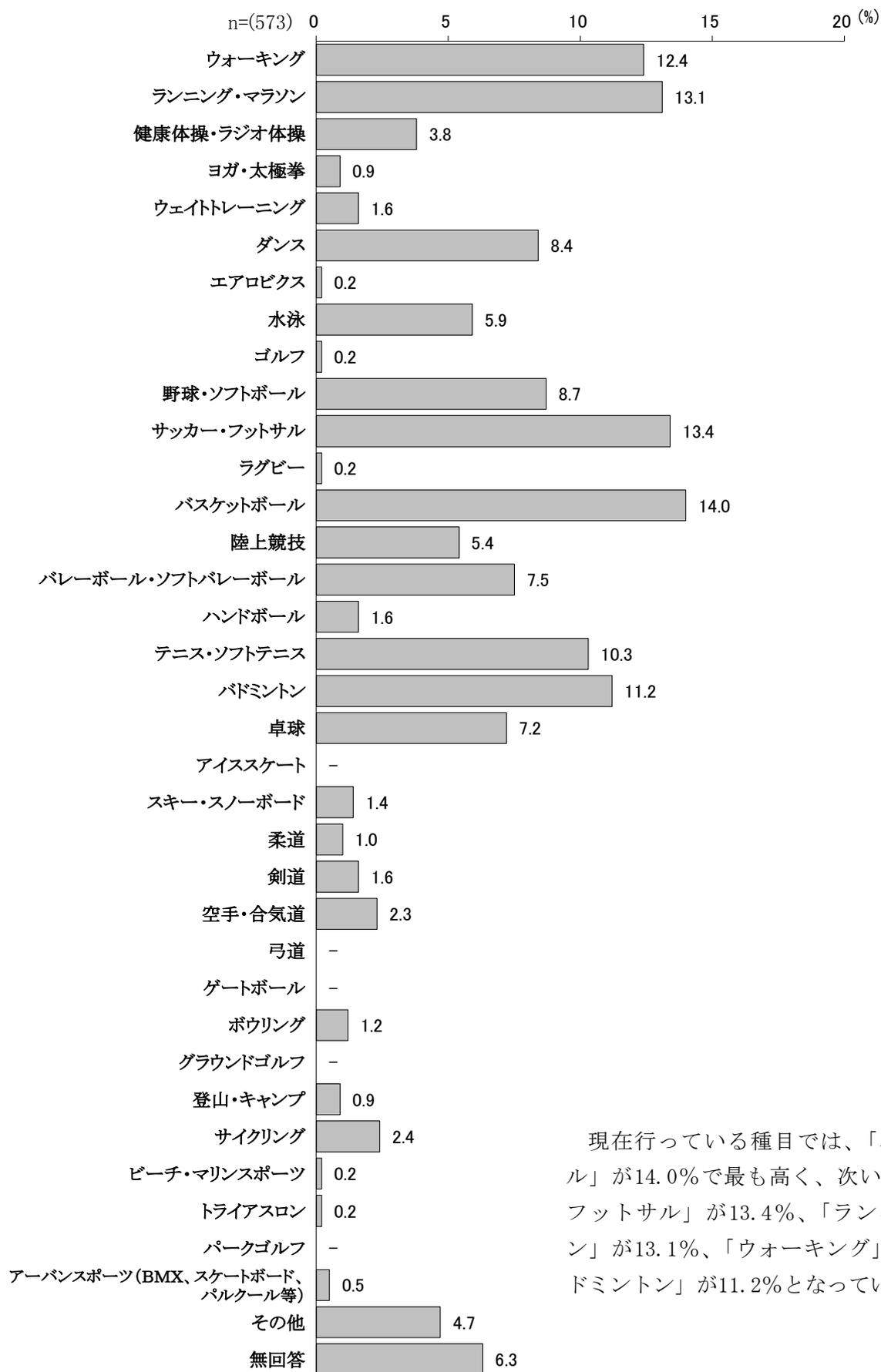


より多く運動・スポーツを行うためのきっかけなどでは、「時間に余裕があれば」が53.8%で最も高く、次いで「身近で気軽に使える施設があれば」が52.2%、「一緒に行く友人がいれば」が49.7%、「きっかけや機会があれば」が33.9%、「安く使える施設があれば」が32.8%となっている。

【参考】平成26年の結果



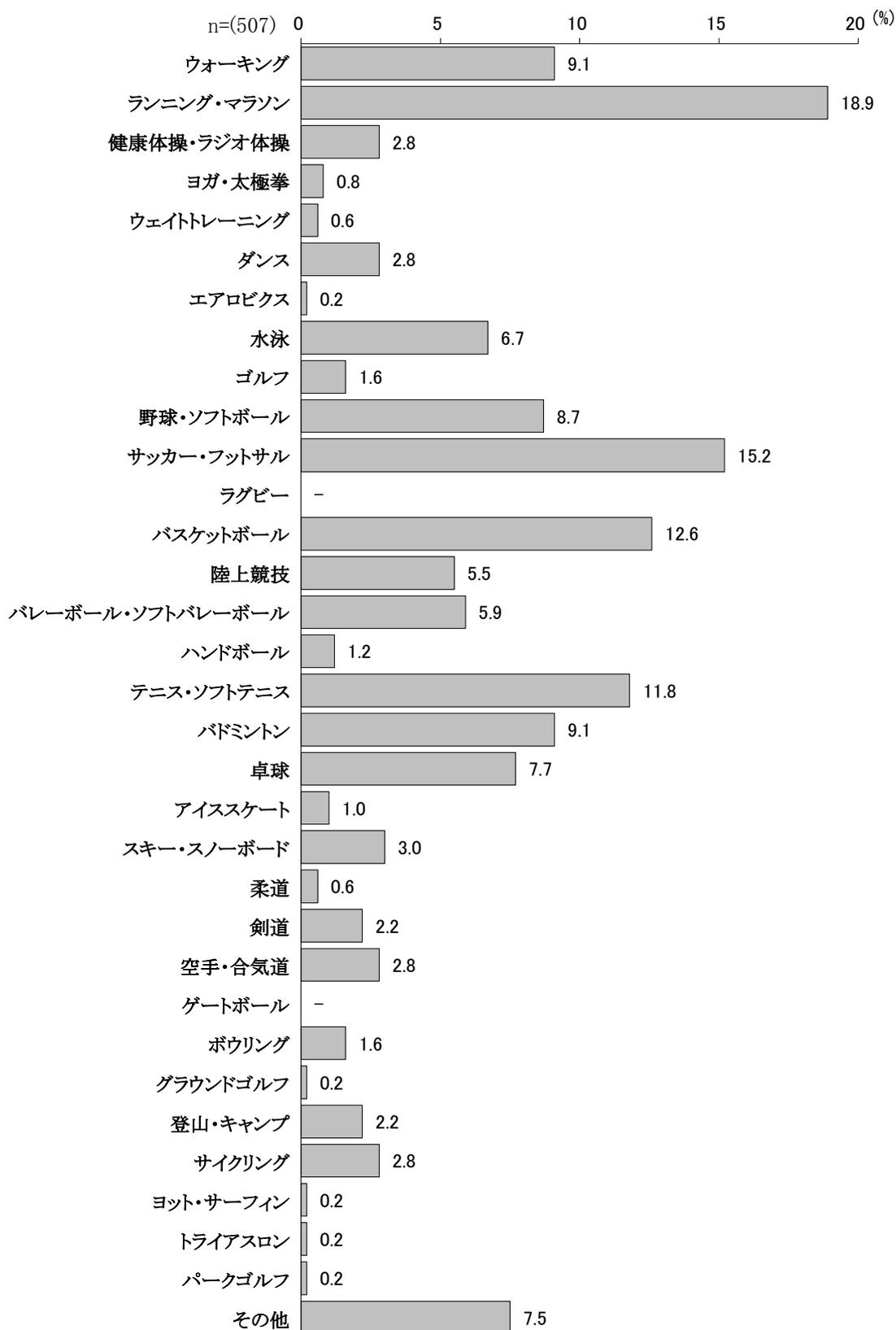
問7 現在行っている種目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



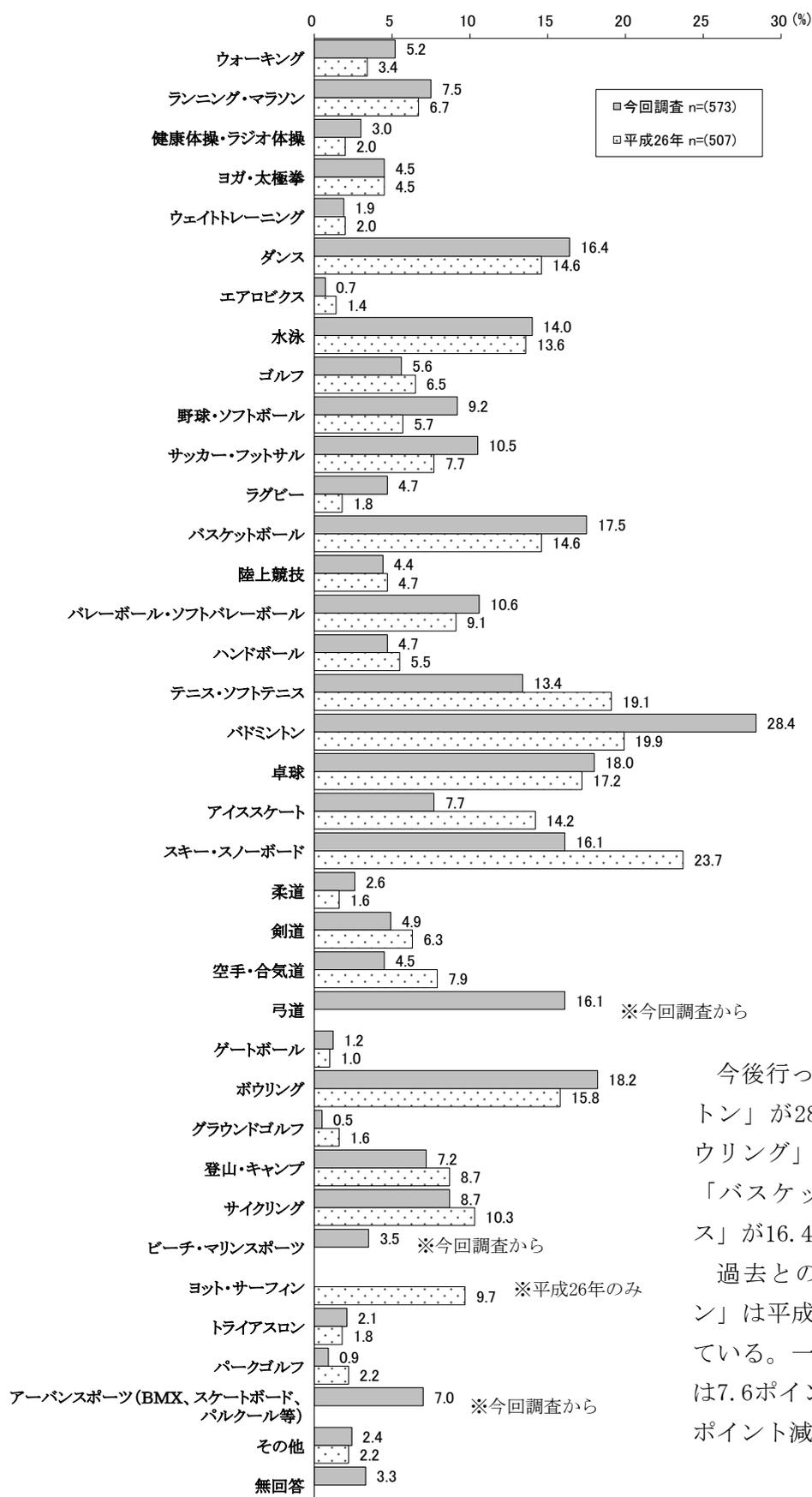
現在行っている種目では、「バスケットボール」が14.0%で最も高く、次いで「サッカー・フットサル」が13.4%、「ランニング・マラソン」が13.1%、「ウォーキング」が12.4%、「バドミントン」が11.2%となっている。

Ⅲ 調査結果（中学生）

【参考】平成26年の結果



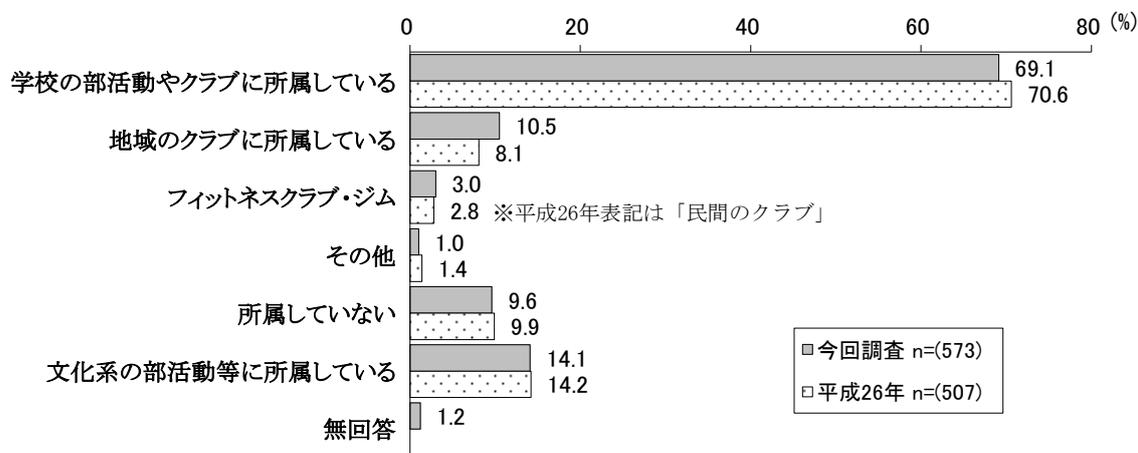
問8 今後、行ってみたい種目は何ですか。（前ページの間7の選択肢から、上位3つまで番号を記入）【全員回答】



今後行ってみたい種目では、「バドミントン」が28.4%で最も高く、次いで「ボウリング」が18.2%、「卓球」が18.0%、「バスケットボール」が17.5%、「ダンス」が16.4%となっている。

過去との比較でみると、「バドミントン」は平成26年よりも8.5ポイント増加している。一方、「スキー・スノーボード」は7.6ポイント、「アイススケート」は6.5ポイント減少している。

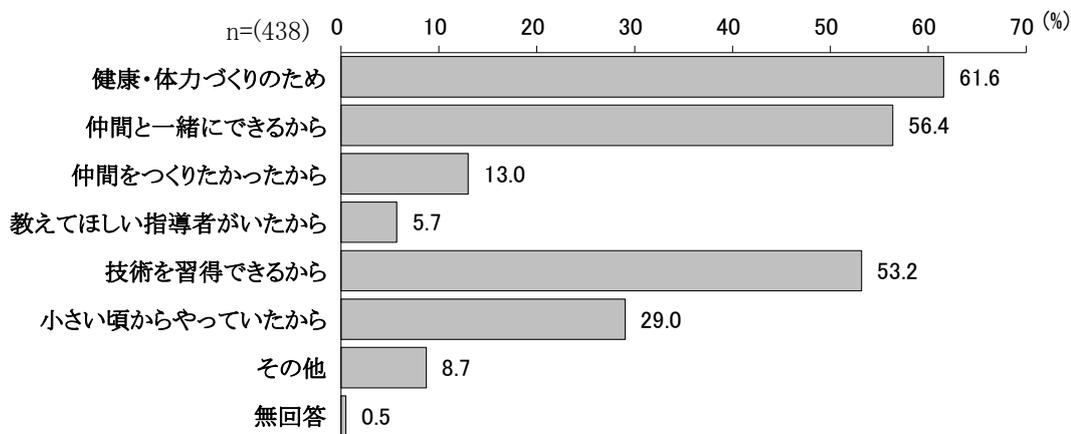
問9 現在、運動・スポーツの部活動やクラブに所属していますか。（あてはまるのもすべてに○）【全員回答】



運動・スポーツの部活動やクラブへの所属状況では、「学校の部活動やクラブに所属している」が69.1%で最も高く、「地域のクラブに所属している」が10.5%、「フィットネスクラブ・ジム」が3.0%となっている。一方、「所属していない」は9.6%と、約1割となっている。

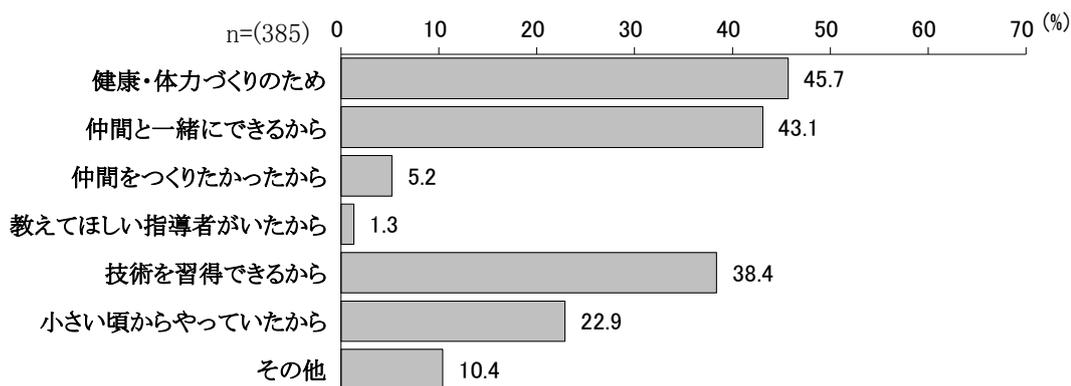
過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

問10 所属している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問9でいずれの部活動やクラブに○をつけた方のみ】

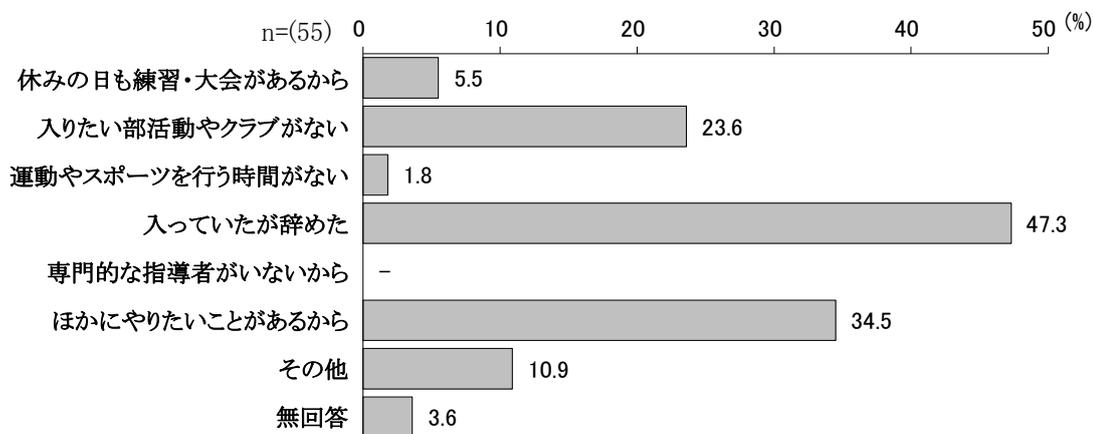


部活動やクラブに所属している理由では、「健康・体力づくりのため」が61.6%で最も高く、次いで「仲間と一緒にできるから」が56.4%、「技術を習得できるから」が53.2%、「小さい頃からやっていたから」が29.0%、「仲間をつくりたかったから」が13.0%となっている。

【参考】平成26年の結果

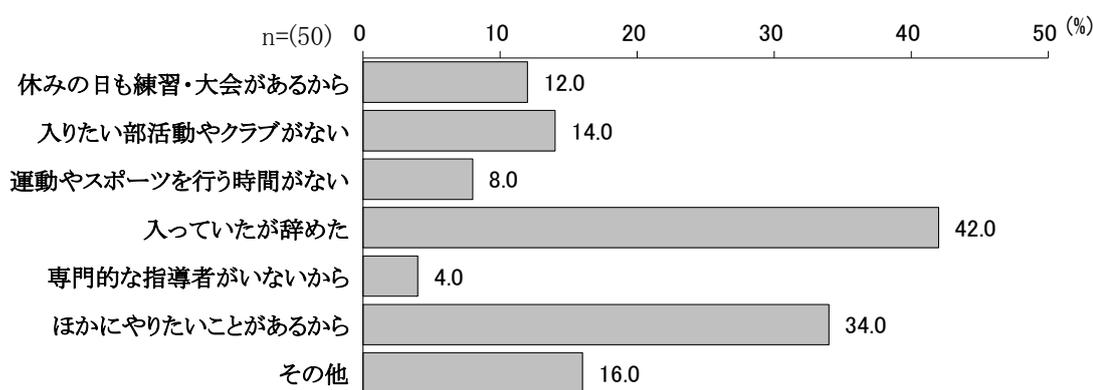


問11 所属していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問9で「所属していない」に○をつけた方のみ】

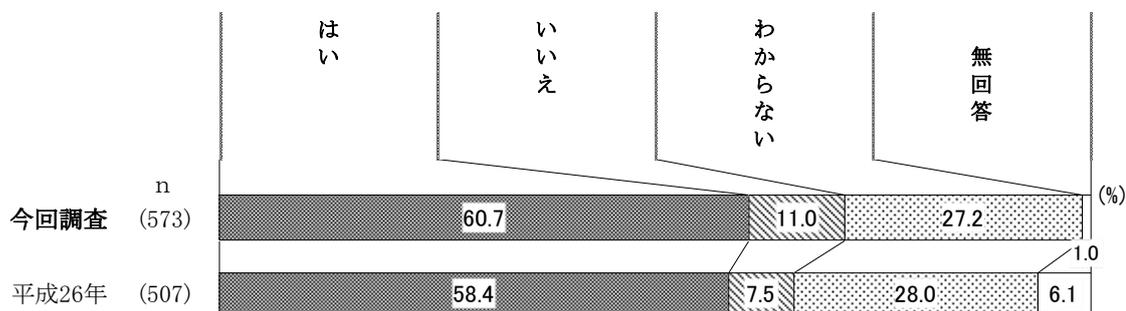


部活動やクラブに所属していない理由では、「入っていたが辞めた」が47.3%で最も高く、次いで「ほかにやりたいことがあるから」が34.5%、「入りたい部活動やクラブがない」が23.6%、「休みの日も練習・大会があるから」が5.5%となっている。

【参考】平成26年の結果



問12 卒業後も運動・スポーツをしたいと思えますか。【全員回答】



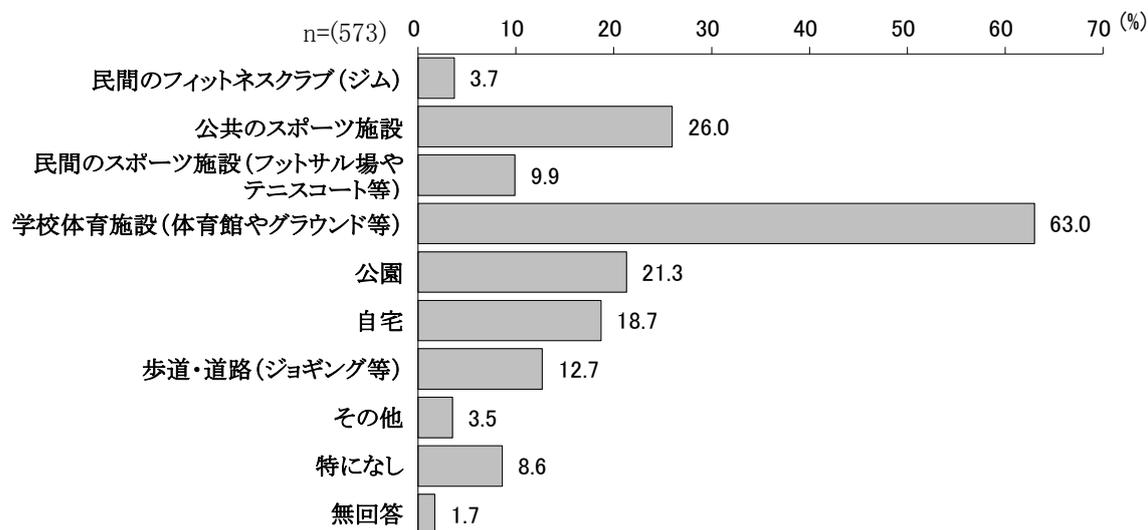
卒業後の運動・スポーツ継続意向では、「はい」が60.7%、「いいえ」が11.0%、「わからない」が27.2%となっている。

過去との比較でみると、「いいえ」は平成26年よりも3.5ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果（中学生）

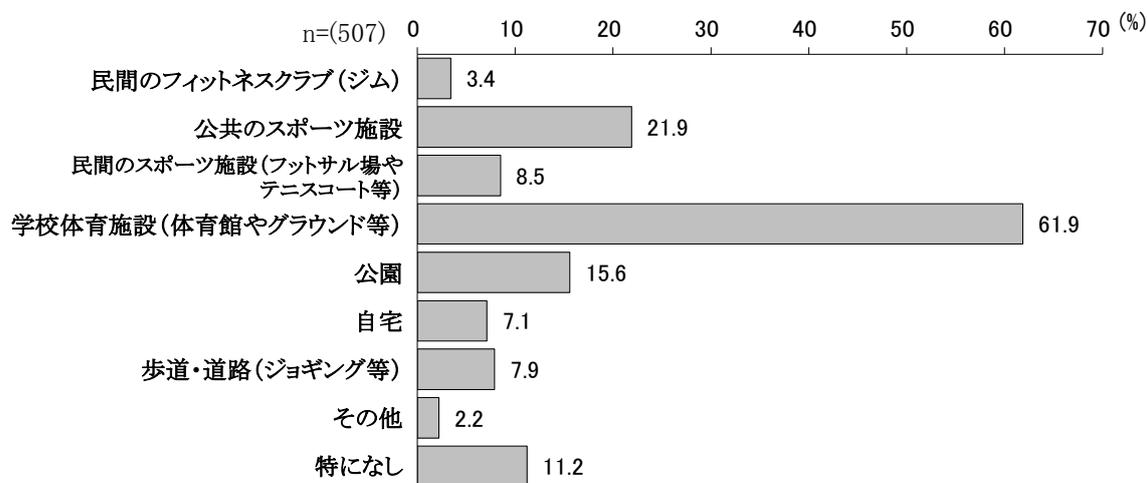
（4）運動・スポーツを行う場所・施設について

問13 主にどのような場所で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

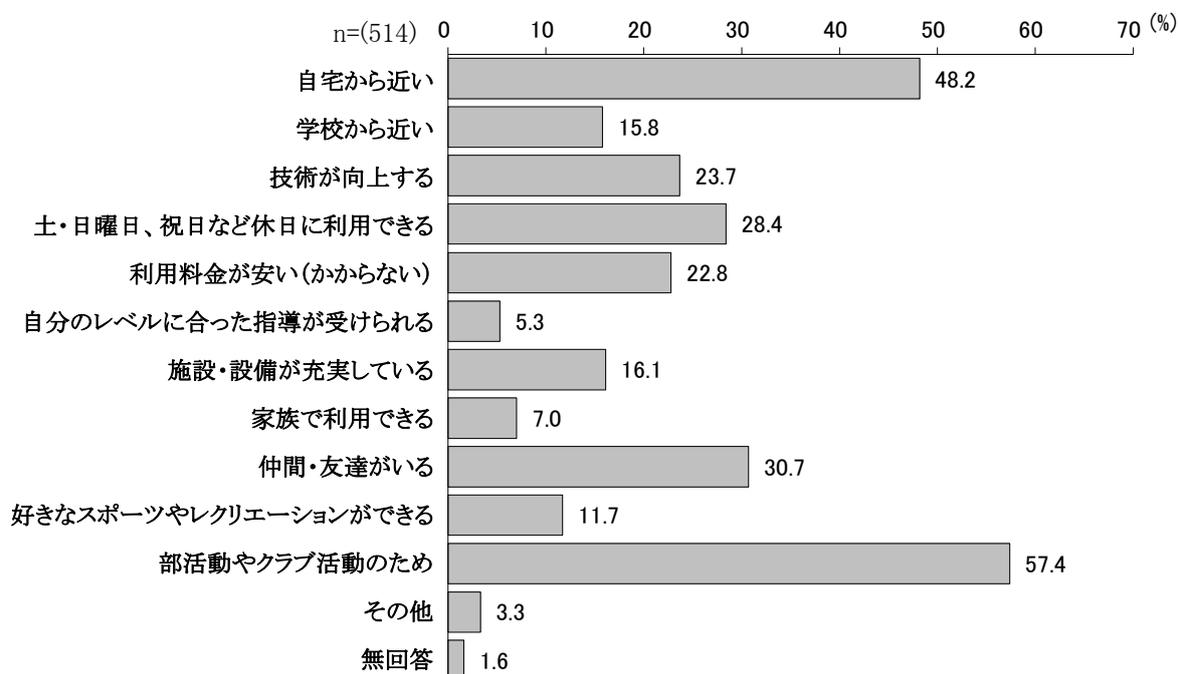


運動・スポーツの主な実施場所では、「学校体育施設（体育館やグラウンド等）」が63.0%で最も高く、次いで「公共のスポーツ施設」が26.0%、「公園」が21.3%、「自宅」が18.7%、「歩道・道路（ジョギング等）」が12.7%となっている。

【参考】平成26年の結果

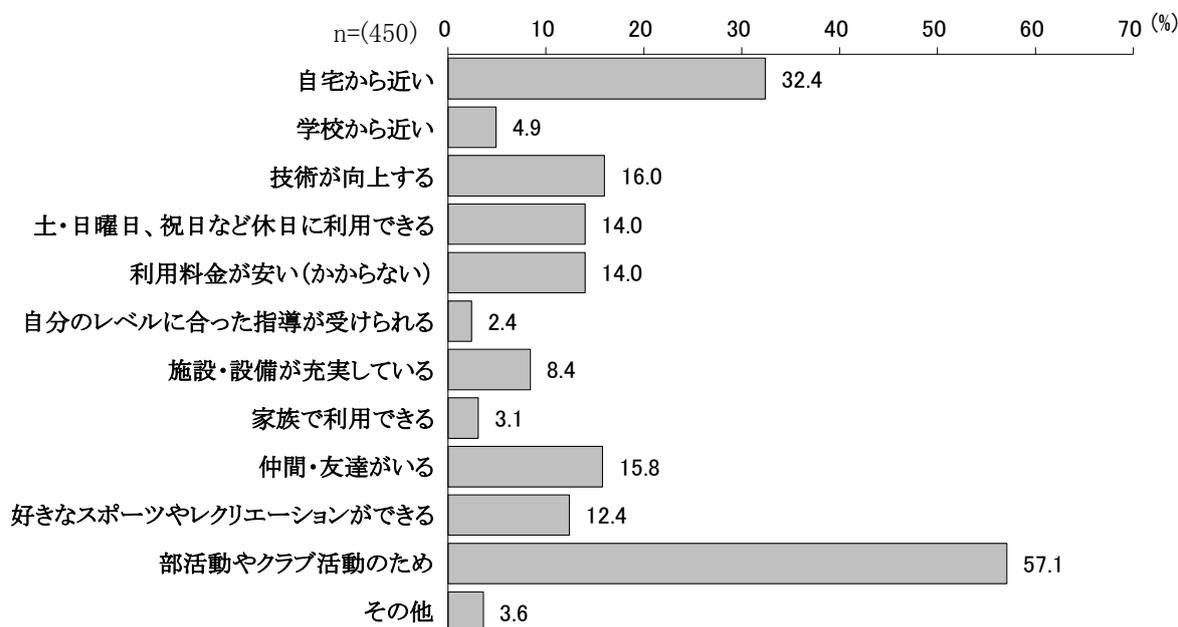


問14 その場所を主に利用する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問13でいずれかの場所に○をつけた方のみ】

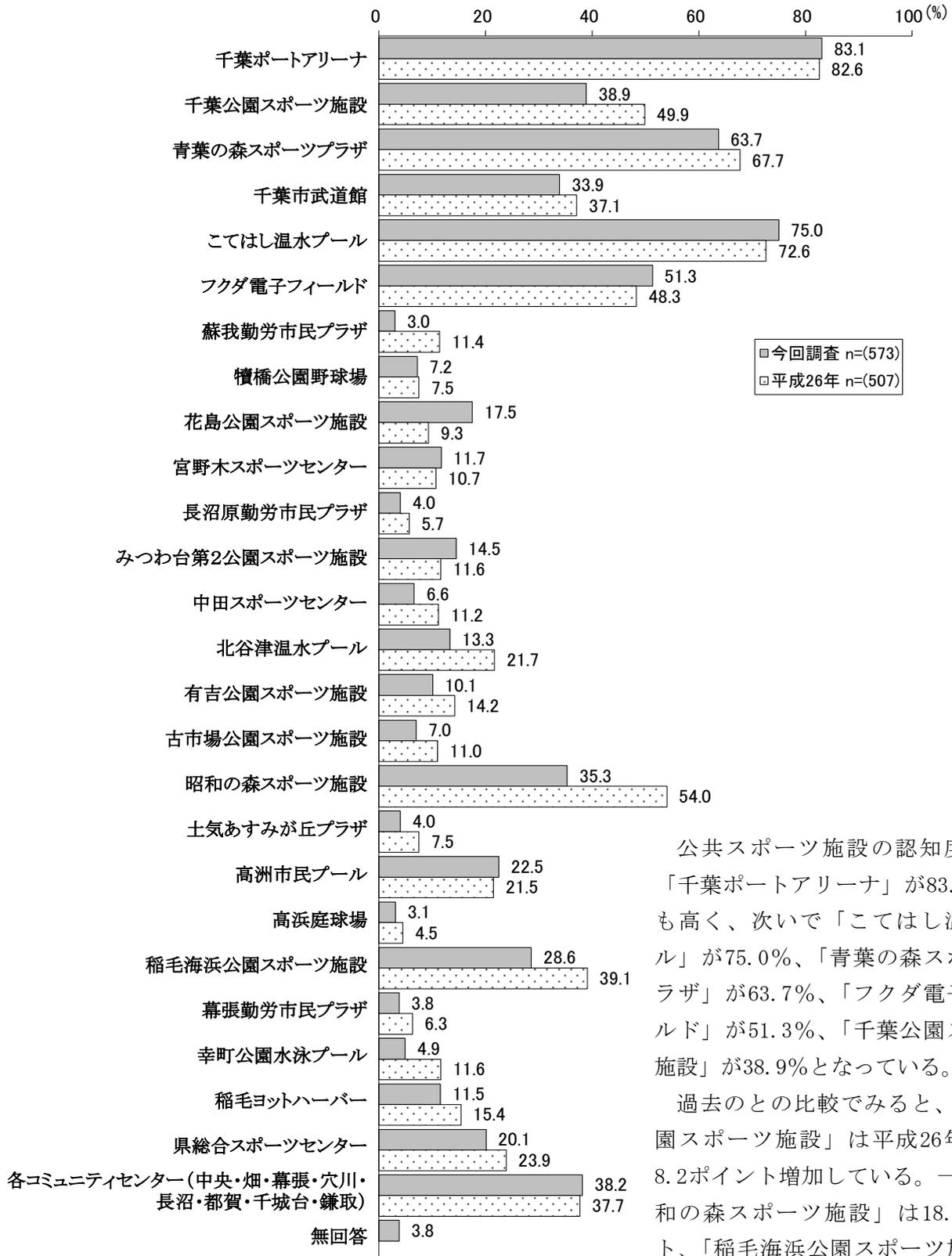


問13で回答した場所（p. 186）を利用する理由では、「部活動やクラブ活動のため」が57.4%で最も高く、次いで「自宅から近い」が48.2%、「仲間・友達がいる」が30.7%、「土・日曜日、祝日など休日に利用できる」が28.4%、「技術が向上する」が23.7%となっている。

【参考】平成26年の結果



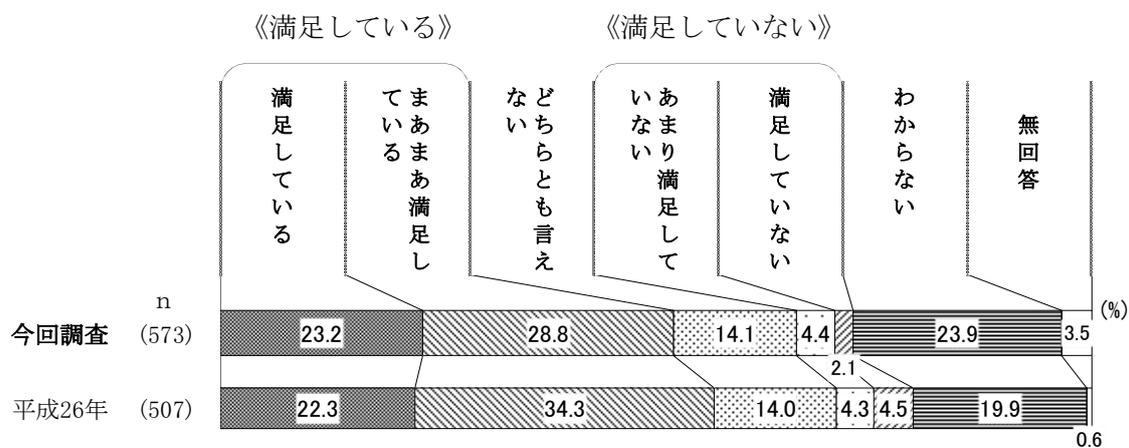
問15 次の主な公共スポーツ施設を知っていますか。（知っているものすべてに○）【全員回答】



公共スポーツ施設の認知度では、「千葉ポートアリーナ」が83.1%で最も高く、次いで「こてはし温水プール」が75.0%、「青葉の森スポーツプラザ」が63.7%、「フクダ電子フィールド」が51.3%、「千葉公園スポーツ施設」が38.9%となっている。

過去のとの比較でみると、「花島公園スポーツ施設」は平成26年よりも8.2ポイント増加している。一方、「昭和の森スポーツ施設」は18.7ポイント、「稲毛海浜公園スポーツ施設」は10.5ポイント減少している。

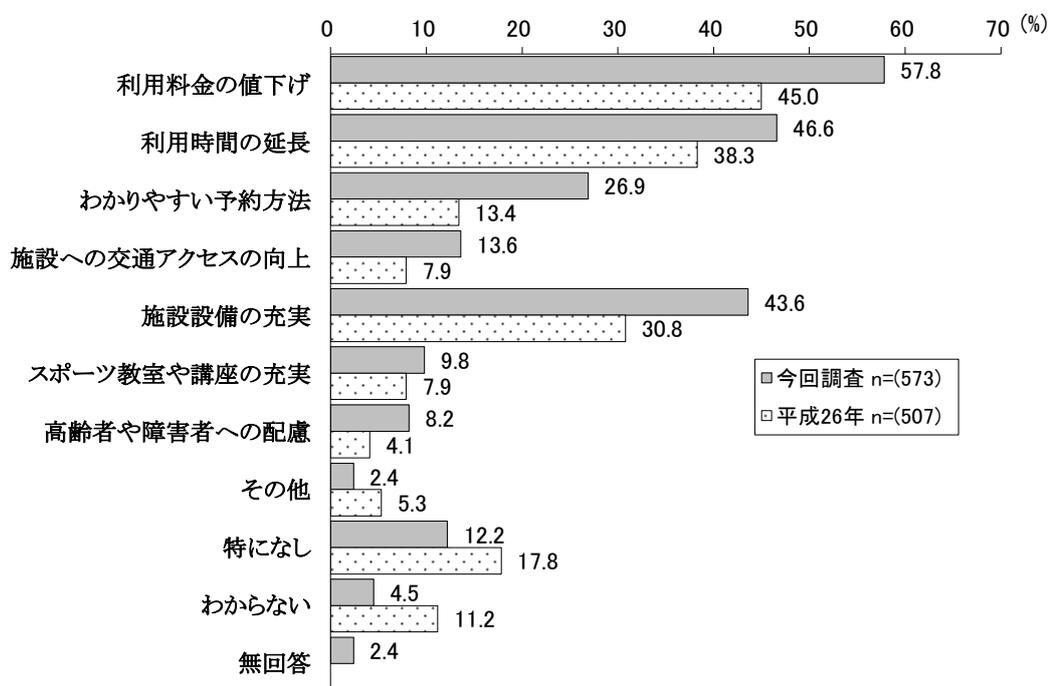
問16 市のスポーツ施設について満足していますか。【全員回答】



市のスポーツ施設の満足度では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた《満足している》は52.0%、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた《満足していない》は6.5%となっている。

過去との比較でみると、《満足している》は平成26年よりも4.6ポイント減少している。

問17 市の公共スポーツ施設に望むことはなんですか。（○は上位3つまで記入）【全員回答】

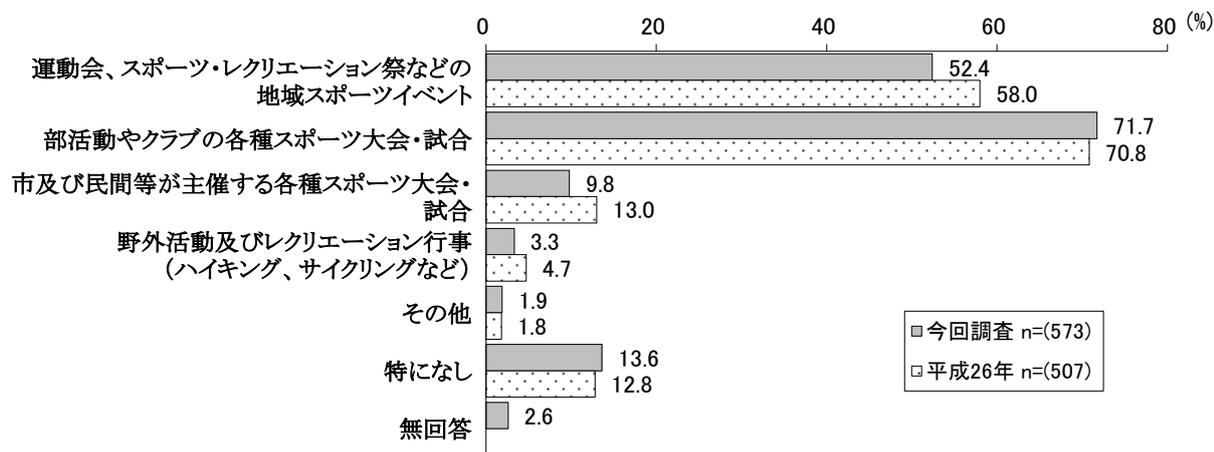


市の公共スポーツ施設に望むことでは、「利用料金の値下げ」が57.8%で最も高く、次いで「利用時間の延長」が46.6%、「施設設備の充実」が43.6%、「わかりやすい予約方法」が26.9%、「施設への交通アクセスの向上」が13.6%となっている。

過去との比較でみると、「わかりやすい予約方法」は平成26年よりも13.5ポイント、「利用料金の値下げ」、「施設設備の充実」は12.8ポイント増加している。

（5）運動・スポーツの行事について

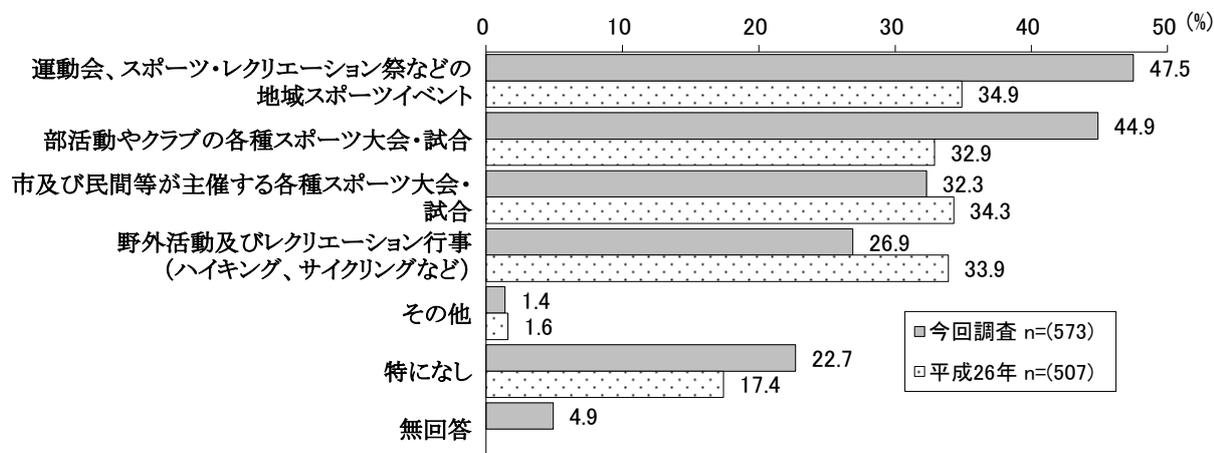
問18 この1年間に、どのような行事に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間に参加した行事では、「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」が71.7%で最も高く、次いで「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」が52.4%、「市及び民間等が主催する各種スポーツ大会・試合」が9.8%、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が3.3%となっている。

過去との比較でみると、「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」は平成26年よりもわずかに増加している。一方、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」は5.6ポイント減少している。

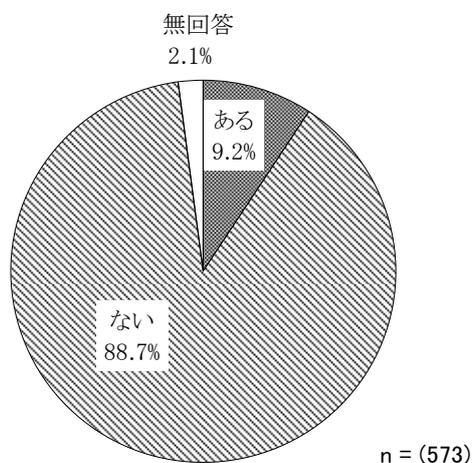
問19 今後、どのような行事に参加したいですか。（問18の選択肢から上位2つまで記入）
【全員回答】



今後参加したい行事では、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」が47.5%で最も高く、次いで「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」が44.9%、「市及び民間等が主催する各種スポーツ大会・試合」が32.3%、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が26.9%となっている。

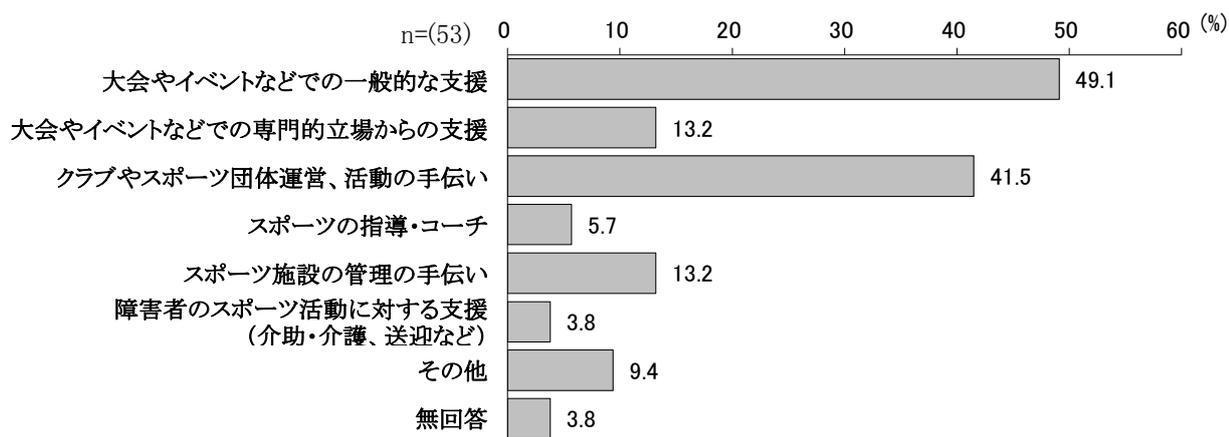
過去との比較でみると、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」は平成26年よりも12.6ポイント、「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」は12ポイント増加している。一方、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」は7ポイント減少している。

問20 この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。【全員回答】



この1年間におけるボランティア活動の有無では、「ある」が9.2%、「ない」が88.7%となっている。

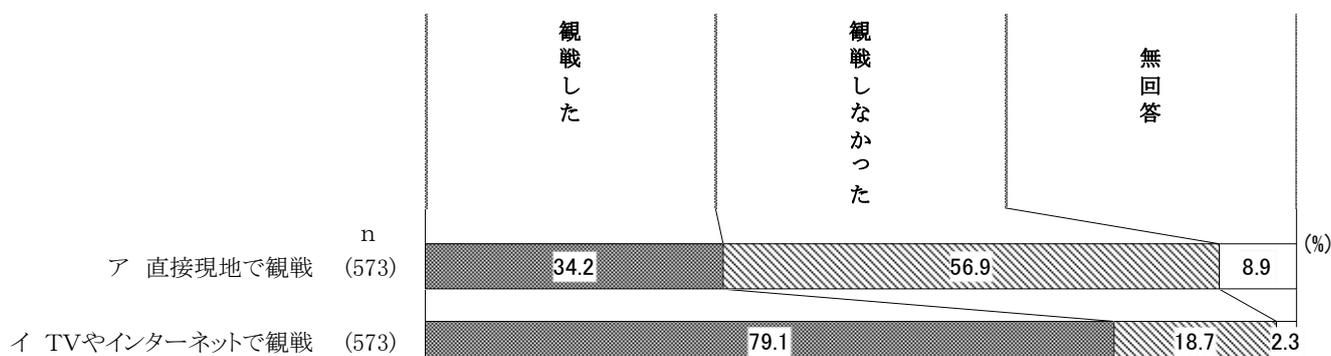
問21 行ったことがあるボランティア活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問20で「ある」に○をつけた方のみ】



行ったことがあるボランティア活動では、「大会やイベントなどでの一般的な支援」が49.1%で最も高く、次いで「クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い」が41.5%、「大会やイベントなどでの専門的立場からの支援」、「スポーツ施設の管理の手伝い」が13.2%となっている。

（6）スポーツ観戦について

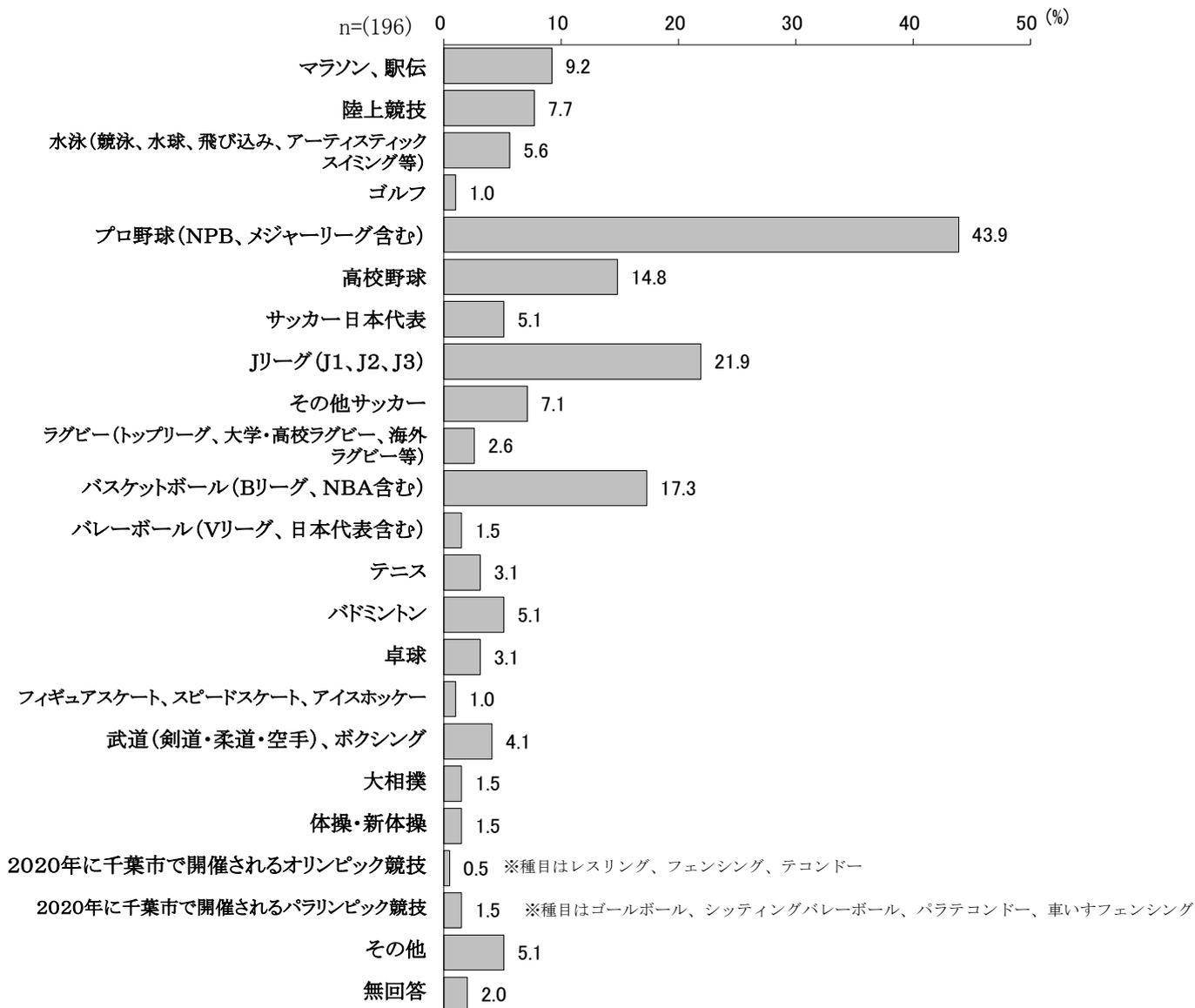
問22 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。【全員回答】



直接現地で観戦では、「観戦した」が34.2%、「観戦しなかった」が56.9%となっている。一方、TVやインターネットで観戦では、「観戦した」が79.1%、「観戦しなかった」が18.7%となっている。

問23 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）【問22のいずれかの「観戦した」に○をつけた方のみ】

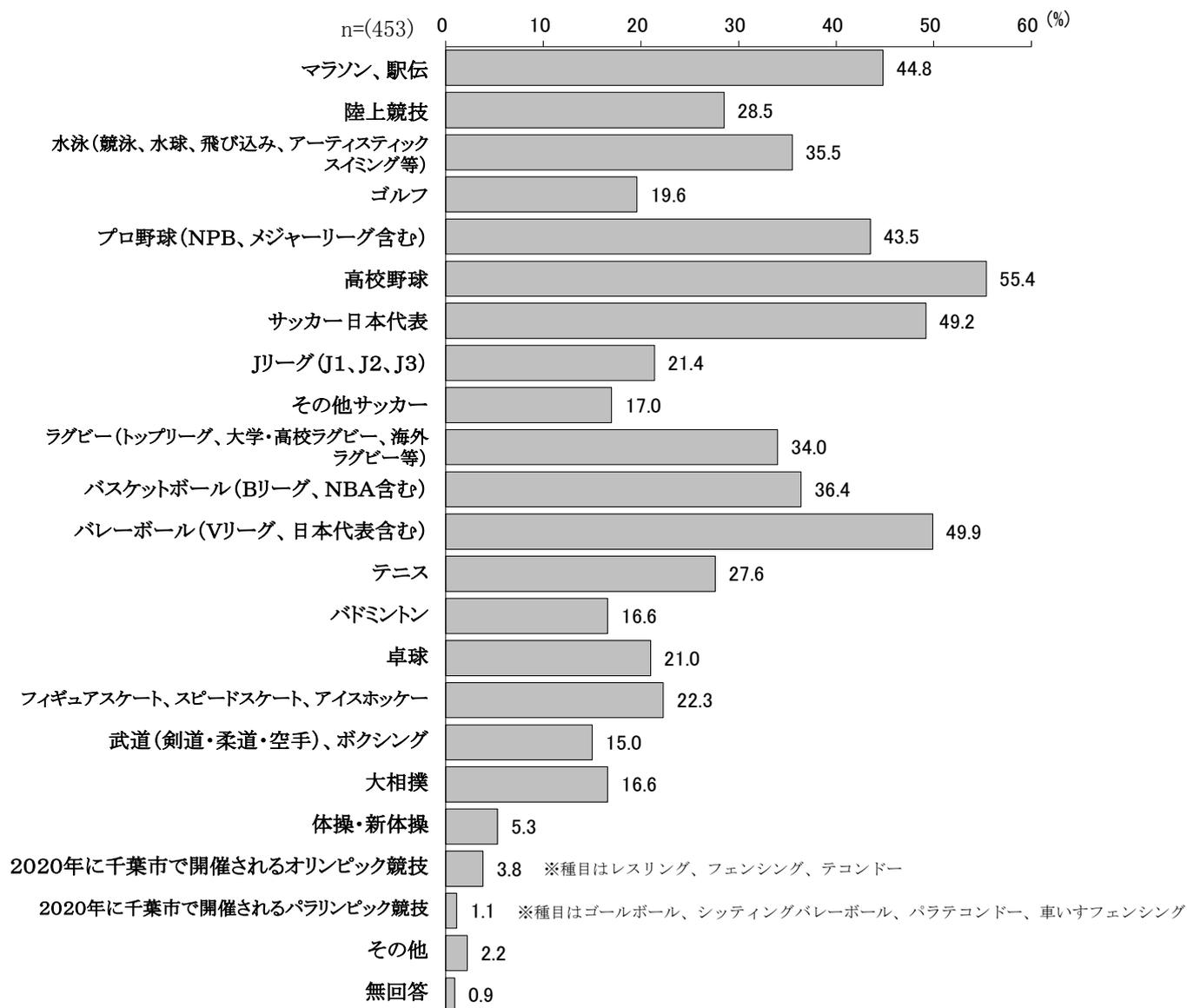
【ア 直接現地で観戦】



直接現地で観戦では、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が43.9%で最も高く、次いで「Jリーグ（J1、J2、J3）」が21.9%、「バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）」が17.3%、「高校野球」が14.8%、「マラソン、駅伝」が9.2%となっている。

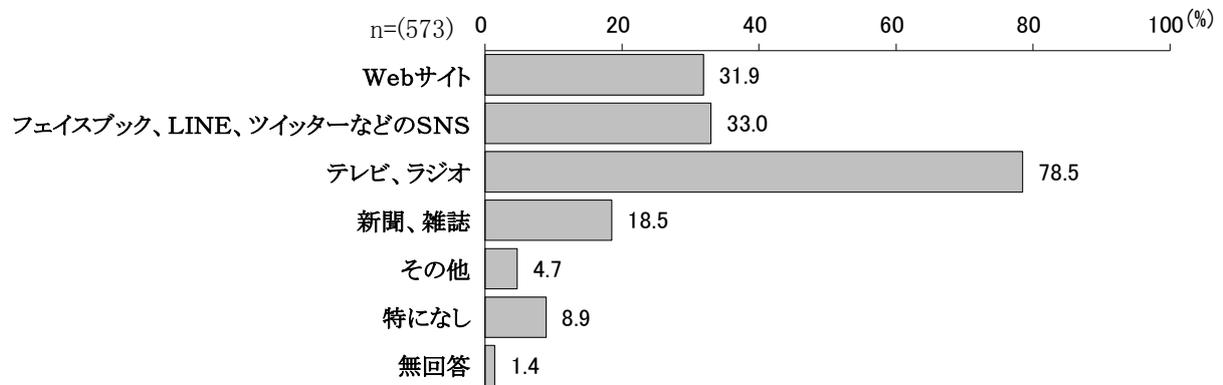
Ⅲ 調査結果（中学生）

【イ TVやインターネットで観戦】



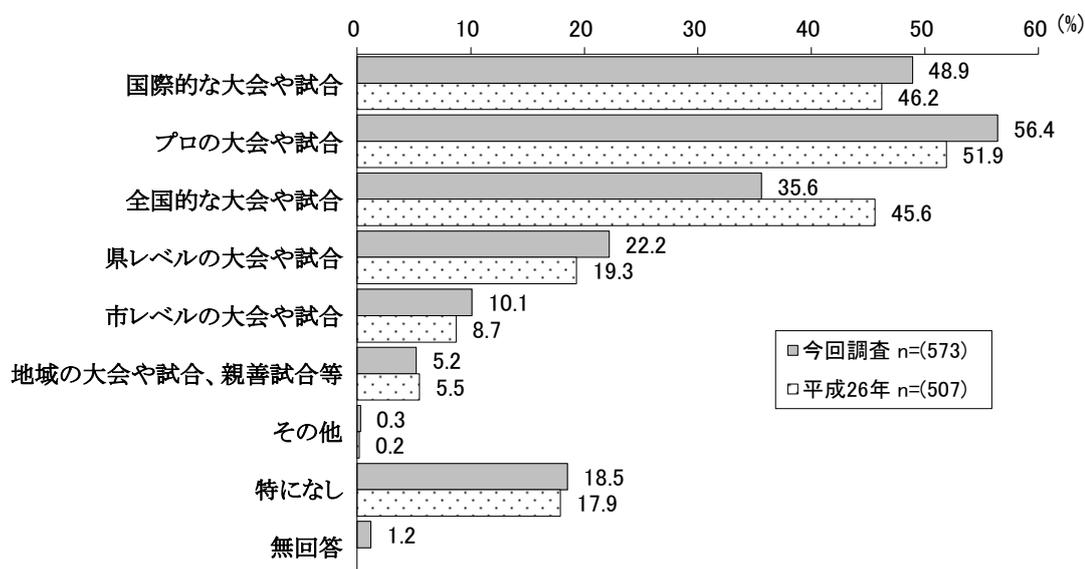
TVやインターネットで観戦では、「高校野球」が55.4%で最も高く、次いで「バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）」が49.9%、「サッカー日本代表」が49.2%、「マラソン、駅伝」が44.8%、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が43.5%となっている。

問24 スポーツ観戦に関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



スポーツ観戦に関する情報の入手先では、「テレビ、ラジオ」が78.5%で最も高く、次いで「フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS」が33.0%、「Webサイト」が31.9%、「新聞、雑誌」が18.5%となっている。

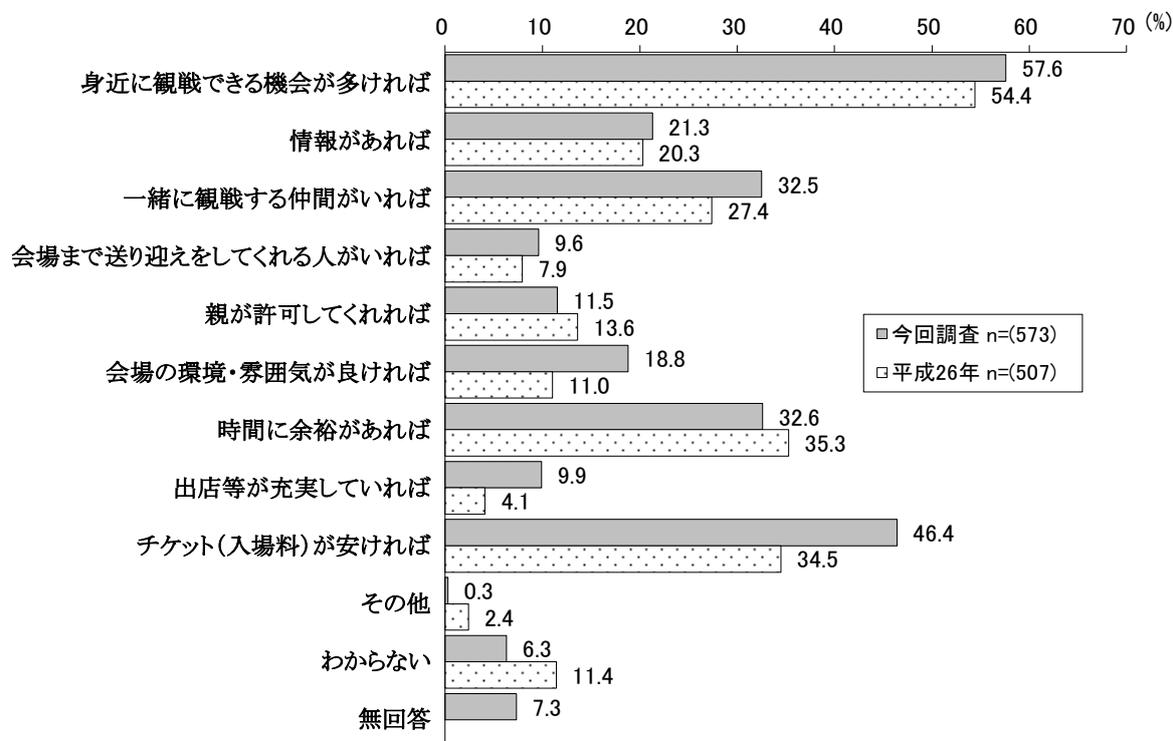
問25 今後、どのような大会や試合を会場で観戦したいですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



今後会場で観戦したい大会や試合では、「プロの大会や試合」が56.4%で最も高く、次いで「国際的な大会や試合」が48.9%、「全国的な大会や試合」が35.6%、「県レベルの大会や試合」が22.2%となっている。

過去との比較でみると、「プロの大会や試合」は平成26年よりも4.5ポイント増加している。一方、「全国的な大会や試合」は10ポイント減少している。

問26 今より観戦者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで記入）【全員回答】

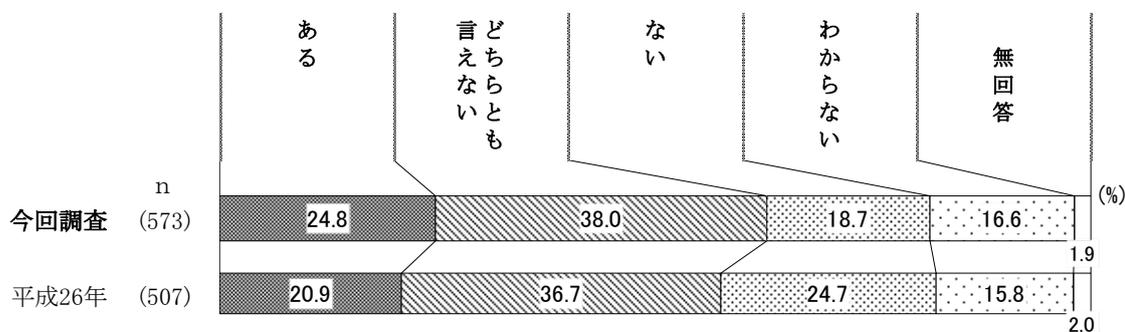


観戦者を増やすために必要なことでは、「身近に観戦できる機会が多ければ」が57.6%で最も高く、次いで「チケット（入場料）が安ければ」が46.4%、「時間に余裕があれば」が32.6%、「一緒に観戦する仲間がいれば」が32.5%、「情報があれば」が21.3%となっている。

過去との比較でみると、「チケット（入場料）が安ければ」は平成26年よりも11.9ポイント、「会場の環境・雰囲気が良ければ」は7.8ポイント増加している。

（7）パラスポーツの推進について

問27 パラスポーツに関心がありますか。【全員回答】

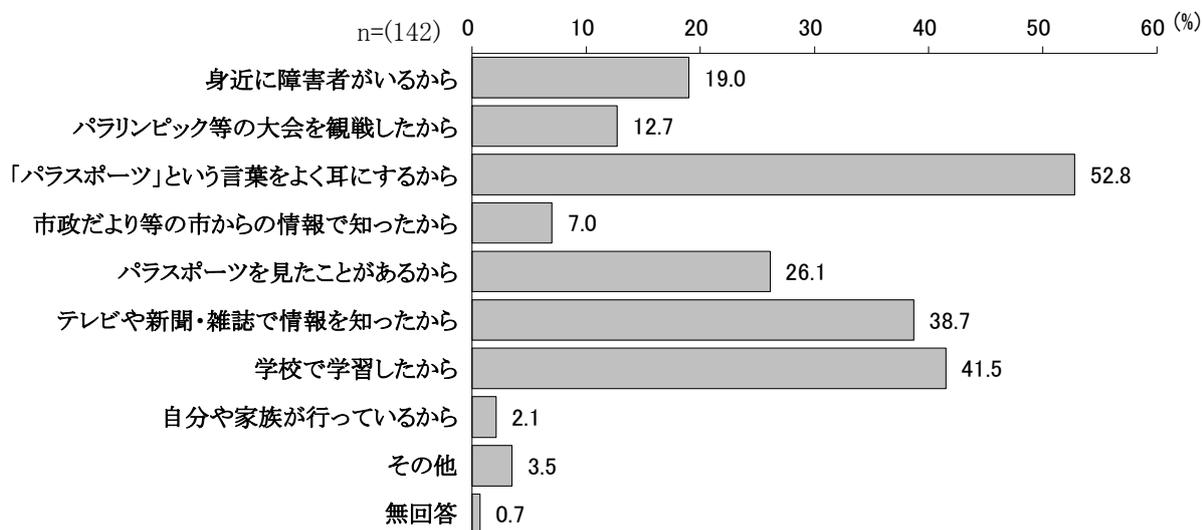


パラスポーツへの関心では、「ある」が24.8%、「ない」が18.7%、「どちらとも言えない」が38.0%となっている。

過去との比較で見ると、関心が「ある」は平成26年よりも3.9ポイント増加している。

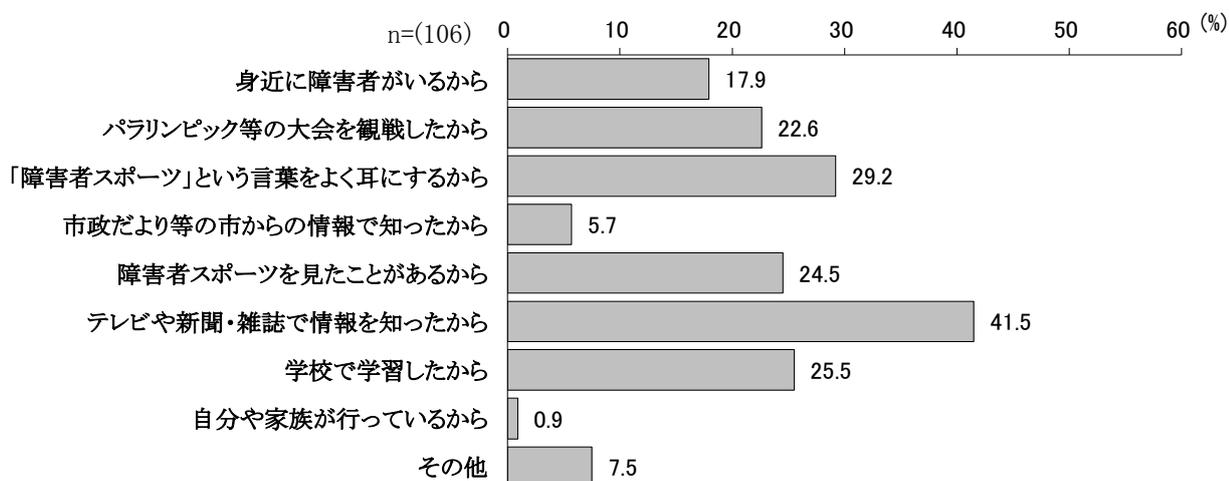
※平成26年調査では、「パラスポーツ」を「障害者スポーツ」と表記していた。

問28 パラスポーツに関心がある理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）【問27で「ある」に○をつけた方のみ】

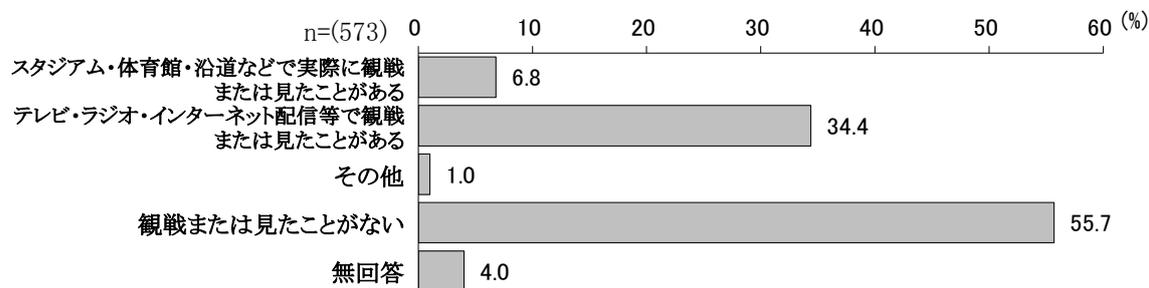


パラスポーツに関心がある理由では、「「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから」が52.8%で最も高く、次いで「学校で学習したから」が41.5%、「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」が38.7%、「パラスポーツを見たことがあるから」が26.1%、「身近に障害者がいるから」が19.0%となっている。

【参考】平成26年の結果

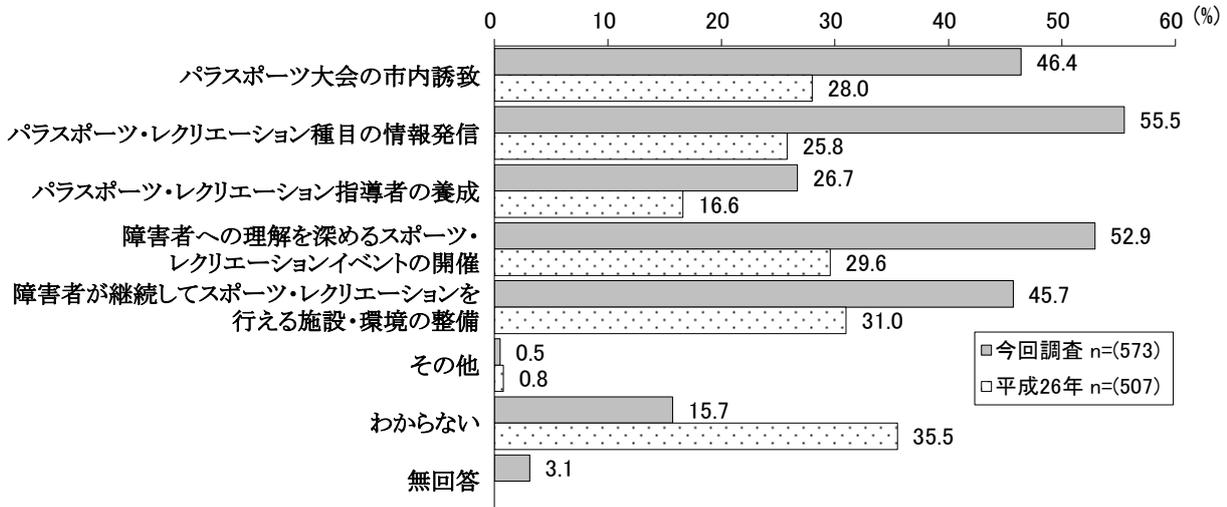


問29 この1年間にパラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間におけるパラスポーツの観戦経験では、「観戦または見たことがない」が55.7%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」が34.4%、「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」が6.8%となっている。

問30 パラスポーツを推進するために、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（上位3つまで記入）【全員回答】

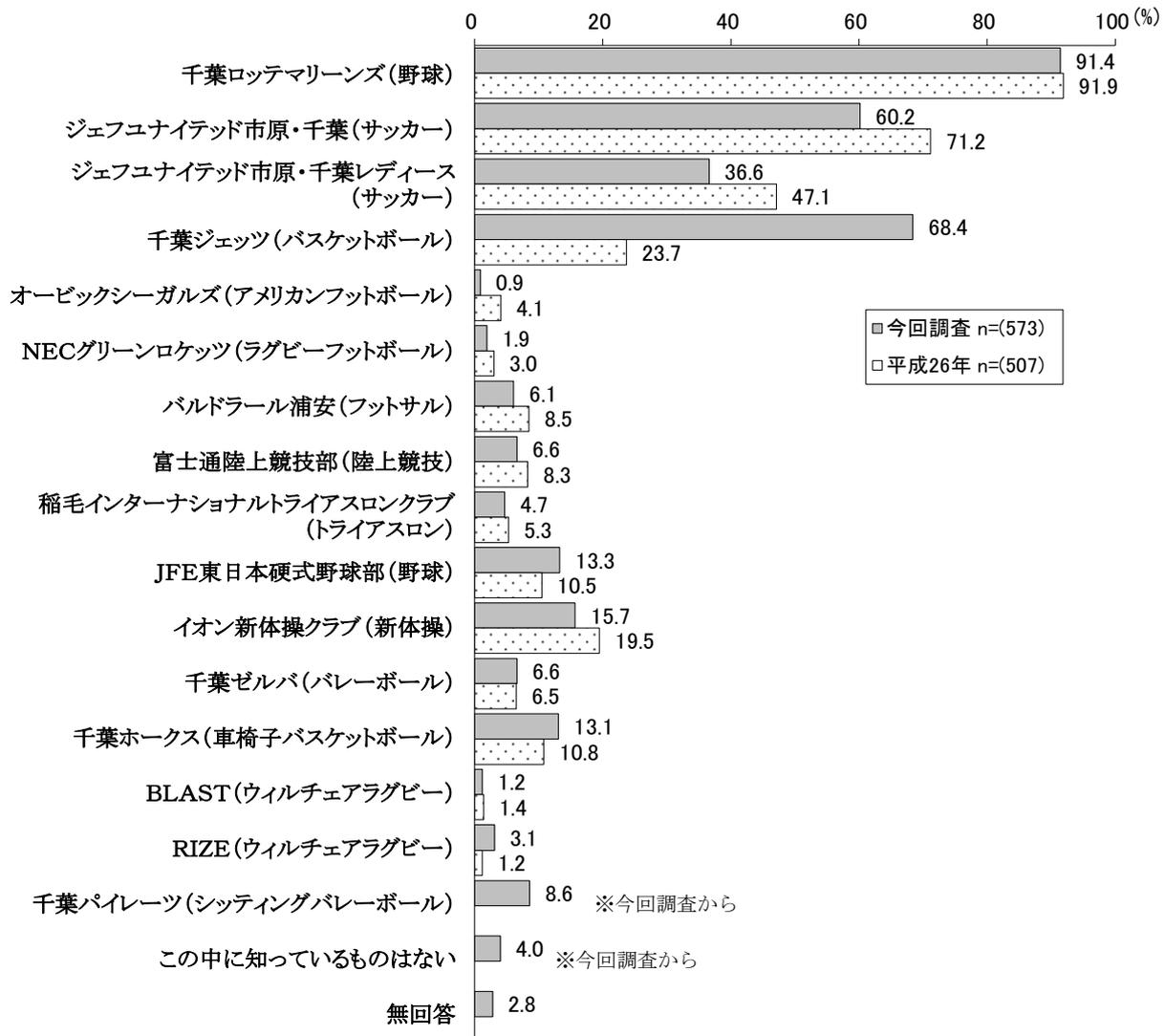


パラスポーツを推進するために市が取り組むべきことでは、「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」が55.5%で最も高く、次いで「障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が52.9%、「パラスポーツ大会の市内誘致」が46.4%、「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が45.7%、「パラスポーツ・レクリエーション指導者の養成」が26.7%となっている。

Ⅲ 調査結果（中学生）

（８）トップスポーツとの交流について

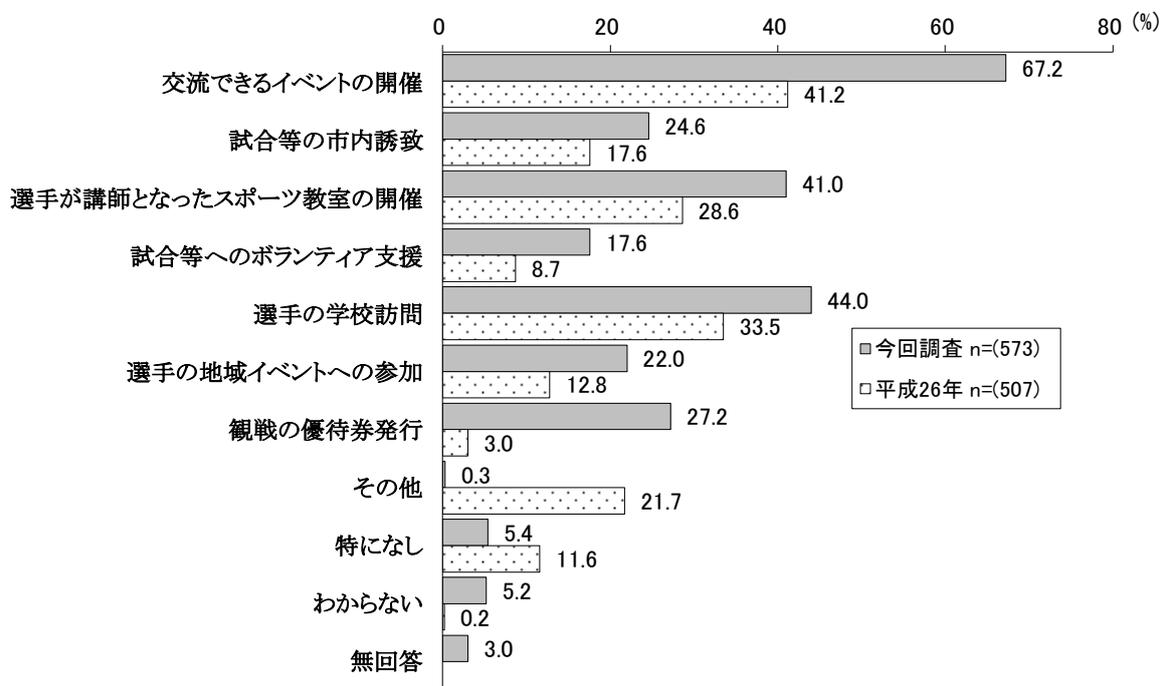
問31 次のトップスポーツチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



トップスポーツチームの認知では、「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が91.4%で最も高く、次いで「千葉ジェッツ（バスケットボール）」が68.4%、「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」が60.2%、「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）」が36.6%、「イオン新体操クラブ（新体操）」が15.7%となっている。

過去との比較でみると、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」は平成26年よりも44.7ポイント増加している。一方、「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」は11ポイント、「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）」は10.5ポイント減少している。

問32 トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。（上位3つまで記入）【全員回答】

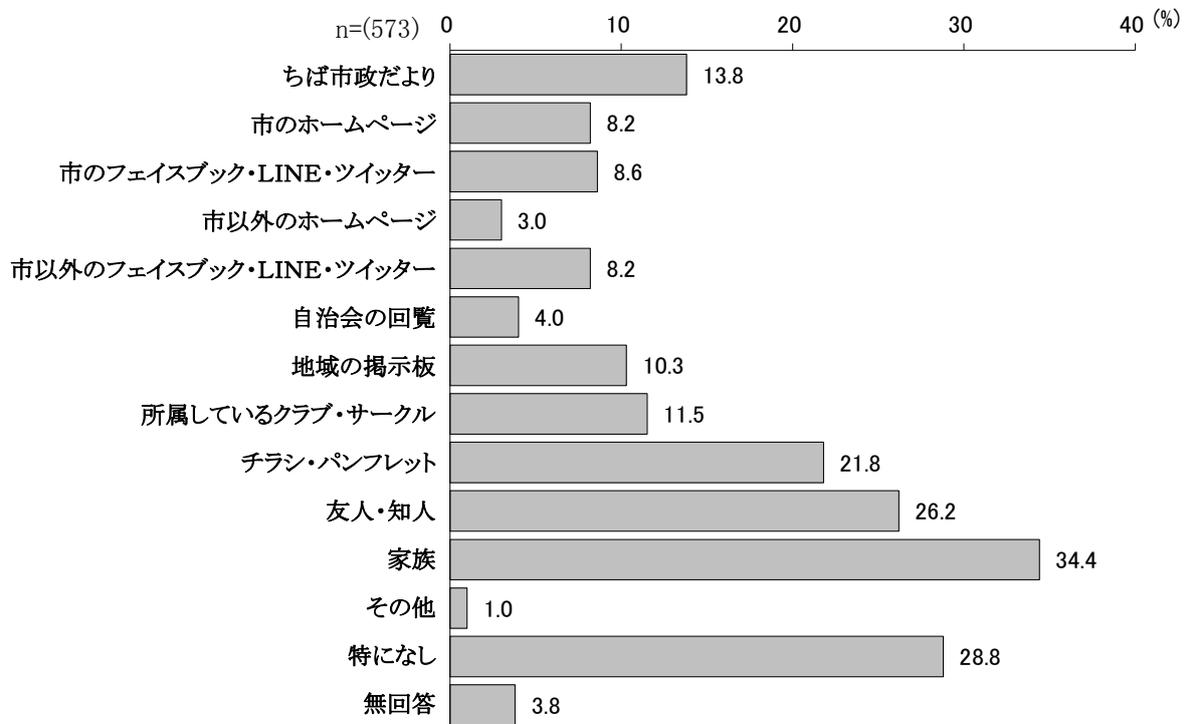


トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるために市に取り組んでほしいことでは、「交流できるイベントの開催」が67.2%で最も高く、次いで「選手の学校訪問」が44.0%、「選手が講師となったスポーツ教室の開催」が41.0%、「観戦の優待券発行」が27.2%、「試合等の市内誘致」が24.6%となっている。

過去との比較で見ると、「交流できるイベントの開催」は平成26年よりも26ポイント、「観戦の優待券発行」は24.2ポイント増加している。

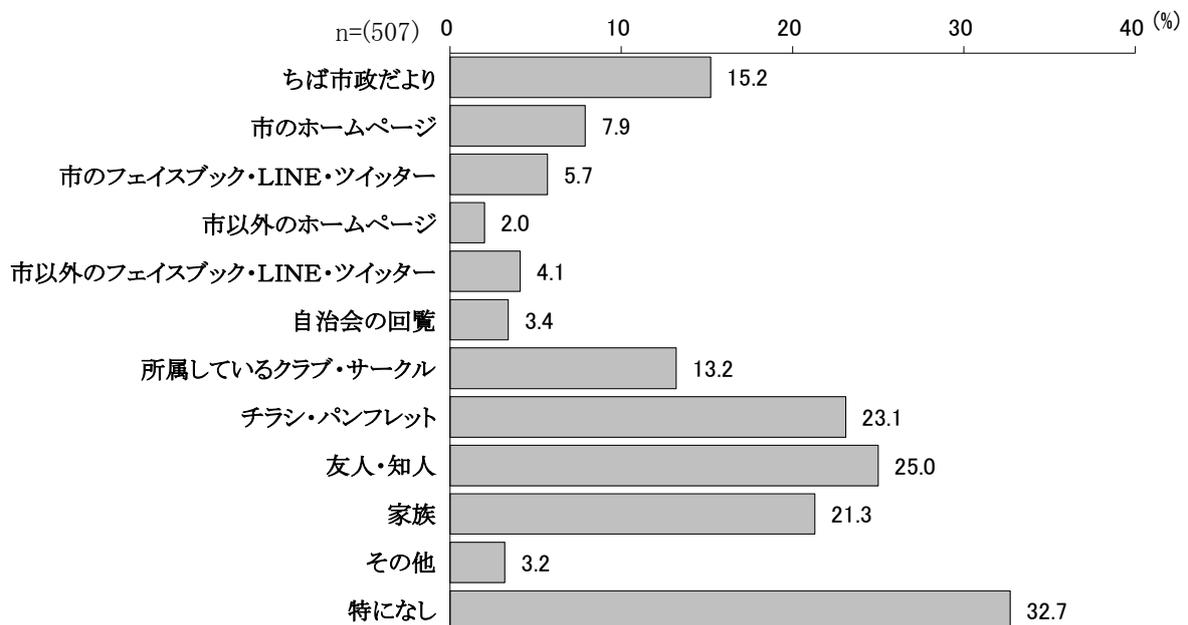
（9）運動・スポーツの情報について

問33 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

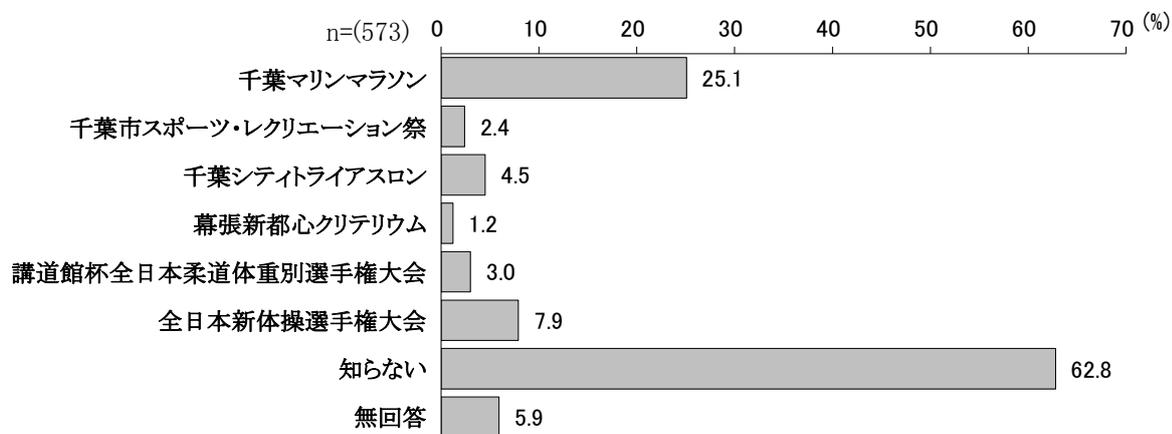


市内の運動・スポーツなどに関する情報の入手先では、「家族」が34.4%で最も高く、次いで「友人・知人」が26.2%、「チラシ・パンフレット」が21.8%、「ちば市政だより」が13.8%、「所属しているクラブ・サークル」が11.5%となっている。

【参考】平成26年の結果

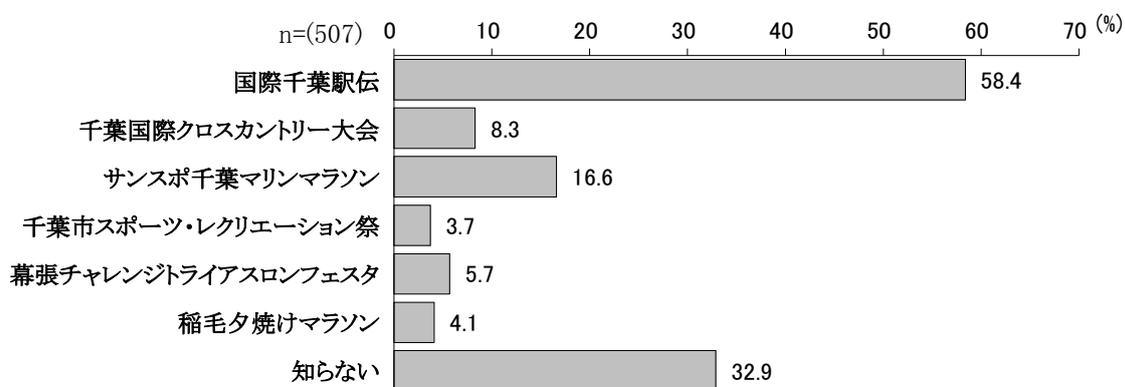


問34 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

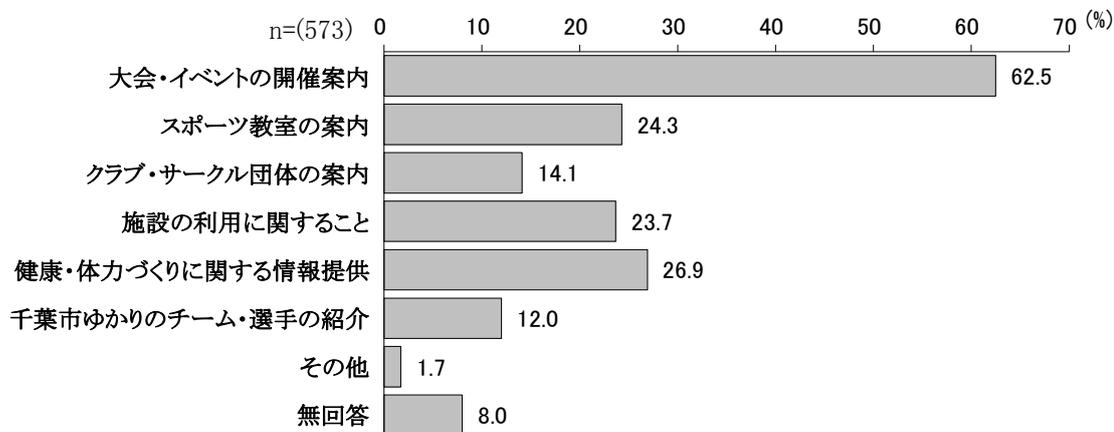


市内で開催されているスポーツイベント等の認知度では、「知らない」が62.8%で最も高くなっているが、知っていると回答した人の中では「千葉マリンマラソン」が25.1%で最も高く、次いで「全日本新体操選手権大会」が7.9%、「千葉シティトライアスロン」が4.5%、「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」が3.0%となっている。

【参考】平成26年の結果

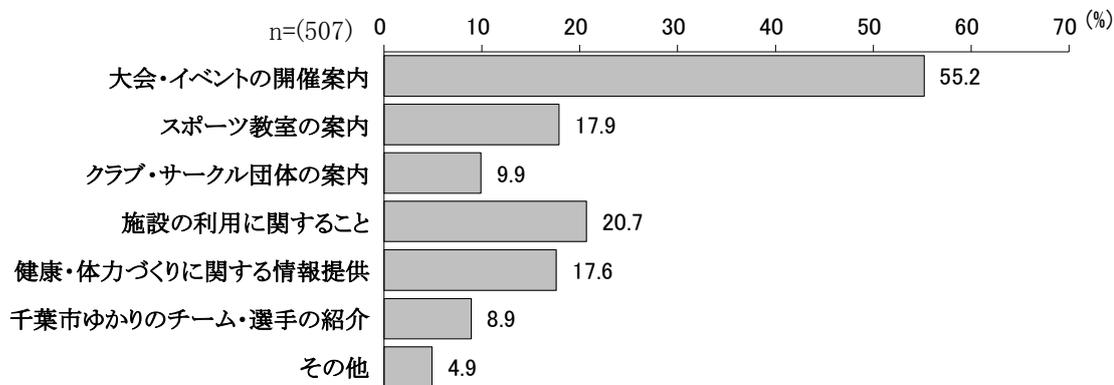


問35 市には特にどのような情報を提供してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）
【全員回答】



市に提供してほしい情報では、「大会・イベントの開催案内」が62.5%で最も高く、次いで「健康・体力づくりに関する情報提供」が26.9%、「スポーツ教室の案内」が24.3%、「施設の利用に関すること」が23.7%、「クラブ・サークル団体の案内」が14.1%となっている。

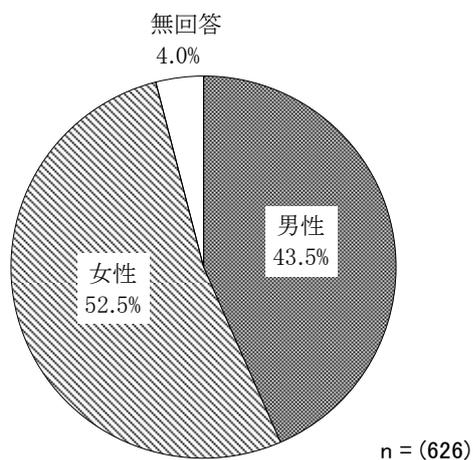
【参考】平成26年の結果



4. 高校生アンケート

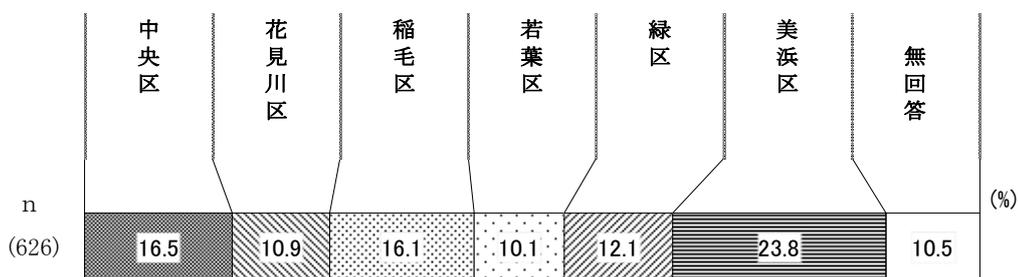
（1）属性

性別を教えてください。【全員回答】



「男性」が43.5%、「女性」が52.6%で女性の回答割合が多くなっている。

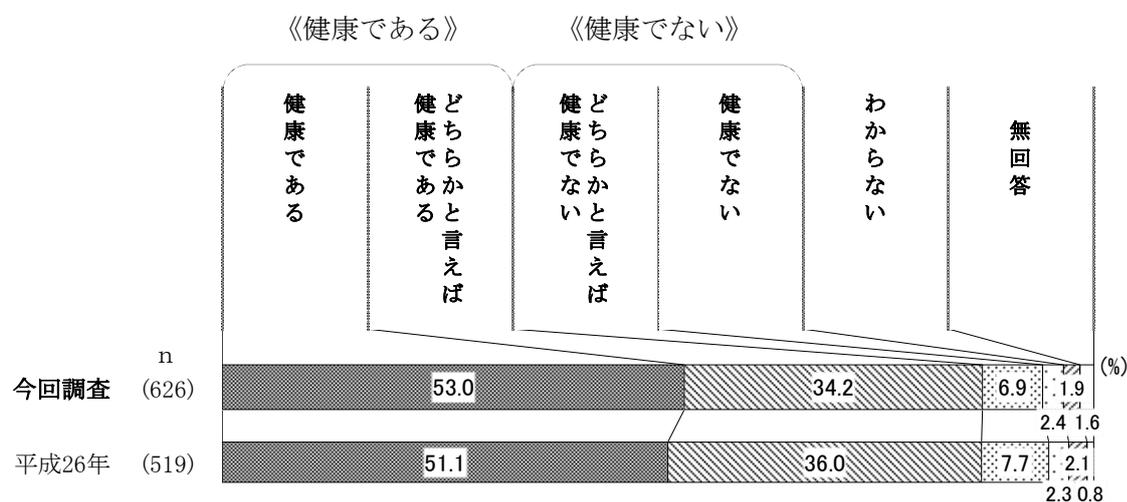
お住まいの区はどこですか。【全員回答】



「美浜区」が23.8%で最も高く、次いで「中央区」が16.5%、「稲毛区」が16.1%となっている。

（２）あなたの健康状態について

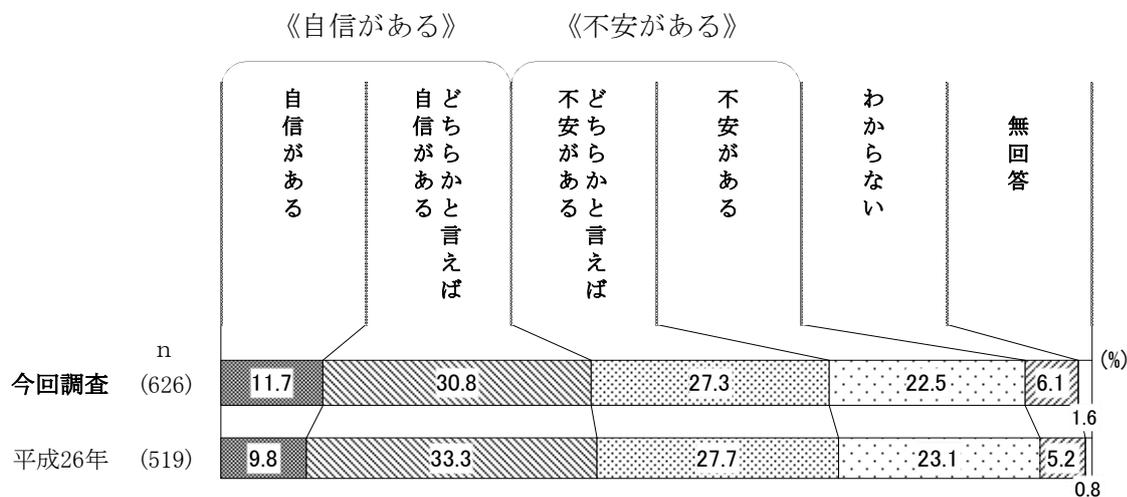
問１ 健康状態をどのように感じていますか。【全員回答】



健康状態では、「健康である」と「どちらかと言えば健康である」を合わせた《健康である》は87.2%、「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」を合わせた《健康でない》は9.3%となっている。

過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

問2 体力についてどのように感じていますか。【全員回答】



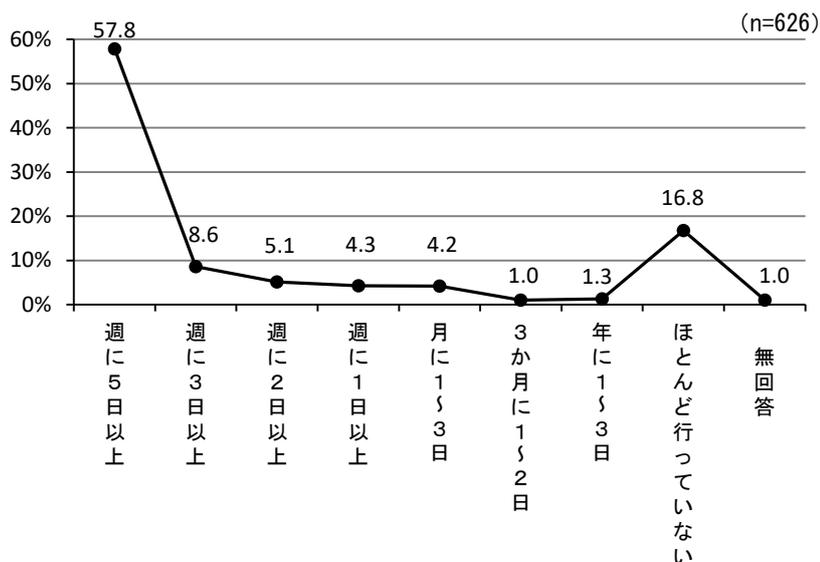
自分の体力については、「自信がある」と「どちらかと言えば自信がある」を合わせた《自信がある》は42.5%、「不安がある」と「どちらかと言えば不安がある」を合わせた《不安がある》は49.8%となっている。

過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

（3）運動・スポーツの実施状況等について

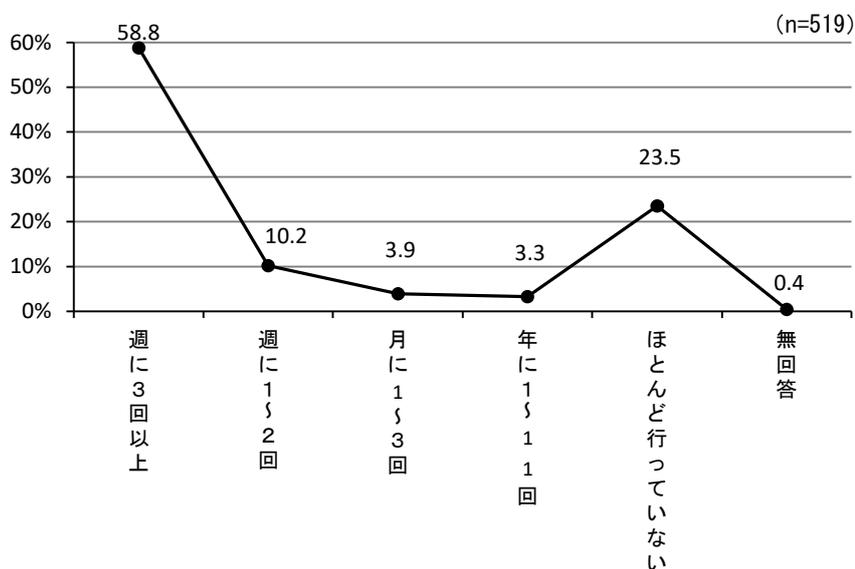
問3 運動・スポーツをどの程度行っていますか。【全員回答】

※ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含む。

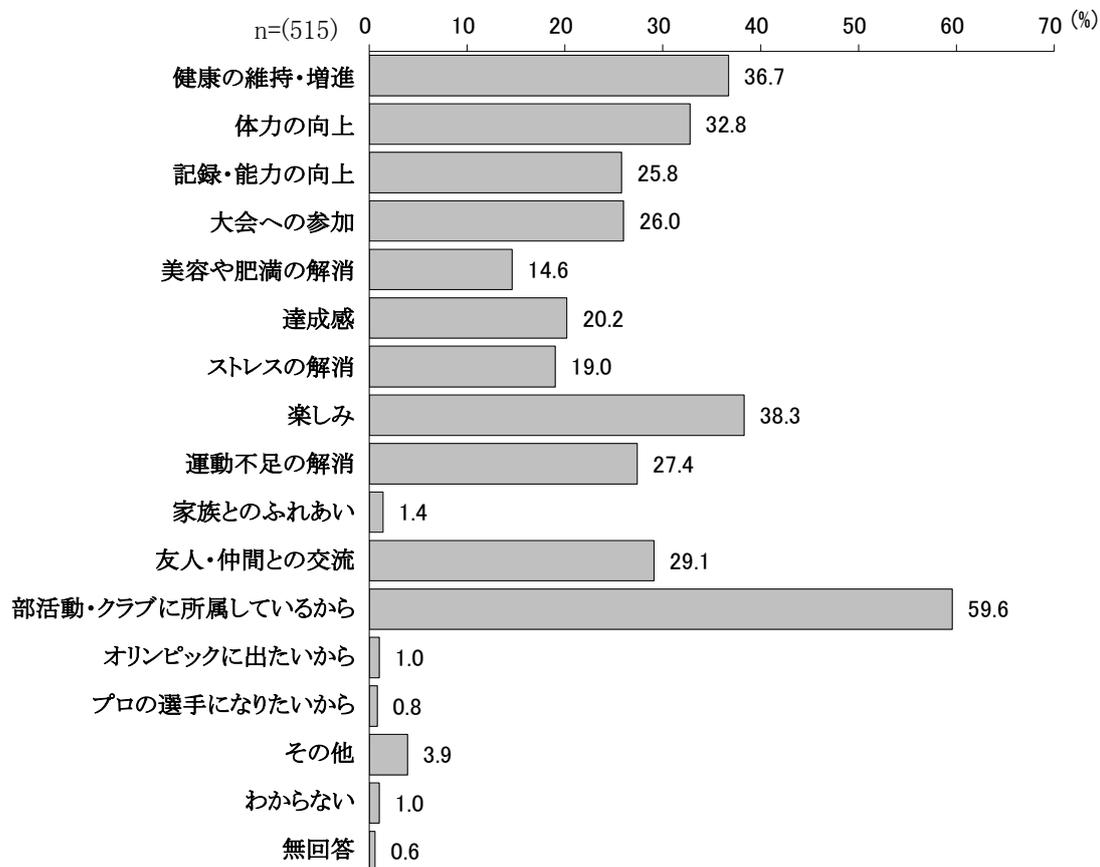


運動・スポーツの実施状況では、「ほとんど行っていない」を除き、「週に5日以上」が57.8%で最も高く、次いで「週に3日以上」が8.6%、「週に2日以上」が5.1%、「週に1日以上」が4.3%となっている。

【参考】平成26年の結果



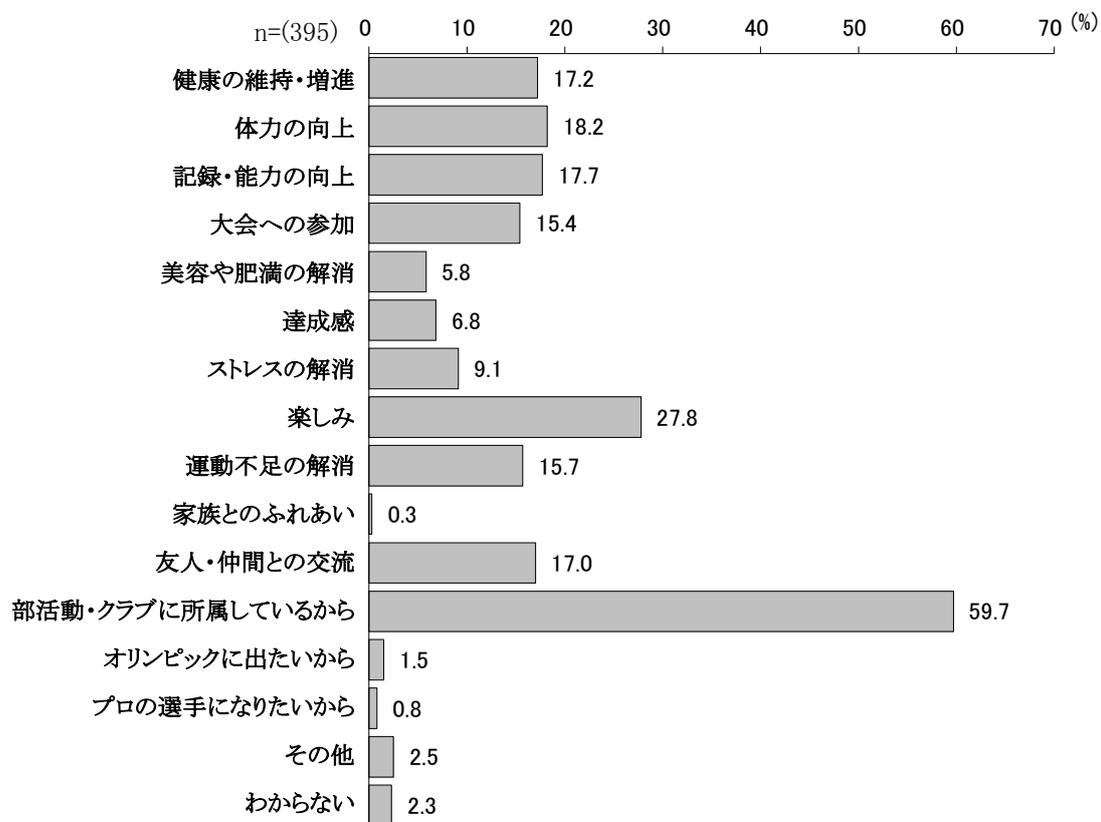
問4 行う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で「ほとんど行っていない」以外に○をつけた方のみ】



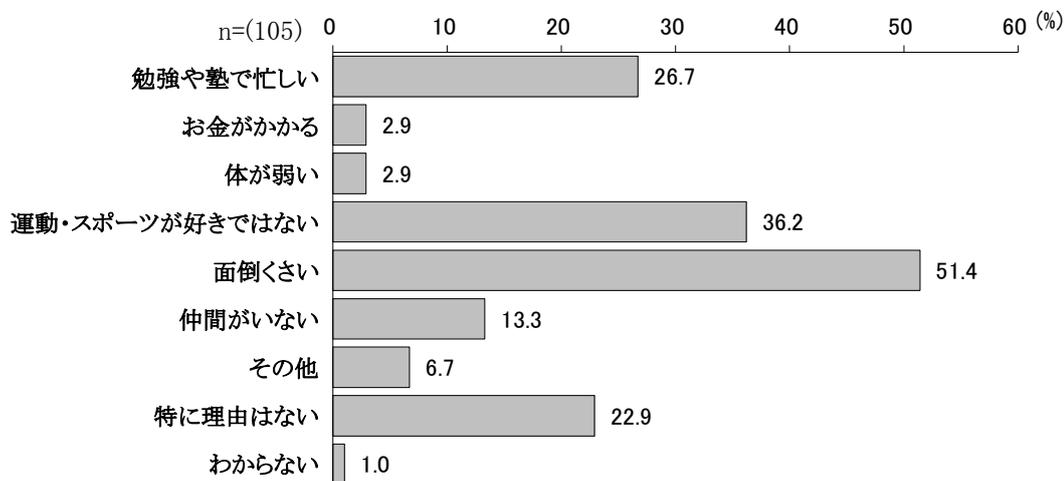
運動・スポーツを行う理由では、「部活動・クラブに所属しているから」が59.6%で最も高く、次いで「楽しみ」が38.3%、「健康の維持・増進」が36.7%、「体力の向上」が32.8%、「友人・仲間との交流」が29.1%となっている。

Ⅲ 調査結果（高校生）

【参考】平成26年の結果

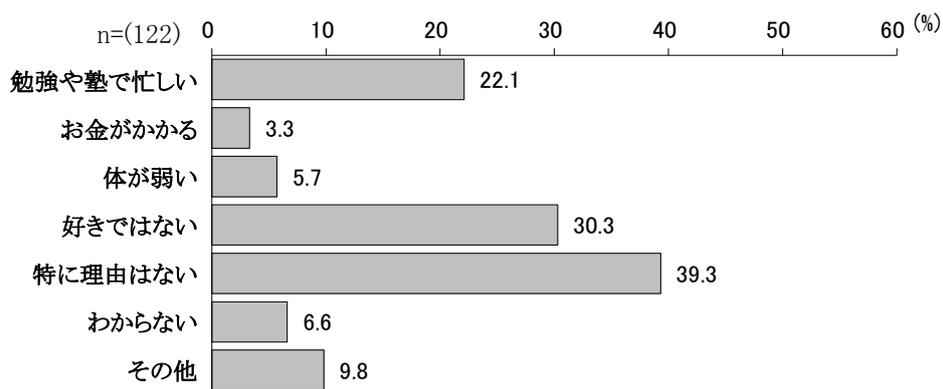


問5 行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問3で「ほとんど行っていない」に○をつけた方のみ】

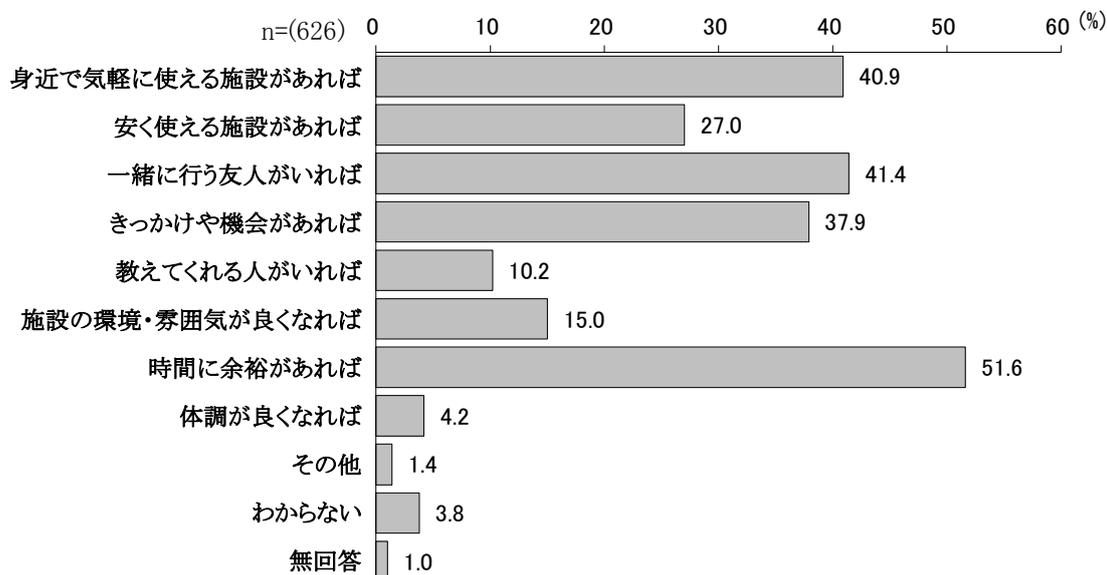


運動・スポーツを行わない理由では、「面倒くさい」が51.4%で最も高く、次いで「運動・スポーツが好きではない」が36.2%、「勉強や塾で忙しい」が26.7%、「仲間がいない」が13.3%となっている。

【参考】平成26年の結果

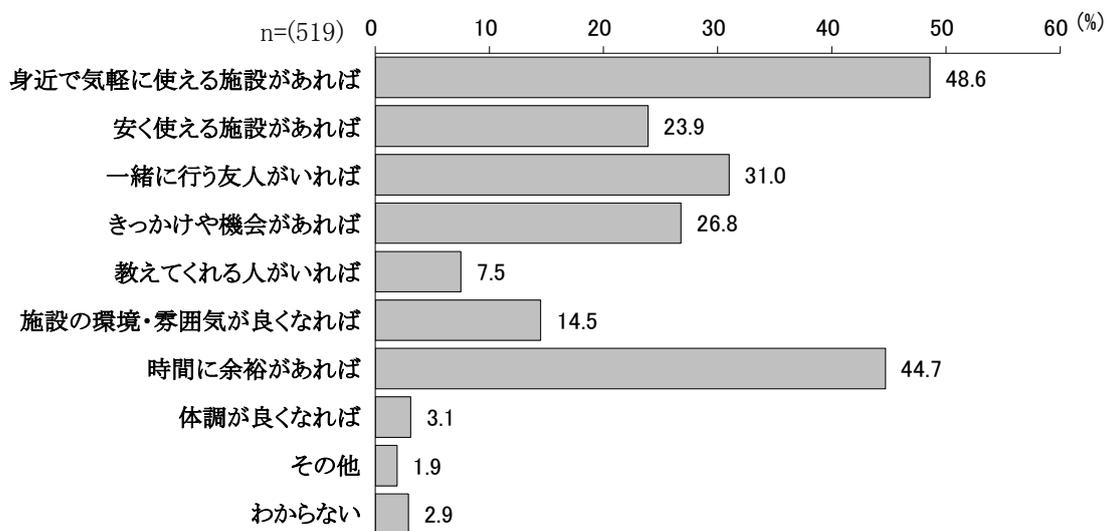


問6 より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

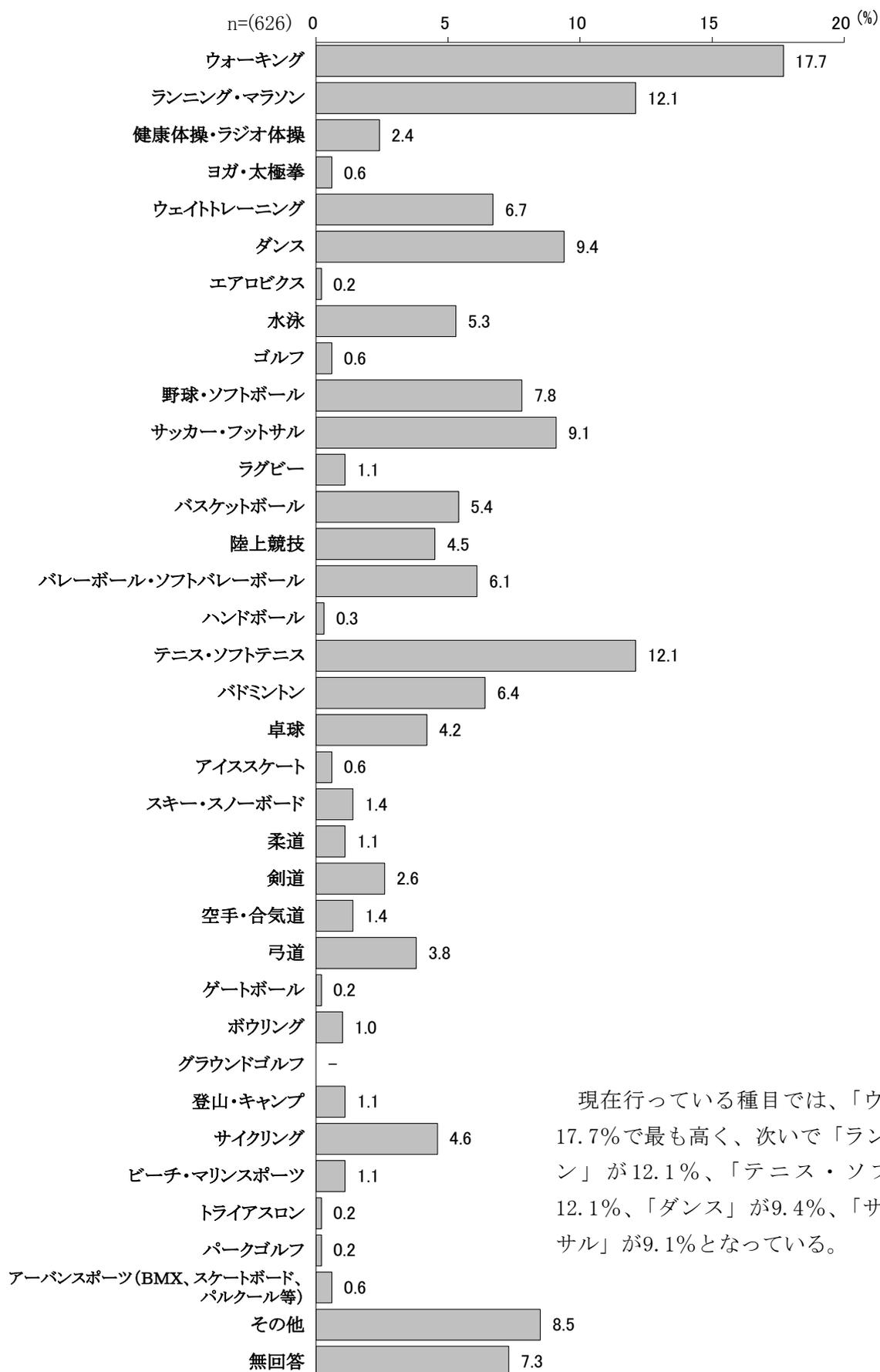


より多く運動・スポーツを行うためのきっかけなどでは、「時間に余裕があれば」が51.6%で最も高く、次いで「一緒に行く友人がいれば」が41.4%、「身近で気軽に使える施設があれば」が40.9%、「きっかけや機会があれば」が37.9%、「安く使える施設があれば」が27.0%となっている。

【参考】平成26年の結果



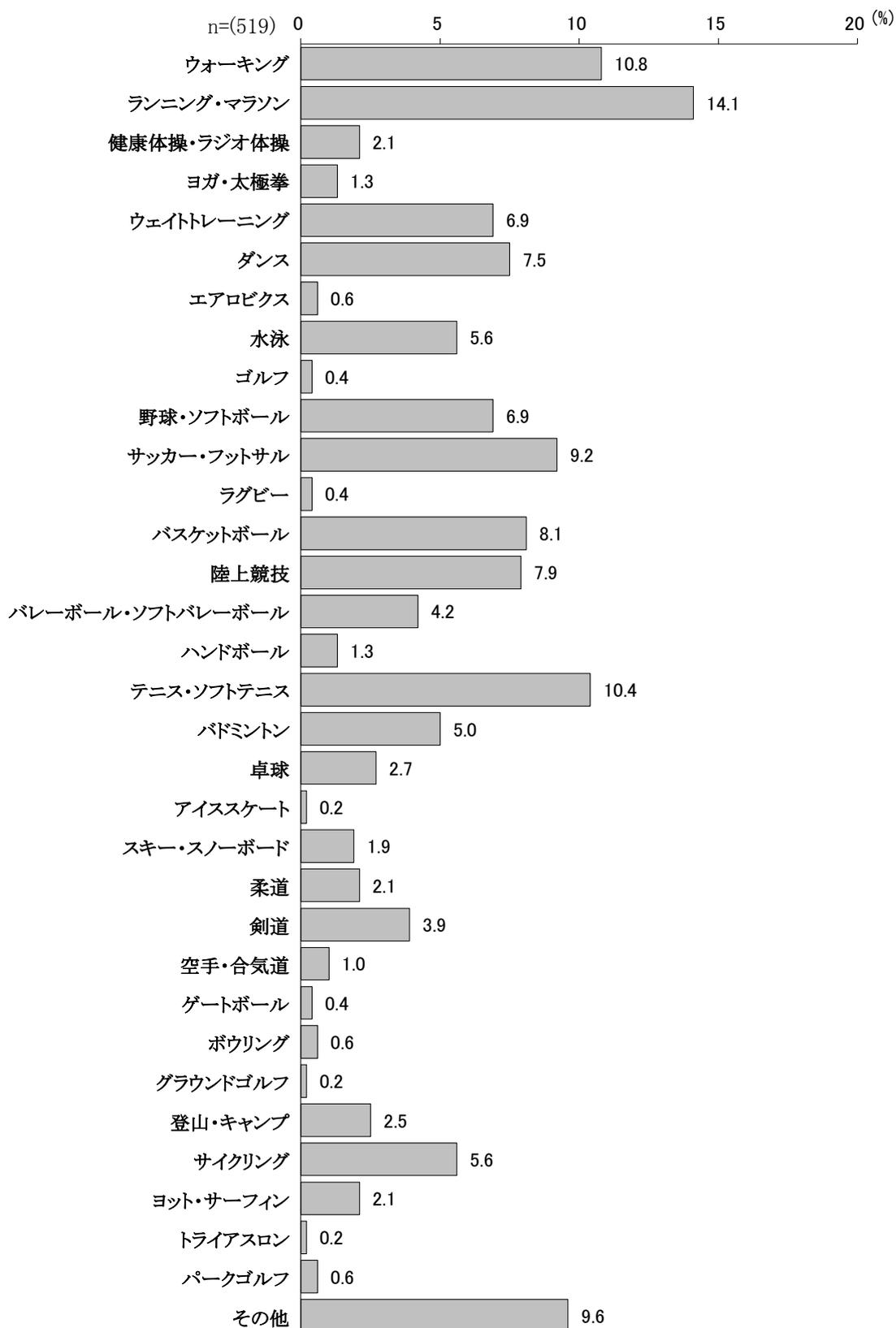
問7 現在行っている種目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



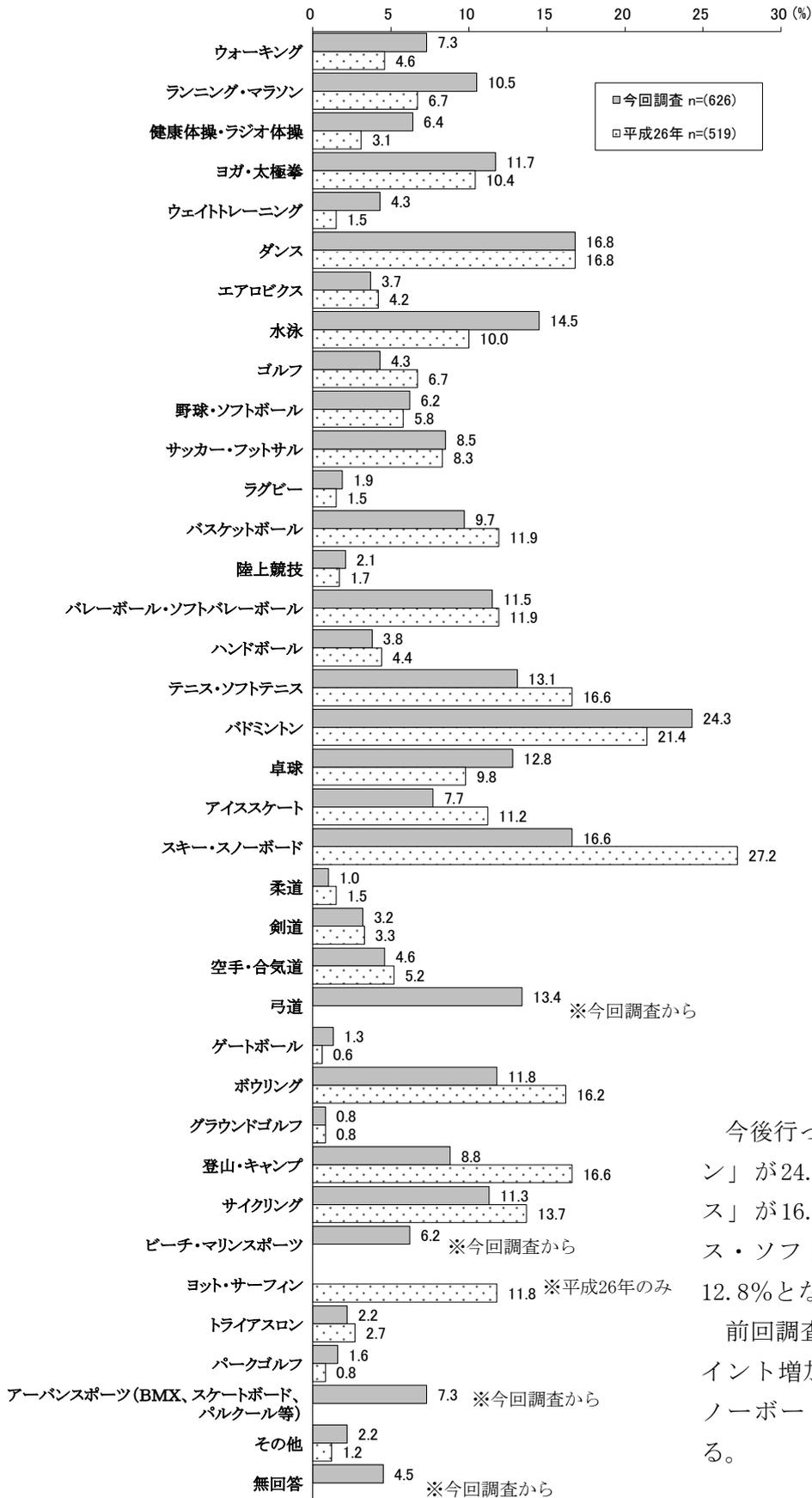
現在行っている種目では、「ウォーキング」が17.7%で最も高く、次いで「ランニング・マラソン」が12.1%、「テニス・ソフトテニス」が12.1%、「ダンス」が9.4%、「サッカー・フットサル」が9.1%となっている。

Ⅲ 調査結果（高校生）

【参考】平成26年の結果



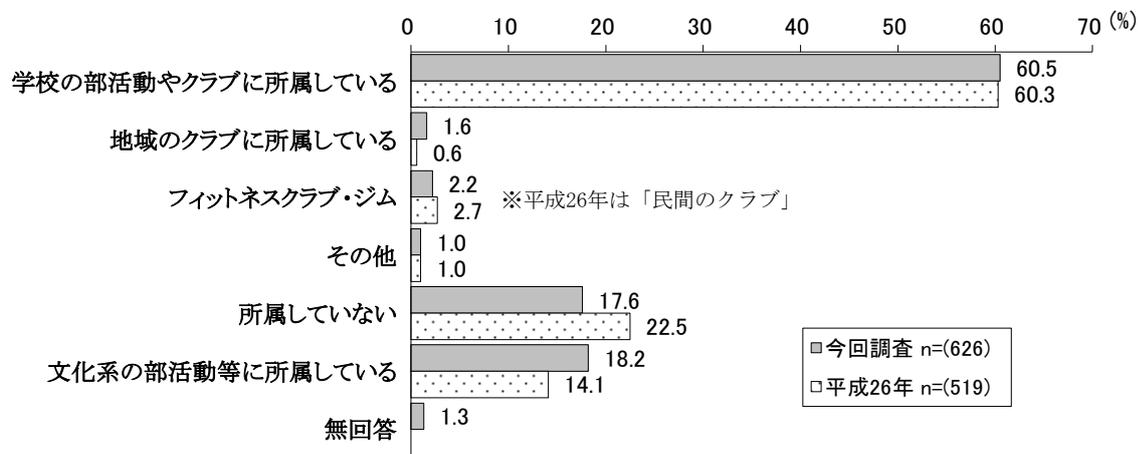
問8 今後、行ってみたい種目は何ですか。（前ページの問7の選択肢から、上位3つまで記入）【全員回答】



今後行ってみたい種目では、「バドミントン」が24.3%で最も高く、次いで「ダンス」が16.8%、「水泳」が14.5%、「テニス・ソフトテニス」が13.1%、「卓球」が12.8%となっている。

前回調査と比較すると、「水泳」は4.5ポイント増加している。一方、「スキー・スノーボード」は10.6ポイント減少している。

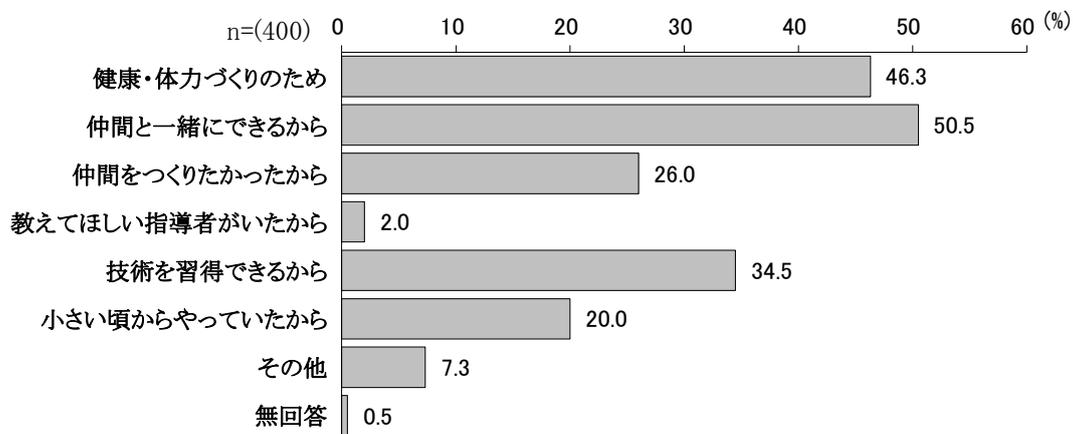
問9 現在、運動・スポーツの部活動やクラブに所属していますか。（あてはまるのもすべてに○）【全員回答】



運動・スポーツの部活動やクラブへの所属状況で、所属していると回答した人の中では「学校の部活動やクラブに所属している」が60.5%で最も高く、次いで「フィットネスクラブ・ジム」が2.2%、「地域のクラブに所属している」が1.6%となっている。一方、「所属していない」は17.6%となっている。

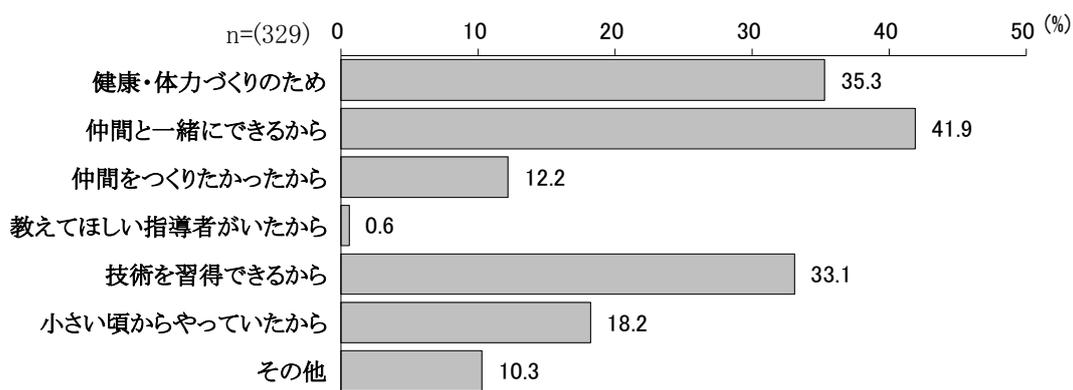
過去との比較でみると、所属内容では特に大きな差はみられない。一方、「所属していない」は4.9ポイント減少している。

問10 所属している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問9でいずれの部活動やクラブに○をつけた方のみ】

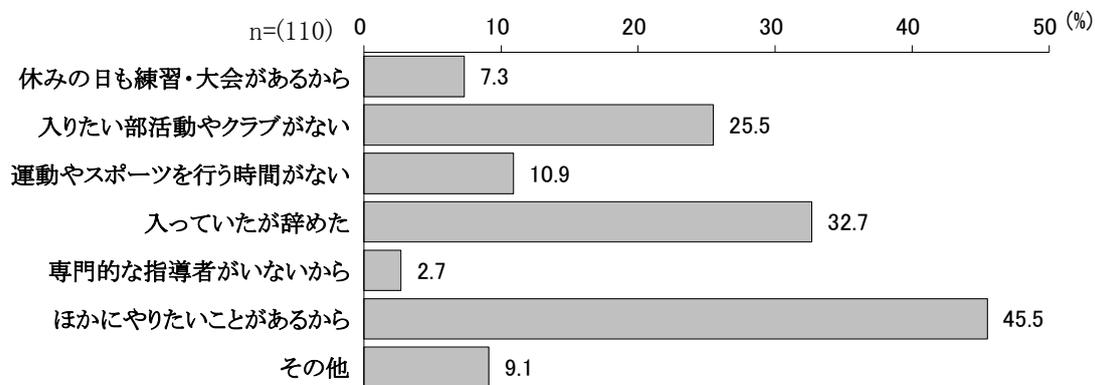


部活動やクラブに所属している理由では、「仲間と一緒にできるから」が50.5%で最も高く、次いで「健康・体力づくりのため」が46.3%、「技術を習得できるから」が34.5%、「仲間をつくりたかったから」が26.0%、「小さい頃からやっていたから」が20.0%となっている。

【参考】平成26年の結果

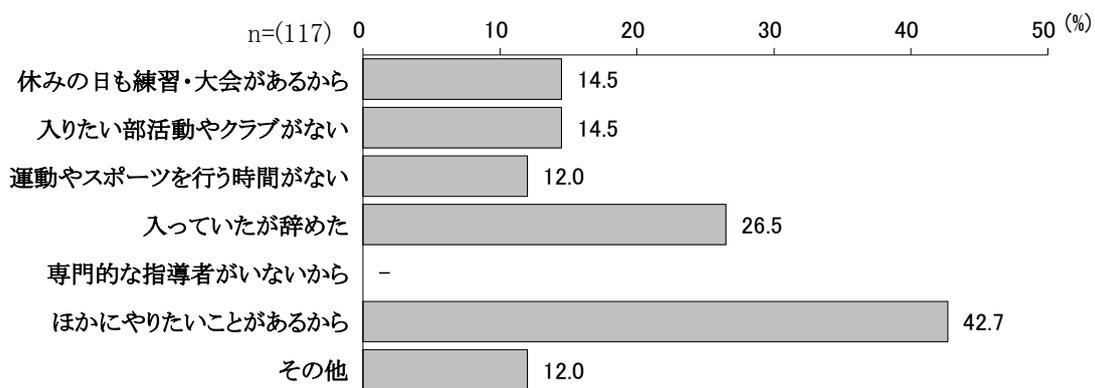


問11 所属していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問9で「所属していない」に○をつけた方のみ】

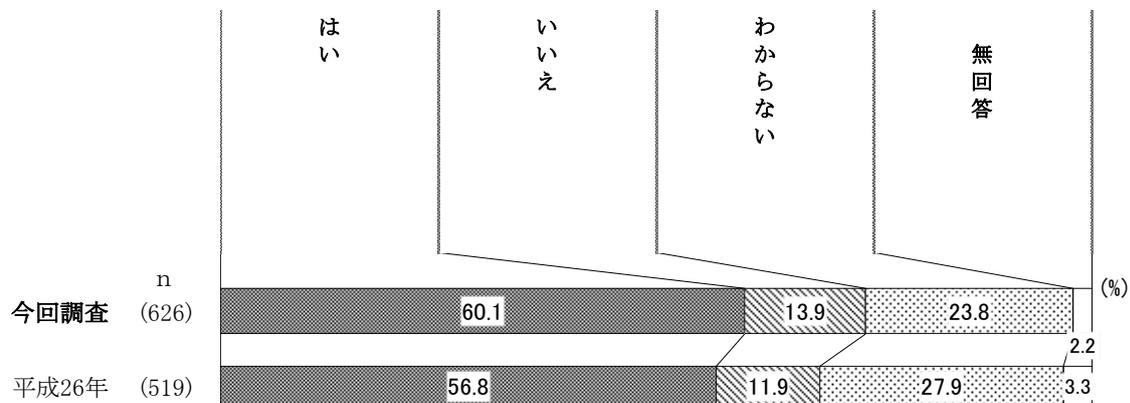


部活動やクラブに所属していない理由では、「ほかにやりたいことがあるから」が45.5%で最も高く、次いで「入っていたが辞めた」が32.7%、「入りたい部活動やクラブがない」が25.5%、「運動やスポーツを行う時間がない」が10.9%、「休みの日も練習・大会があるから」が7.3%となっている。

【参考】平成26年の結果



問12 卒業後も運動・スポーツをしたいと思えますか。【全員回答】



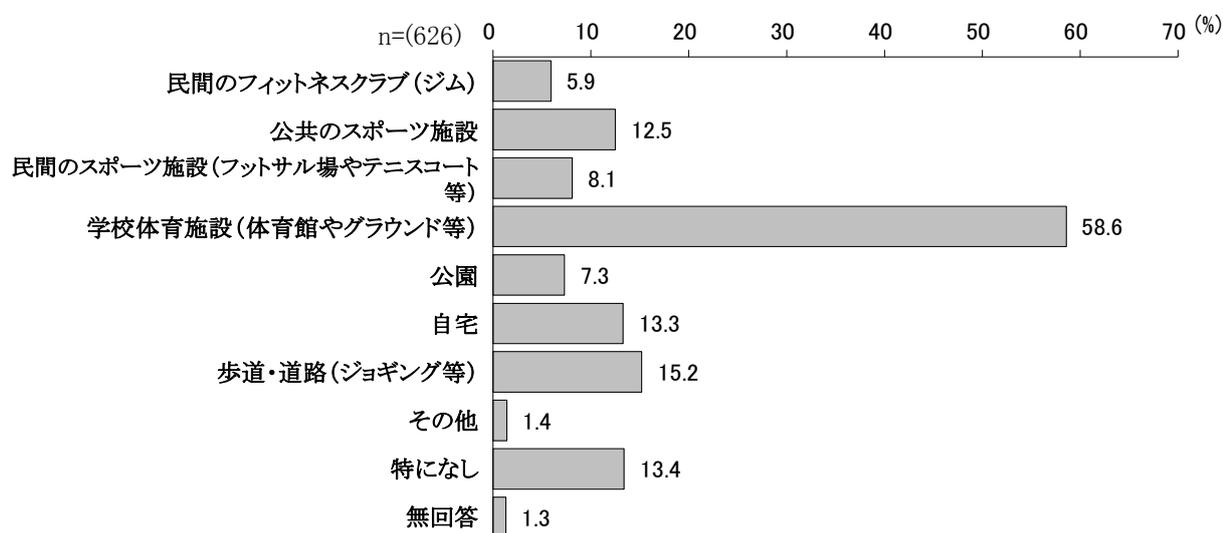
卒業後の運動・スポーツ継続意向では、「はい」が60.1%、「いいえ」が13.9%、「わからない」が23.8%となっている。

過去との比較でみると、「はい」は平成26年よりも3.3ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果（高校生）

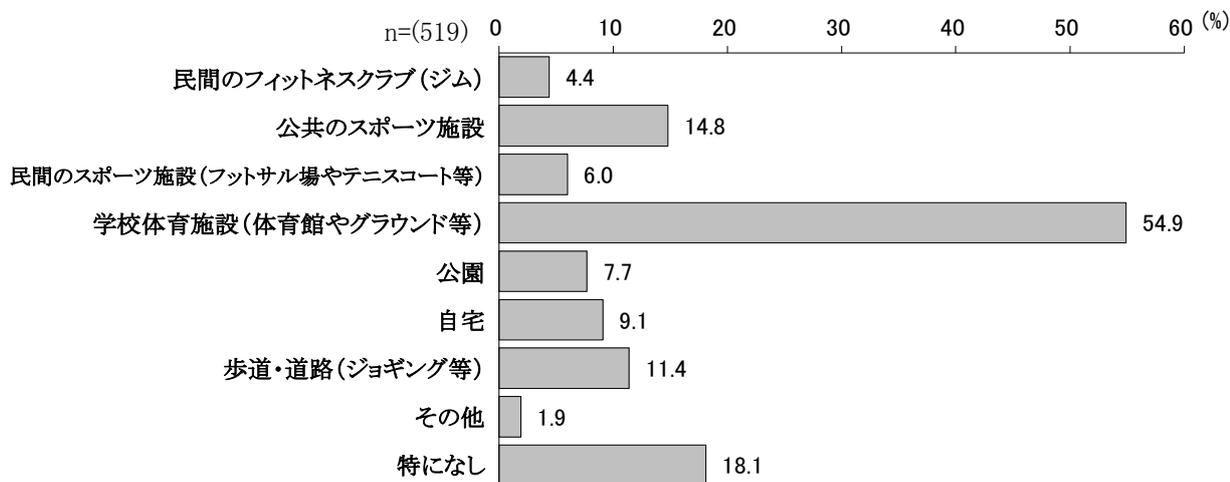
（4）運動・スポーツを行う場所・施設について

問13 主にどのような場所で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

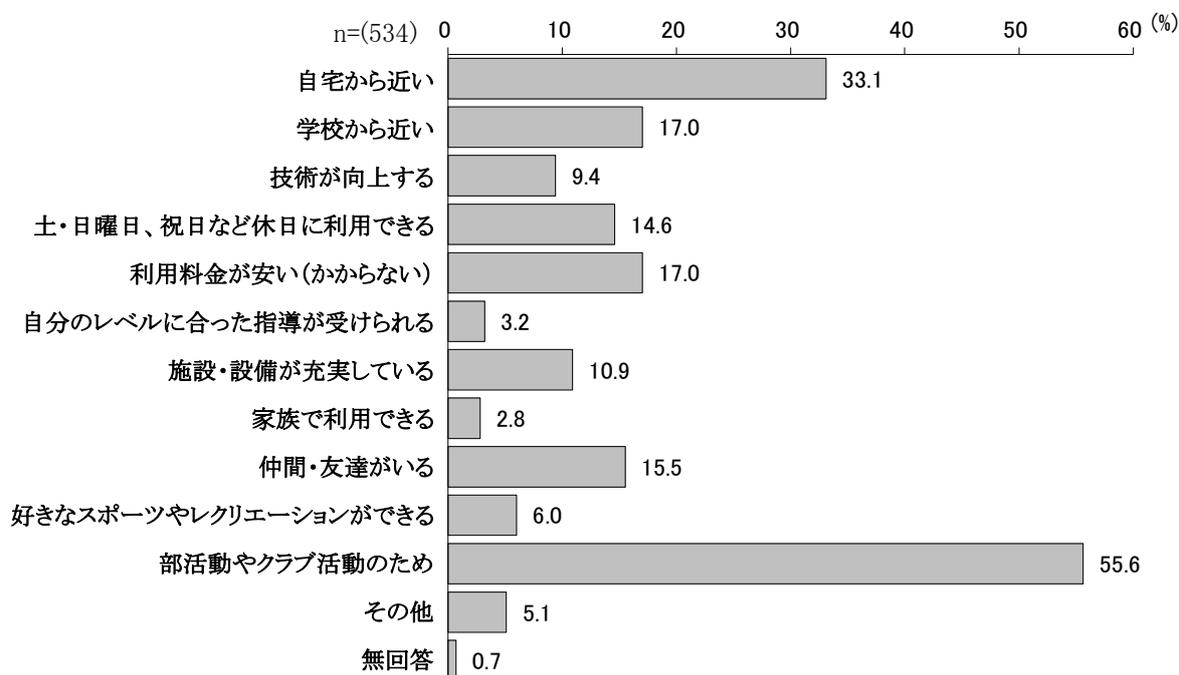


運動・スポーツの主な実施場所では、「学校体育施設（体育館やグラウンド等）」が58.6%で最も高く、次いで「歩道・道路（ジョギング等）」が15.2%、「自宅」が13.3%、「公共のスポーツ施設」が12.5%となっている。

【参考】平成26年の結果

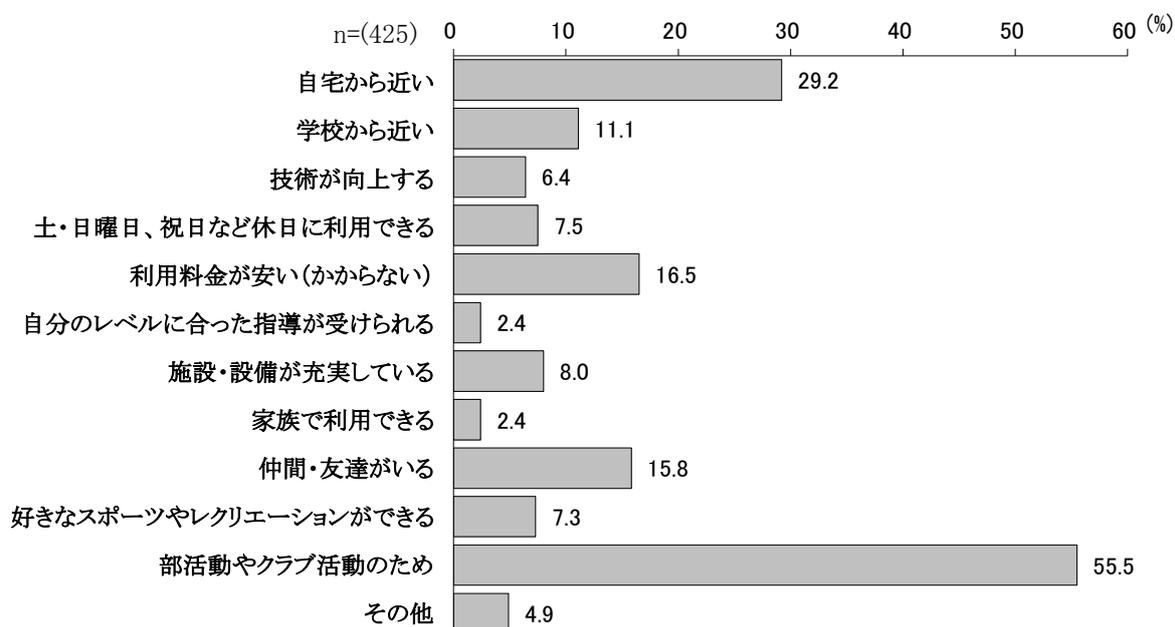


問14 その場所を主に利用する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問13でいずれかの場所に○をつけた方のみ】

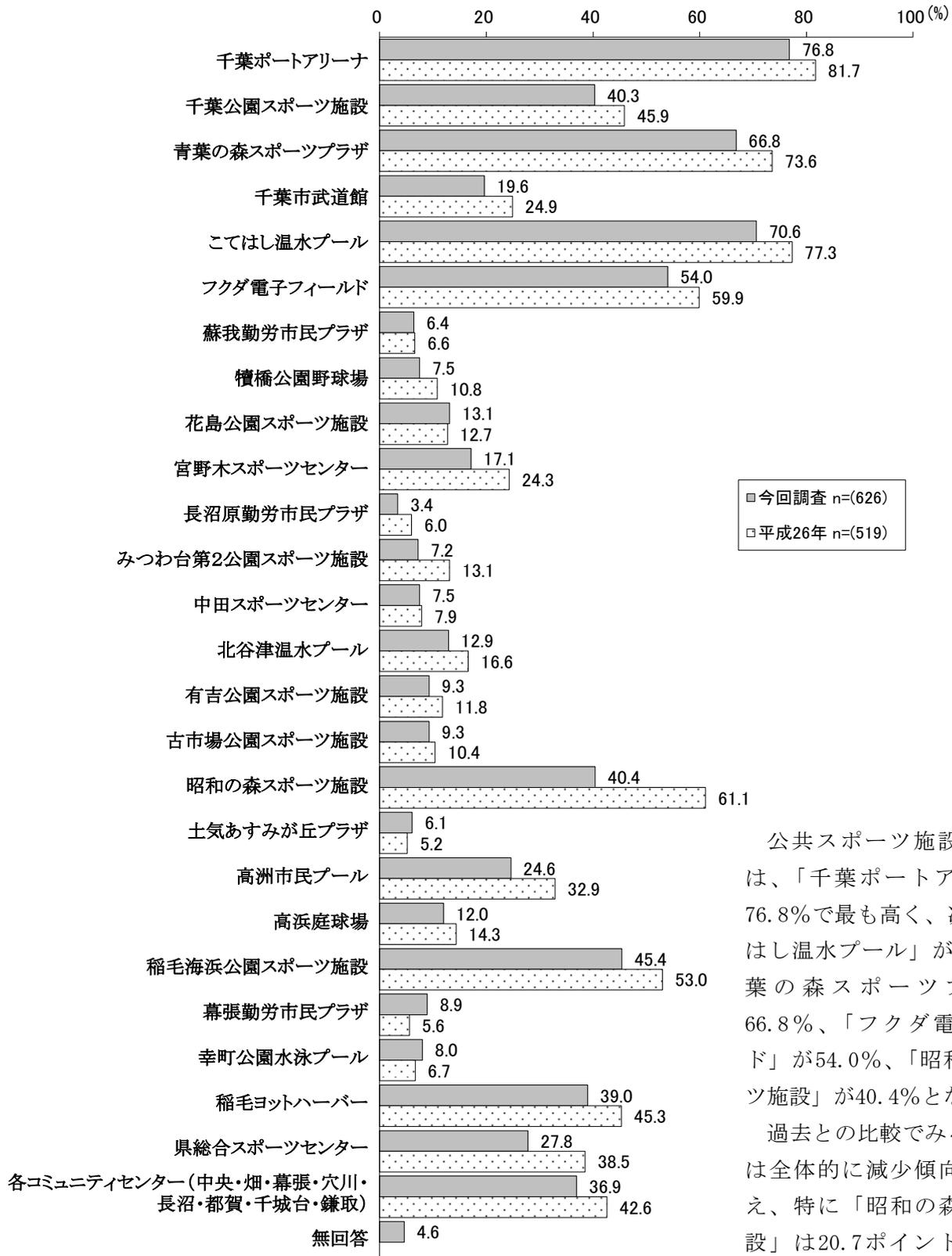


問13で回答した場所（p. 224）場所を利用する理由では、「部活動やクラブ活動のため」が55.6%で最も高く、次いで「自宅から近い」が33.1%、「学校から近い」、「利用料金が安い（かからない）」が17.0%、「仲間・友達がいる」が15.5%となっている。

【参考】平成26年の結果



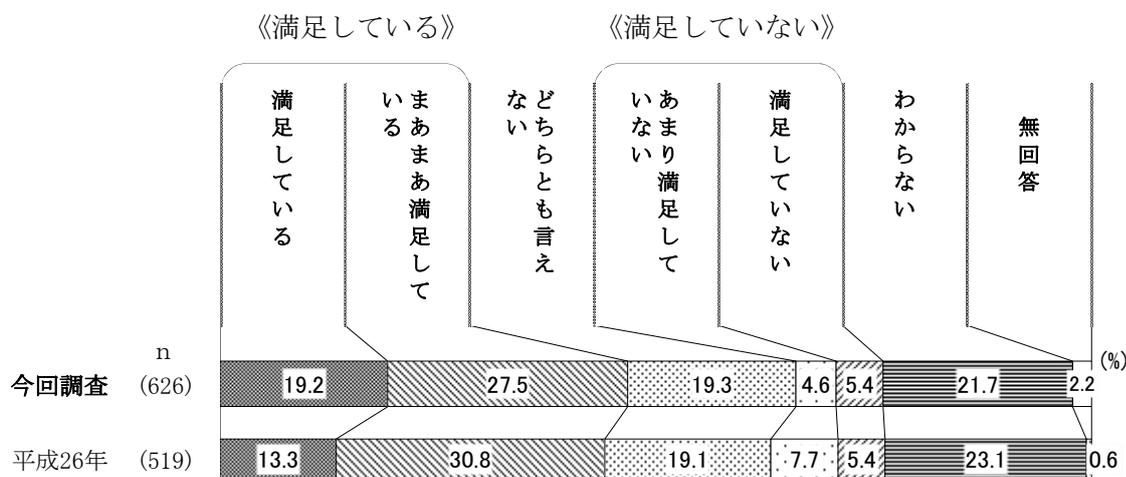
問15 次の主な公共スポーツ施設を知っていますか。（知っているものすべてに○）【全員回答】



公共スポーツ施設の認知度では、「千葉ポートアリーナ」が76.8%で最も高く、次いで「こてはし温水プール」が70.6%、「青葉の森スポーツプラザ」が66.8%、「フクダ電子フィールド」が54.0%、「昭和の森スポーツ施設」が40.4%となっている。

過去との比較でみると、認知度は全体的に減少傾向にあるといえ、特に「昭和の森スポーツ施設」は20.7ポイント減少している。

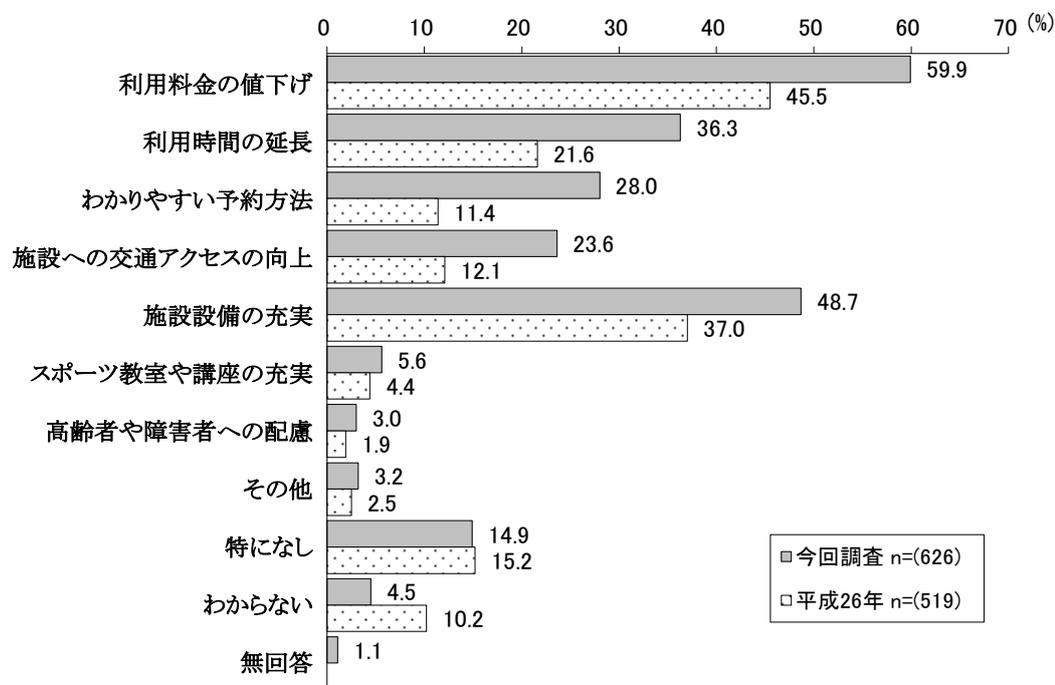
問16 市のスポーツ施設について満足していますか。【全員回答】



市のスポーツ施設の満足度では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた《満足している》は46.7%、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた《満足していない》は10.0%となっている。

過去との比較でみると、特に大きな差はみられない。

問17 市の公共スポーツ施設に望むことはなんですか。（○は上位3つまで記入）【全員回答】

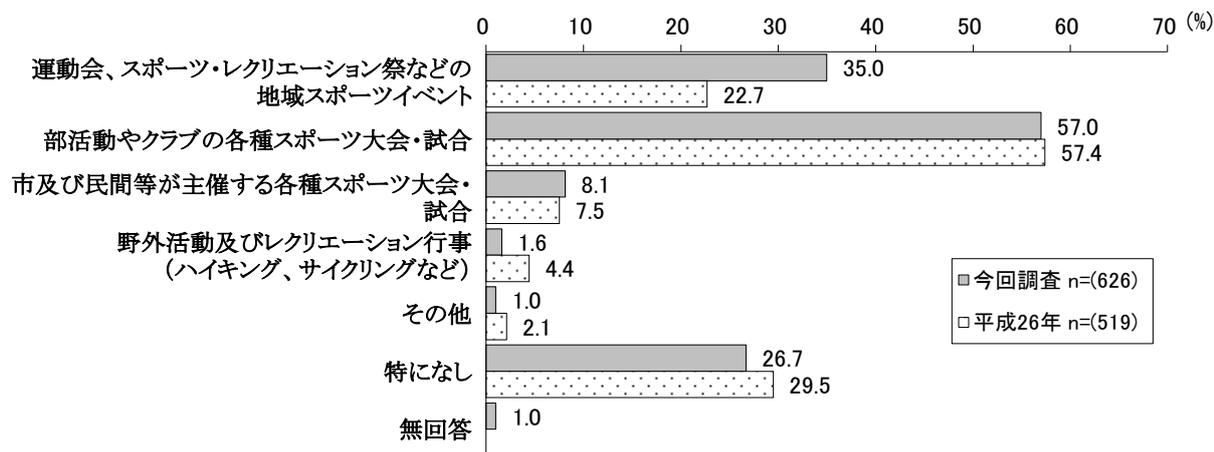


市の公共スポーツ施設に望むことでは、「利用料金の値下げ」が59.9%で最も高く、次いで「施設設備の充実」が48.7%、「利用時間の延長」が36.3%、「わかりやすい予約方法」が28.0%、「施設への交通アクセスの向上」が23.6%となっている。

過去との比較でみると、「利用料金の値下げ」は平成26年よりも14.4ポイント増加しており、ほかの項目も全体的に増加している。

（5）運動・スポーツの行事について

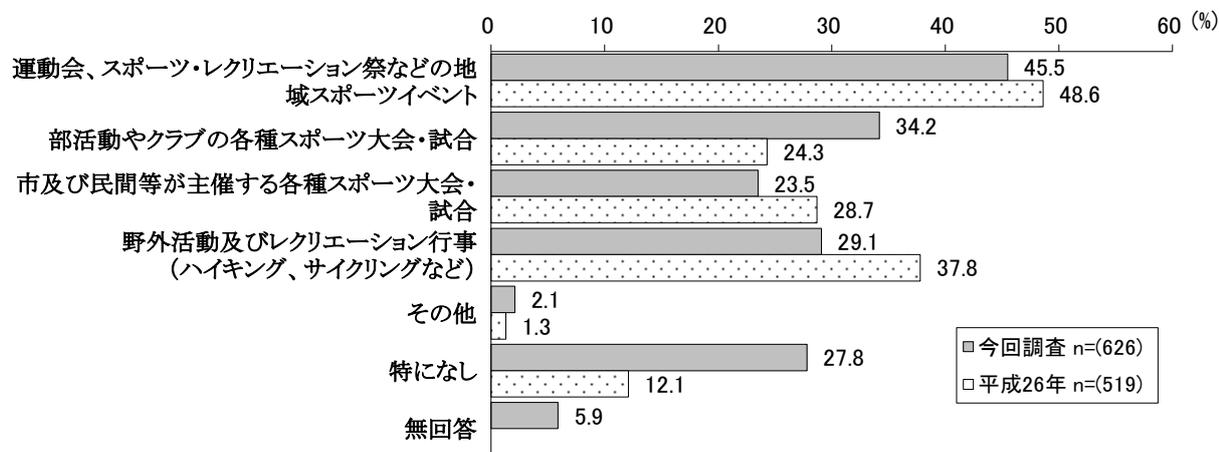
問18 この1年間に、どのような行事に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間に参加した行事では、「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」が57.0%で最も高く、次いで「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」が35.0%、「市及び民間等が主催する各種スポーツ大会・試合」が8.1%、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が1.6%となっている。

過去との比較でみると、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」は平成26年よりも12.3ポイント増加している。

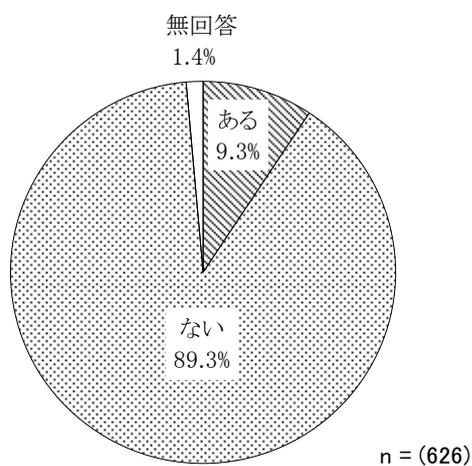
問19 今後、どのような行事に参加したいですか。（問18の選択肢から上位2つまで記入）
【全員回答】



今後参加したい行事では、「運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント」が45.5%で最も高く、次いで「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」が34.2%、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」が29.1%、「市及び民間等が主催する各種スポーツ大会・試合」が23.5%となっている。

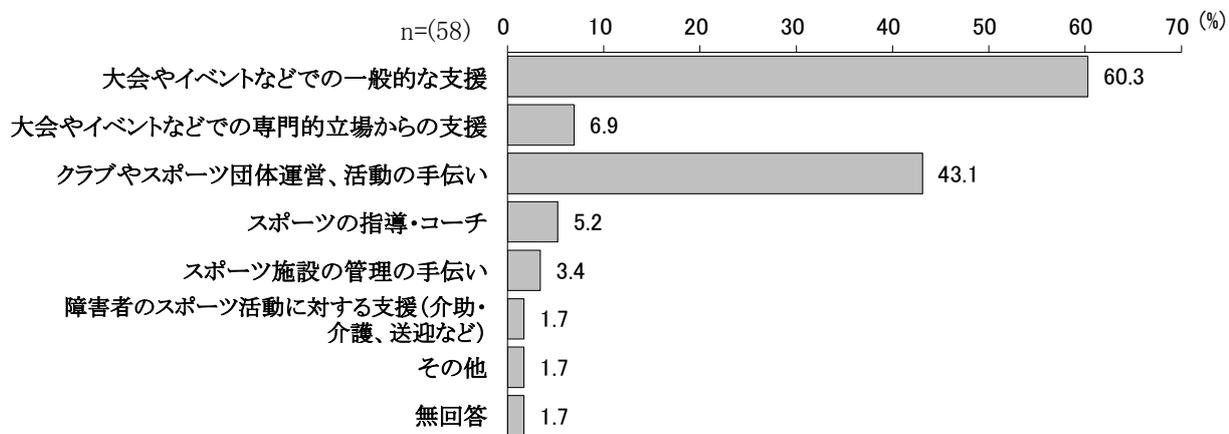
過去との比較で見ると、「部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合」は平成26年よりも9.9ポイント増加している。一方、「野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）」は8.7ポイント減少している。

問20 この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。【全員回答】



この1年間のボランティア活動実施有無では、「ある」が9.3%、「ない」が89.3%となっている。

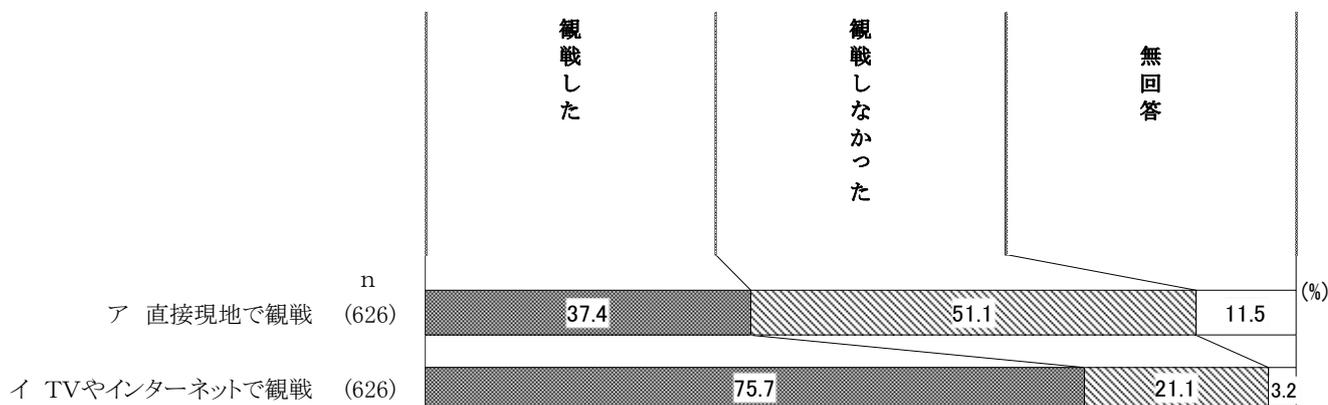
問21 行ったことがあるボランティア活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問20で「ある」に○をつけた方のみ】



行ったことがあるボランティア活動では、「大会やイベントなどでの一般的な支援」が60.3%で最も高く、次いで「クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い」が43.1%、「大会やイベントなどでの専門的立場からの支援」が6.9%、「スポーツの指導・コーチ」が5.2%、「スポーツ施設の管理の手伝い」が3.4%となっている。

（6）スポーツ観戦について

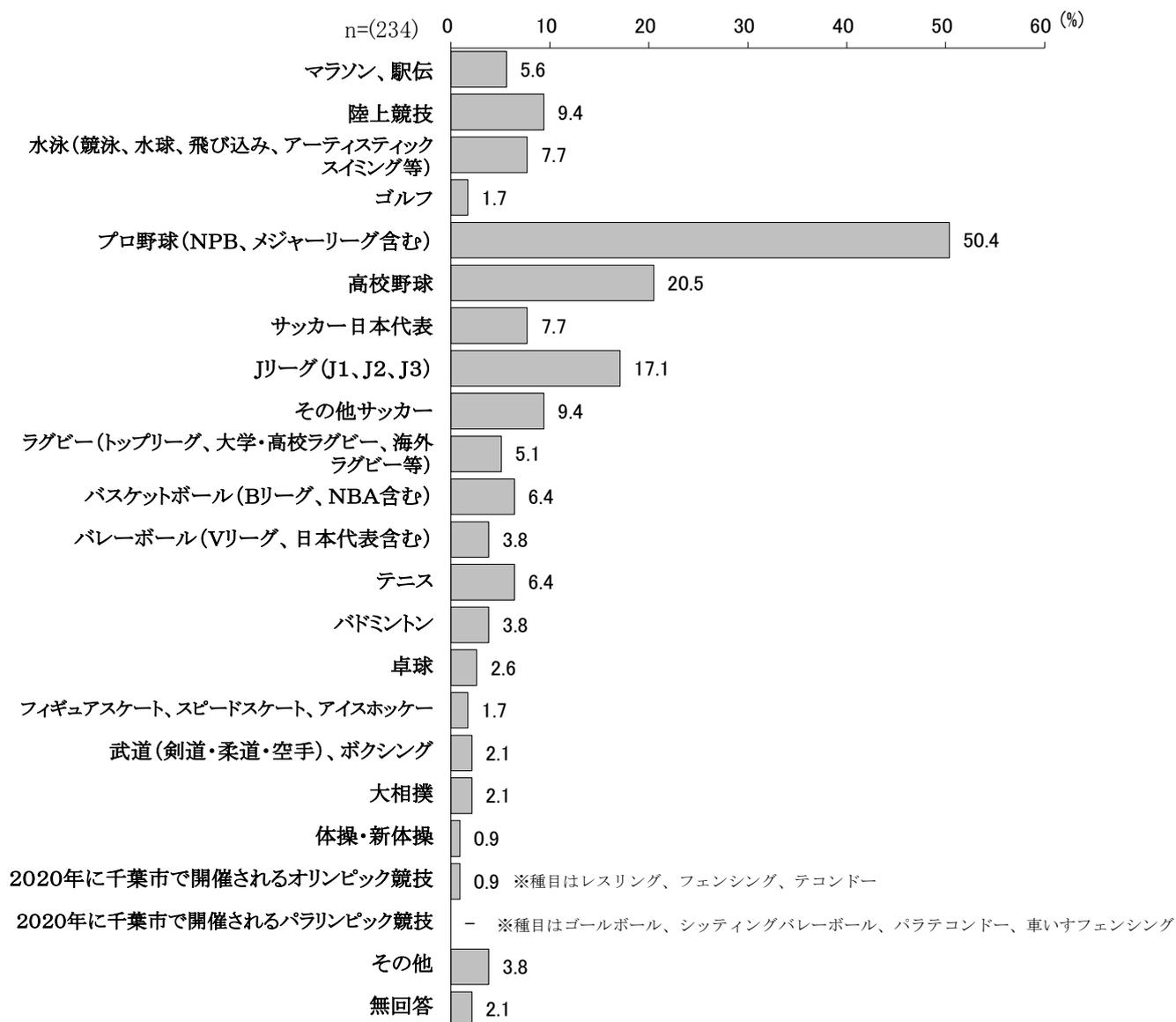
問22 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。【全員回答】



直接現地で観戦では、「観戦した」は37.4%、「観戦しなかった」は51.1%となっている。一方、TVやインターネットで観戦では、「観戦した」は75.7%、「観戦しなかった」は21.1%となっている。

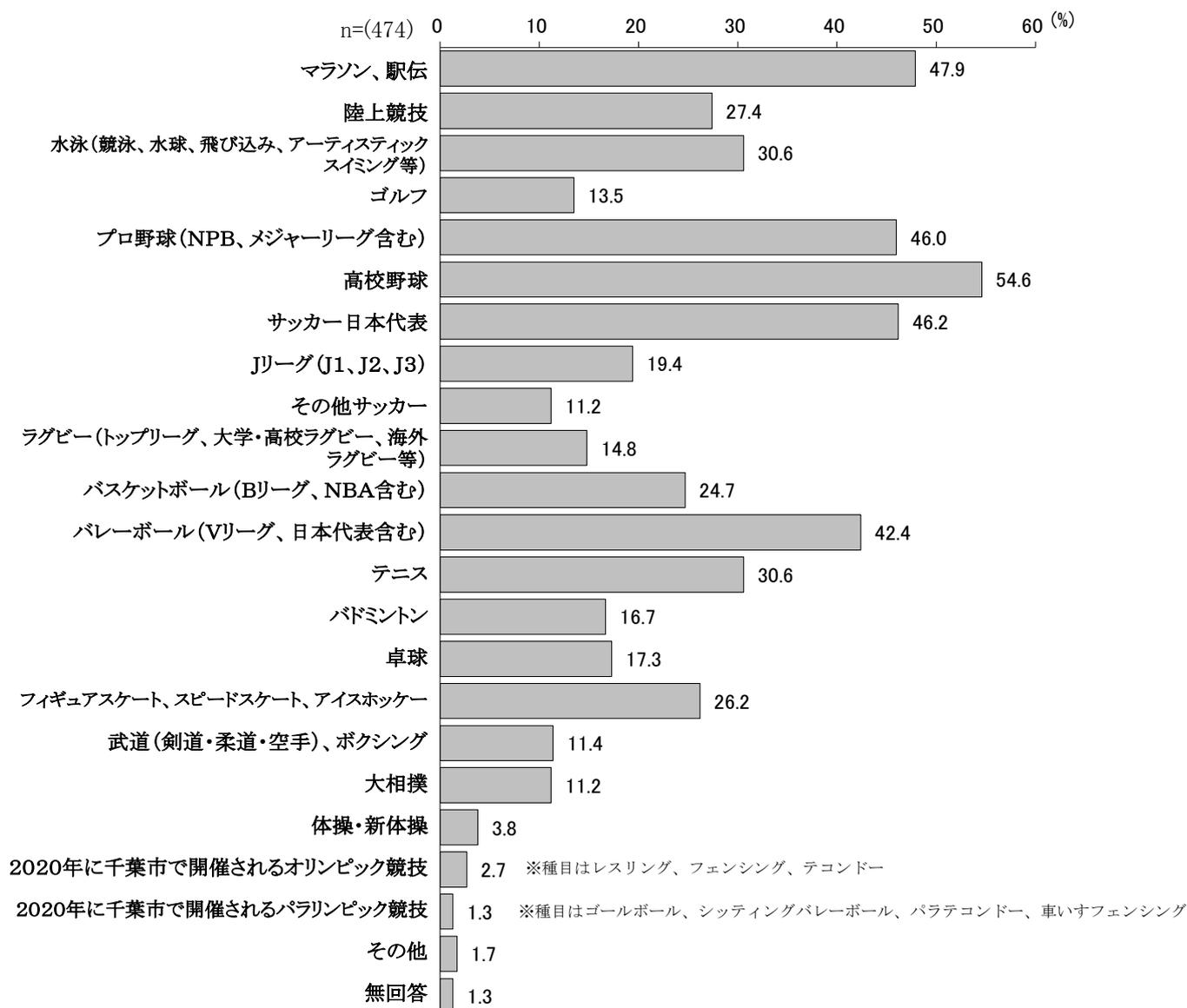
問23 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）【問22のいずれかの「観戦した」に○をつけた方のみ】

【ア 直接現地で観戦】



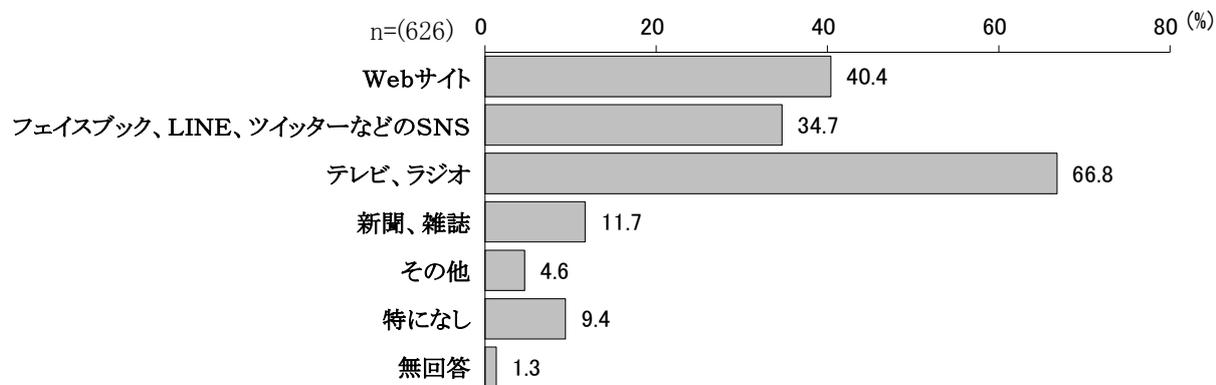
直接現地で観戦では、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が50.4%で最も高く、次いで「高校野球」が20.5%、「Jリーグ（J1、J2、J3）」が17.1%、「陸上競技」、「その他サッカー」が9.4%となっている。

【イ TVやインターネットで観戦】



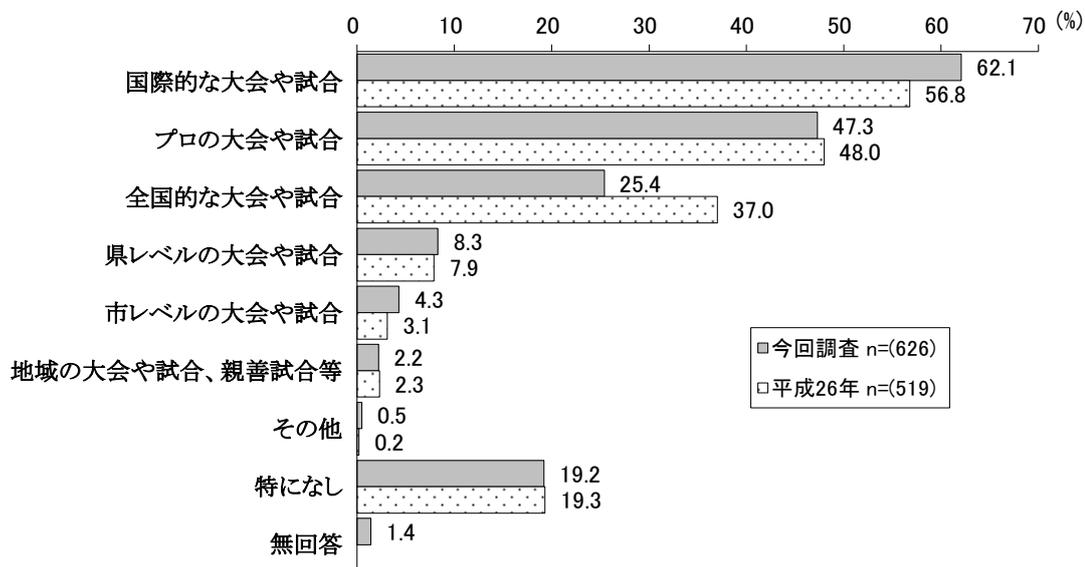
TVやインターネットで観戦では、「高校野球」が54.6%で最も高く、次いで「マラソン、駅伝」が47.9%、「サッカー日本代表」が46.2%、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が46.0%、「バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）」が42.4%となっている。

問24 スポーツ観戦に関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



スポーツ観戦に関する情報の入手先では、「テレビ、ラジオ」が66.8%で最も高く、次いで「Webサイト」が40.4%、「フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS」が34.7%、「新聞、雑誌」が11.7%となっている。

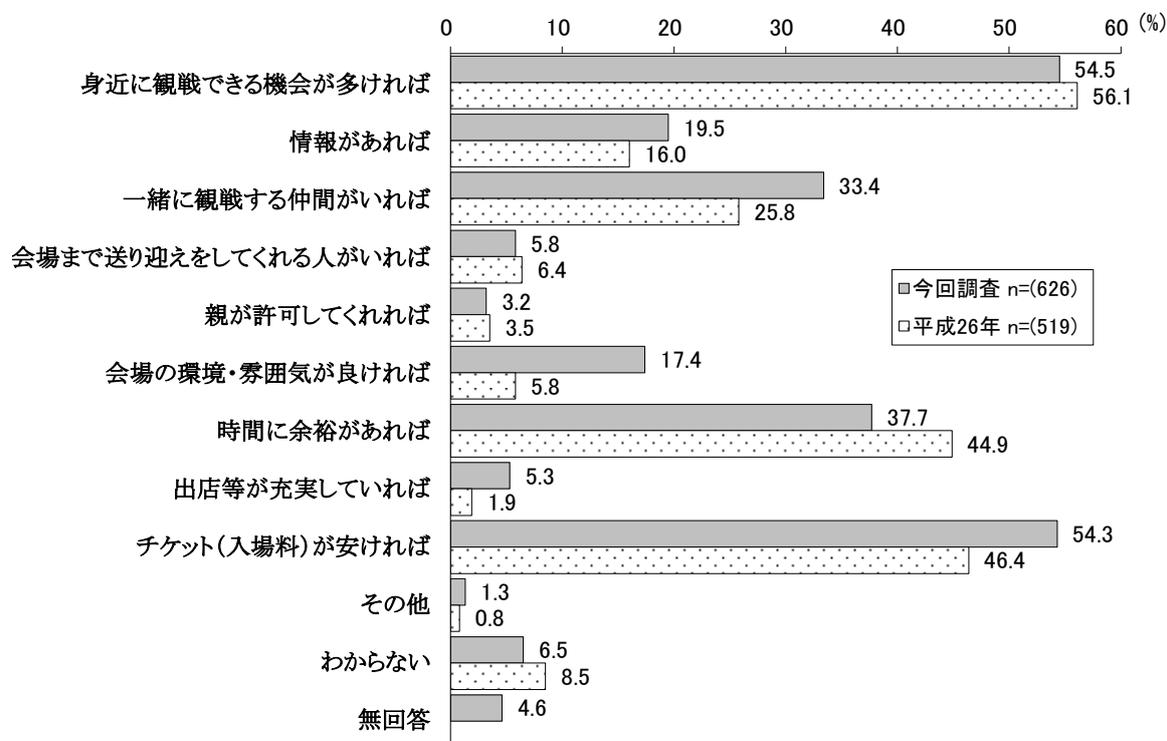
問25 今後、どのような大会や試合を会場で観戦したいですか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



会場で観戦したい大会や試合では、「国際的な大会や試合」が62.1%で最も高く、次いで「プロの大会や試合」が47.3%、「全国的な大会や試合」が25.4%、「県レベルの大会や試合」が8.3%となっている。

過去との比較でみると、「国際的な大会や試合」は平成26年よりも5.3ポイント増加している。一方、「全国的な大会や試合」は11.6ポイント減少している。

問26 今より観戦者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで記入）【全員回答】

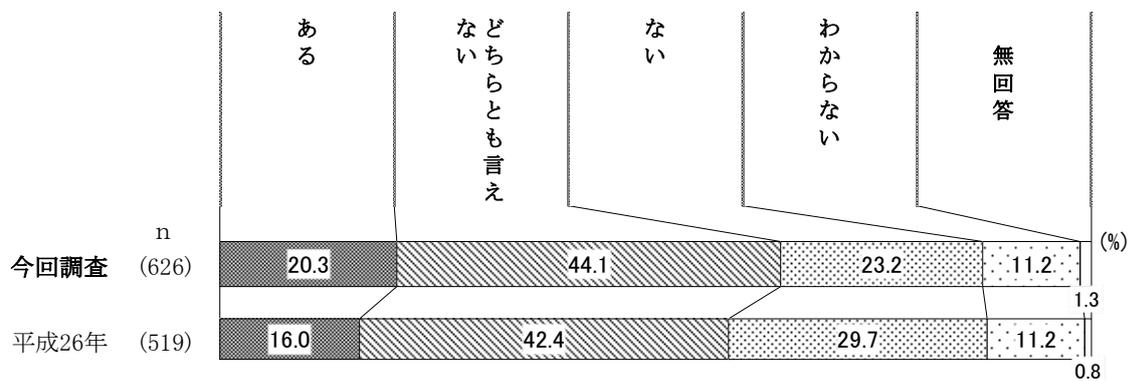


観戦者を増やすために必要なことでは、「身近に観戦できる機会が多ければ」が54.5%で最も高く、次いで「チケット（入場料）が安ければ」が54.3%、「時間に余裕があれば」が37.7%、「一緒に観戦する仲間がいれば」が33.4%、「情報があれば」が19.5%となっている。

過去との比較でみると、「チケット（入場料）が安ければ」は平成26年よりも7.9ポイント増加している。一方、「時間に余裕があれば」は7.2ポイント減少している。

（7）パラスポーツの推進について

問27 パラスポーツに関心がありますか。【全員回答】

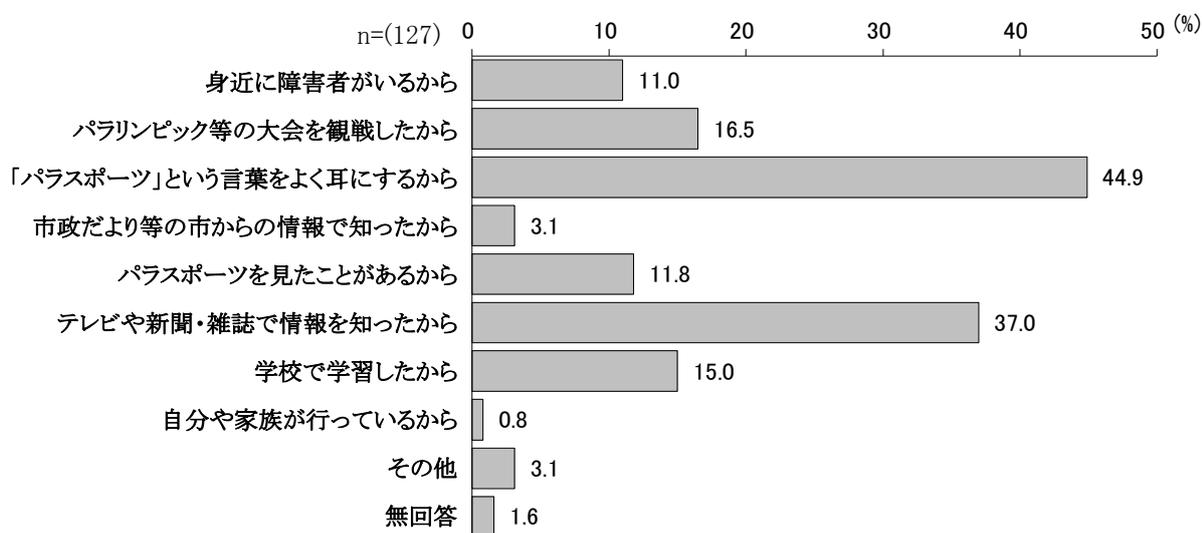


パラスポーツへの関心では、「ある」が20.3%、「ない」が23.2%、「どちらとも言えない」が44.1%となっている。

過去との比較で見ると、関心が「ある」は平成26年から4.3ポイント増加している。

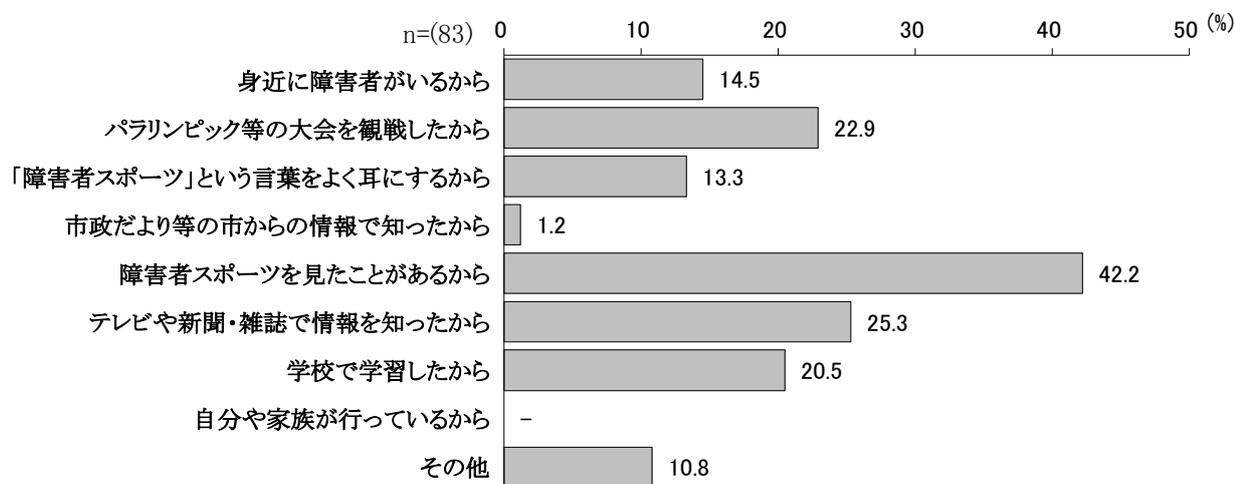
※平成26年調査では、「パラスポーツ」を「障害者スポーツ」と表記していた。

問28 パラスポーツに関心がある理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）【問27で「ある」に○をつけた方のみ】

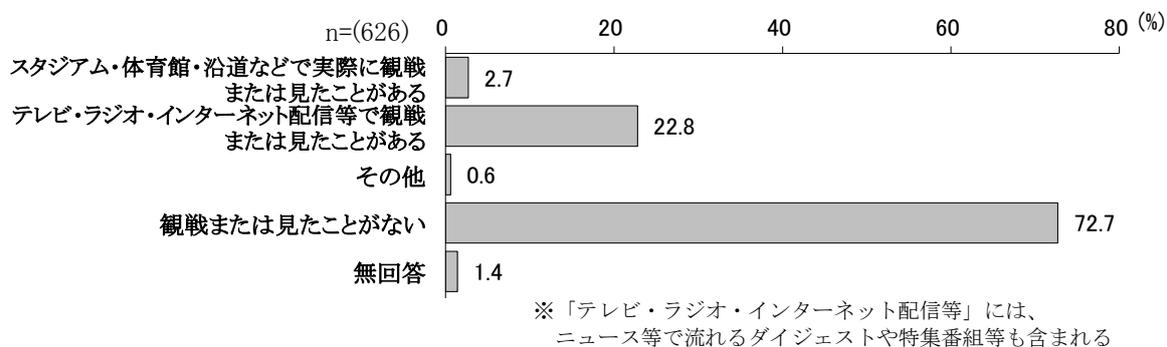


パラスポーツに関心がある理由では、「「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから」が44.9%で最も高く、次いで「テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから」が37.0%、「パラリンピック等の大会を観戦したから」が16.5%、「学校で学習したから」が15.0%、「パラスポーツを見たことがあるから」が11.8%となっている。

【参考】平成26年の結果

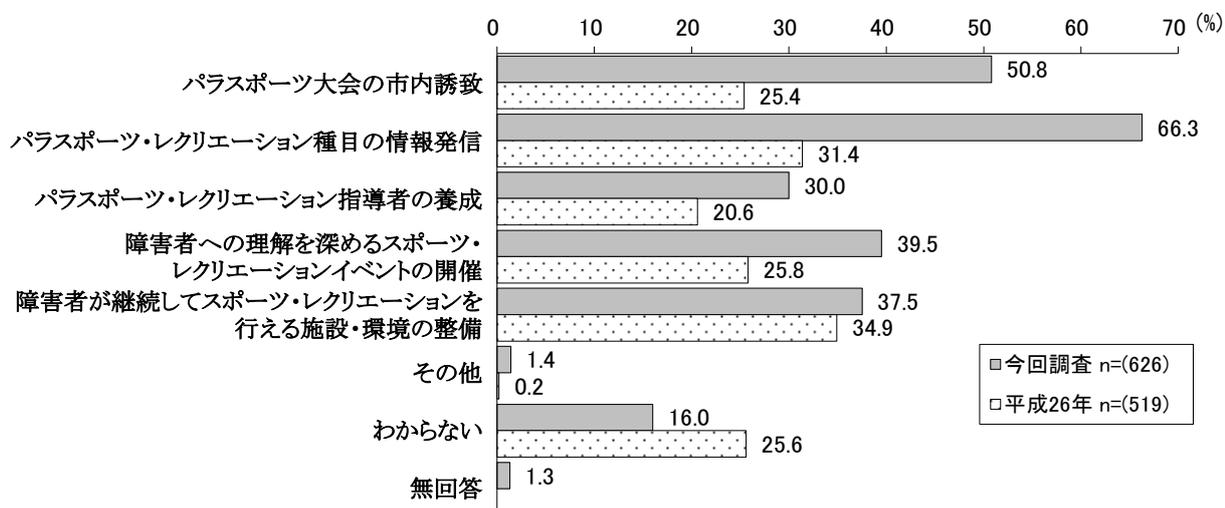


問29 この1年間にパラスポーツを観戦または見たことがありますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間におけるパラスポーツの観戦経験では、「観戦または見たことがない」が72.7%で最も高くなっているが、見たことがあると回答した人の中では「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」が22.8%で最も高く、次いで「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」が2.7%となっている。

問30 パラスポーツを推進するために、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（上位3つまで記入）【全員回答】

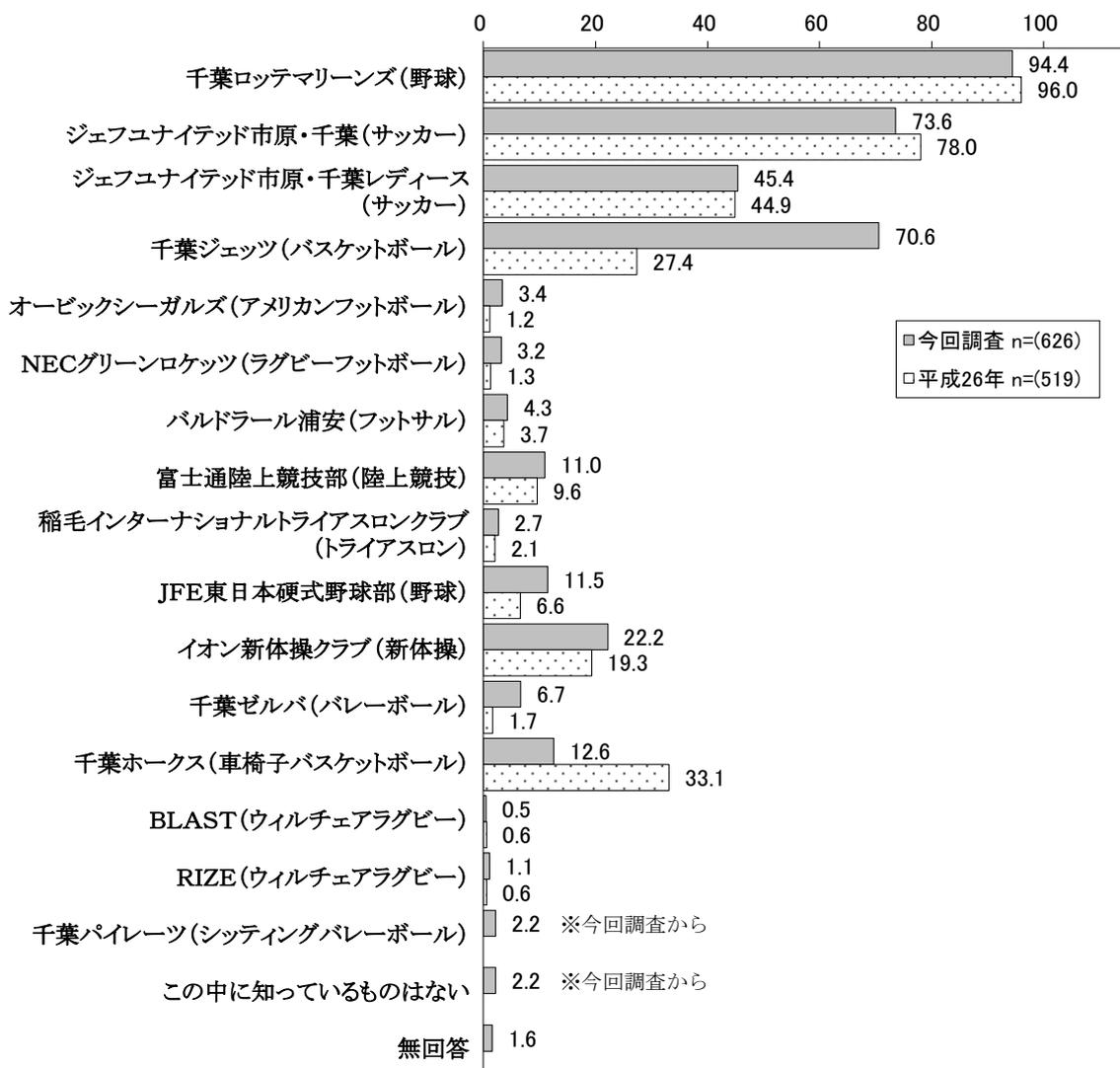


パラスポーツを推進するために市が取り組むべきことでは、「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」が66.3%で最も高く、次いで「パラスポーツ大会の市内誘致」が50.8%、「障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が39.5%、「障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が37.5%、「パラスポーツ・レクリエーション指導者の養成」が30.0%となっている。

過去との比較でみると全体的に増加しており、特に「パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信」、「パラスポーツ大会の市内誘致」は平成26年よりも約2倍増加している。

（8）トップスポーツとの交流について

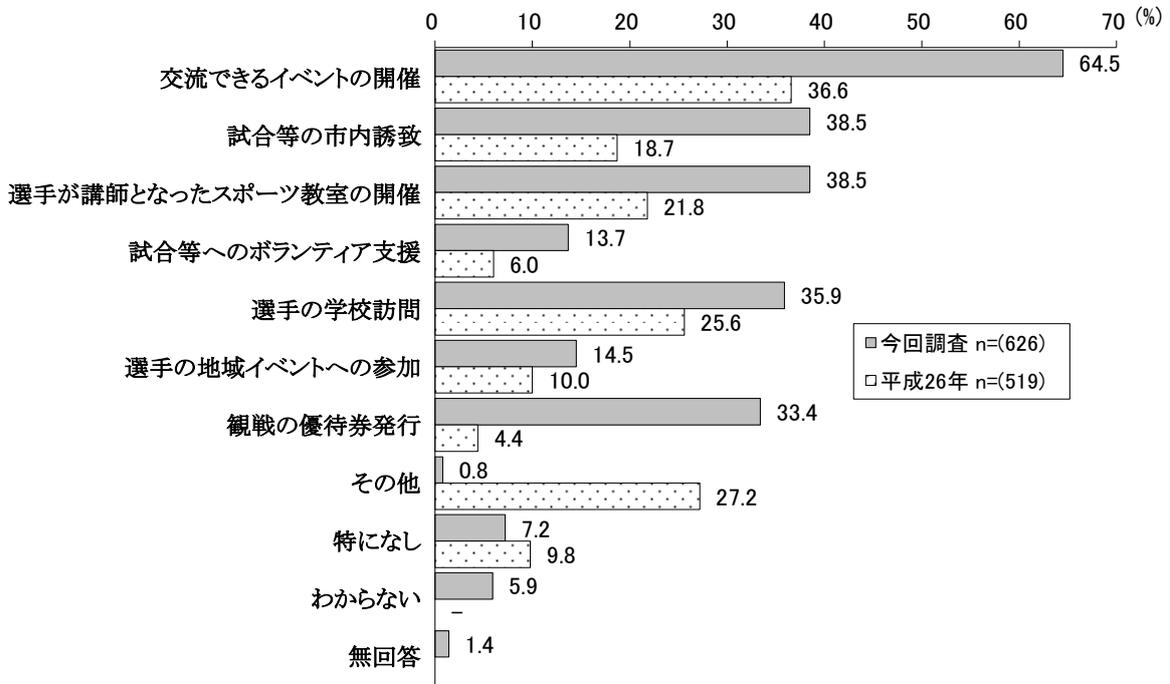
問31 次のトップスポーツチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



トップスポーツチームの認知では、「千葉ロッテマリーンズ（野球）」が94.4%で最も高く、次いで「ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）」が73.6%、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」が70.6%、「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）」が45.4%、「イオン新体操クラブ（新体操）」が22.2%となっている。

過去との比較でみると、「千葉ジェッツ（バスケットボール）」が平成26年よりも43.2ポイント増加している。一方、「千葉ホークス（車椅子バスケットボール）」は20.5ポイント減少している。

問32 トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。（上位3つまで記入）【全員回答】

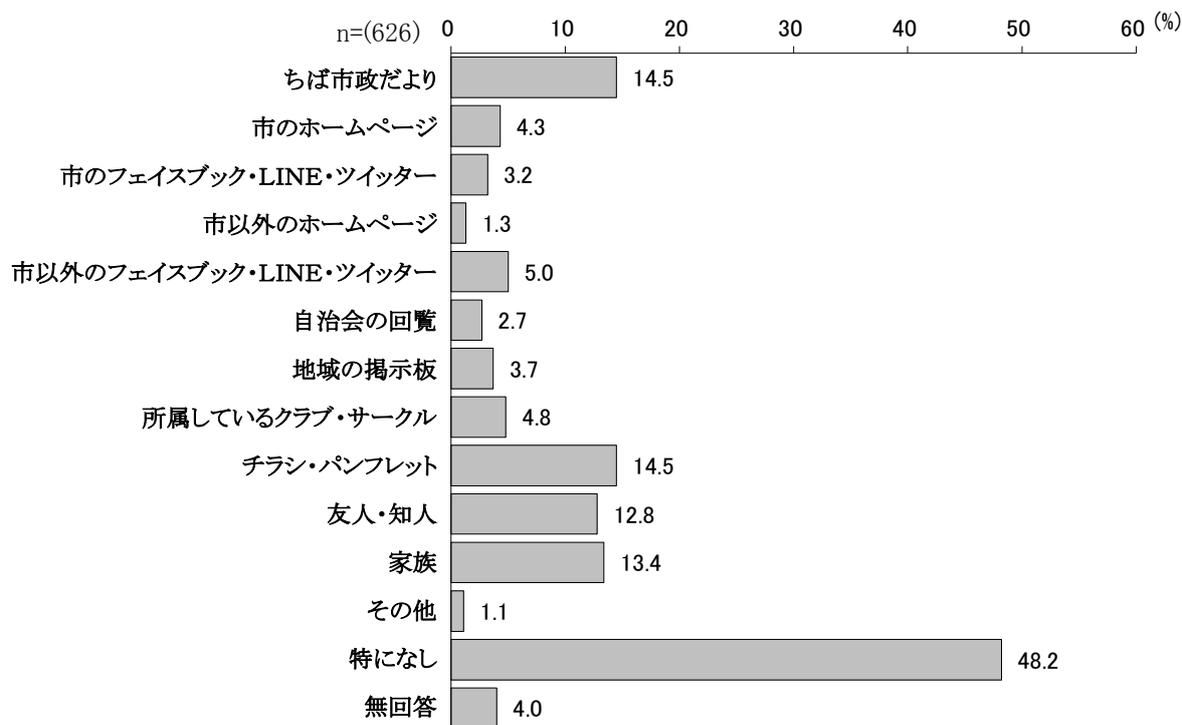


トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるために市に取り組んでほしいことでは、「交流できるイベントの開催」が64.5%で最も高く、次いで「試合等の市内誘致」、「選手が講師となったスポーツ教室の開催」が38.5%、「選手の学校訪問」が35.9%、「観戦の優待券発行」が33.4%となっている。

過去との比較でみると全体的に大きく増加しており、特に「観戦の優待券発行」は29ポイント、「交流できるイベントの開催」は27.9ポイント増加している。

（9）運動・スポーツの情報について

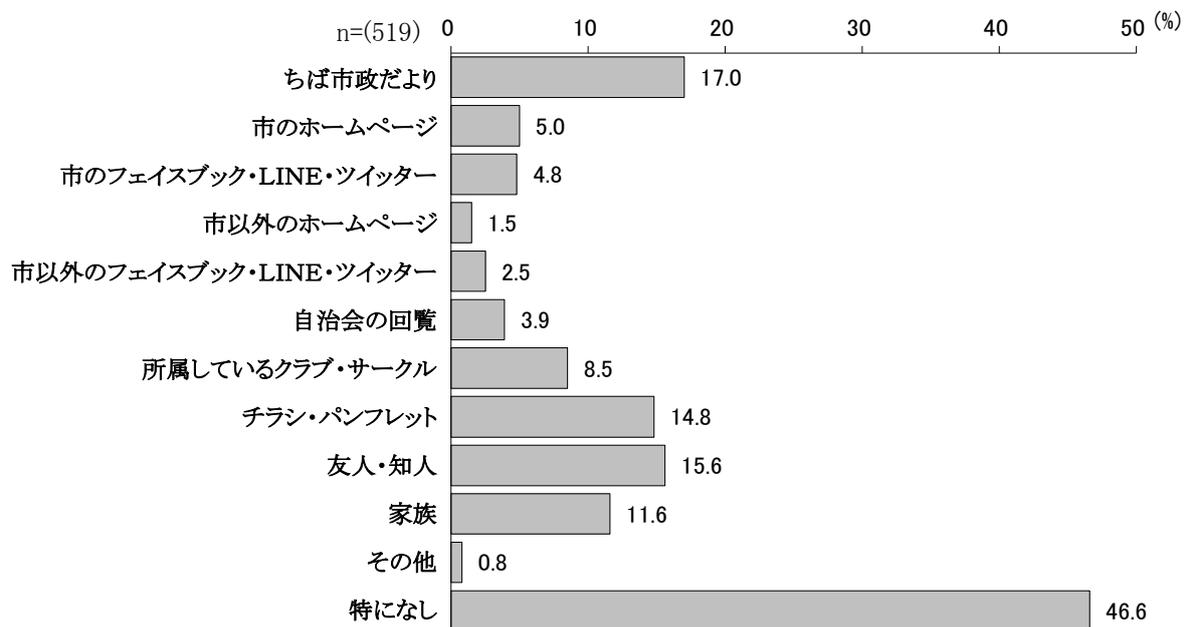
問33 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



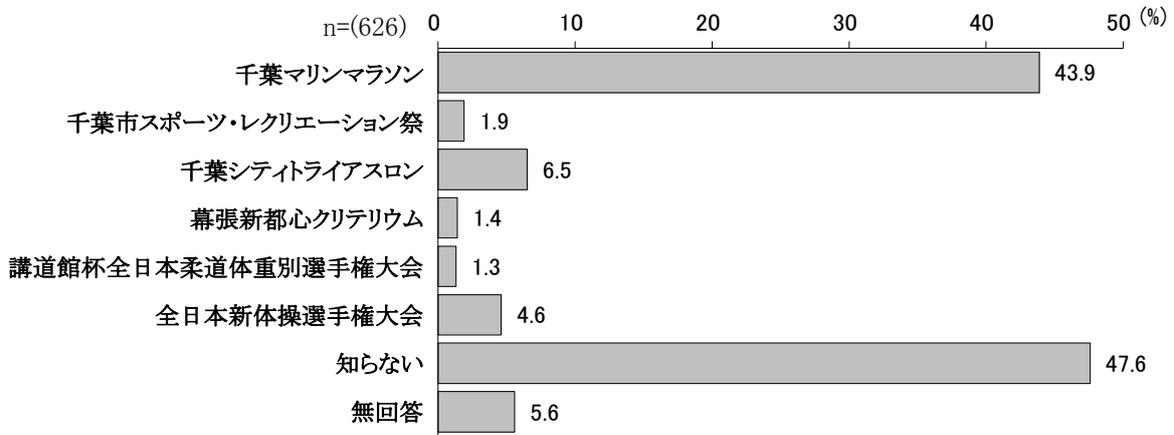
市内の運動・スポーツなどに関する情報の入手先では、「特になし」が48.2%で最も高くなっているが、情報を得ているものの中では「ちば市政だより」、「チラシ・パンフレット」が14.5%で最も高く、次いで「家族」が13.4%、「友人・知人」が12.8%となっている。

Ⅲ 調査結果（高校生）

【参考】平成26年の結果

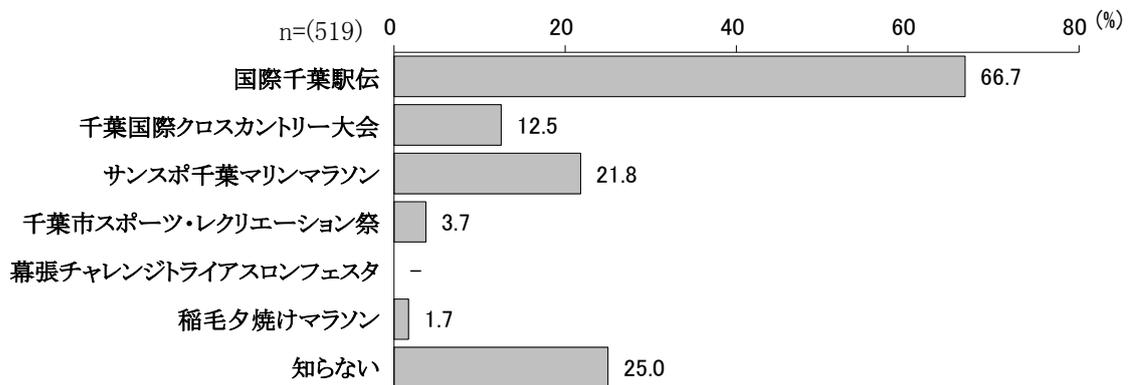


問34 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】

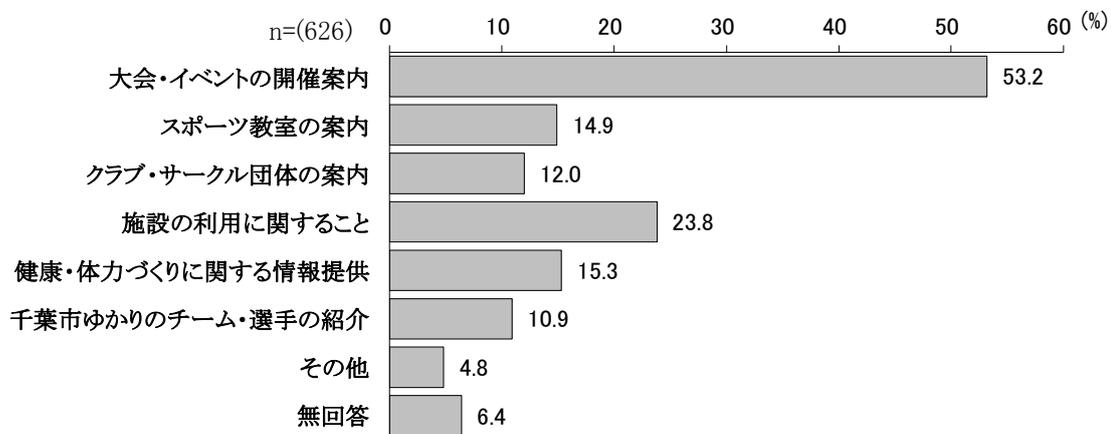


市内で開催されているスポーツイベント等について認知度では、「知らない」が47.6%で最も高くなっているが、知っていると回答した人の中では「千葉マリンマラソン」が43.9%で最も高く、次いで「千葉シティトライアスロン」が6.5%、「全日本新体操選手権大会」が4.6%、「千葉市スポーツ・レクリエーション祭」が1.9%となっている。

【参考】平成26年の結果

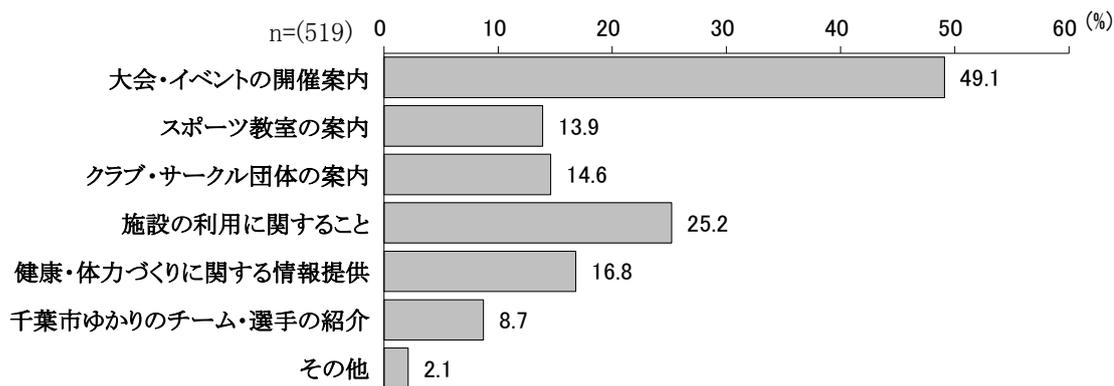


問35 市には特にどのような情報を提供してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）
【全員回答】



市に提供してほしい情報では、「大会・イベントの開催案内」が53.2%で最も高く、次いで「施設の利用に関すること」が23.8%、「健康・体力づくりに関する情報提供」が15.3%、「スポーツ教室の案内」が14.9%、「クラブ・サークル団体の案内」が12.0%となっている。

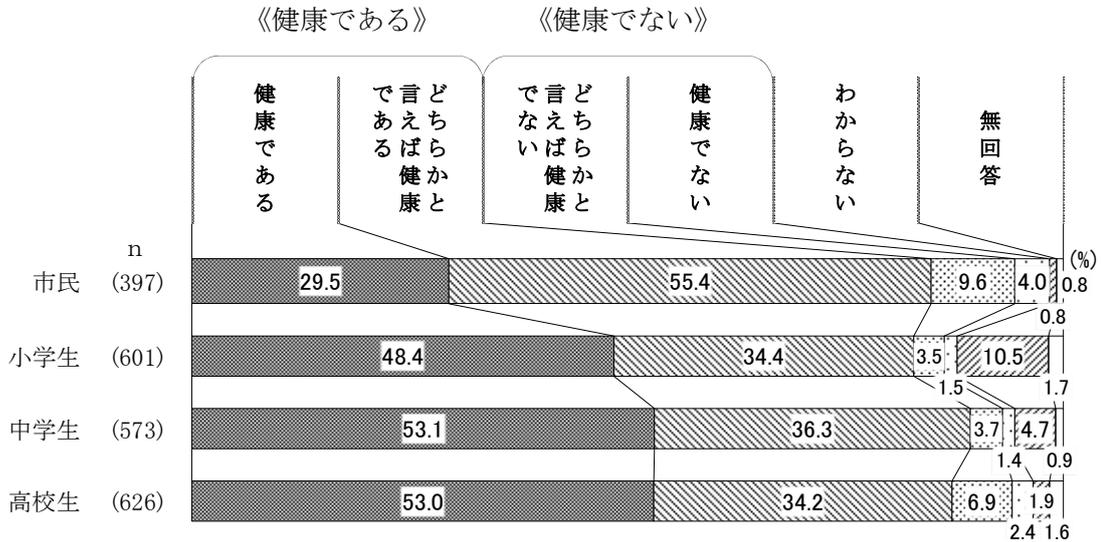
【参考】平成26年の結果



5. 共通設問年齢別比較

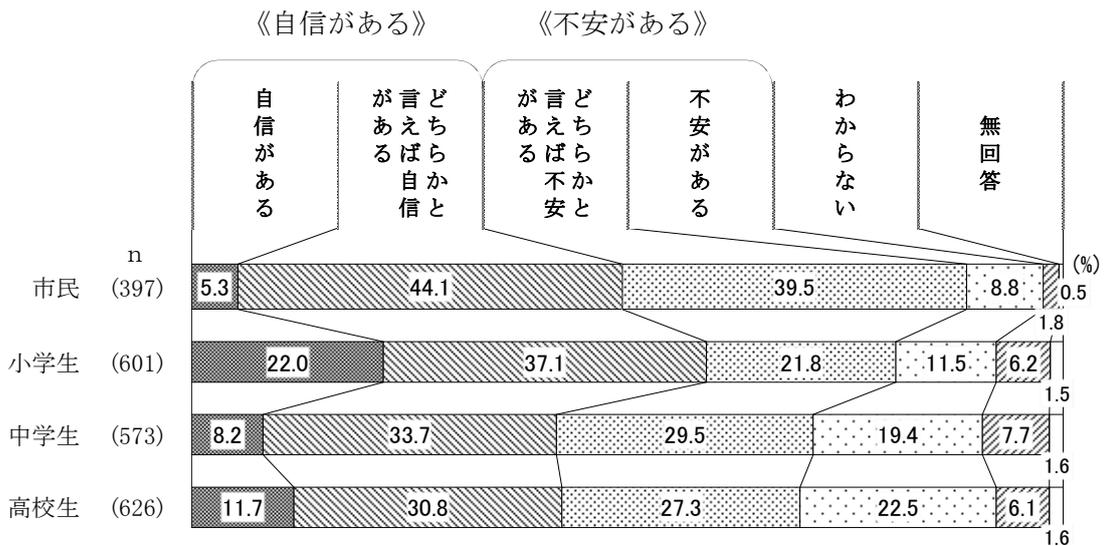
(1) あなたの健康状態等について

健康状態をどのように感じていますか。【全員回答】



すべての年齢で《健康である》が8割以上となっており、中学生で89.4%と最も高くなっている。

体力についてどのように感じていますか。【全員回答】

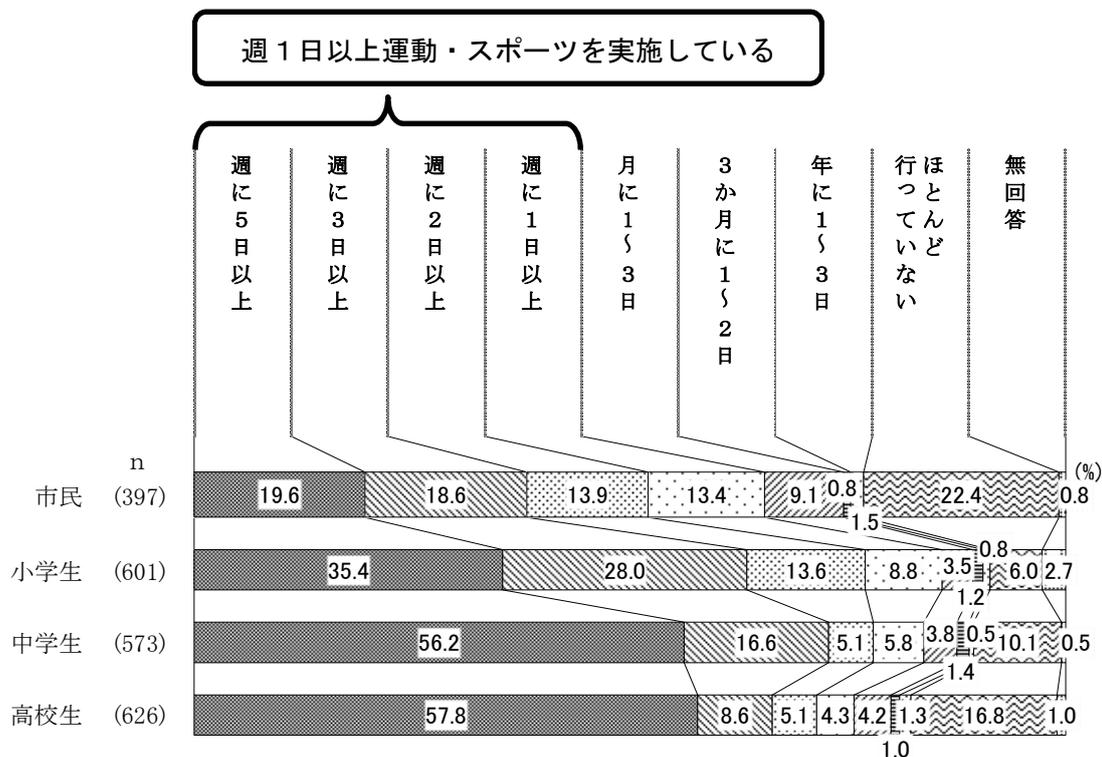


《自信がある》は小学生で59.1%と最も高くなっている。一方、中学生と高校生では4割台と低くなっている。

（2）運動・スポーツの実施状況等について

運動・スポーツをどの程度行っていますか。【全員回答】

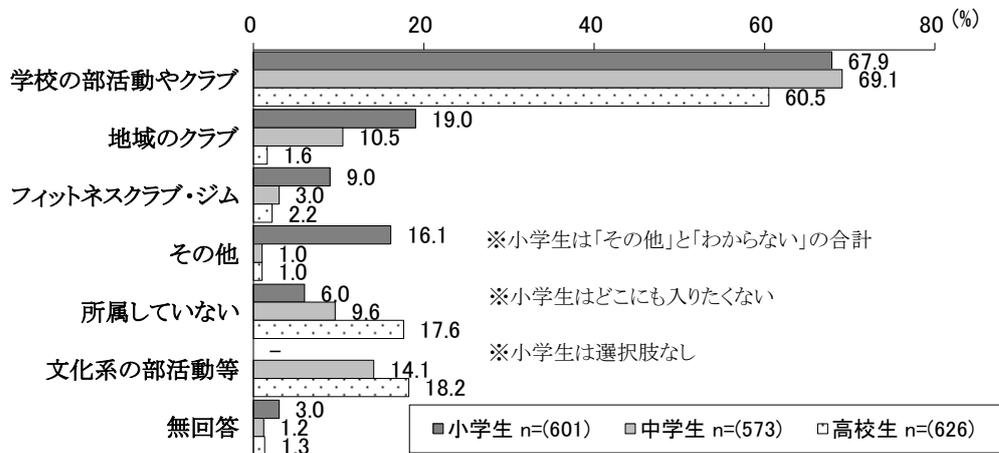
※ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含む。



週1日以上のスポーツ実施率は、小学生で85.8%と最も高く、中学生83.7%、高校生75.8%と徐々に下がり、市民では65.5%となっている。

現在、運動・スポーツの部活動やクラブに所属していますか。（あてはまるのもすべてに○）【全員回答】

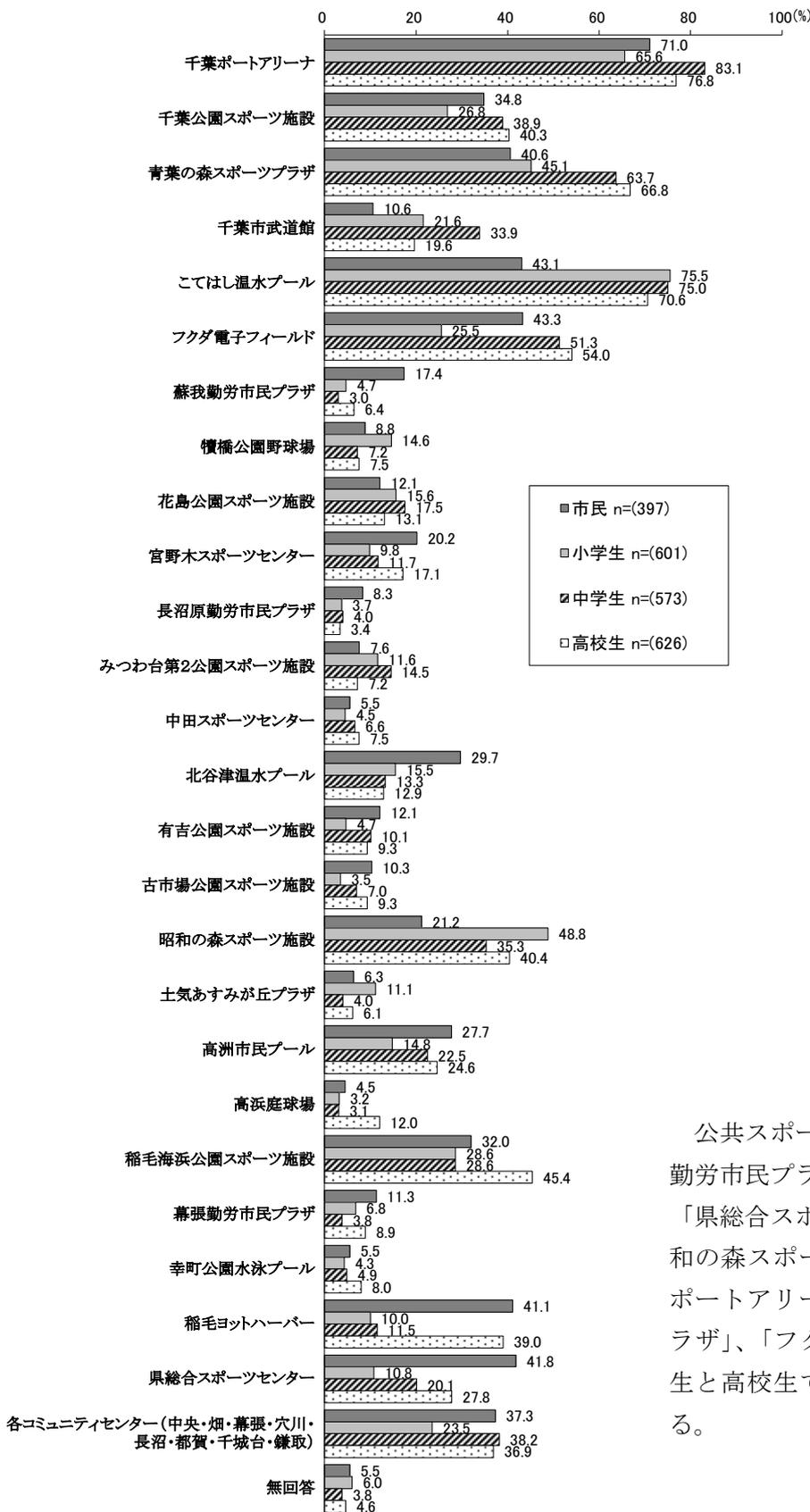
※小学生のみ中学生になったら、どのようなところで運動・スポーツをしたいですか。の設問



運動・スポーツの部活動やクラブへの所属状況では、小学生は7割近くの児童が中学生になったら「学校の部活動やクラブ」に所属したいと回答しており、中学生の「学校の部活動やクラブ」の所属率とおおよそ一致している。

（3）運動・スポーツを行う場所・施設について

次の主な公共スポーツ施設について知っていますか。（知っているものすべてに○）【全員回答】

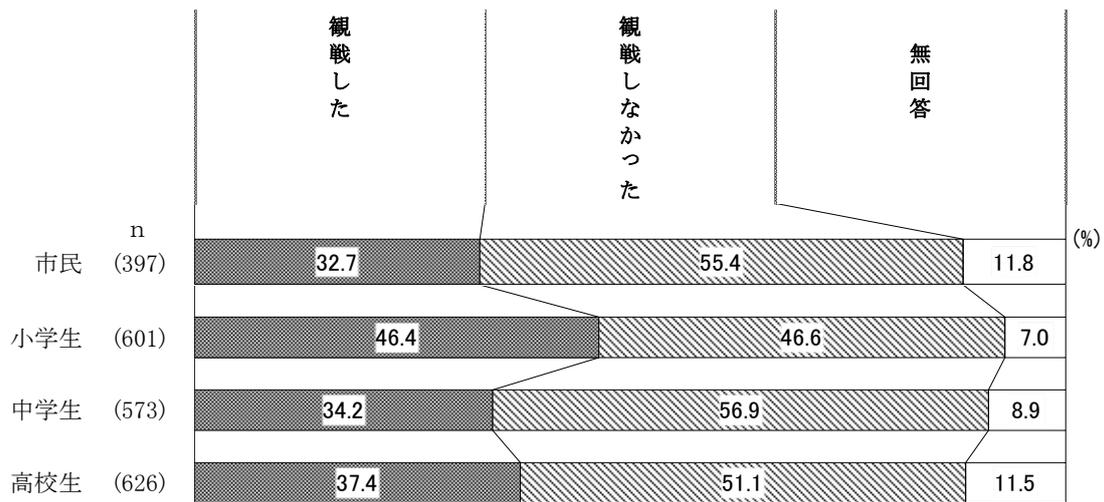


公共スポーツ施設の認知度では、「蘇我勤労市民プラザ」、「北谷津温水プール」、「県総合スポーツセンター」は市民、「昭和の森スポーツ施設」、は小学生、「千葉ポートアリーナ」、「青葉の森スポーツプラザ」、「フクダ電子フィールド」は中学生と高校生で最も認知度が高くなっている。

（４）スポーツ観戦について

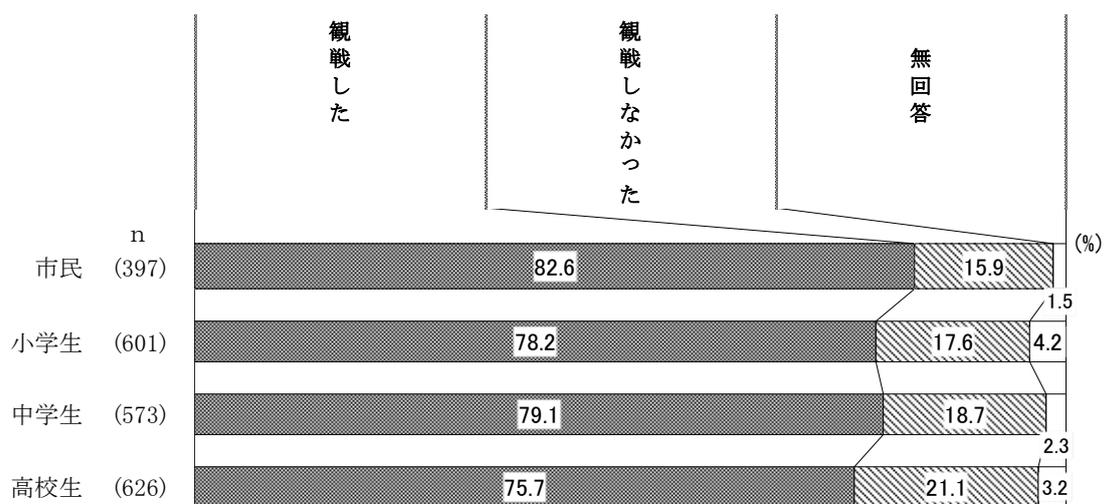
この１年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「ＴＶやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。【全員回答】

【ア. 直接現地で観戦】



直接現地で観戦では、「観戦した」は小学生が46.4%で最も高く、市民、中学生、高校生では3割台となっている。

【イ. ＴＶやインターネットで観戦】

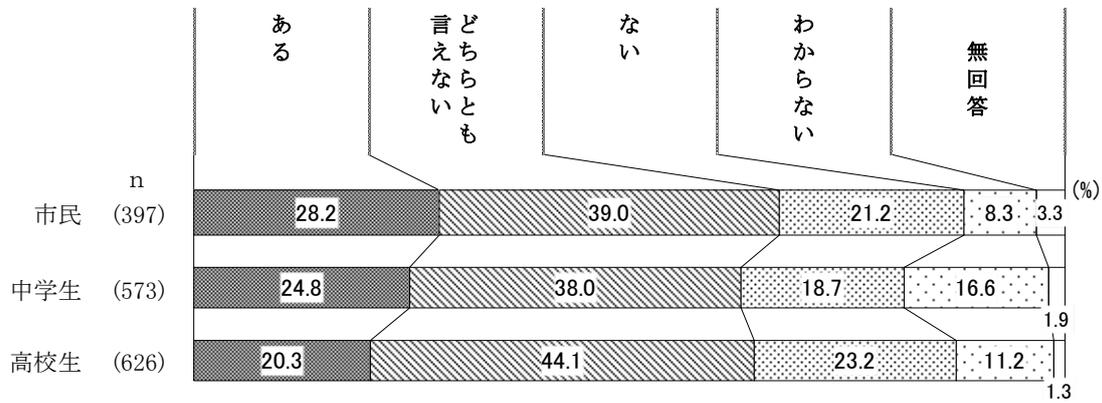


ＴＶやインターネットで観戦では、「観戦した」はすべての年齢で7割以上となっており、特に市民で82.6%と最も高くなっている。

Ⅲ 調査結果（共通設問年齢別比較）

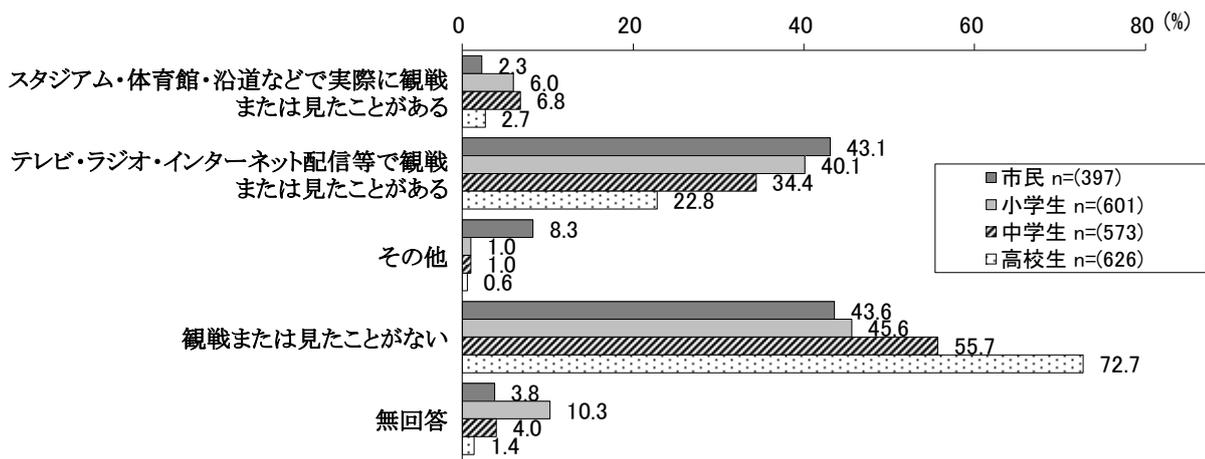
（5）パラスポーツの推進について

パラスポーツに関心がありますか。【全員回答】



パラスポーツへの関心では、関心が「ある」はすべての年代で2割台となっている。

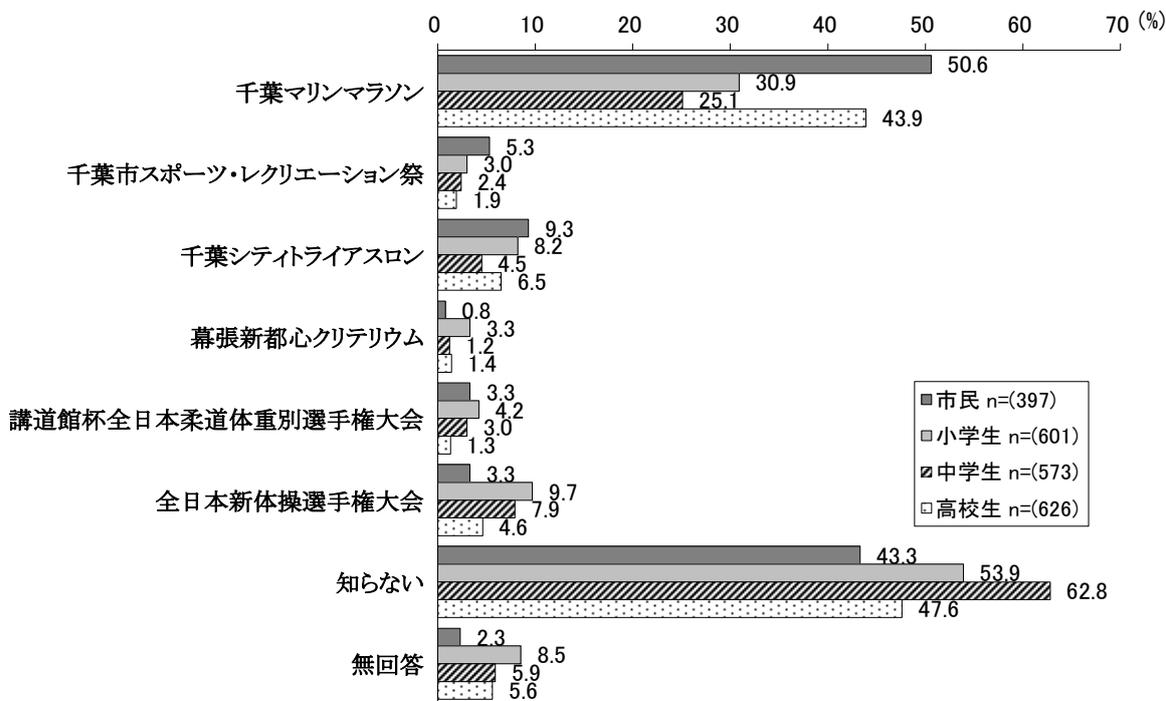
この1年間にパラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



この1年間におけるパラスポーツの観戦経験では、「テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見たことがある」は市民で43.1%と最も高く、高校生の約2倍となっている。一方、「観戦または見たことがない」は高校生で7割を超えて特に多くなっている。

（6）運動・スポーツのイベントについて

次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）【全員回答】



市内で開催されているスポーツイベント等についての認知度では、「千葉マリンマラソン」は市民で50.6%と最も高く、中学生の約2倍となっている。一方、「知らない」は中学生で6割を超えて特に多くなっている。

IV 調査票

（市民用）

千葉市スポーツ推進計画策定に係る市民意識調査

市民の皆さまには、日頃より市政発展のため、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

オリパラの開催をひかえ、明るく豊かなライフスタイルや活力に満ちた社会を実現するために、スポーツやレクリエーションの果たす役割の重要性が認識されてきているところです。

千葉市では、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るため、平成27年度末に「千葉市スポーツ推進計画」を策定しておりますが、本計画は策定から5年経過時に進捗状況や社会情勢の変化に応じて中間見直しを行うことになっております。

本計画の中間見直しにあたり、市民の皆さまの運動やスポーツに関する現状やご意見などを参考にさせていただくため、アンケート調査を行わせていただきます。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査を行うにあたって、千葉市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為抽出をさせていただきます。回答者の個人情報はもちろん、お答えいただいたことに基づきましても、計画策定の基礎資料としてのみ使用し、この調査の目的以外に使用することはございません。

千葉市

★アンケート回答のしかた

次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき回答してください。

1. 調査票（この冊子）に直接記入し郵送
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでWEB回答

1. 調査票（この冊子）で回答

1. あて名のご本人がお答えください。（お名前等を記入する必要はありません）
2. ポールペン、または鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、あてはまる番号を○で囲んでいただくか、番号をご記入いただけます。「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
4. **④**のマークがついている質問は、全員にお答えいただきます。**⑤**のマークがない質問は、お答えいただく方を限定していますので、ご注意ください。
5. このアンケート調査の「運動・スポーツ」とは、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩、ラジオ体操など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。
6. ご記入いただいた調査票は、**10月4日（金）まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、投函してください。

2. パソコン・タブレット・スマートフォンでWEB回答

【オンライン回答ページ】

<https://www.shinsei.eig-front.jp/chiba2/uketsuke/form.do?id=1554971851952>



*ブラウザのURL欄に上記URLを入力して画面を開いてください。

*スマートフォンからは、左のQRコードを読み取ってアクセスできます。

***10月4日（金）まで**に回答してください。

*オンラインでご回答いただきましたら、紙の調査票の返送は不要です。

～不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください～

千葉市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興班
【電話】043-245-5966

あなたの健康状態等について

問1 健康状態をどのように感じていますか。

- 1. 健康である
- 2. どちらかと言えば健康である
- 3. どちらかと言えば健康でない
- 4. 健康でない
- 5. わからない

問2 ご自分の体力についてどのように感じていますか。

- 1. 自信がある
- 2. どちらかと言えば自信がある
- 3. どちらかと言えば不安がある
- 4. 不安がある
- 5. わからない

運動・スポーツの実施状況等について

問3 運動・スポーツをどの程度行っていますか。なお、ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩、ラジオ体操など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

- 1. 週に5日以上
- 2. 週に3日以上
- 3. 週に2日以上
- 4. 週に1日以上
- 5. 月に1～3日
- 6. 3か月に1～2日
- 7. 年に1～3日
- 8. ほとんど行っていない → 次ページの間5へ

問3で「1～7」に○をつけた方のみ

問4 行う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 健康の維持・増進
- 2. 体力の向上
- 3. 記録・能力の向上
- 4. 大会への参加
- 5. 美容や肥満の解消
- 6. 達成感
- 7. ストレスの解消
- 8. 楽しみ
- 9. 運動不足の解消
- 10. 家族とのふれあい
- 11. 友人・仲間との交流
- 12. その他（ ）

問3で「8」に○をつけた方のみ

問5 行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 仕事（家事・育児）が忙しい
- 2. 費用がかかる
- 3. 体が弱い
- 4. 運動やスポーツが好きではない
- 5. 年をとった
- 6. 機会がない
- 7. 場所や施設がない
- 8. 仲間がいない
- 9. 指導者がいない
- 10. 面倒くさい
- 11. 病气やケガをしているから
- 12. その他（ ）
- 13. 特に理由はない

問6 現在行っている種目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. ウォーキング
- 2. ランニング・マラソン
- 3. 健康体操・ラジオ体操
- 4. ヨガ・太極拳
- 5. ウェイトトレーニング
- 6. ダンス
- 7. エアロビクス
- 8. 水泳
- 9. ゴルフ
- 10. 野球・ソフトボール
- 11. サッカー・フットサル
- 12. ラグビー
- 13. バスケッボール
- 14. 陸上競技
- 15. ハレーボール・ソフトバレーボール
- 16. ハンドボール
- 17. テニス・ソフトテニス
- 18. バドミントン
- 19. 卓球
- 20. アイススケート
- 21. スキー・スノーボード
- 22. 柔道
- 23. 剣道
- 24. 空手・合気道
- 25. 弓道
- 26. ゲートボール
- 27. ボウリング
- 28. グラウンドゴルフ
- 29. 登山・キャンプ
- 30. サイクリング
- 31. ビーチ・マリンスポーツ
- 32. トライアスロン
- 33. ハークゴルフ
- 34. アーパンスポーツ（BMX、スケートボード、バルクール等）
- 35. その他（ ）

問7 今後、行ってみたい種目は何ですか。（上の問6の選択肢から、上位3つまで番号を記入）

- 1. _____
- 2. _____
- 3. _____

全員 問 8 より多く運動・スポーツを行うためには、どのようになればいいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 身近で気軽に使える施設があれば
- 2. 安く使える施設があれば
- 3. 一緒に言う仲間がいれば
- 4. 子どもを預けられるところがあれば
- 5. 教えてくれる人がいれば
- 6. 施設の種類・雰囲気が良くなれば
- 7. 時間に余裕があれば
- 8. 体調が良くなれば
- 9. きっかけや機会があれば
- 10. 専門的・親身になってくれる指導者がいれば
- 11. 初心者や家族でも参加しやすくなれば
- 12. その他 ()
- 13. わからない

運動・スポーツの団体について

全員 問 9 現在、運動・スポーツの団体（チーム、クラブ、サークル等）に所属していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 学校や職場のチームやクラブ、サークル
- 2. 地域の仲間のチームやクラブ、サークル
- 3. フィットネスクラブ・ジム
- 4. 総合型地域スポーツクラブ
- 5. その他 ()
- 6. どこにも所属していない → 次ページの問 12 へ

問 9 で「1～5」に○をつけた方のみ

問 10 チームやクラブ、サークルに所属している理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 健康・体力づくりのため
- 2. 仲間と一緒にできるから
- 3. 継続して活動できるから
- 4. 家族と一緒に参加できるから
- 5. 指導者がいるから
- 6. 気軽に参加できるから
- 7. 技術を習得できるから
- 8. 近くにあるから
- 9. 施設用具が揃っているから
- 10. その他 ()

問 9 で「1～5」に○をつけた方のみ

問 11 チームやクラブ、サークルの活動について満足していますか。

- 1. 満足している
- 2. まあまあ満足している
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまり満足していない
- 5. 満足していない
- 6. わからない

問 9 で「6」に○をつけた方のみ

問 12 どのような状況であれば所属したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 健康・体力が向上できるのであれば
- 2. 一緒に言う仲間がいれば
- 3. 時間に余裕があれば
- 4. 家族と一緒に参加できれば
- 5. よい指導者がいれば
- 6. 気軽に参加できれば
- 7. 施設用具が揃っていれば
- 8. 近くであれば
- 9. 費用が安ければ
- 10. その他 ()

全員 問 13 スポーツを行う上で、どのような指導者が必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 技術向上のための高度な運動技術を指導できる人
- 2. 健康・体力づくりのための運動やスポーツを指導してくれる人
- 3. スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導してくれる人
- 4. いろいろなニュースポーツの指導ができる人
- 5. 青少年のスポーツ活動を積極的に進めてくれることができる人
- 6. 障害者や高齢者のスポーツ指導してくれる人
- 7. スポーツイベント（大会や教室など）の企画・運営ができる人
- 8. その他 ()

運動・スポーツを行う場所・施設について

全員 問 14 主にどのような場所で行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 民間のフィットネスクラブ（ジム）
- 2. 公共のスポーツ施設
- 3. 民間のスポーツ施設（フットサル場やテニスコート等）
- 4. 学校体育施設（体育館やグラウンド等）
- 5. 自宅
- 6. 職場
- 7. 公園
- 8. 歩道・道路（ジョギング等）
- 9. その他 ()
- 10. 特になし

次ページの問 15 へ

全員 問19 市の公共スポーツ施設に望むことはなんですか。（上位3つまで数字を記入）

1. 利用料金の値下げ
2. 利用時間の延長
3. わかりやすい予約方法
4. 施設への交通アクセスの向上
5. 施設設備の充実
6. 指導者の配置又は増員
7. 駐車場の台数拡大
8. 子供を遊ばせておくスペースの確保
9. スポーツ教室や講座の充実
10. 高齢者や障害者への配慮
11. その他（ ）
12. 特になし
13. わからない

1. _____ 2. _____ 3. _____

運動・スポーツの行事について

全員 問20 この1年間に、どのような行事に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域イベント
2. 競技団体が主催する各種スポーツ大会や行事
3. 市が主催するスポーツ大会や行事
4. 民間、NPO法人及び愛好者が主催するスポーツ大会や行事
5. 野外活動及びレクリエーション行事（ハイキング、サイクリングなど）
6. ラジオ体操
7. その他（ ）
8. 特になし

全員 問21 今後、どのような行事に参加したいですか。（上の問20の選択肢から、上位2つまで番号を記入）

1. _____ 2. _____

全員 問22 この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

次ページの間23へ

全員 問14で「1～9」に○をつけた方のみ

問15 その場所を主に利用する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自宅から近い
2. 通勤・通学先から近い
3. 早朝・夜間に利用できる
4. 土・日曜日、祝日など休日に利用できる
5. 利用料金が安い（かからない）
6. 自分のレベルに合った指導が受けられる
7. 施設・設備が充実している
8. 家族で利用できる
9. 仲間・友達がいる
10. 好きなスポーツやレクリエーションができる
11. 技術が向上する
12. その他（ ）

全員 問16 千葉市は公共や民間も含めスポーツ施設が充実していると思いますか。

1. 充実している
2. まあまあ充実している
3. どちらとも言えない
4. あまり充実していない
5. 充実していない
6. わからない

全員 問17 次の主な公共スポーツ施設について知っていますか。（知っているものすべてに○）

1. 千葉ポートアリーナ
2. 千葉公園スポーツ施設
3. 青葉の森スポーツプラザ
4. 千葉市武道館
5. こてはし温水プール
6. フクダ電子フィールド
7. 森我勤労市民プラザ
8. 横橋公園野球場
9. 花島公園スポーツ施設
10. 宮野スポーツセンター
11. 長沼原勤労市民プラザ
12. みつわ台第2公園スポーツ施設
13. 中田スポーツセンター
14. 北谷津温水プール
15. 有吉公園スポーツ施設
16. 古市場公園スポーツ施設
17. 昭和の森スポーツ施設
18. 土気あすみが丘プラザ
19. 高洲市民プール
20. 高浜庭球場
21. 稲毛海浜公園スポーツ施設
22. 幕張勤労市民プラザ
23. 幸町公園水泳プール
24. 稲毛ヨットハーバー
25. 県総合スポーツセンター
26. 各コミュニティセンター（中央・畑・幕張・穴川・幕張・都賀・千城台・鎌取）

全員 問18 市のスポーツ施設について満足していますか。

1. 満足している
2. まあまあ満足している
3. どちらとも言えない
4. あまり満足していない
5. 満足していない
6. わからない

問 22 で「1」に○をつけた方のみ

問 23 行ったことがあるボランティア活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 大会やイベントなどでの一般的な支援
2. 大会やイベントなどでの専門的立場からの支援
3. 大会やイベントなどでの運営ボランティア
4. クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い
5. スポーツの指導・コーチ、外部指導者
6. スポーツ施設の管理の手伝い
7. 障害者のスポーツ活動に対する支援（介助・介護、送迎など）
8. 子どものスポーツチームの当番
9. その他（ ）

スポーツ観戦について

全員 問 24 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。

	1. 観戦した	2. 観戦しなかった
ア 直接現地で観戦	1	2
イ TVやインターネットで観戦	1	2

次ページの間 25 へ

問 24 のいずれかの「1」に○をつけた方のみ

問 25 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。
（それぞれあてはまるものすべてに○）

【ア 直接現地で観戦】

1. マラソン、駅伝
2. 陸上競技
3. 水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）
4. ゴルフ
5. プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）
6. 高校野球
7. サッカー日本代表
8. Jリーグ（J1、J2、J3）
9. その他サッカー
10. ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等）
11. バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）
12. バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）
13. テニス
14. バドミントン
15. 卓球
16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
17. 武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング
18. 大相撲
19. 体操・新体操
20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技（レスリング、フェンシング、テコンドー）
21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技（ゴルフボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング）
22. その他（ ）

【イ TVやインターネットで観戦】

1. マラソン、駅伝
2. 陸上競技
3. 水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）
4. ゴルフ
5. プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）
6. 高校野球
7. サッカー日本代表
8. Jリーグ（J1、J2、J3）
9. その他サッカー
10. ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等）
11. バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）
12. バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）
13. テニス
14. バドミントン
15. 卓球
16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
17. 武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング
18. 大相撲
19. 体操・新体操
20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技（レスリング、フェンシング、テコンドー）
21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技（ゴルフボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング）
22. その他（ ）

全員 問26 スポーツ観戦に関する情報は、主にどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. Webサイト
2. フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS
3. テレビ、ラジオ
4. 新聞、雑誌
5. その他 ()
6. 特になし

全員 問27 今後、どのような大会や試合を会場で観戦したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 国際的な大会や試合
2. プロの大会や試合
3. 全国的な大会や試合
4. 県レベルの大会や試合
5. 市レベルの大会や試合
6. 地域の大会や試合等
7. その他 ()
8. 特になし

全員 問28 今より観戦者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで数字を記入)

1. 身近に観戦できる機会が多ければ
2. 情報があれば
3. 一緒に観戦する仲間がいれば
4. 子どもを預けられるところがあれば
5. 観戦のルールが分かれば
6. 会場の環境・雰囲気良ければ
7. 時間に余裕があれば
8. 出店等が充実していれば
9. チケット(入場料)が安ければ
10. その他 ()
11. 特になし

バラスポーツの推進について

全員 問29 バラスポーツに関心がありますか。

1. ある
2. どちらとも言えない
3. ない
4. わからない

次ページの間30へ

次ページの間31へ

問29で「1」に○をつけた方のみ

問30 関心がある理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身近に障害者がいるから
2. バラリンピック等の大会を観戦したから
3. 「バラスポーツ」という言葉をよく耳にするから
4. 市政だより等の市からの情報で知ったから
5. バラスポーツを見たことがあるから
6. テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから
7. 仕事等で関係しているから
8. 自分や家族が行っているから
9. その他 ()

問29で「3」に○をつけた方のみ

問31 関心がない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. どんな競技があるか知らないから
2. 競技のルールや見どころがわからないから
3. どんな選手がいるか知らないから
4. バラスポーツを身近な場所で行っていないから
5. 身近にバラスポーツに関わっている人がいないから
6. バラスポーツについて、メディアで触れる機会が少ないから
7. スポーツ自体に興味がないから
8. バラスポーツには興味がないから
9. その他 ()

全員 問32 この1年間にバラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. スタジアム・体育館・浴槽などで実際に観戦または見たことがある
2. テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見た(ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含む)ことがある
3. その他 ()
4. 観戦または見たことがない

【全員】問 33 パラスポーツをどのようにして観戦したいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 競技会場（スタジアム・体育館・浴道など）で直接観戦したい
2. 入場無料の公共の場における大型スクリーン放映（ライブサイトやパブリックビューイング）で観戦したい
3. テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したい
4. 観戦したいが、観戦方法が分からない
5. 観戦したいと思わない

【全員】問 34 パラスポーツを推進するために、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（上位3つまで数字を記入）

1. パラスポーツ大会の市内誘致
2. パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信
3. パラスポーツ・レクリエーション指導者の養成
4. 障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催
5. 障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備
6. その他（ ）
7. わからない

1. _____ 2. _____ 3. _____

トッパスポーツとの交流について

【全員】問 35 次のトッパスポーツチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 千葉ロッテマリーンズ（野球）
2. ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）
3. ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（サッカー）
4. 千葉ジェッツ（バスケットボール）
5. オービッツシーガルズ（アメリカンフットボール）
6. NECグリーンロケッツ（ラグビーフットボール）
7. バルドラール浦安（フットサル）
8. 富士通陸上競技部（陸上競技）
9. 能インターナショナルライオンズクラブ（トライアスロン）
10. J F E 東日本硬式野球部（野球）
11. イオン新体操クラブ（新体操）
12. 千葉ゼルバ（バレーボール）
13. 千葉ホークス（車椅子バスケットボール）
14. BLAST（ウィルチェアラグビー）
15. R I Z E（ウィルチェアラグビー）
16. 千葉ハイレーツ（シッティングバレーボール）
17. この中に知っているものはない

【全員】問 36 トッパスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。（上位3つまで数字を記入）

1. 交流できるイベントの開催
2. 試合等の市内誘致
3. 選手が講師となったスポーツ教室の開催
4. 試合等へのボランティア支援
5. 選手の学校訪問
6. 選手の地域イベントへの参加
7. 観戦の優待券発行
8. その他（ ）
9. 特になし
10. わからない

1. _____ 2. _____ 3. _____

運動・スポーツの情報について

【全員】問 37 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ちば市政だより
2. 市のホームページ
3. 市のフェイスブック・LINE・ツイッター
4. 市以外のホームページ
5. 市以外のフェイスブック・LINE・ツイッター
6. 自治会の回覧
7. 地域の掲示板
8. 所属しているチーム・クラブ・サークル
9. チラシ・パンフレット
10. 友人・知人
11. 家族
12. その他（ ）
13. 特になし

【全員】問 38 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 千葉マリンマラソン
2. 千葉市スポーツ・レクリエーション祭
3. 千葉シティライオアスロン
4. 幕張新都心クリテリウム
5. 講道館杯全日本柔道団体重別選手権大会
6. 全日本新体操選手権大会
7. 知らない

全員 問 39 市には特にどのような情報を提供してほしいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 大会・イベントの開催案内
- 2. スポーツ教室の案内
- 3. クラブ・サークル団体の案内
- 4. 施設の利用に関すること
- 5. 健康・体力づくりに関する情報提供
- 6. 千葉市ゆかりのチーム・選手の紹介
- 7. その他 ()

運動・スポーツに関する市の施策に対する期待について

全員 問 40 運動・スポーツをもっと振興させるために、市にはどのようなことにご力を投入してほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまで数字を記入)

- 1. 子供の体力向上
- 2. スポーツ教室の充実
- 3. 障害者に配慮したスポーツやレクリエーション活動の推進
- 4. 指導者の育成・活用
- 5. スポーツを通じた国際交流の促進
- 6. スポーツ施設設備の充実
- 7. スポーツ障害への対応や健康管理などに関する正しいスポーツ知識の普及
- 8. スポーツ活動に関する情報提供
- 9. 民間のスポーツ施設との連携
- 10. スポーツやレクリエーション活動の場の確保
- 11. スポーツボランティアの支援
- 12. 国際的、全国的な規模のイベントの誘致
- 13. 地元プロスポーツの支援
- 14. 新たなプロスポーツの誘致
- 15. トップアスリートとの市民交流
- 16. 競技力向上
- 17. マリンスポーツの推進
- 18. その他 ()
- 19. 特になし

あなたのプロフィールについて

全員 問 41 性別を教えてください。

- 1. 男性
- 2. 女性

全員 問 42 年齢を教えてください。

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70歳以上

全員 問 43 ご職業を教えてください。

- 1. 会社員
- 2. 公務員
- 3. 自営業
- 4. 主婦・主夫
- 5. パート・アルバイト
- 6. 学生
- 7. 無職
- 8. その他 ()

全員 問 44 お住まいの区はどこですか。

- 1. 中央区
- 2. 花見川区
- 3. 稲毛区
- 4. 若葉区
- 5. 緑区
- 6. 美浜区

～調査にご協力いただきありがとうございます。～

記入されました内容などについてご確認後、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて
2019年10月4日(金)までにご返函ください。

(中学生・高校生用)

千葉市スポーツ推進計画策定に係る意識調査

調査へのご協力をお願いします。

市民の皆さまには、日頃より市政発展のため、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

オリパラの開催をひかえ、明るく豊かなライフスタイルや活力に満ちた社会を実現するために、スポーツやレクリエーションの果たす役割の重要性が認識されてきているところですので。

千葉市では、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るため、平成27年度末に「千葉市スポーツ推進計画」を策定しておりますが、本計画は策定から5年経過時に進捗状況や社会情勢の変化に応じて中間見直しを行うことになっております。

本計画の中間見直しにあたり、市民の皆さまの運動やスポーツに関する現状やご意見などを参考にさせていただいたため、アンケート調査を行わせていただきました。つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答者の個人情報はもちろん、お答えいただきましたことにつきましても、計画策定の基礎資料としてのみ使用し、この調査の目的以外に使用することはございません。

千葉市

★ご記入に当たってのお願い(調査票に記入する前にお読みください。)

- (1) 無記名調査ですので、お名前も調査票に記載しないでください。
- (2) お答えは、あてはまる番号を○で囲んでいただくか、番号をご記入いただけます。「その他」に当てはまる場合は、() 内に具体的にその内容をご記入ください。
- (3) ○をつける数については、質問文の指示に従ってください。(特に指示がないものは1つだけです。)
- (4) (全問)のマークがついている質問は、全員にお答えいただけます。(全問)のマークがない質問は、お答えいただく方を限定していますので、ご注意ください。
- (5) このアンケート調査の「運動・スポーツ」とは、学校の体育の授業以外で体を動かすものです。具体的には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

あなたの健康状態等について

全問 問1 健康状態をどのように感じていますか。

- 1. 健康である
- 2. どちらかと言えば健康である
- 3. どちらかと言えば健康でない
- 4. 健康でない
- 5. わからない

全問 問2 体力についてどのように感じていますか。

- 1. 自信がある
- 2. どちらかと言えば自信がある
- 3. どちらかと言えば不安がある
- 4. 不安がある
- 5. わからない

運動・スポーツの実施状況等について

全問 問3 運動・スポーツをどの程度行っていますか。なお、ここでいう「運動」や「スポーツ」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

- 1. 週に5日以上
- 2. 週に3日以上
- 3. 週に2日以上
- 4. 週に1日以上
- 5. 月に1～3日
- 6. 3か月に1～2日
- 7. 年に1～3日
- 8. ほとんど行っていない ▶ 次ページの間5へ

全問 問3で「1～7」に○をつけた方のみ

▶問4 行う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 健康の維持・増進
- 2. 体力の向上
- 3. 記録・能力の向上
- 4. 大会への参加
- 5. 美容や肥満の解消
- 6. 達成感
- 7. ストレスの解消
- 8. 楽しみ
- 9. 運動不足の解消
- 10. 家族とのふれあい
- 11. 友人・仲間との交流
- 12. 部活動・クラブに所属しているから
- 13. オリンピックに出たいから
- 14. プロの選手になりたいから
- 15. その他 ()
- 16. わからない

全員 問8 今後、行ってみたい種目は何ですか。(前ページの問7の選択肢から、上位3つまで番号を記入)

1. _____ 2. _____ 3. _____

全員 問9 現在、運動・スポーツの部活動やクラブに所属していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校の部活動やクラブに所属している 2. 地域のクラブに所属している
3. フィットネスクラブ・ジム 4. その他 ()
5. 所属していない 6. 文化系の部活動等に所属している

全員 問10 所属している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康・体づくりのため 2. 仲間と一緒にできるから
3. 仲間をつくりたかったから 4. 教えてほしい指導者がいたから
5. 技術を習得できるから 6. 小さい頃からやっていたから
7. その他 ()

全員 問11 所属していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 休みの日も練習・大会があるから 2. 入りたい部活動やクラブがない
3. 運動やスポーツを行う時間がない 4. 入っていたが辞めた
5. 専門的な指導者がいないから 6. ほかにやりたいことがあるから
7. その他 ()

全員 問12 卒業後も運動・スポーツをしたいと思えますか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

全員 問3で「8」に○をつけた方のみ

問5 行わない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強や塾で忙しい 2. お金がかかる
3. 体が弱い 4. 運動・スポーツが好きではない
5. 面倒くさい 6. 仲間が少ない
7. その他 () 8. 特に理由はない
9. わからない

全員 問6 より多く行うためには、どのようになればいいと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身近で気軽に使える施設があれば 2. 安く使える施設があれば
3. 一緒に行う友人在れば 4. きっかけや機会があれば
5. 教えてくれる人がいれば 6. 施設の種類・雰囲気良くなれば
7. 時間に余裕があれば 8. 体調が良くなれば
9. その他 () 10. わからない

全員 問7 現在行っている種目は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング 2. ランニング・マラソン 3. 健康体操・ラジオ体操
4. ヨガ・太極拳 5. ウェイトトレーニング 6. ダンス
7. エアロビクス 8. 水泳 9. ゴルフ
10. 野球・ソフトボール 11. サッカー・フットサル 12. ラグビー
13. バスケケットボール 14. 陸上競技 15. バレーボール・ソフトバレーボール
16. ハンドボール 17. テニス・ソフトテニス 18. バドミントン
19. 卓球 20. アイススケート 21. スキー・スノーボード
22. 柔道 23. 剣道 24. 空手・合気道
25. 弓道 26. ゲートボール 27. ボウリング
28. グラウンドゴルフ 29. 登山・キャンプ 30. サイクリング
31. ビーチ・マリンスポーツ 32. トライアスロン 33. バークゴルフ
34. アーバンズポーツ (BMX、スケートボード、バルクール等) 35. その他 ()

運動・スポーツを行う場所・施設について

全員 問 13 主にどのような場所で行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民間のフィットネスクラブ (ジム)
2. 公共のスポーツ施設
3. 民間のスポーツ施設 (フットサル場やテニスコート等)
4. 学校体育施設 (体育館やグラウンド等)
5. 公園
6. 自宅
7. 歩道・道路 (ジョギング等)
8. その他 ()
9. 特になし

問 13 で「1～8」に○をつけた方のみ

全員 問 14 その場所を主に利用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅から近い
2. 学校から近い
3. 技術が向上する
4. 土・日曜日、祝日など休日に利用できる
5. 利用料金が安い (かからない)
6. 自分のレベルに合った指導が受けられる
7. 施設・設備が充実している
8. 家族で利用できる
9. 仲間・友達がいる
10. 好きなスポーツやレクリエーションができる
11. 部活動やクラブ活動のため
12. その他 ()

全員 問 15 次の主な公共スポーツ施設を知っていますか。(知っているものすべてに○)

1. 千葉ポートアリーナ
2. 千葉公園スポーツ施設
3. 青葉の森スポーツプラザ
4. 千葉市武道館
5. こてはし温水プール
6. フクダ電子フィールド
7. 蘇我勤労市民プラザ
8. 猿橋公園野球場
9. 花島公園スポーツ施設
10. 宮野スポーツセンター
11. 長沼原勤労市民プラザ
12. みつわ台第2公園スポーツ施設
13. 中田スポーツセンター
14. 北谷津温水プール
15. 有吉公園スポーツ施設
16. 古市場公園スポーツ施設
17. 昭和の森スポーツ施設
18. 土気あすみが丘プラザ
19. 高洲市民プール
20. 高浜陸球場
21. 稲毛海浜公園スポーツ施設
22. 蘇我勤労市民プラザ
23. 幸町公園水泳プール
24. 稲毛ヨットハーバー
25. 県総合スポーツセンター
26. 各コミュニティセンター (中央・稲・蘇我・穴川・長沼・都賀・千城台・鎌取)

全員 問 16 市のスポーツ施設について満足していますか。

1. 満足している
2. まあまあ満足している
3. どちらとも言えない
4. あまり満足していない
5. 満足していない
6. わからない

全員 問 17 市の公共スポーツ施設に望むことはなんですか。
(○は上位3つまで数字を記入)

1. 利用料金の値下げ
2. 利用時間の延長
3. わかりやすい予約方法
4. 施設への交通アクセスの向上
5. 施設設備の充実
6. スポーツ教室や講座の充実
7. 高齢者や障害者への配慮
8. その他 ()
9. 特になし
10. わからない

1. _____ 2. _____ 3. _____

運動・スポーツの行事について

全員 問 18 この1年間に、どのような行事に参加しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 運動会、スポーツ・レクリエーション祭などの地域スポーツイベント
2. 部活動やクラブの各種スポーツ大会・試合
3. 市及び民間等が主催する各種スポーツ大会・試合
4. 野外活動及びレクリエーション行事 (ハイキング、サイクリングなど)
5. その他 ()
6. 特になし



全員 問 19 今後、どのような行事に参加したいですか。(上の問 18 の選択肢から上位2つまで番号を記入)

1. _____ 2. _____

全員 問 20 この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

次ページの問 21 へ

問20で「1」に○をつけた方のみ

問21 行ったことがあるボランティア活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 大会やイベントなどでの一般的な支援
2. 大会やイベントなどでの専門的立場からの支援
3. クラブやスポーツ団体運営、活動の手伝い
4. スポーツの指導・コーチ
5. スポーツ施設の管理の手伝い
6. 障害者のスポーツ活動に対する支援（介助・介護、介護、送迎など）
7. その他（ ）

スポーツ観戦について

問22 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。

	1. 観戦した	2. 観戦しなかった
ア 直接現地で観戦	1	2
イ TVやインターネットで観戦	1	2

次ページの問題23へ

問22のいずれかの「1」に○をつけた方のみ

問23 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

- 【ア 直接現地で観戦】**
1. マラソン、駅伝
 2. 陸上競技
 3. 水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）
 4. ゴルフ
 5. プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）
 6. 高校野球
 7. サッカー日本代表
 8. リーグ（J1、J2、J3）
 9. その他サッカー
 10. ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等）
 11. バスケッボール（Bリーグ、NBA含む）
 12. バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）
 13. テニス
 14. バドミントン
 15. 卓球
 16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
 17. 武道（剣道・柔道・空手、ボクシング）
 18. 大相撲
 19. 体操・新体操
 20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技（レスリング、フェンシング、テコンドー）
 21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技（ゴールボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング）
 22. その他（ ）

- 【イ TVやインターネットで観戦】**
1. マラソン、駅伝
 2. 陸上競技
 3. 水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等）
 4. ゴルフ
 5. プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）
 6. 高校野球
 7. サッカー日本代表
 8. リーグ（J1、J2、J3）
 9. その他サッカー
 10. ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等）
 11. バスケッボール（Bリーグ、NBA含む）
 12. バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）
 13. テニス
 14. バドミントン
 15. 卓球
 16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
 17. 武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング
 18. 大相撲
 19. 体操・新体操
 20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技（レスリング、フェンシング、テコンドー）
 21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技（ゴールボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング）
 22. その他（ ）

全員 問 24 スポーツ観戦に関する情報は、主にどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. Webサイト
2. フェイスブック、LINE、ツイッターなどのSNS
3. テレビ、ラジオ
4. 新聞、雑誌
5. その他 ()
6. 特になし

全員 問 25 今後、どのような大会や試合を会場で観戦したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 国際的な大会や試合
2. プロの大会や試合
3. 全国的な大会や試合
4. 県レベルの大会や試合
5. 市レベルの大会や試合
6. 地域の大会や試合、親善試合等
7. その他 ()
8. 特になし

全員 問 26 今より観戦者を増やすためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで数字を記入)

1. 身近に観戦できる機会が多ければ
2. 情報があれば
3. 一緒に観戦する仲間がいれば
4. 会場まで送り迎えをしてくれる人がいれば
5. 親が許可してくれれば
6. 会場の環境・雰囲気良ければ
7. 時間に余裕があれば
8. 出店等が充実していれば
9. チケット(入場料)が安ければ
10. その他 ()
11. わからない

パラスポーツの推進について

全員 問 27 パラスポーツに関心がありますか。

1. ある
2. どちらとも言えない
3. ない
4. わからない

▶次ページの間 28 へ

問 27 で「1」に○をつけた方のみ

問 28 パラスポーツに関心がある理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身近に障害者がいるから
2. パラリンピック等の大会を観戦したから
3. 「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから
4. 市政だよりの市からの情報で知ったから
5. パラスポーツを見たことがあるから
6. テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから
7. 学校で学習したから
8. 自分や家族が行っているから
9. その他 ()

全員 問 29 この1年間にパラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. スタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦または見たことがある
2. テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見た(ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含む)ことがある
3. その他 ()
4. 観戦または見たことがない

全員 問 30 パラスポーツを推進するために、市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(上位3つまで数字を記入)

1. パラスポーツ大会の市内誘致
2. パラスポーツ・レクリエーション種目の情報発信
3. パラスポーツ・レクリエーション指導者の養成
4. 障害者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催
5. 障害者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備
6. その他 ()
7. わからない

1. _____
2. _____
3. _____

トップスポーツとの交流について

【全員】問 31 次のトップスポーツチームを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 千葉ロッテマリーンズ（野球）
2. ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）
3. ジェフユナイテッド市原・千葉ディフェンダーズ（サッカー）
4. 千葉ジェッツ（バスケットボール）
5. オービックシーガルズ（アメリカンフットボール）
6. NECグリーンロケッツ（ラグビーフットボール）
7. バルドラール浦安（フットサル）
8. 富士通陸上競技部（陸上競技）
9. 彰信大学（トヨタ）（トヨタ）（野球）
10. J F E 東日本硬式野球部（野球）
11. イオン新体操クラブ（新体操）
12. 千葉ゼルバ（バレーボール）
13. 千葉ホークス（車椅子バスケットボール）
14. B L A S T（ウイルチエアラグビー）
15. R I Z E（ウイルチエアラグビー）
16. 千葉バイレーツ（シッティンググハレーボール）
17. この中に知っているものはない

【全員】問 32 トップスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組みでほしいですか。（上位3つまで数字を記入）

1. 交流できるイベントの開催
2. 試合等の市内誘致
3. 選手が講師となったスポーツ教室の開催
4. 試合等へのボランティア支援
5. 選手の学校訪問
6. 選手の地域イベントへの参加
7. 観戦の優待券発行
8. その他（ ）
9. 特になし
10. わからない

1. _____ 2. _____ 3. _____

運動・スポーツの情報について

【全員】問 33 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ちば市政だより
2. 市のホームページ
3. 市のフェイスブック・LINE・ツイッター
4. 市以外のホームページ
5. 市以外のフェイスブック・LINE・ツイッター
6. 自治会の回覧
7. 地域の掲示板
8. 所属しているクラブ・サークル
9. チラシ・パンフレット
10. 友人・知人
11. 家族
12. その他（ ）
13. 特になし

【全員】問 34 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 千葉マリンマラソン
2. 千葉市スポーツ・レクリエーション祭
3. 千葉シティトライアスロン
4. 幕張新都心クリテリウム
5. 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
6. 全日本新体操選手権大会
7. 知らない

【全員】問 35 市には特にどのような情報を提供してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 大会・イベントの開催案内
2. スポーツ教室の案内
3. クラブ・サークル団体の案内
4. 施設の利用に関すること
5. 健康・体づくりに関する情報提供
6. 千葉市ゆかりのチーム・選手の紹介
7. その他（ ）

あなたのプロフィールについて

【全員】問 36 性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

【全員】問 37 お住まいの区はどこですか。

1. 中央区 2. 花見川区 3. 稲毛区 4. 若葉区 5. 緑区 6. 美浜区

～調査にご協力いただきありがとうございました。～

(小学生用)

千葉市の運動・スポーツに関するアンケート

～アンケートへのご協力をお願いします。～

「千葉市のスポーツを盛り上げる計画」を作るために、みなさんの運動・スポーツについての意見を聞かせてください。
テストではありませんので、正解はありません。自分の考えにあった番号に○をつけたり、() に意見を記入したりしてください。
お答えいただいたことについては、このアンケートの目的以外に使用することはありません。

千葉市

★ご記入に当たってのお願い(調査票に記入する前にお読みください。)

- (1) お名前は調査票に記載しないでください。
- (2) 自分の考えにあった番号を○で囲んでください。(その他のときは、() 内に理由をご記入ください。)
- (3) ○をつける数については、質問文の後の指示に従ってください。(特に指示がないものは1つだけです。)
- (4) (全)のマークがついている質問は、全員にお答えいただきます。(全)のマークがない質問は、お答えいただく人を限定していますので、ご注意ください。
- (5) このアンケートで、「運動・スポーツ」とは、野球・サッカーなどだけでなく、縄跳びや自転車に乗ることも含みます。

千葉市運動・スポーツに関するアンケート

あなたのプロフィールについて

【全員】 性別を教えてください。 1. 男子 2. 女子

あなたの健康状態等について

【全員】 問2 健康状態をどのように感じていますか。

1. 健康である
2. どちらかと言えば健康である
3. どちらかと言えば健康でない
4. 健康でない
5. わからない

【全員】 問3 体力についてどのように感じていますか。

1. 自信がある
2. どちらかと言えば自信がある
3. どちらかと言えば不安がある
4. 不安がある
5. わからない

運動・スポーツの実施状況等について

【全員】 問4 体育の授業以外で、運動・スポーツをどれくらいしますか。なお、ここでいう「運動」や「スポーツ」には、野球・サッカーなどのルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけでなく、縄跳びや自転車に乗るなど、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

1. 週に5日以上
2. 週に3日以上
3. 週に2日以上
4. 週に1日以上
5. 月に1～3日
6. 3か月に1～2日
7. 年に1～3回
8. ほとんど行っていない

問4で「1～7」に○をつけた人だけ答えてください

問5 する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 体力をつけたいから
2. 大会に出たいから
3. 気持ちがいいから
4. 楽しいから
5. 家族と遊べるから
6. 友人と遊べるから
7. 部活動・クラブに入っているから
8. その他 ()
9. わからない

問4で「8」に○をつけた人だけ答えてください

問6 ほとんどしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強や塾で忙しいから
2. テレビ・携帯ゲームなどのほうが楽しいから
3. 体が弱いから
4. 運動・スポーツがきらいだから
5. 場所やスポーツ施設がないから
6. きっかけや機会がないから
7. 教えてくれる人がいないから
8. その他 ()
9. わからない

全員 問7 現在やっている運動・スポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------------------------|------------|
| 1. サッカー・フットサル | 2. 野球・ソフトボール | 3. 体操・新体操 |
| 4. 水泳 | 5. テニス・ソフトテニス | 6. ダンス |
| 7. (ミニ)バスケットボール | 8. 柔道・空手 | 9. 剣道 |
| 10. 弓道 | 11. ビーチ・マリンスポーツ | 12. 卓球 |
| 13. 陸上競技 | 14. バレーボール | 15. バドミントン |
| 16. フィギュアスケート | 17. 縄跳び | 18. 一輪車 |
| 19. かけっこ・鬼ごっこ | 20. アーバンスポーツ (BMX、スケートボード、バルクール等) | |
| 21. その他 () | | |

全員 問8 今後、やってみたいものは何ですか。(問7の1~20から、上位3つまで番号を記入)

1. _____ 2. _____ 3. _____

全員 問9 中学生になったら、どのようところで運動・スポーツをしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 学校の部活動 | 2. 地域のクラブ・サークル | 3. 民間のスポーツクラブ |
| 4. どこにも入りたくない | 5. その他 () | 6. わからない |

全員 問10 スイミングクラブや、地域の野球チームのような学校以外のスポーツクラブに入っていますか。

1. はい 2. いいえ

問10で「1」に○をつけた人だけ答えてください

問11 入ったきっかけとそのスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 家族にすすめられて | 2. 友達にきそわれて |
| 3. 先生にすすめられて | 4. バンフレットや雑誌などを見て |
| 5. テレビでそのスポーツを知って | 6. 大会などでそのスポーツを見たから |
| 7. その他 () | |
- 入っているスポーツ (例: 水泳・ダンス) ()

全員 問12 体育の授業以外で、どのようところで運動・スポーツをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|---------|-----------|------------|
| 1. 学校 | 2. 公園 | 3. スポーツ施設 | 4. 近所の広場 |
| 5. 自分の家 | 6. 友達の家 | 7. 歩道・道路 | 8. その他 () |

全員 問13 次の主なスポーツ施設を知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|---|--------------------|
| 1. 千葉ポートアリーナ | 2. 千葉公園スポーツ施設 | 3. 青葉の森スポーツプラザ |
| 4. 千葉市武道館 | 5. こてはし温水プール | 6. フクダ電子フィールド |
| 7. 森我勤労市民プラザ | 8. 積糟公園野球場 | 9. 花島公園スポーツ施設 |
| 10. 宮野木スポーツセンター | 11. 長沼原勤労市民プラザ | 12. みつわ台第2公園スポーツ施設 |
| 13. 中田スポーツセンター | 14. 北谷津温水プール | 15. 有吉公園スポーツ施設 |
| 16. 古市場公園スポーツ施設 | 17. 昭和の森 | 18. 土気あすみが丘プラザ |
| 19. 高洲市民プール | 20. 高浜陸球場 | 21. 稲毛海浜公園スポーツ施設 |
| 22. 幕張勤労市民プラザ | 23. 幸町公園水泳プール | 24. 稲毛ヨットハーバー |
| 25. 県総合スポーツセンター | 26. 各コミュニティセンター (中央・原・幕張・穴川・長沼・都賀・千城台・鎌取) | |

全員 問14 この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。

	1. 観戦した	2. 観戦しなかった
ア 直接現地で観戦	1	2
イ TVやインターネットで観戦	1	2

次ページの間15へ

全員 問 16 今後、どのような試合や大会を会場で見たいですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 日本代表が出る大会や試合
2. ロッチェやジェフなどの大会や試合
3. 県の代表が出る大会や試合
4. 知り合いが出る大会や試合
5. その他 ()
6. なし

全員 問 17 会場でもっと見るようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで数字を記入)

1. 近くで見れる試合・大会があれば
2. 情報があれば
3. 一緒に見る友達がいれば
4. 会場まで送り迎えしてくれる人がいれば
5. 観が許可してくれれば
6. 会場の環境・雰囲気がいれば
7. 時間に余裕があれば
8. 出店等が充実していれば
9. チケット(入場料)が安ければ
10. その他 ()
11. わからない

パラスポーツの推進について

全員 問 18 パラスポーツを知っていますか。

1. 知っている
2. どちらとも言えない
3. 知らない
4. わからない

問 18 で「1」に○をつけた方のみ

問 19 パラスポーツを知っている理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身近に障害者がいるから
2. パラリンピック等の大会を見たから
3. 「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするから
4. 市政だより等の市からの情報で知ったから
5. パラスポーツを見たことがあるから
6. テレビや新聞・雑誌で情報を知ったから
7. 学校で学習したから
8. 自分や家族が行っているから
9. その他 ()

問 14 のいずれかの「1」に○をつけた方のみ

問 15 この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。「直接現地で観戦」と「TVやインターネットで観戦」のそれぞれについてお答えください。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

【A 直接現地で観戦】

1. マラソン、駅伝
2. 陸上競技
3. 水泳(競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等)
4. ゴルフ
5. プロ野球(NPB、メジャーリーグ含む)
6. 高校野球
7. サッカー-日本代表
8. リーグ(J1、J2、J3)
9. その他サッカー
10. ラグビー(トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等)
11. バスケケットボール(Bリーグ、NBA含む)
12. バレーボール(Vリーグ、日本代表含む)
13. テニス
14. バドミントン
15. 卓球
16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
17. 武道(剣道・柔道・空手)、ボクシング
18. 大相撲
19. 体操・新体操
20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技(レスリング、フェンシング、テコンドー)
21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技
(ゴールボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング)
22. その他 ()

【I TVやインターネットで観戦】

1. マラソン、駅伝
2. 陸上競技
3. 水泳(競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング等)
4. ゴルフ
5. プロ野球(NPB、メジャーリーグ含む)
6. 高校野球
7. サッカー-日本代表
8. リーグ(J1、J2、J3)
9. その他サッカー
10. ラグビー(トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー等)
11. バスケケットボール(Bリーグ、NBA含む)
12. バレーボール(Vリーグ、日本代表含む)
13. テニス
14. バドミントン
15. 卓球
16. フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
17. 武道(剣道・柔道・空手)、ボクシング
18. 大相撲
19. 体操・新体操
20. 2020年に千葉市で開催されるオリンピック競技(レスリング、フェンシング、テコンドー)
21. 2020年に千葉市で開催されるパラリンピック競技
(ゴールボール、シッティングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング)
22. その他 ()

運動・スポーツの情報について

全員 問 23 市内の運動・スポーツの行事などに関する情報は、主にどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. ちは市政だより
- 2. 市のホームページ
- 3. 市のフェイスブック・LINE・ツイッター
- 4. 市以外のホームページ
- 5. 市以外のフェイスブック・LINE・ツイッター
- 6. 自治会の回覧
- 7. 地域の掲示板
- 8. 所属しているクラブ・サークル
- 9. チラシ・パンフレット
- 10. 友人・知人
- 11. 家族
- 12. その他 ()
- 13. 特になし

全員 問 24 次の市内で開催されているスポーツイベント等について知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 千葉マリンマラソン
- 2. 千葉市スポーツ・レクリエーション祭
- 3. 千葉シティトライアスロン
- 4. 幕張新都心クリテリウム
- 5. 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
- 6. 全日本新体操選手権大会
- 7. 知らない

～調査にご協力いただきありがとうございました。～

全員 問 20 この1年間にバラスポーツを観戦または見たりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある
- 2. テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦または見た（ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含む）ことがある
- 3. その他 ()
- 4. 観戦または見たことがない

プロスポーツなどの交流について

全員 問 21 次のチームを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 千葉ロッテマリーンズ (野球)
- 2. ジェフユナイテッド市原・千葉 (サッカー)
- 3. ジェフユナイテッド市原・千葉レディース (バスケットボール)
- 4. 千葉ジェッツ (バスケットボール)
- 5. オービックシーガルズ (アメリカンフットボール)
- 6. NECグリーンロケッツ (ラグビーフットボール)
- 7. バルドラール浦安 (フットサル)
- 8. 富士通陸上競技部 (陸上競技)
- 9. 鎌倉シーガルズ (トライアスロン)
- 10. JFE東日本硬式野球部 (野球)
- 11. イオン新体操クラブ (新体操)
- 12. 千葉ゼルバ (バレーボール)
- 13. 千葉ホークス (車椅子バスケットボール)
- 14. BLS T (ウイルチェアラグビー)
- 15. RIZÉ (ウイルチェアラグビー)
- 16. 千葉バイレーツ (シッティングバレーボール)
- 17. この中に知っているものはない

全員 問 22 プロスポーツチーム・選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。(上位3つまで数字を記入)

- 1. 交流できるイベントの開催
 - 2. 試合等を市内で開催
 - 3. 選手の学校訪問
 - 4. 選手の地域イベントへの参加
 - 5. その他 ()
 - 6. わからない
 - 7. なし
1. _____ 2. _____ 3. _____

「千葉市スポーツ推進計画策定に関わる市民意識調査」
調査結果報告書

令和元年12月

千葉市市民局
生活文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興班
〒260-0026 千葉市中央区千葉港 1 番 1 号
電話 043-245-5966
Fax 043-245-5994
